

---

---

春日井市障がい者総合福祉計画  
改定に係るアンケート調査  
結果報告書

---

---

令和2年3月

春日井市



# 目次

I	調査概要	1
1.	調査の目的	2
2.	調査の概要	2
3.	報告書の見方	4
II	調査結果	5
1.	障がいのある人とその家族について	6
2.	障がいのない人について	20
3.	日常生活について	21
4.	障がい福祉サービスについて	42
5.	相談について	58
6.	保健・医療について	65
7.	余暇活動について	68
8.	仕事や働くこと等について	74
9.	生活環境について	80
10.	情報の入手手段について	85
11.	災害など緊急事態の対応について	87
12.	障がい者の人権について	99
13.	障がい者施策について	111
14.	障がいのある人の家族について	116
15.	共生社会について	128
III	自由意見	137
1.	障がいのある人等及びその家族	138
2.	障がいのない人	147

# I 調査概要

---

## 1. 調査の目的

障がい者総合福祉計画の改定にあたり、障がい者の日常生活、社会生活、障がい福祉サービスの利用状況及び今後の意向等について実態調査を行うとともに、障がいのない人に対して、障がい者への理解や意識等の調査を実施し、計画策定の基礎資料を得ることを目的とします。

## 2. 調査の概要

### (1) 障がい者のくらし・社会参加に関するアンケート調査

#### ■調査に関する事項（各調査共通）

区分	内容
調査票の配布・回収	郵送配布・郵送回収
調査基準日	令和元年10月1日現在
調査期間	令和元年11月7日～令和元年11月22日

#### ■対象者の抽出

(障がい者手帳所持者・福祉応援券受給者)

令和元年10月1日現在

種類	年齢			合計
	17歳以下	18～64歳	65歳以上	
身体障がい	176	2,521	6,994	9,691
知的障がい	794	1,507	92	2,393
精神障がい	120	2,026	600	2,746
難病患者	110	899	643	1,652
障がい福祉サービス支給決定者(手帳なし・児)	563	-	-	563
合計	1,763	6,953	8,329	17,045

(アンケート送付者)



対象者の抽出

区分	人数
身体障がい・介助者	700
知的障がい・介助者	450
精神障がい・介助者	450
障がい児	400
難病患者・介助者	300
小計(障がい)	2,300
一般市民	700
合計	3,000

■回収率

	身体障がいのある人	知的障がいのある人	精神障がいのある人	障がいのある児童等	難病患者	家族	障がいのない人
配布数	700件	450件	450件	400件	300件	1,900件	700件
有効回収数	373件	216件	206件	202件	162件	957件	262件
有効回収率	53.3%	48.0%	45.8%	50.5%	54.0%	50.4%	37.4%

(2) 障がい福祉サービス利用者へのアンケート調査

■調査に関する事項（各調査共通）

区分	内容
調査票の配布・回収	郵送配布・郵送回収
調査基準日	令和元年12月20日現在
調査期間	令和2年1月6日～令和2年1月17日

■対象者の抽出

日中・居宅サービス利用者、グループホーム利用者、施設入所者に調査票を配布、回収して実施

■回収率

	日中・居宅サービス利用者	グループホーム利用者	施設入所者
配布数	600	173	111
有効回収数	315	123	74
有効回収率	52.5%	71.1%	66.7%

### 3. 報告書の見方

- 図表中の「N数 (number of case)」は集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を示しています。
- グラフ中の「%」は、小数第2位を四捨五入しているため、単数回答の設問（1つだけに○をつけるもの）であっても合計が 100.0%にならない場合があります。また、複数回答の設問の場合（いくつでも○をつけるものなど）は「N」に対する各選択肢の回答者数の割合を示しています。
- 図表中において、「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難なものです。
- グラフ中の選択肢は、原則として調査票に記載された表現のまま記載しています。
- 調査結果を図表で表示していますが、グラフ以外のクロス集計の表は、「その他」「不明・無回答」を除いて高い割合の第1位と第2位のものに網掛けをしています。（第1位：**濃い網掛けに白数字**、第2位：**薄い網掛けに黒数字**）ただし、N数が1桁以下のものは網掛けをしていません。
- 各設問の調査結果に、調査票の問番号を記載しています。表記は以下のとおりとなっています。

- 身体** …身体障がいのある人（18歳以上の身体障がい者手帳所持者）への調査
- 知的** …知的障がいのある人（18歳以上の療育手帳所持者）への調査
- 精神** …精神障がいのある人（18歳以上の精神障がい者保健福祉手帳所持者）への調査
- 児童** …障がいのある児童等（18歳未満の各手帳所持者、障がい福祉サービス利用者）への調査
- 難病** …難病患者（福祉応援券受給者）への調査
- 家族** …上記対象者の家族への調査（**児童**を除く）
- 一般** …上記以外の人への調査

- 居宅** …日中・居宅サービス利用者への調査
- グループホーム** …グループホーム利用者への調査
- 施設** …施設入所者への調査

## II 調査結果

---

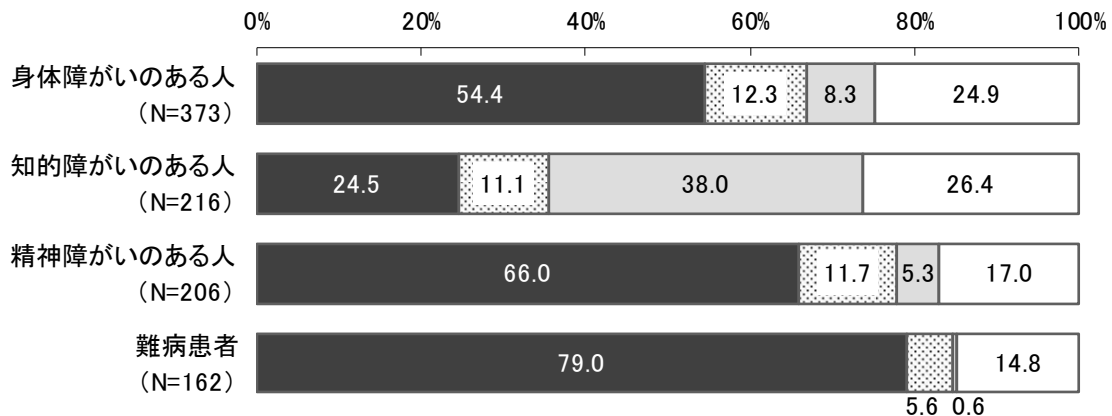


# 1. 障がいのある人とその家族について

## (1) この調査の記入方法について

身体問1、知的問1、精神問1、難病問1

知的障がいのある人で「本人の気持ちや考えの確認が難しいため、家族や介助者などが本人の意向をくみとって記入」の割合が最も高く4割弱となっています。



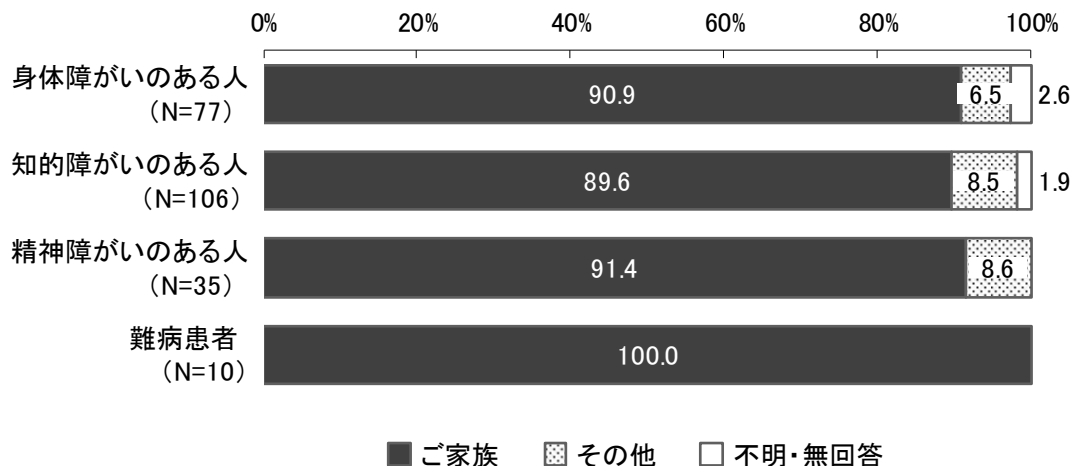
- 本人(宛名の方をいいます。)がご自身で記入
- ▨ 家族や介助者などが本人に気持ちや考えを確認しながら、代わりに記入
- 本人の気持ちや考えの確認が難しいため、家族や介助者などが本人の意向をくみとって記入
- 不明・無回答

## (2) 記入した方とご本人の関係にあてはまるものはどれですか。

※(1)で「家族や介助者などが本人に気持ちや考えを確認しながら、代わりに記入」「本人の気持ちや考えの確認が難しいため、家族や介助者などが本人の意向をくみとって記入」と答えた方に聞きました

身体問2、知的問2、精神問2、難病問2

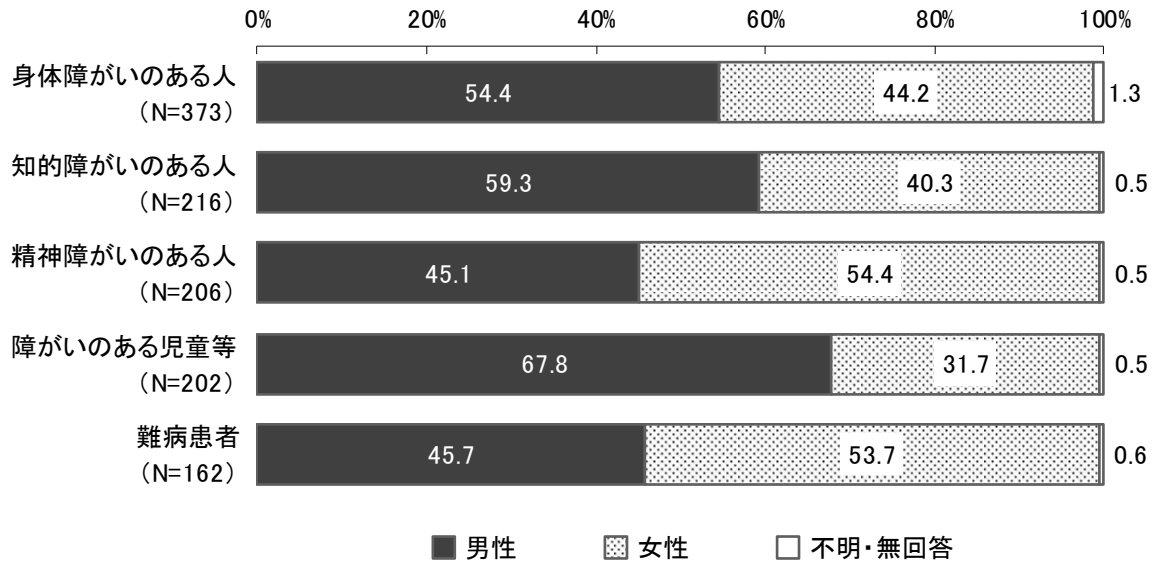
障がいのある人すべてで「ご家族」の割合が高くなっています。



### (3) 性別について

身体問3、知的問3、精神問3、児童問1、難病問3

身体障がいのある人、知的障がいのある人及び障がいのある児童等で「男性」の割合が、精神障がいのある人及び難病患者で「女性」の割合が高くなっています。

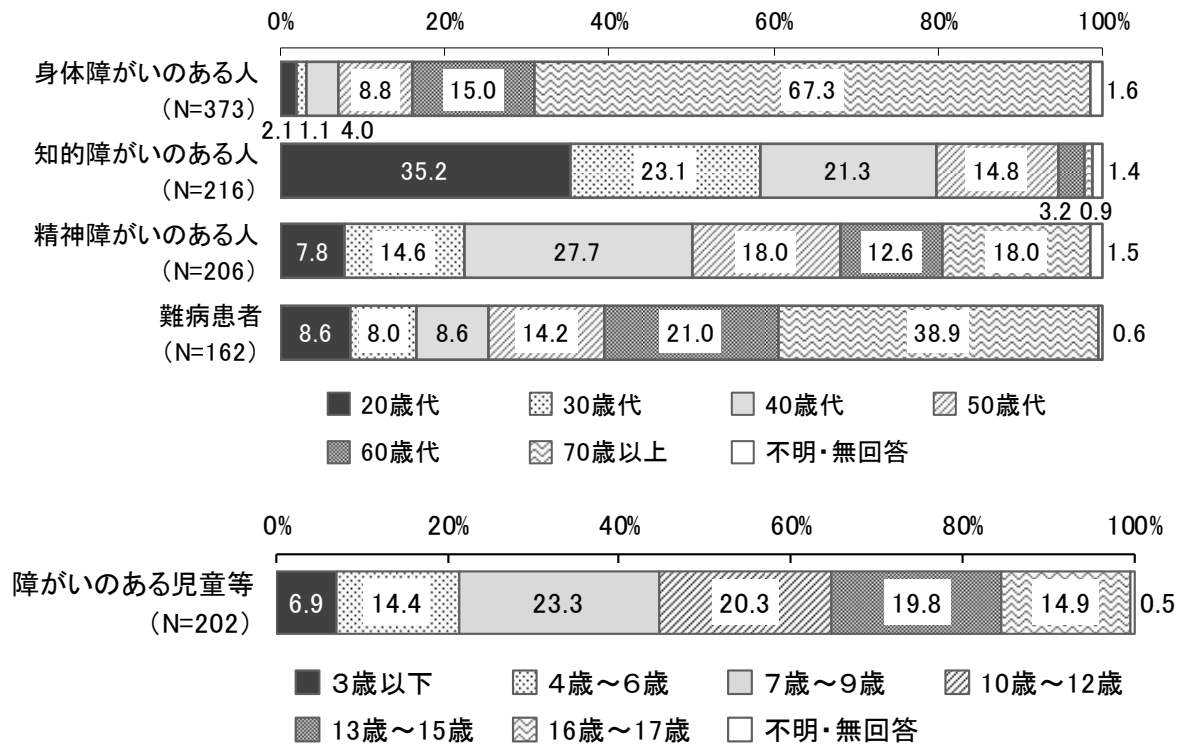


#### (4) 年齢について(令和元年 10 月 1 日現在)

身体問 4、知的問 4、精神問 4、児童問 2、難病問 4

身体障がいのある人及び難病患者で「70 歳以上」、知的障がいのある人で「20 歳代」、精神障がいのある人で「40 歳代」の割合が最も高くなっています。

また、障がいのある児童等で「7 歳～9 歳」の割合が高くなっています。



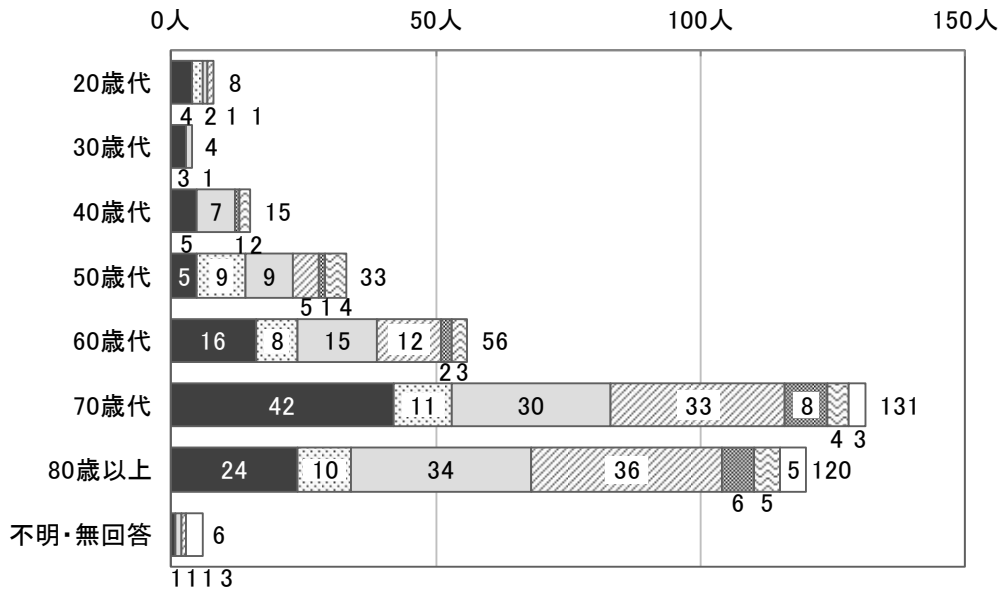
※「20 歳代」には 18、19 歳の人も含みます。これ以降のページでも同様です。

※年齢不明者は身体障がいのある人で6人、知的障がいのある人及び精神障がいのある人で3人、難病患者で1人、障がいのある児童等で1人となっています。

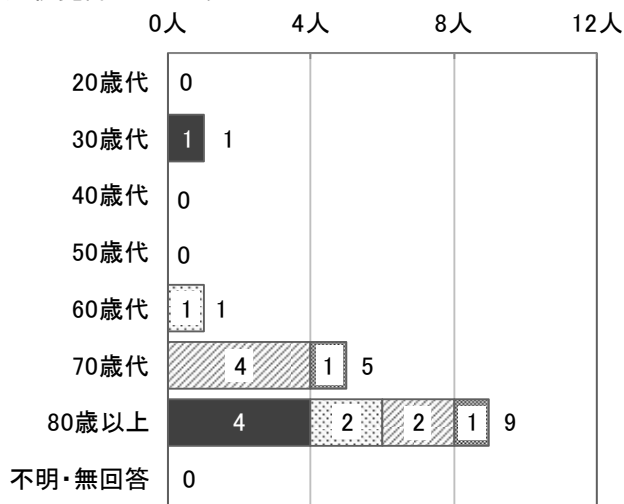
(5) 障がい者手帳の種別・等級について

身体問5・6、知的問5、精神問5、児童問4・5・7・9

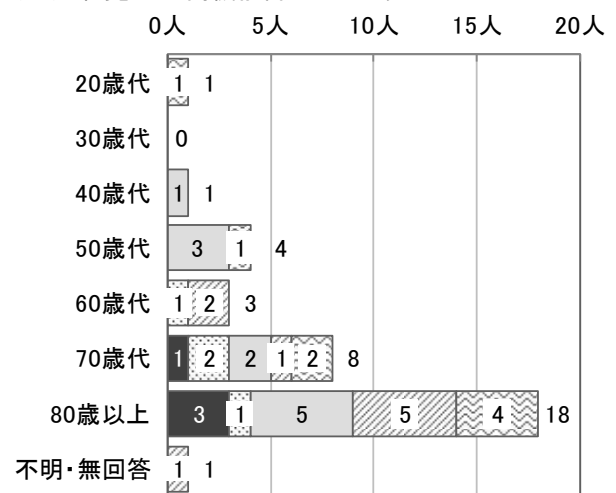
ア 身体障がいのある人・年代別の障がい種類・等級人数



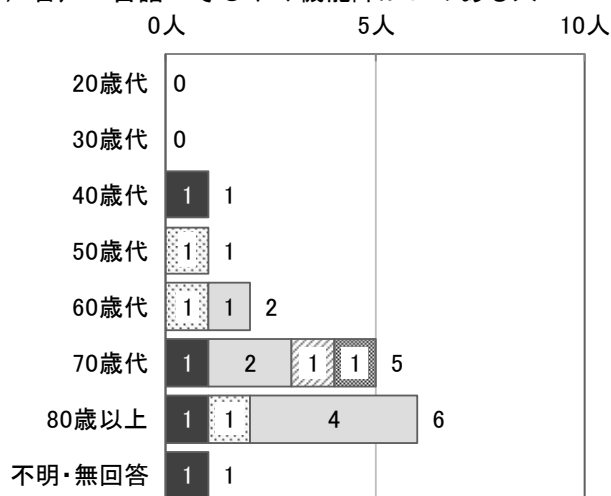
(ア) 視覚障がいのある人



(イ) 聴覚・平衡機能障がいのある人

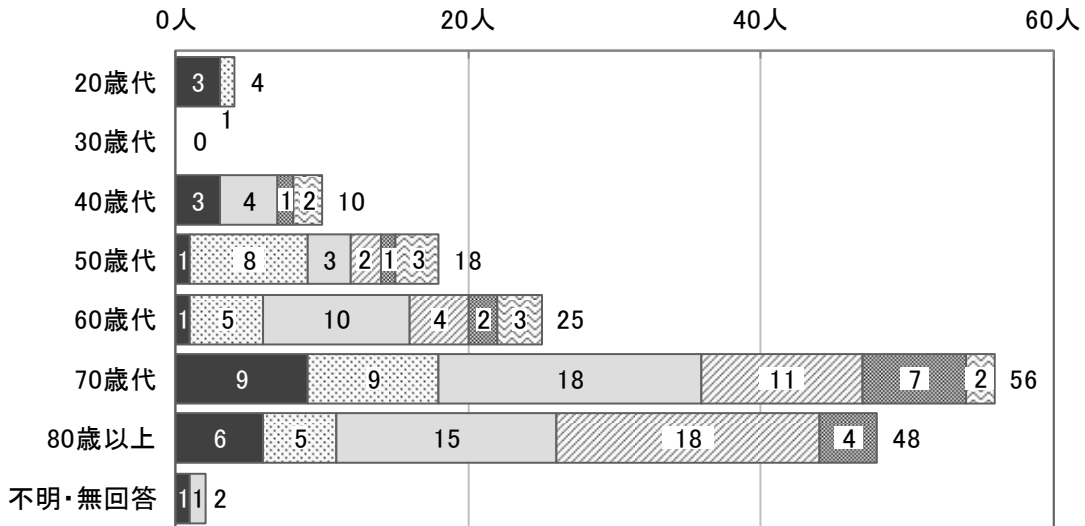


(ウ) 音声・言語・そしゃく機能障がいのある人

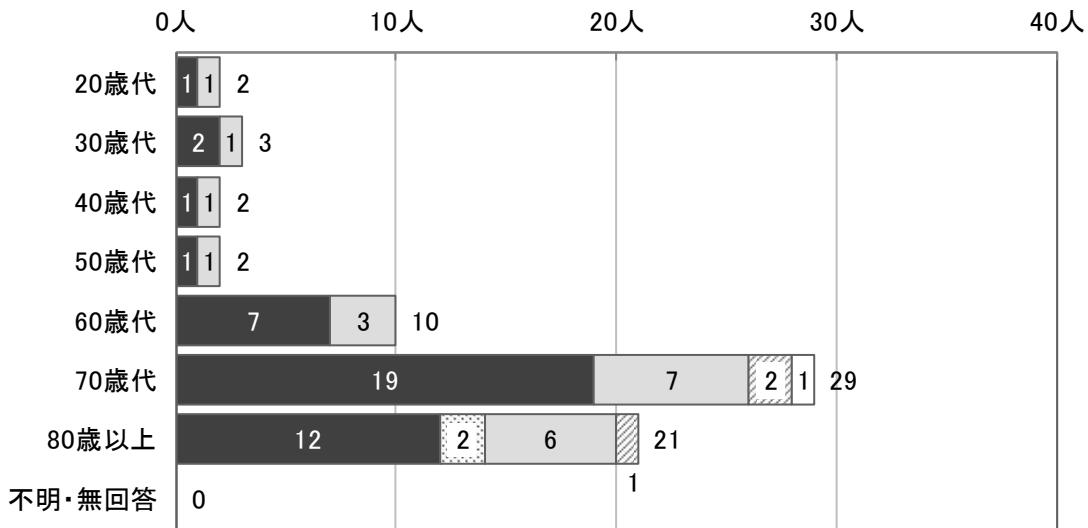


■ 1級 □ 2級 □ 3級 □ 4級 □ 5級 □ 6級 □ 不明・無回答

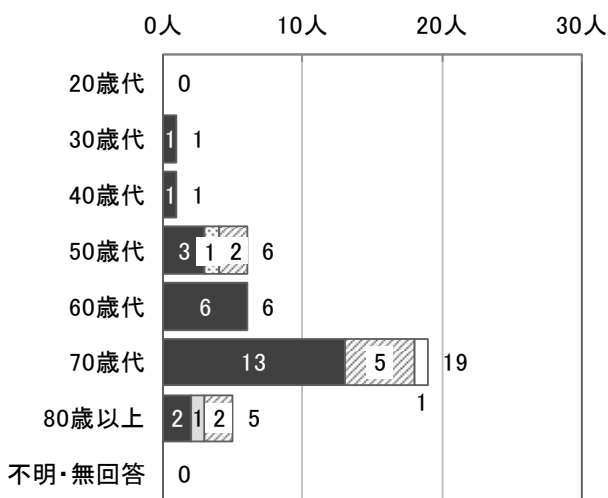
(エ) 肢体不自由のある人



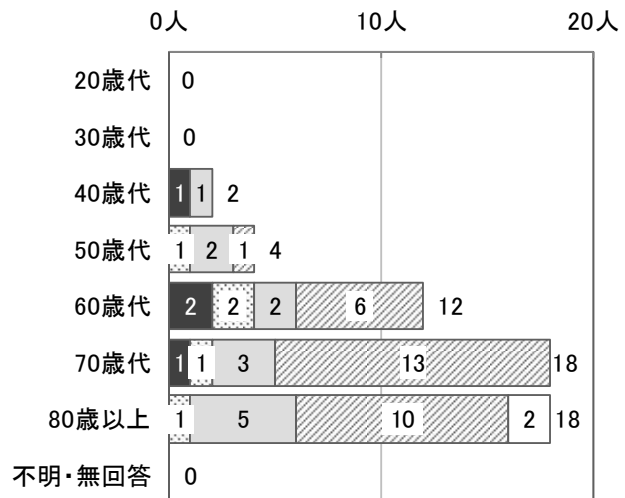
(オ) 心臓機能障がいのある人



(カ) 腎臓機能障がいのある人

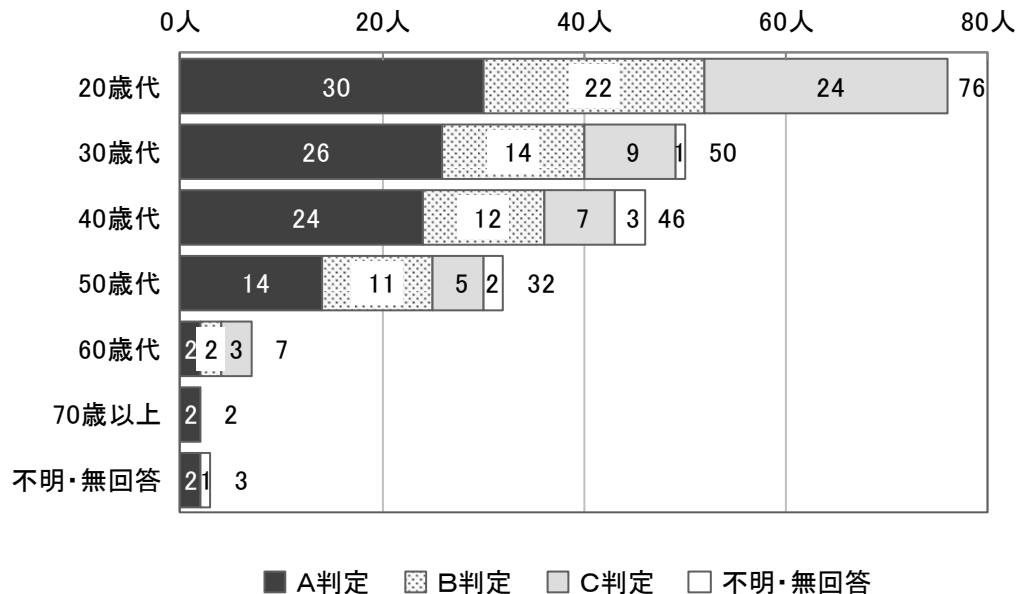


(キ) その他内部障がい（呼吸器、膀胱・直腸、小腸、肝臓の機能障がいや免疫機能障がい）のある人

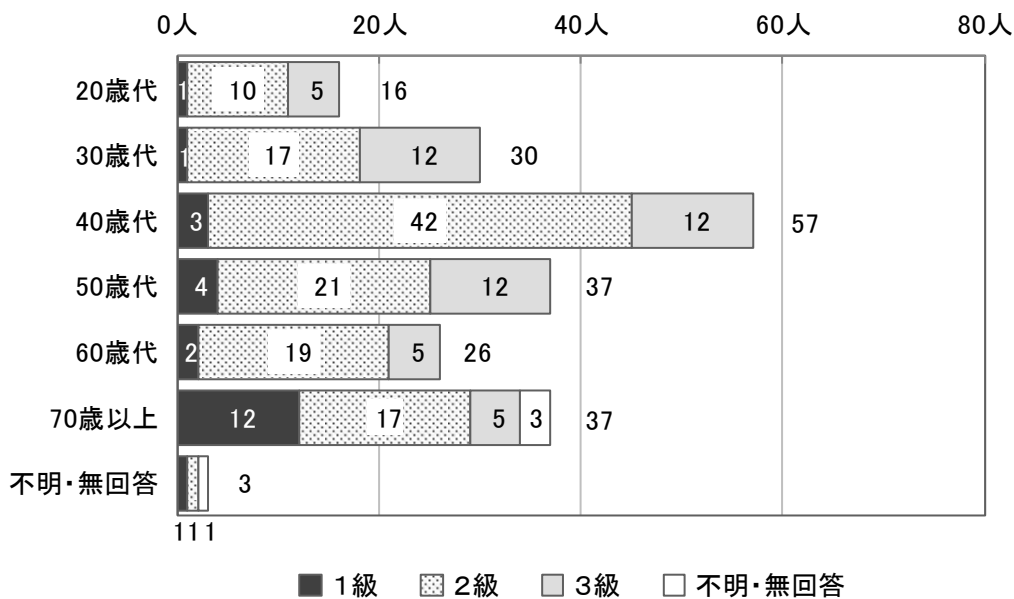


■ 1級 □ 2級 □ 3級 □ 4級 □ 5級 □ 6級 □ 不明・無回答

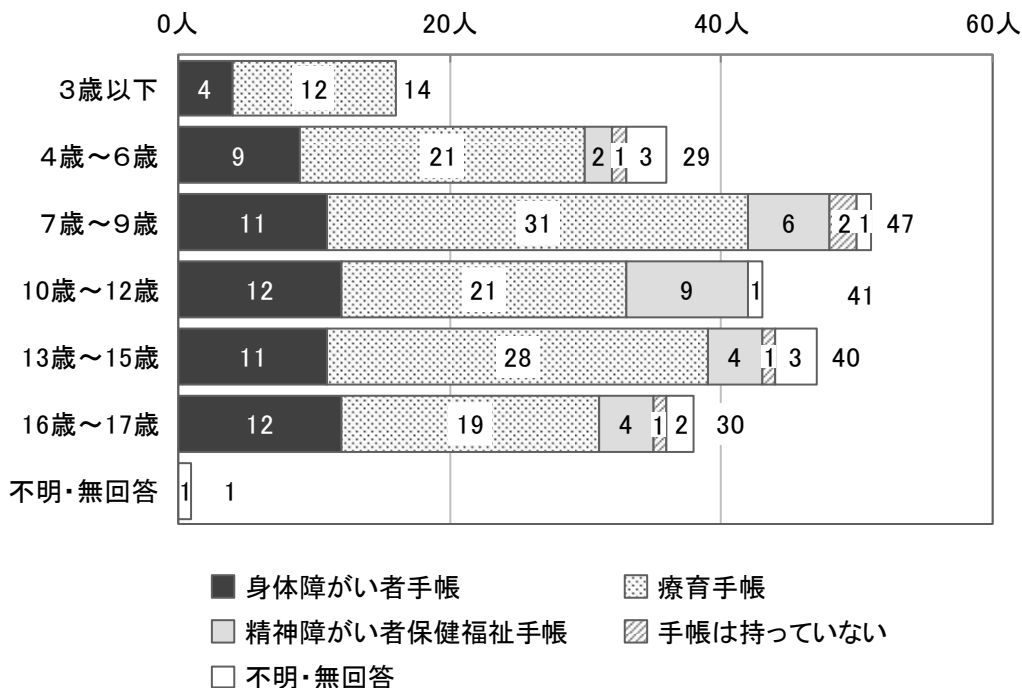
イ 知的障がいのある人・年代別の等級人数



ウ 精神障がいのある人・年代別の等級人数



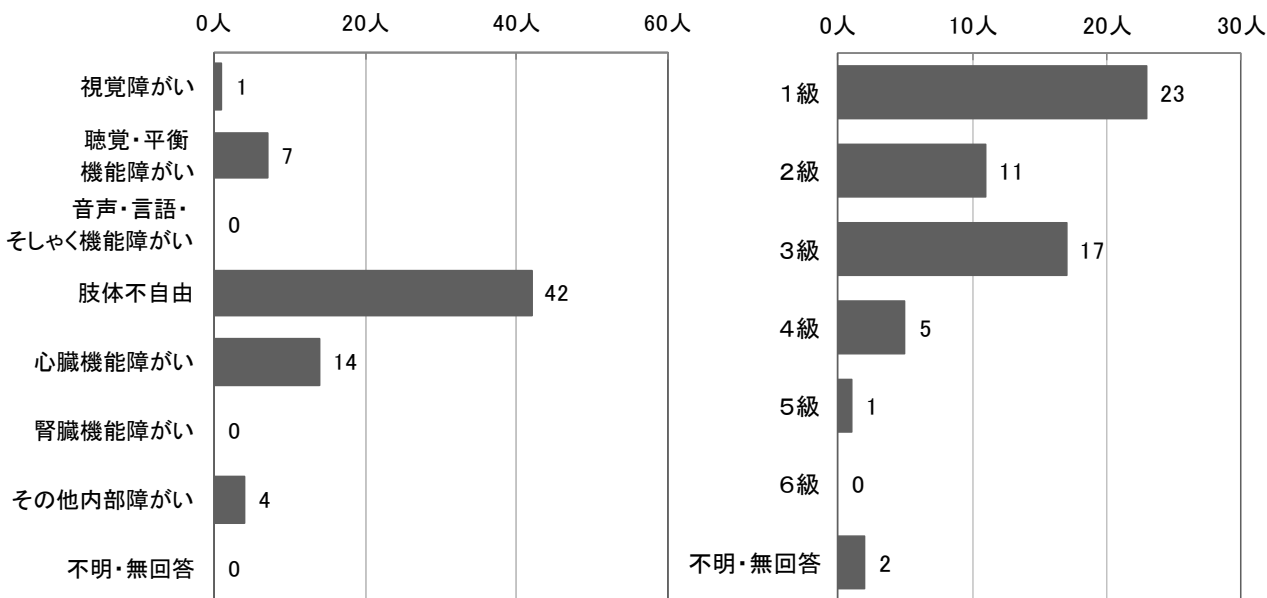
エ 障がいのある児童等・年代別の手帳所持人数



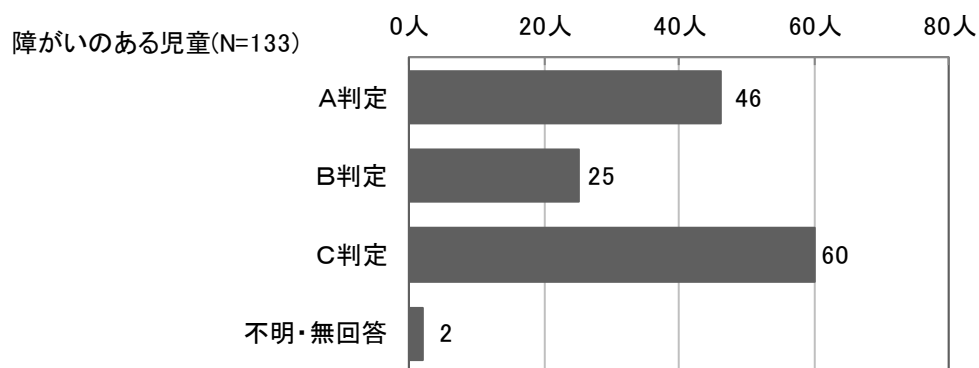
※「身体障がい者手帳」と「療育手帳」の重複者 26 名、「療育手帳」と「精神障がい者保健福祉手帳」の重複者4名をそれぞれ含みます。

(ア) 身体障がいのある児童・障がい種類・等級人数

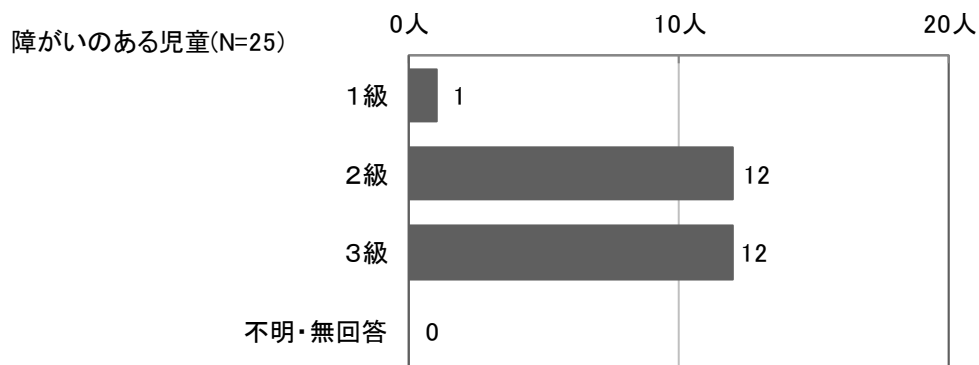
障がいのある児童(N=59)



(イ) 知的障がいのある児童



(ウ) 精神障がいのある児童





(6) 医療助成の対象となっている疾病は何ですか。(記述式回答)

難病問5

「潰瘍性大腸炎」が32人と最も多く、次いで「全身性エリテマトーデス(SLE)」「パーキンソン病」となっています。

N=162

病名	人数
潰瘍性大腸炎	32
全身性エリテマトーデス(SLE)	17
パーキンソン病	13
後縦靭帯骨化症	8
サルコイドーシス	6
膠原病	6
重症筋無力症	6
クローン病	4
網膜色素変性症	4
皮膚筋炎	3
シェーグレン症候群	3
多発性硬化症・視神経脊髄炎	3
アミロイドーシス	2
下垂体異状	2
下垂体性ADH分泌異常症	2
下垂体前葉機能低下症	2
間質性肺炎	2
強皮症	2
好酸球性副鼻腔炎	2
全身性強皮症	2
多発性筋炎	2
特発性間質性肺炎	2
特発性血小板減少性紫斑病	2
肺高血圧症	2
ベーチェット病	2
慢性血栓塞栓性肺高血圧症	2
もやもや病	2

病名	人数
ACTH単独欠損症	1
EGPA	1
igA腎症	1
アシロイドシス	1
脂大型心筋症	1
ヴァージャール病	1
川崎病	1
気腫合併間質性肺炎	1
球脊髄性筋萎縮症	1
筋ジストロフィー	1
頸椎後縦靭帯骨化症	1
血小板	1
顕微鏡的多発血管炎	1
甲状腺機能疾患	1
骨髄小脳変性症	1
混合性結合組織病	1
再生不良性貧血	1
再発性多発軟骨炎	1
成人スチル病	1
脊髄小脳変性症	1
先天性胆道拡張症	1
特性小脳変性症	1
ネフローゼ症候群	1
脳下垂体機能低下症	1
末端肥大症	1
慢性腎疾患	1
難病	1
ない	1

※1名は2つの疾病あり

※病名は回答者の記載のとおり表記しています。

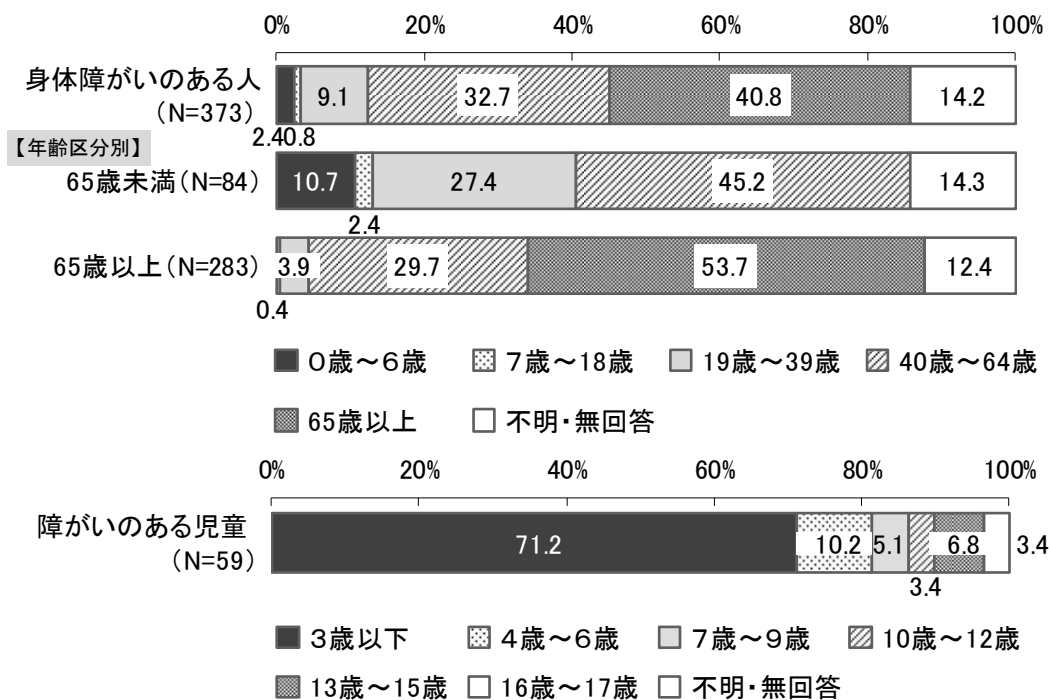
(7) 身体障がい者手帳の交付日を数字で記入してください。

※障がいのある児童では(5)エで「身体障がい者手帳」と答えた方に聞きました

身体問7、児童問6

身体障がい者手帳の交付時の年齢は、身体障がいのある人で「65歳以上」の割合が最も高く、次いで「40歳～64歳」となっています。

障がいのある児童で「3歳以下」の割合が最も高くなっています。



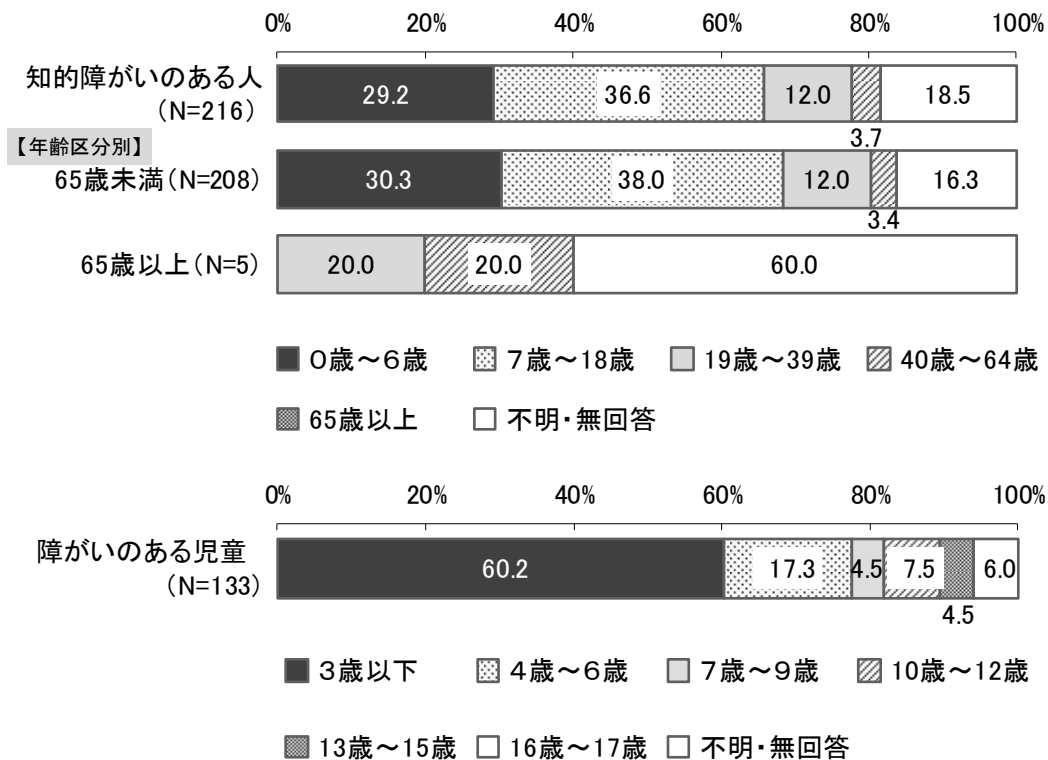
**(8) 療育手帳の交付日を数字で記入してください。**

※障がいのある児童では(5)エで「療育手帳」と答えた方に聞きました

知的問6、児童問8

療育手帳の交付時の年齢は、知的障がいのある人で「7歳～18歳」の割合が最も高く、次いで「0歳～6歳」となっています。

障がいのある児童で「3歳以下」の割合が最も高くなっています。



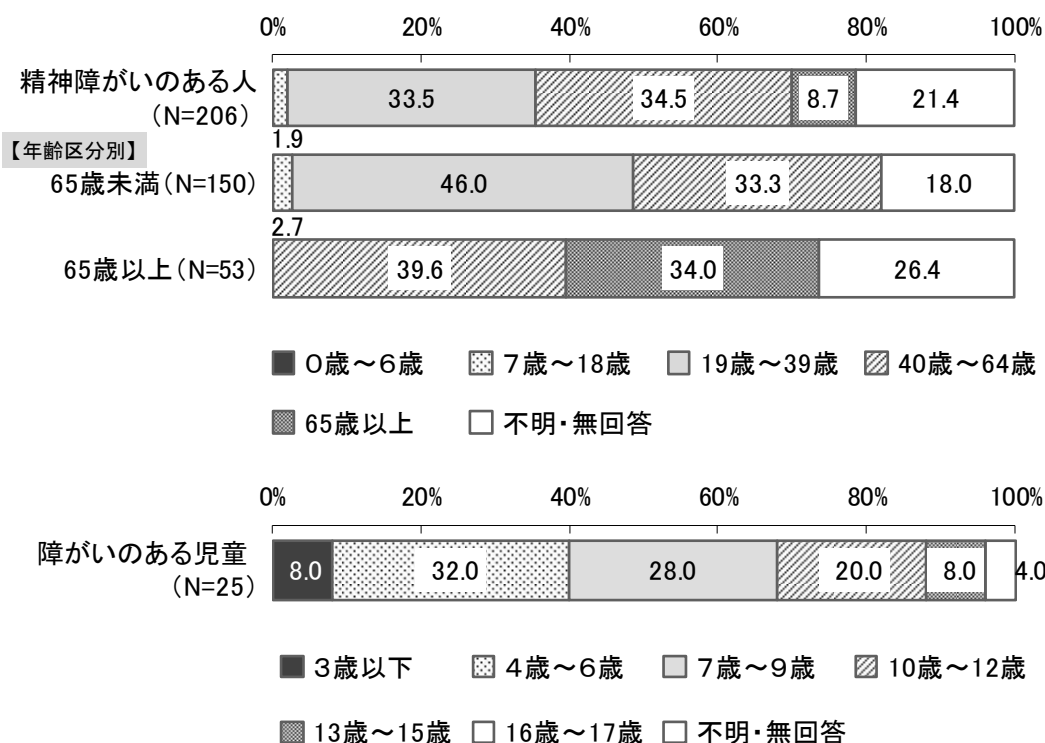
**(9) 精神障がい者保健福祉手帳の交付日を数字で記入してください。**

※障がいのある児童では(5)エで「精神障がい者保健福祉手帳」と答えた方に聞きました

精神問6、児童問10

精神障がい者保健福祉手帳の交付時の年齢は、精神障がいのある人で「40歳～64歳」の割合が最も高く、次いで「19歳～39歳」となっています。

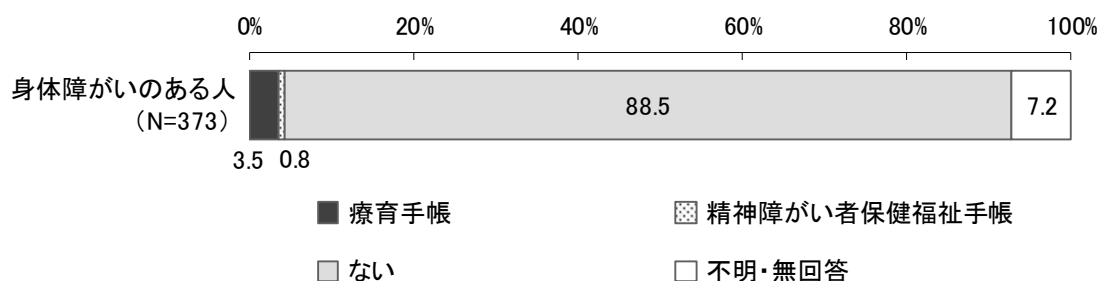
障がいのある児童で「4歳～6歳」の割合が最も高く、次いで「7歳～9歳」となっています。



**(10) 身体障がい者手帳以外に障がい者手帳をお持ちですか。(複数回答)**

身体問8

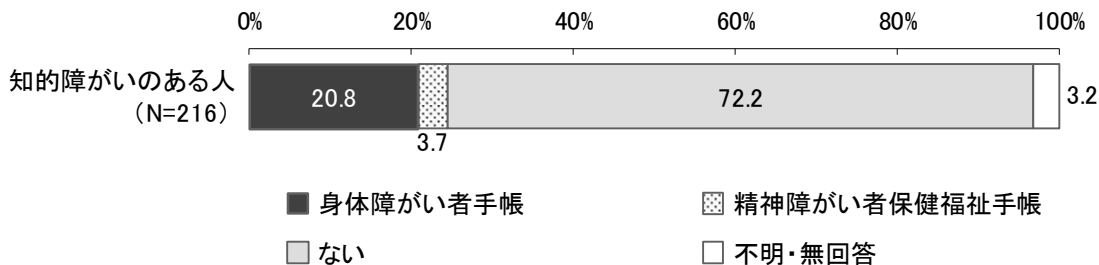
1割弱の人が「療育手帳」を持っています。



(11) 療育手帳以外に障がい者手帳をお持ちですか。(複数回答)

知的問 7

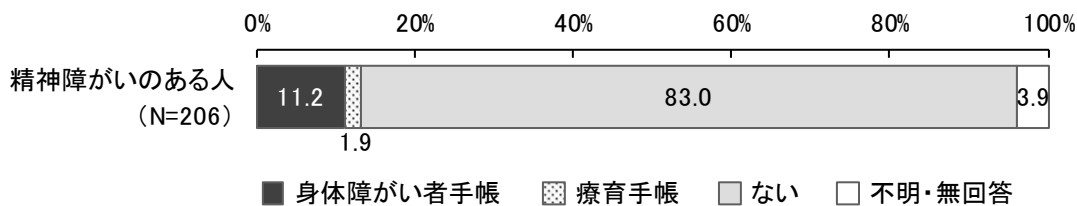
2割強の人が「身体障がい者手帳」を持っています。



(12) 精神障がい者保健福祉手帳以外に障がい者手帳をお持ちですか。(複数回答)

精神問 7

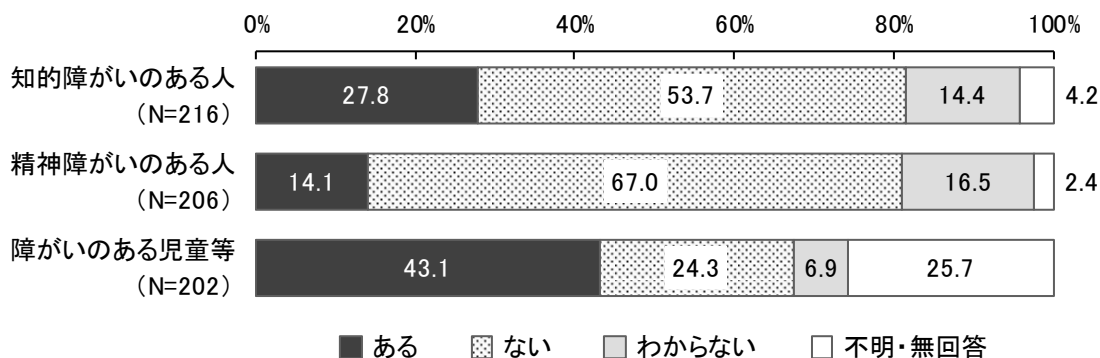
1割強の人が「身体障がい者手帳」を持っています。



(13) これまで発達障がいとして診断されたことはありますか。

知的問 8、精神問 8、児童問 11

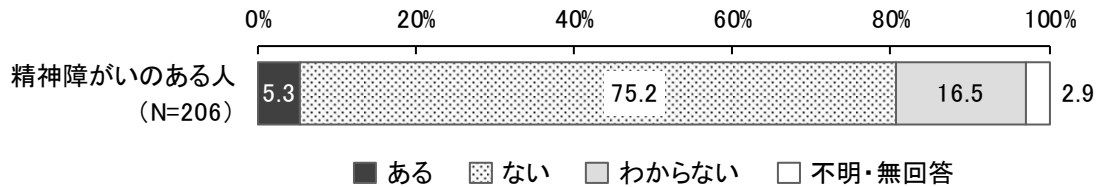
「ある」の割合は知的障がいのある人で3割弱、精神障がいのある人で1割強、障がいのある児童等で4割強となっています。



(14) これまで高次脳機能障がいとして診断されたことはありますか。

精神問 9

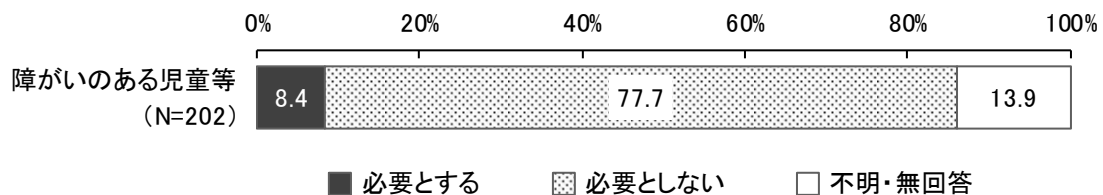
「ある」の割合は1割弱となっています。



(15) お子さんは医療的ケアを必要としますか。

児童問 12

「必要とする」の割合は1割弱となっています。



(16) 障がい福祉サービスの障がい支援区分の認定を受けていますか。

身体問 9、知的問 9、精神問 10

知的障がいのある人で5割強の人が区分認定を受けています。身体障がいのある人で「受けていない」の割合が最も高くなっています。

(単位：%)

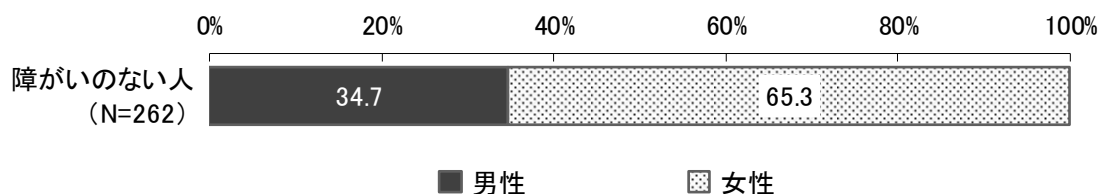
区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	受けていない	わからない	不明・無回答
身体障がいのある人 (N=373)	1.9	1.3	1.3	1.3	-	3.2	42.1	31.9	16.9
知的障がいのある人 (N=216)	0.5	5.1	5.6	11.6	14.8	14.8	16.2	23.6	7.9
精神障がいのある人 (N=206)	1.0	1.0	3.4	1.5	-	-	34.0	50.0	9.2

## 2. 障がいのない人について

### (17) あなたの性別について

一般問 1

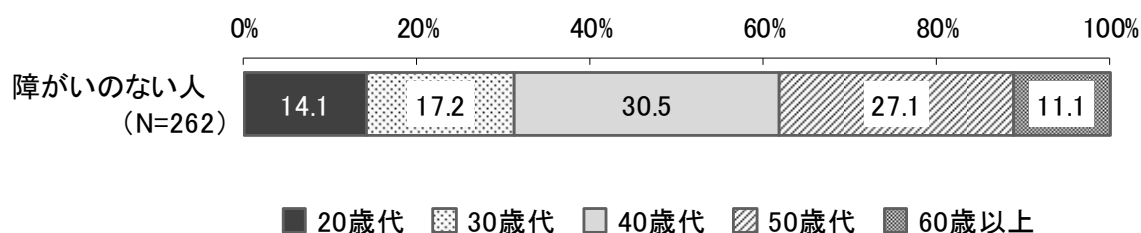
「男性」の割合が3割強、「女性」の割合が7割弱となっています。



### (18) あなたの年齢について(令和元年 10月1日現在)

一般問 2

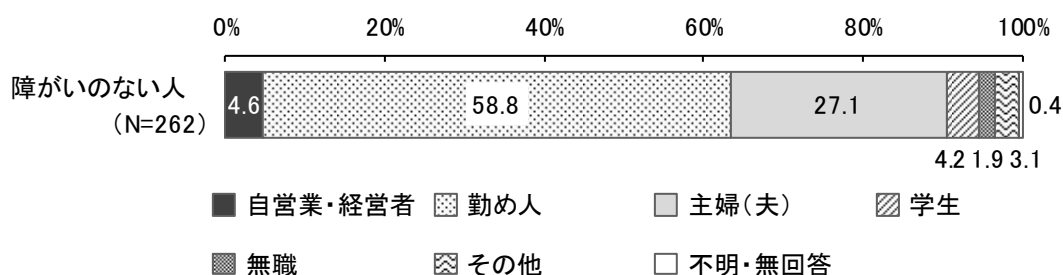
「40歳代」の割合が最も高く、次いで「50歳代」となっています。



### (19) あなたのご職業は何ですか。

一般問 3

「勤め人」の割合が最も高く、次いで「主婦(夫)」となっています。

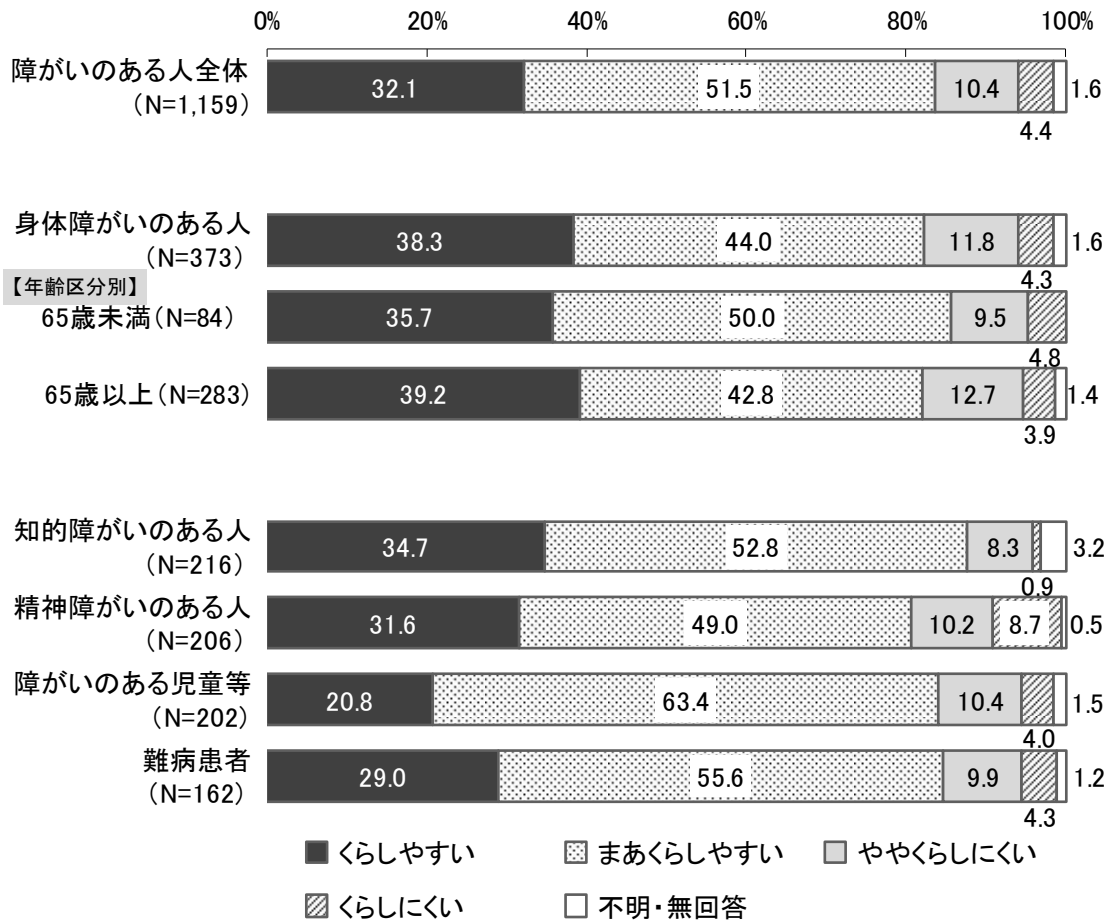


### 3. 日常生活について

#### (20) 春日井市をくらしやすいまちだと思いますか。

身体問10、知的問10、精神問11、児童問13、難病問6

障がいのある人すべてで「くらしやすい」「まあくらしやすい」の合計の割合が8割を超えています。



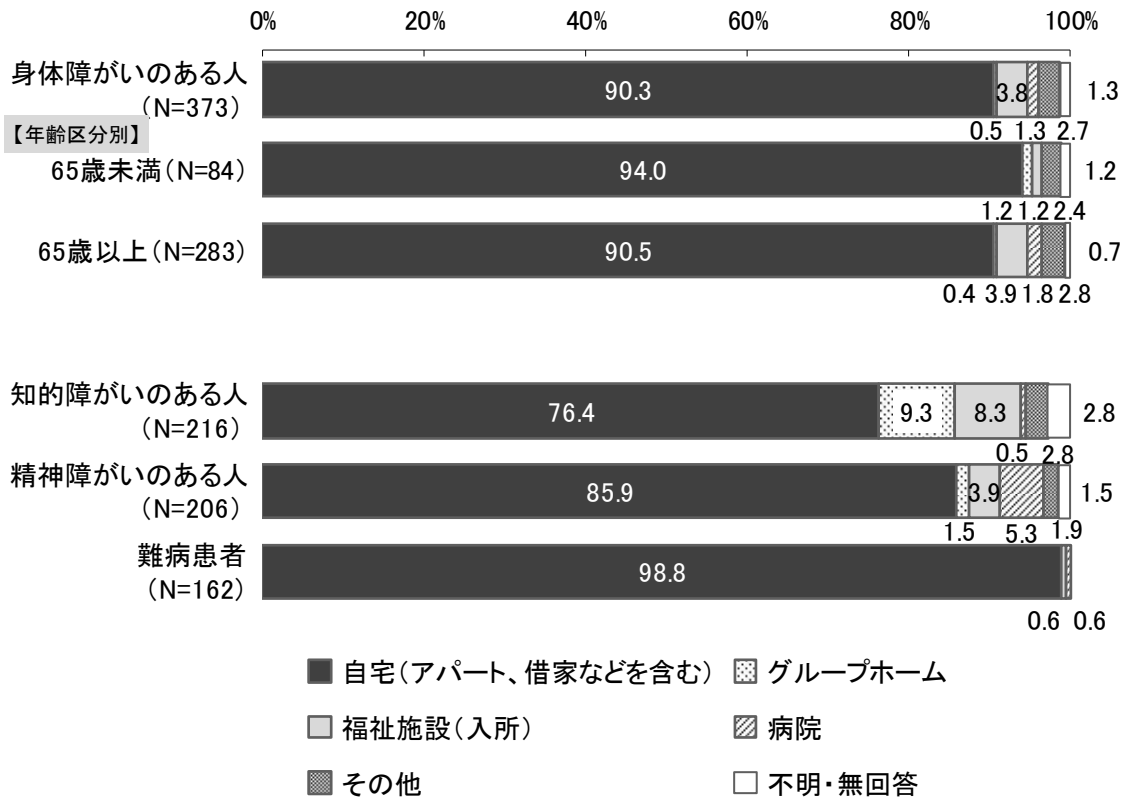


(21) 今、どこでくらしていますか。

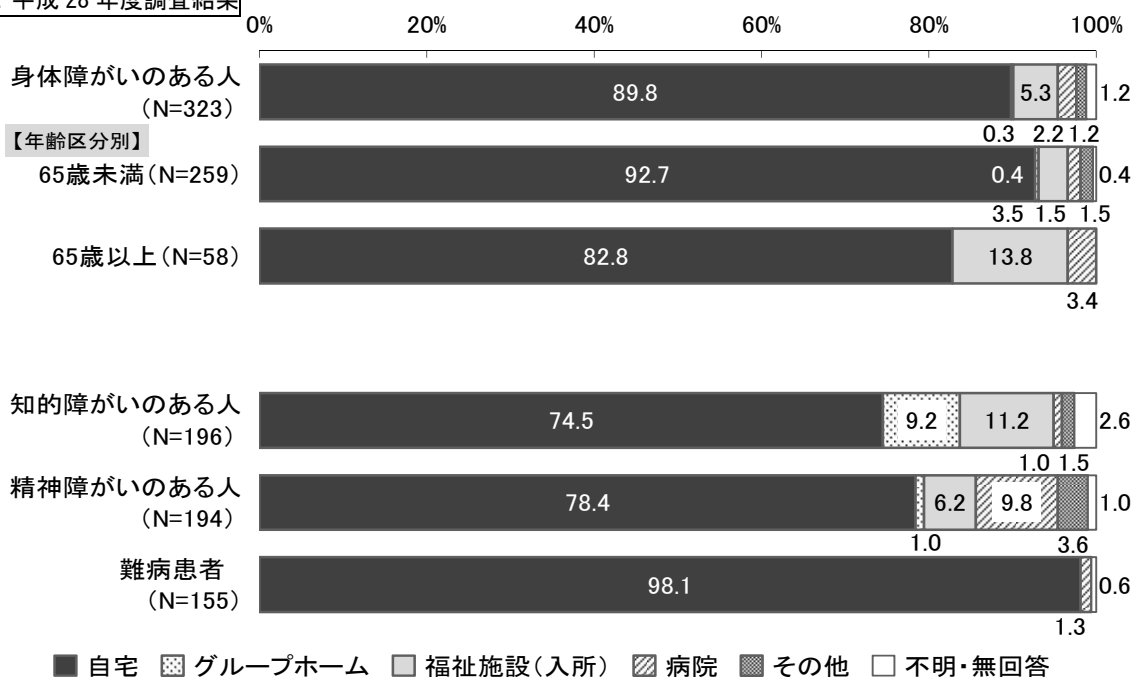
身体問 11、知的問 11、精神問 12、難病問 7

障がいのある人すべてで「自宅（アパート、借家などを含む）」の割合が最も高くなっています。

なお、知的障がいのある人で「グループホーム」「福祉施設（入所）」、精神障がいのある人で「病院」の割合がそれぞれ他の障がいと比べて高くなっています。



参考：平成 28 年度調査結果



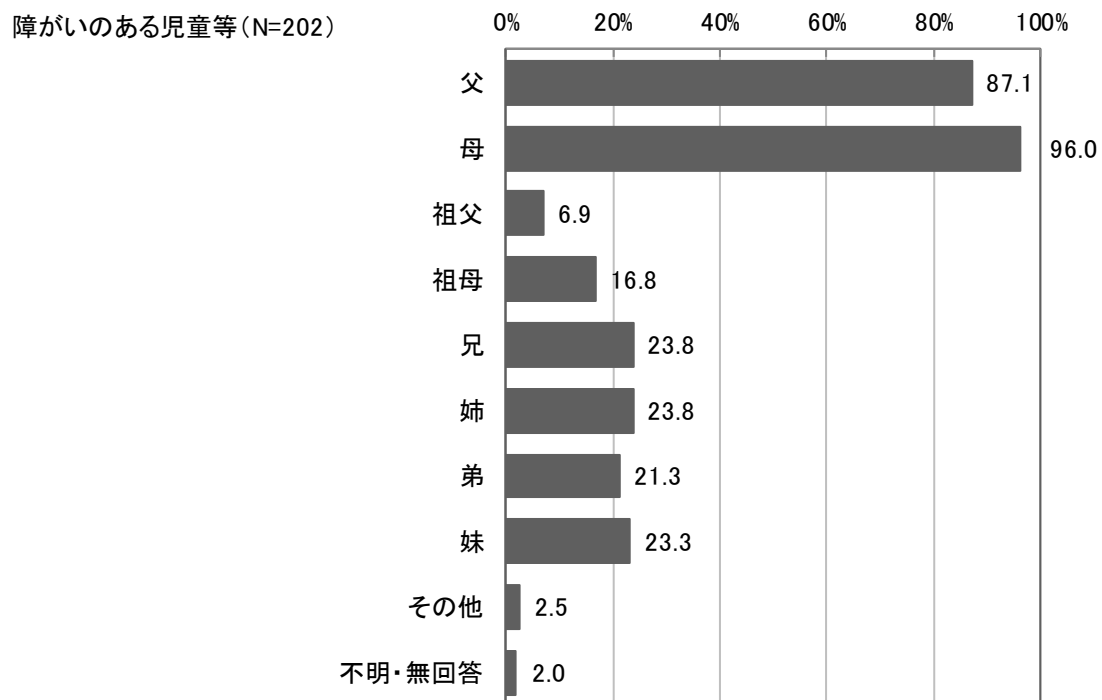
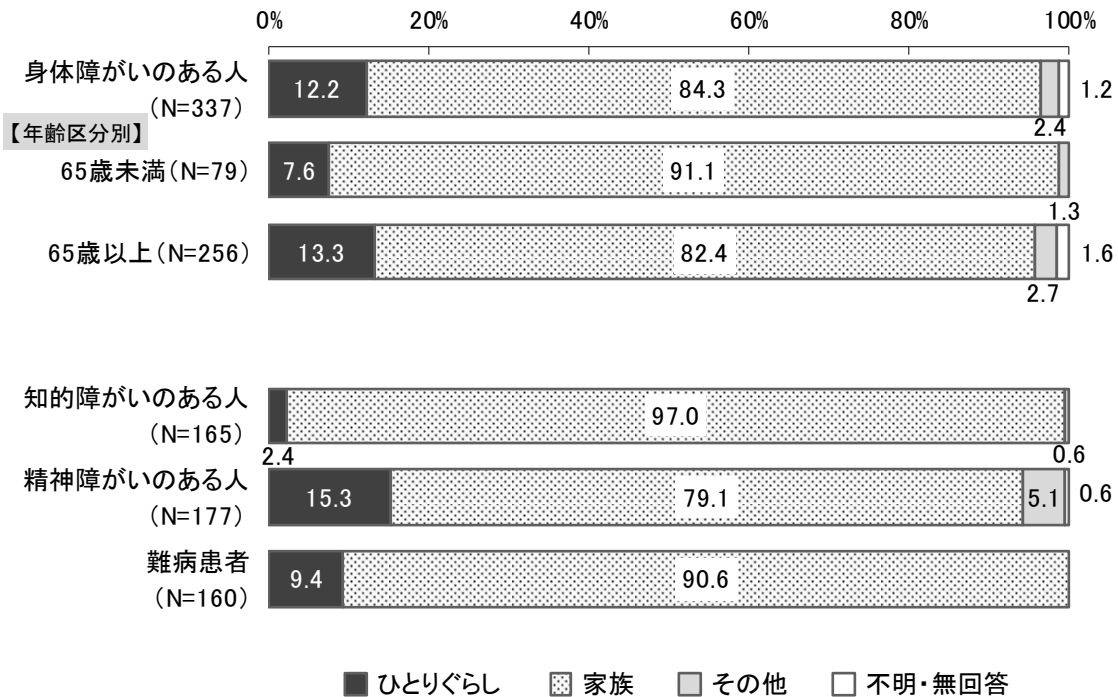
(22) 今、だれと一緒にくらしていますか。(障がいのある児童等のみ複数回答)

※ (21) で「自宅 (アパート、借家などを含む)」と答えた方に聞きました

身体問 12、知的問 12、精神問 13、児童問 14、難病問 8

障がいのある人すべてで「家族」の割合が最も高くなっています。

なお、知的障がいのある人で「ひとりぐらし」の割合が他の障がいと比べて低くなっています。

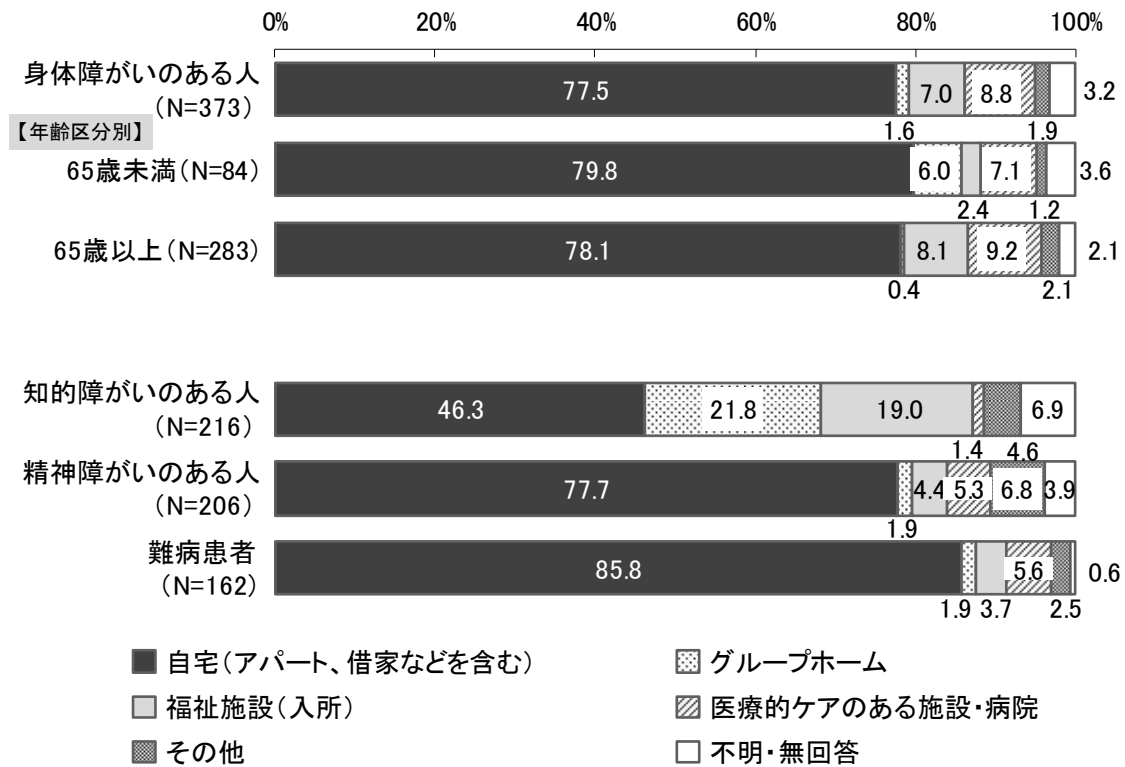


(23) 将来どこでくらしたいですか。

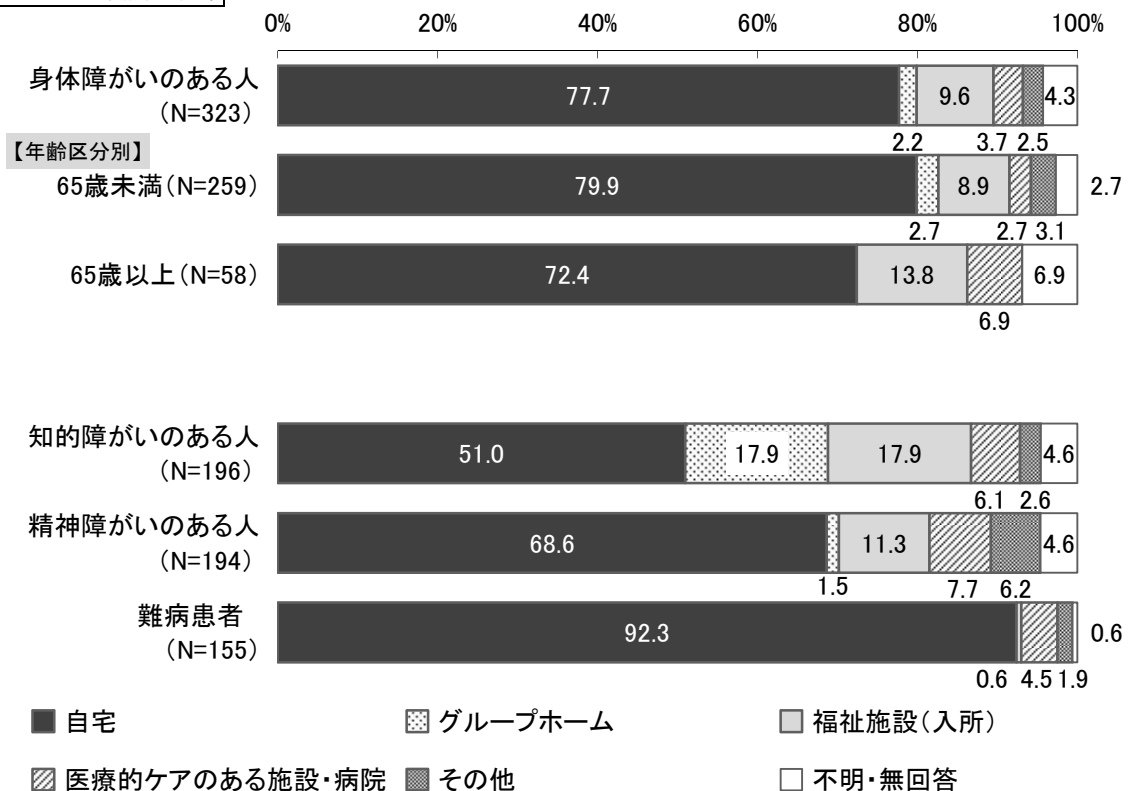
身体問 13、知的問 13、精神問 14、難病問 9

障がいのある人すべてで「自宅（アパート、借家などを含む）」の割合が最も高くなっています。

なお、知的障がいのある人で「グループホーム」「福祉施設（入所）」の割合が他の障がいと比べて高くなっています。



参考：平成 28 年度調査結果

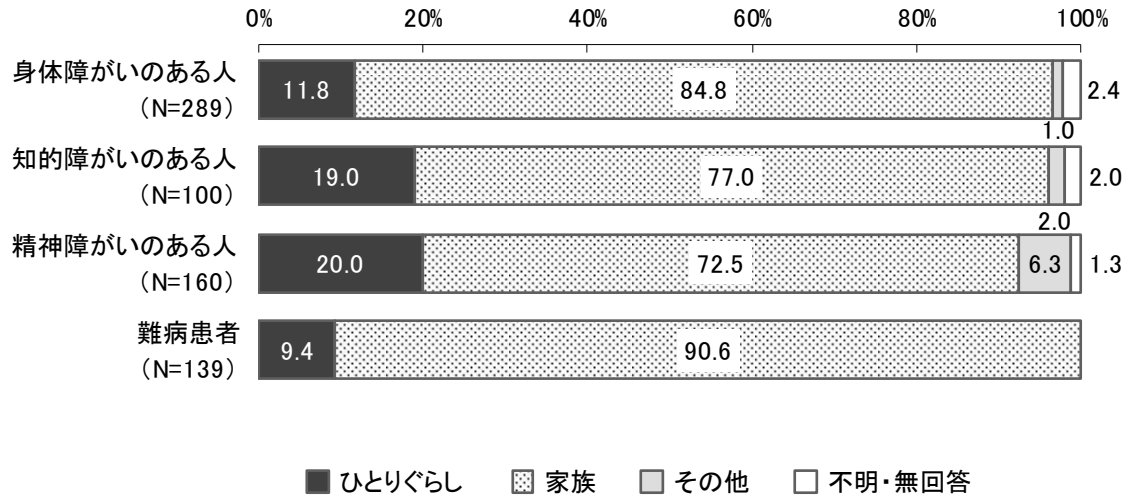


**(24) 将来だれと一緒に住みたいですか。**

※ (23) で「自宅（アパート、借家などを含む）」と答えた方に聞きました

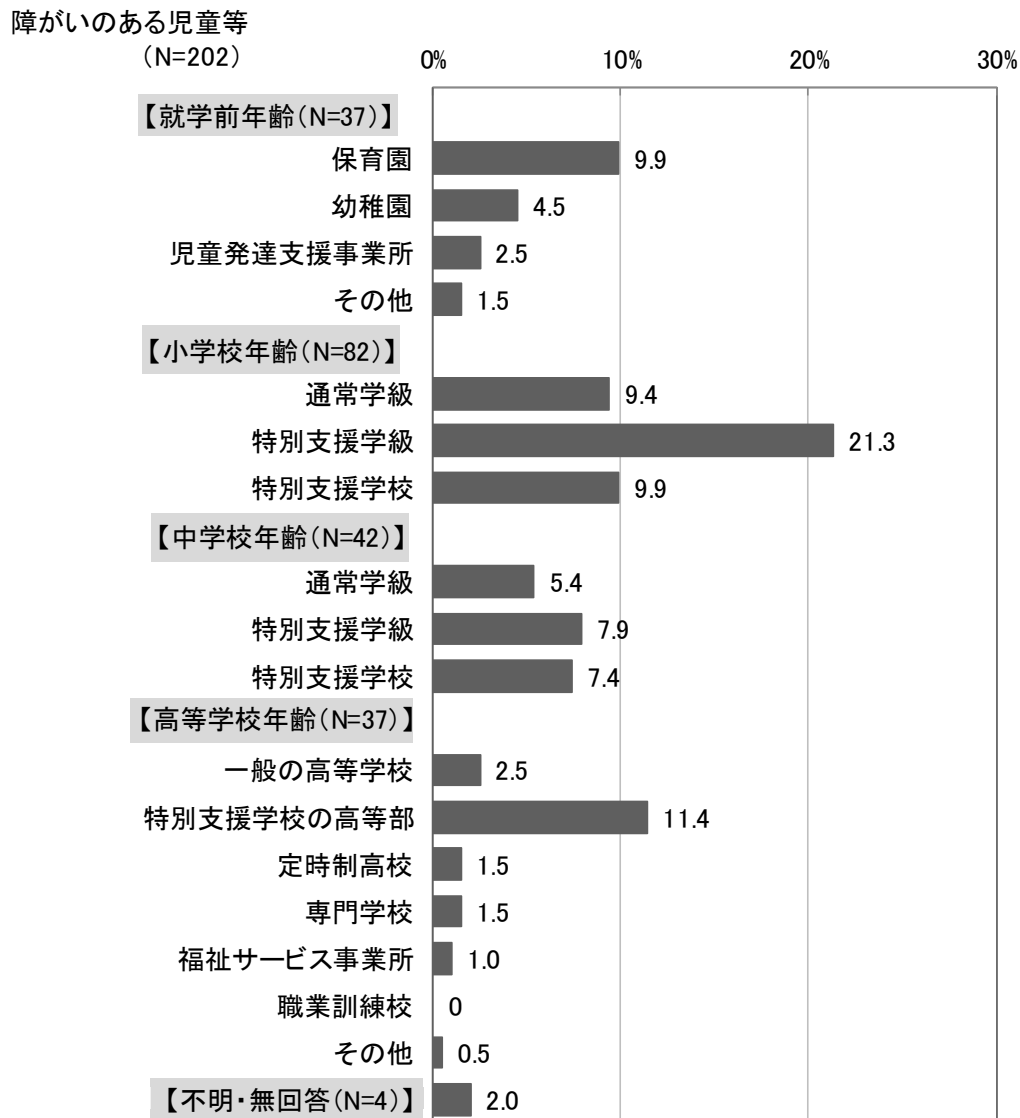
身体問 14、知的問 14、精神問 15、難病問 10

障がいのある人すべてで「家族」の割合が最も高くなっています。



(25) 次のうち、現在はどこに在籍していますか。

就学前年齢で「保育園」、小学校年齢及び中学校年齢で「特別支援学級」、高等学校年齢で「特別支援学校の高等部」の割合が最も高くなっています。

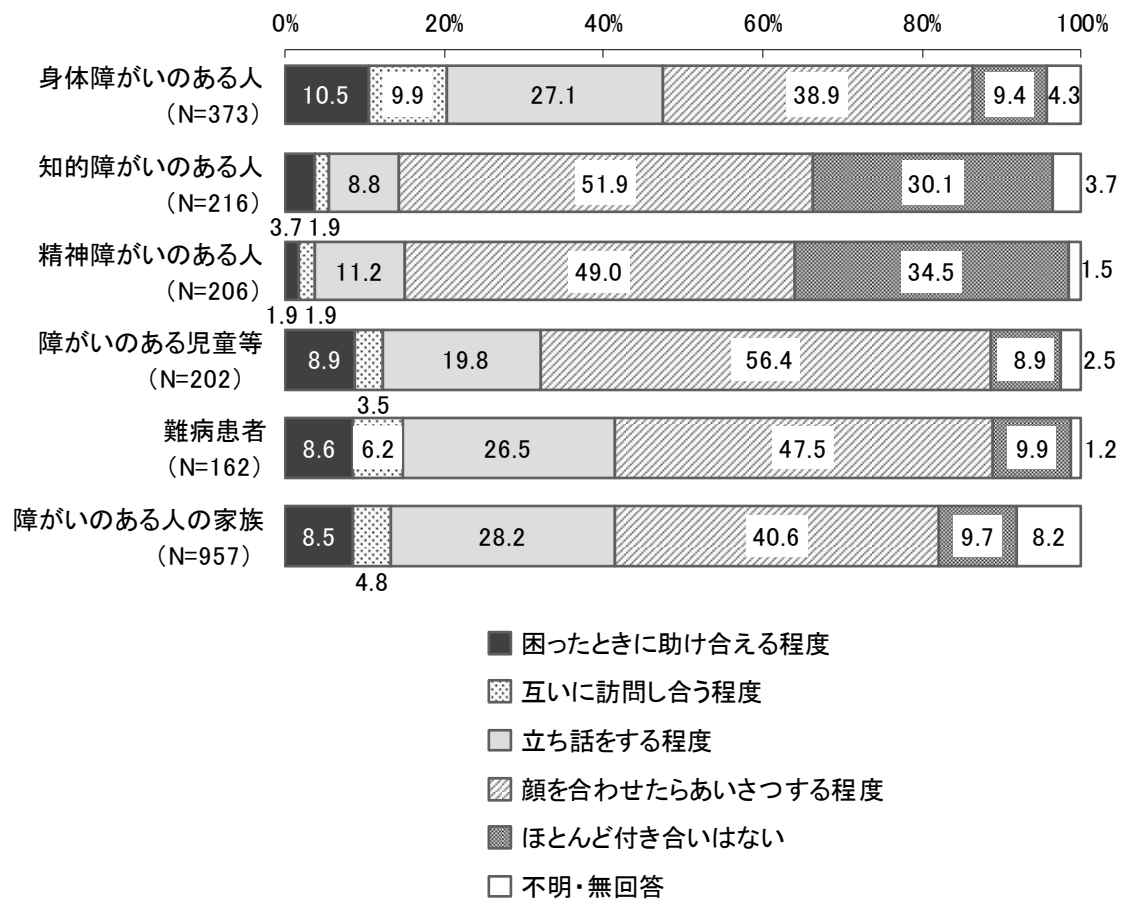


(26) あなたは、ご近所の方とはどのようなお付き合いをされていますか。

身体問 15、知的問 15、精神問 16、児童問 16、難病問 11、家族問 11

障がいのある人すべてで「顔を合わせたらあいさつする程度」の割合が最も高くなっています。

なお、知的障がいのある人及び精神障がいのある人で「ほとんど付き合いはない」の割合が他の障がいと比べて高くなっています。



[主な「困ったときに助け合える程度」の内容]

内容
相談にのってもらえる
なんでも話し合う
車に乗せてもらう
ゴミ出し
買い物、病気の時の食事
声かけをする
洗濯物を取り込んでくれる
短・長期間留守にする時にはお願いしたりする

(27) 現在、生活をしていく上で支援がなくて困っていることはどのようなことですか。(複数回答)

身体問 16、知的問 16、精神問 17、難病問 12

「特にない」を除くと、身体障がいのある人で「急に体調が悪くなったときの対応」、知的障がいのある人で「銀行や郵便局・役所の利用」、精神障がいのある人で「部屋の掃除・整理整頓」、難病患者で「電車・バスなど交通機関の利用」の割合が最も高くなっています。

(単位：%)

区分	身体障がいのある人			知的障がいのある人	精神障がいのある人	難病患者
	(65歳未満)	(65歳以上)				
有効回答数(件)	373	84	283	216	206	162
1位	特にない (54.2)	特にない (64.3)	特にない (51.9)	特にない (41.7)	特にない (36.9)	特にない (58.0)
2位	急に体調が悪くなったときの対応 (17.4)	急に体調が悪くなったときの対応 (17.9)	急に体調が悪くなったときの対応 (17.3)	銀行や郵便局・役所の利用 (23.6)	部屋の掃除・整理整頓 (24.8)	電車・バスなど交通機関の利用 (16.0)
3位	電車・バスなど交通機関の利用 (16.1)	電車・バスなど交通機関の利用 (11.9)	電車・バスなど交通機関の利用 (17.3)	現金や預金通帳などの管理 (20.8)	急に体調が悪くなったときの対応 (23.8)	急に体調が悪くなったときの対応 (11.7)
4位	買い物 (13.4)	買い物 (8.3)	買い物 (15.2)	急に体調が悪くなったときの対応 (20.8)	話し相手・相談する相手 (17.5)	部屋の掃除・整理整頓 (6.2)
						買い物 (6.2)
5位	銀行や郵便局・役所の利用 (11.8)	銀行や郵便局・役所の利用 (8.3)	銀行や郵便局・役所の利用 (12.4)	部屋の掃除・整理整頓 (17.1)	電車・バスなど交通機関の利用 (17.0)	日常の健康管理 (6.2)
						銀行や郵便局・役所の利用 (6.2)

(単位：%)

区分	身体障がいのある人			知的障がいのある人	精神障がいのある人	難病患者
	(65 歳未満)	(65 歳以上)				
有効回答数(件)	323	259	58	196	194	155
1 位	特にな (55.1)	特にな (57.1)	特にな (50.0)	現金や預金通 帳などの管理 (42.3)	特にな (36.1)	特にな (61.3)
2 位	急に体調が悪 くなった時の 対応 (18.6)	急に体調が悪 くなった時の 対応 (18.1)	急に体調が悪 くなった時の 対応 (20.7)	銀行や郵便局・ 役所の利用 (37.8)	急に体調が悪 くなった時の 対応 (25.8)	急に体調が悪 くなった時の 対応 (21.3)
3 位	電車・バスなど 交通機関の利 用 (13.3)	電車・バスなど 交通機関の利 用 (11.6)	電車・バスなど 交通機関の利 用 (20.7)	急に体調が悪 くなった時の 対応 (35.7)	話し相手・相談 する相手 (23.2)	電車・バスなど 交通機関の利 用 (9.7)
4 位	買い物 (9.6)	食事の準備や 調理 (8.1)	買い物 (17.2)	部屋の掃除・整 理整頓 (34.2)	部屋の掃除・整 理整頓 (20.1)	日常の健康管 理 (5.8)
5 位	部屋の掃除・整 理整頓 (8.4)	電話の利用 (8.1)	銀行や郵便局・ 役所の利用 (13.8)	食事の準備や 調理 (31.1)	規則正しい生 活 (20.1)	買い物 (5.2)
				日常の健康管 理 (31.1)		話し相手・相談 する相手 (5.2)



(28) 日常の生活費はどうしていますか。(複数回答)

身体問 17、知的問 17、精神問 18、難病問 13

65歳未満の身体障がいのある人は「賃金・給料など」、他の障がいのある人は「年金」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

(単位：%)

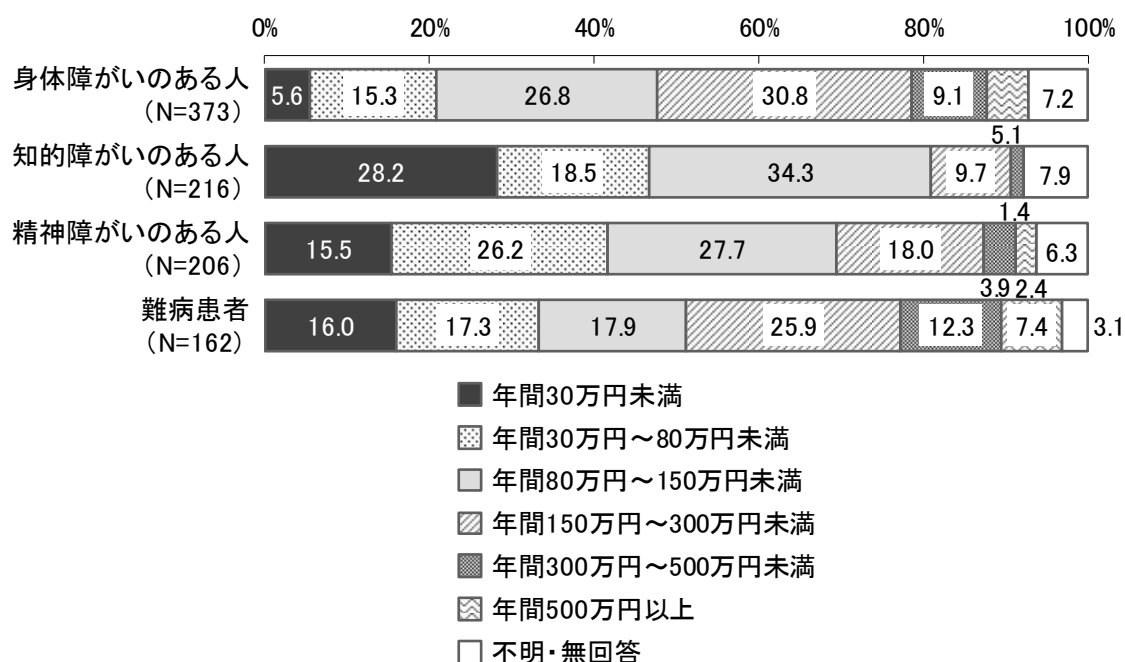
区分	賃金・給料など	年金	家族の収入	預金	生活保護	その他	不明・無回答
身体障がいのある人 (N=373)	16.4	79.6	18.8	18.5	2.9	4.0	0.5
65歳未満 (N=84)	50.0	40.5	32.1	13.1	3.6	6.0	-
65歳以上 (N=283)	6.7	91.2	14.8	20.1	2.8	3.5	0.4
知的障がいのある人 (N=216)	41.2	50.5	44.9	10.2	2.8	2.8	4.6
精神障がいのある人 (N=206)	30.1	60.7	37.9	17.5	11.7	4.9	1.0
難病患者 (N=162)	31.5	52.5	37.0	13.0	0.6	3.7	0.6

(29) 今のあなたの収入\*(税込みの総収入)は、1年にどのくらいありますか。

※収入には工賃・年金を含みます

身体問 18、知的問 18、精神問 19、難病問 14

知的障がいのある人及び精神障がいのある人で「年間80万円未満(「年間30万円未満」と「年間30万円～80万円未満」の合計)」の割合が高くなっています。

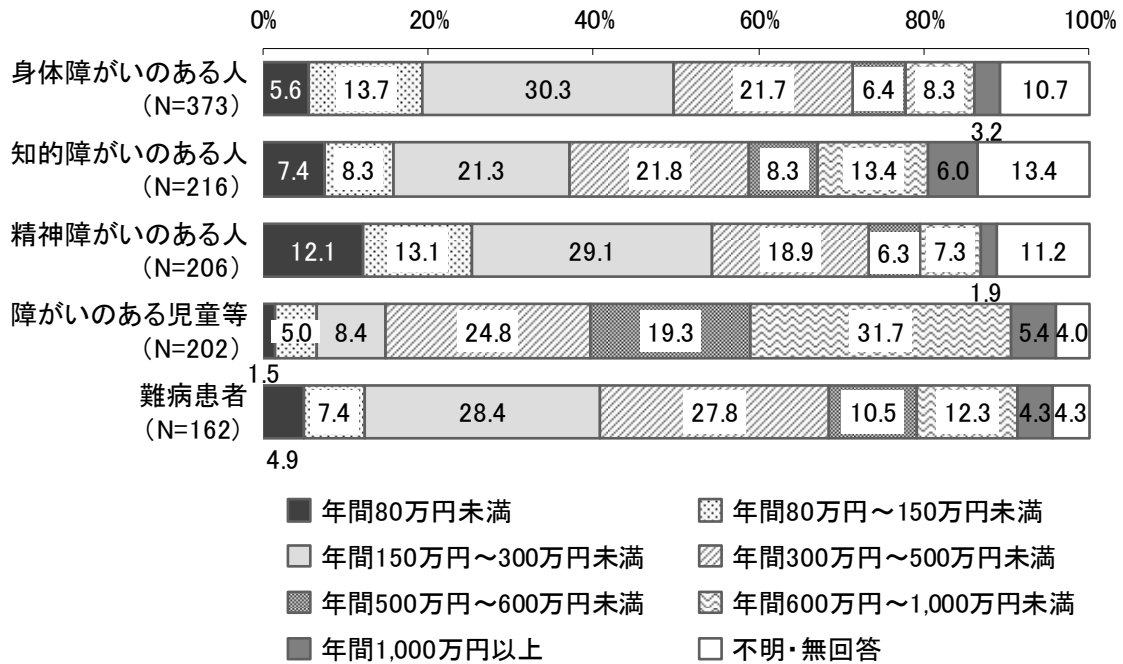


(30) **今のあなたの世帯収入※(税込みの総収入)は、1年にどのくらいありますか。なお、世帯には、食費や光熱水費、家賃などの生活費をともにしている人を含めてください。**

※収入には工賃・年金を含みます

身体問 19、知的問 19、精神問 20、児童問 17、難病問 15

精神障がいのある人で「年間 150 万円未満（「年間 80 万円未満」と「年間 80 万円～150 万円未満」の合計）」の割合が高くなっています。



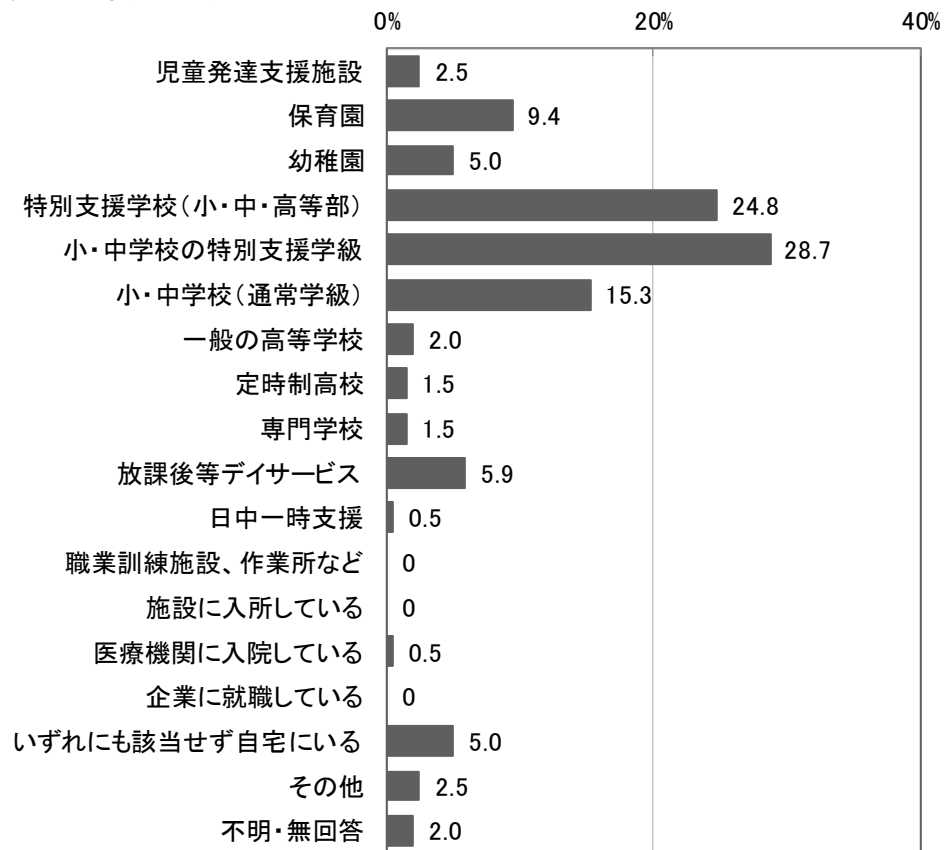
### (31) 現在のお子さんの主な日中の居場所について

児童問 21

「小・中学校の特別支援学級」の割合が最も高く、次いで「特別支援学校（小・中・高等部）」となっています。

なお、身体障がい者手帳及び療育手帳を持っている児童で「特別支援学校（小・中・高等部）」、精神障がい者保健福祉手帳を持っている児童で「小・中学校（通常学級）」の割合が最も高くなっています。

障がいのある児童等(N=202)



※複数回答した人もいます。

【障がいのある児童等・手帳別クロス】

(単位：%)

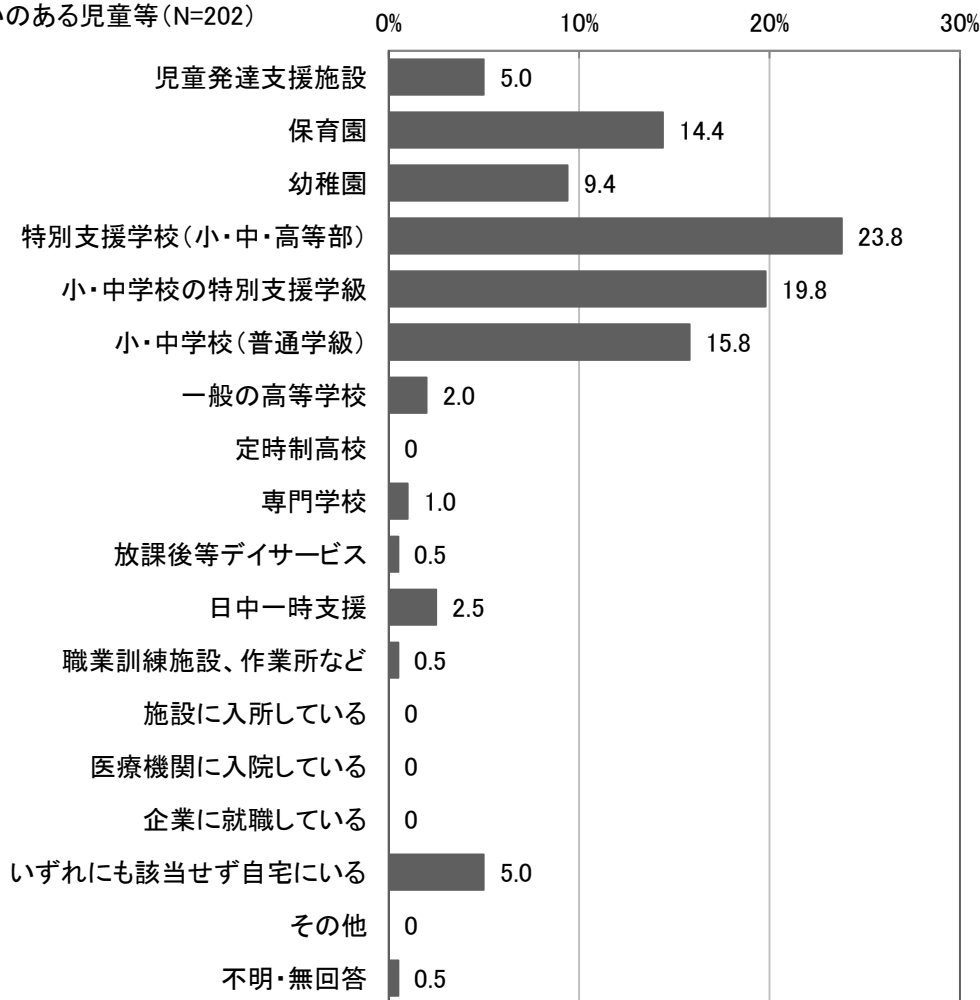
区分	児童発達支援施設	保育園	幼稚園	特別支援学校(小・中・高等部)	小・中学校の特別支援学級	小・中学校(通常学級)	一般の高等学校	定時制高校	専門学校	放課後等デイサービス
身体障がい者手帳 (N=59)	3.4	6.8	3.4	27.1	10.2	25.4	1.7	3.4	-	5.1
療育手帳 (N=133)	3.8	11.3	4.5	32.3	30.8	3.8	0.8	-	0.8	6.0
精神障がい者保健福祉手帳(N=25)	-	-	4.0	-	32.0	44.0	-	-	8.0	12.0
手帳は持っていない (N=5)	-	-	-	-	40.0	20.0	40.0	-	-	20.0

区分	日中一時支援	職業訓練施設、作業所など	施設に入所している	医療機関に入院している	企業に就職している	いずれにも該当せず自宅にいる	その他	不明・無回答
身体障がい者手帳 (N=59)	1.7	-	-	1.7	-	8.5	3.4	5.1
療育手帳 (N=133)	0.8	-	-	0.8	-	6.0	3.0	2.3
精神障がい者保健福祉手帳(N=25)	-	-	-	-	-	4.0	8.0	-
手帳は持っていない (N=5)	-	-	-	-	-	-	-	-

※障がい別には、「身体障がい者手帳」と「療育手帳」の重複者 26 名、「療育手帳」と「精神障がい者保健福祉手帳」の重複者4名をそれぞれ含みます。

参考：平成28年度調査結果

障がいのある児童等 (N=202)



【障がいのある児童等・手帳別クロス】

(単位：%)

区分	児童発達支援施設	保育園	幼稚園	特別支援学校(小・中・高等部)	別支援学級	小・中学校の特別支援学級	小・中学校(普通学級)	一般の高等学校	定時制高校	専門学校	放課後等デイサービス
身体障がい者手帳 (N=19)	—	15.8	5.3	10.5	—	26.3	5.3	—	—	—	—
療育手帳 (N=96)	4.2	13.5	1.0	36.5	29.2	4.2	1.0	—	—	1.0	1.0
精神障がい者保健福祉手帳 (N=8)	—	12.5	—	—	62.5	25.0	—	—	—	—	—
手帳は持っていない (N=56)	7.1	16.1	26.8	1.8	7.1	30.4	3.6	—	—	—	—

区分	日中一時支援	職業訓練施設、作業所など	施設に入所している	医療機関に入院している	企業に就職している	いずれにも該当せず自宅にいる	その他	不明・無回答
身体障がい者手帳 (N=19)	21.1	—	—	—	—	15.8	—	—
療育手帳 (N=96)	4.2	1.0	—	—	—	2.1	—	1.0
精神障がい者保健福祉手帳 (N=8)	—	—	—	—	—	—	—	—
手帳は持っていない (N=56)	—	—	—	—	—	7.1	—	—

※障がい別には、「身体障がい者手帳」と「療育手帳」の重複者7名、「療育手帳」と「精神障がい者保健福祉手帳」の重複者2名をそれぞれ含みます。

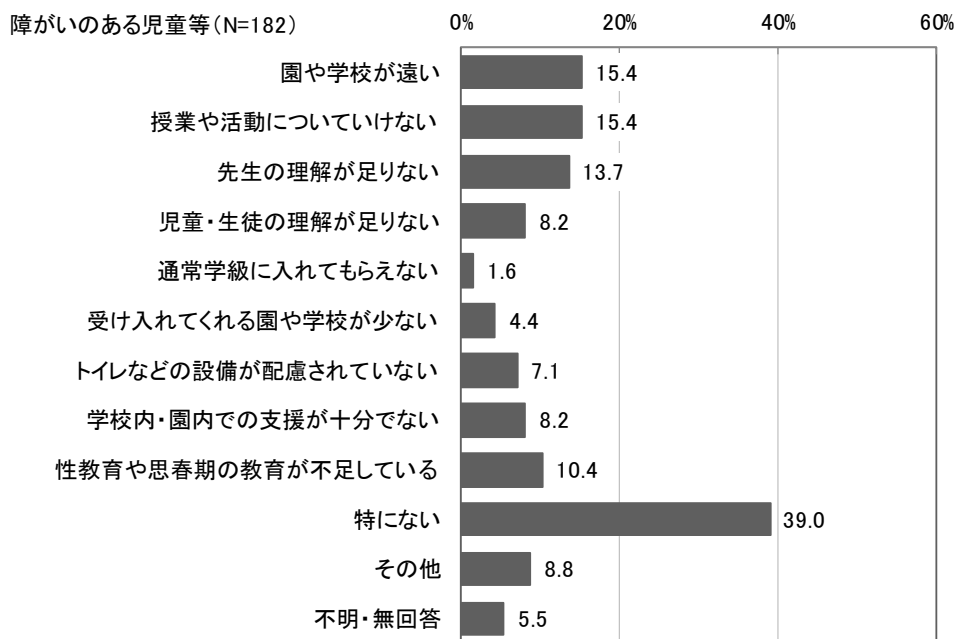
### (32) お子さんが困っていることは何かありますか。(複数回答)

※ (31) で「通所・通園・通学している」と答えた方に聞きました

児童問 22

「特にない」を除くと、「園や学校が遠い」「授業や活動についていけない」の割合が最も高く、次いで「先生の理解が足りない」となっています。

なお、精神障がい者保健福祉手帳を持っている児童で「先生の理解が足りない」の割合が他の障がいと比べて高くなっています。



【障がいのある児童等・手帳別クロス】

(単位: %)

区分	園や学校が遠い	授業や活動についていけない	先生の理解が足りない	児童・生徒の理解が足りない	通常学級に入れてもらえない	受け入れてくれる園や学校が少ない	トイレなどの設備が配慮されていない	学校内・園内での支援が十分でない	性教育や思春期の教育が不足している	特にない
身体障がい者手帳 (N=48)	27.1	12.5	12.5	4.2	-	8.3	14.6	8.3	6.3	35.4
療育手帳 (N=116)	18.1	14.7	11.2	6.9	2.6	3.4	6.9	6.9	8.6	39.7
精神障がい者保健福祉手帳 (N=22)	9.1	22.7	31.8	22.7	-	4.5	-	22.7	18.2	31.8
手帳は持っていない (N=5)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	60.0

区分	その他	不明・無回答
身体障がい者手帳 (N=48)	11.1	-
療育手帳 (N=116)	9.3	4.6
精神障がい者保健福祉手帳 (N=22)	15.8	5.3
手帳は持っていない (N=5)	-	40.0

※障がい別には、「身体障がい者手帳」と「療育手帳」の重複者 26 名、「療育手帳」と「精神障がい者保健福祉手帳」の重複者 4 名をそれぞれ含みます。

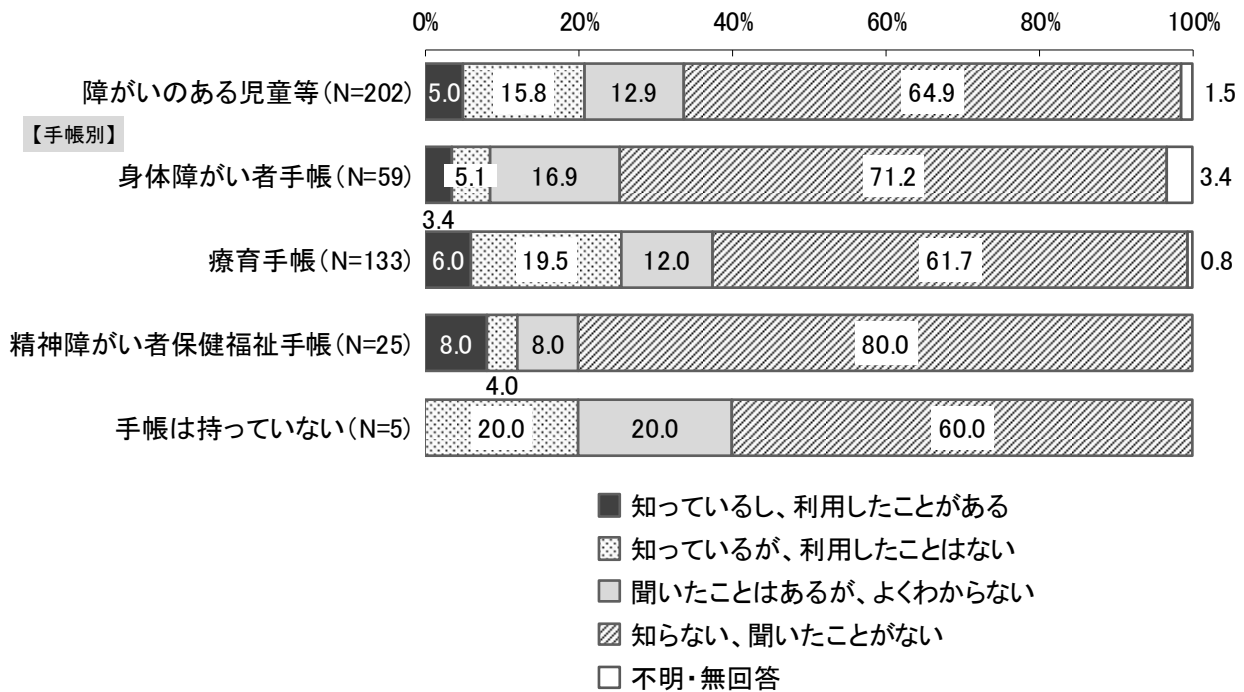
[主な「その他」の内容]

内容
生徒数が増加しているのに、先生の人数が足りていない気がする。設備が老朽化している。
学校の宿題等。学校の先生は友人関係のコミュニケーションで困っていると思っている。
学力不足
特別支援学級に所属しているが、中学校に入学して生活したがついていけずに不登校になってしまった。
最寄り駅まで行くのに、適当な時間にバスがない(下校時・登校時)。自転車は怖いが徒歩では40分もかかる
登校では移動支援が使えないこと。送迎をする家族が体調不良時は登校させられず、体調不良なのに家で見なくてはいけない。
子どもが困っているかどうか分かりづらい。学校の様子がよく分からない。(子どもは楽しく通っている)
市の制度が十分ではない。今はトイレが1階で良いが、学年があがるごとにその他のトイレも使用できるようにしてほしい。
集団行動をたまに乱す

(33) あなたは、児童発達支援センター(てくてく・春日井こども学園)について知っていますか。  
また、利用したことがありますか。

児童問 23

「知らない、聞いたことがない」の割合が最も高くなっています。





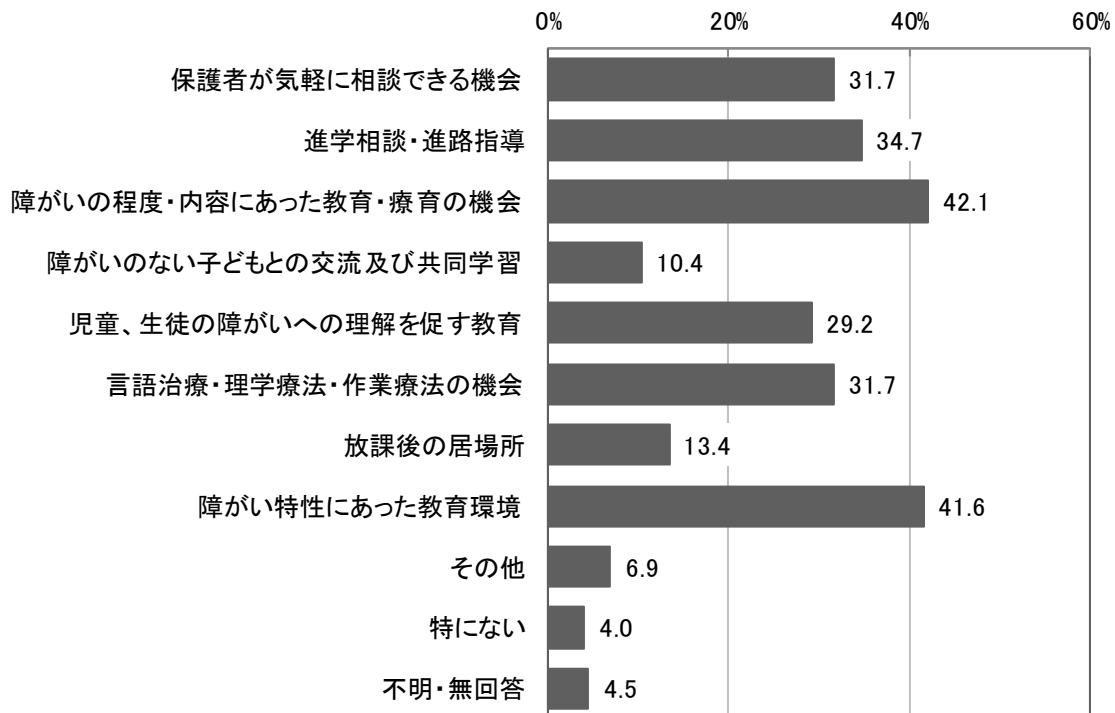
(34) 今後、障がいのある子どもの支援について、充実させてほしいものは何ですか。(複数回答)

児童問 24

「障がいの程度・内容にあった教育・療育の機会」の割合が最も高く、次いで「障がい特性にあった教育環境」となっています。

なお、精神障がい者保健福祉手帳を持っている児童で「障がい特性にあった教育環境」の割合が他の障がいと比べて高くなっています。

障がいのある児童等(N=202)



【障がいのある児童等・手帳別クロス】

(単位：%)

区分	保護者が気軽に相談できる機会	進学相談・進路指導	障がいの程度・内容にあった教育・療育の機会	障がいのない子どもとの交流及び共同学習	児童、生徒の障がいへの理解を促す教育	言語治療・理学療法・作業療法の機会	放課後の居場所	障がい特性にあった教育環境	その他	特にない	不明・無回答
身体障がい者手帳 (N=59)	25.4	27.1	27.1	15.3	25.4	25.4	18.6	37.3	6.8	6.8	5.1
療育手帳 (N=133)	33.1	31.6	48.1	8.3	27.8	39.1	14.3	39.1	9.8	4.5	4.5
精神障がい者保健福祉手帳 (N=25)	32.0	44.0	44.0	4.0	32.0	16.0	16.0	68.0	-	-	8.0
手帳は持っていない (N=5)	20.0	60.0	60.0	-	20.0	-	-	40.0	-	-	20.0

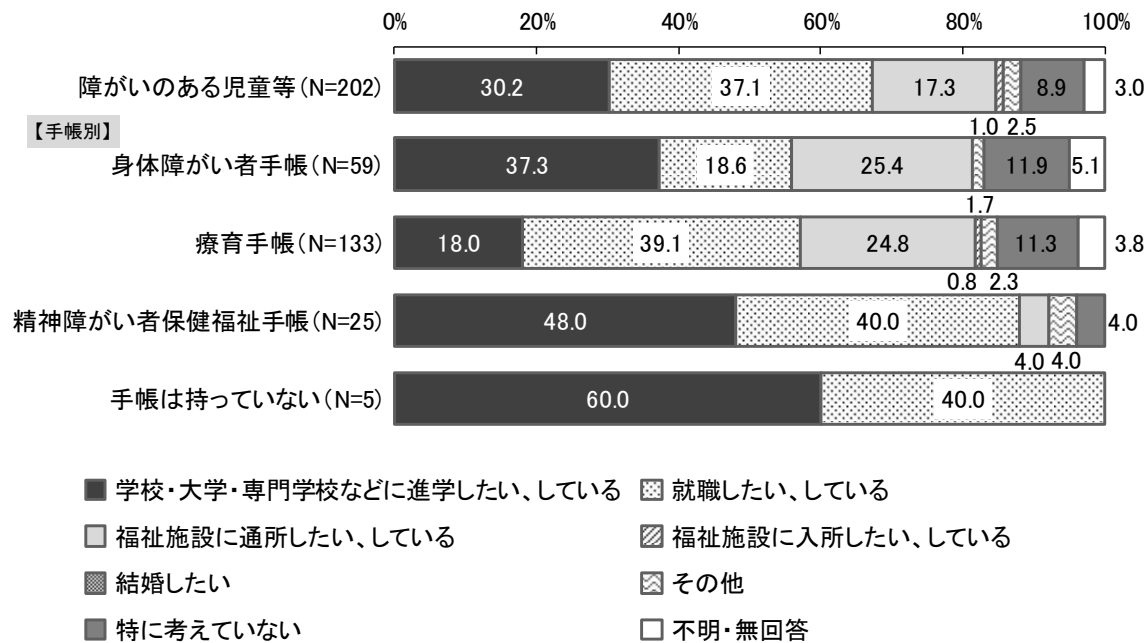
※障がい別には、「身体障がい者手帳」と「療育手帳」の重複者 26 名、「療育手帳」と「精神障がい者保健福祉手帳」の重複者 4 名をそれぞれ含みます。

(35) お子さんが18歳になったときのことについて、本人の気持ちになってお書きください。

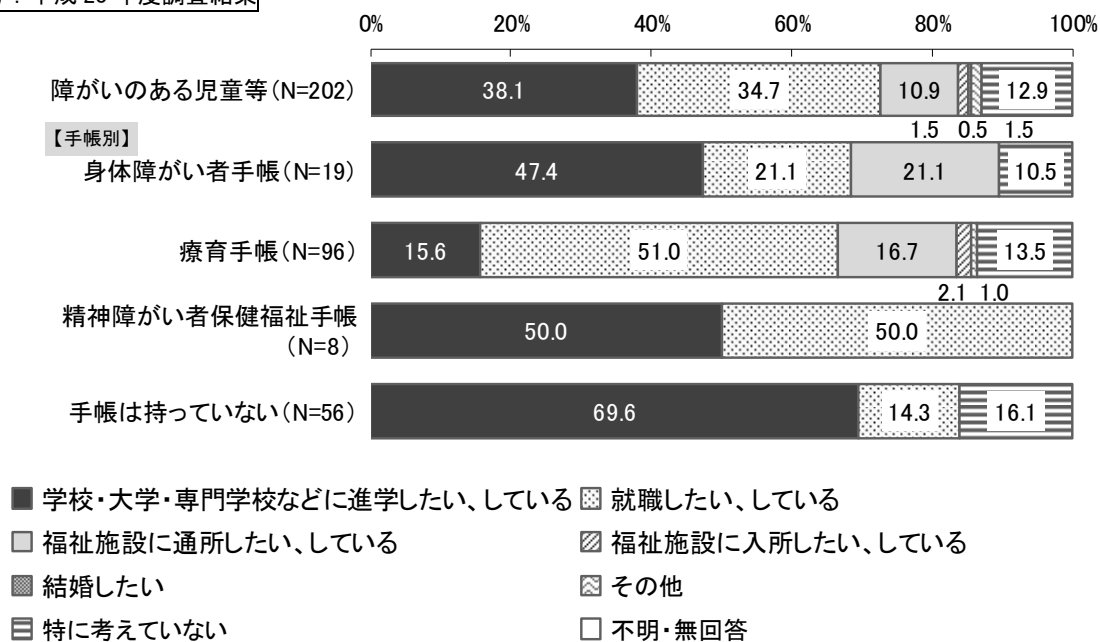
児童問 25

全体的には、「就職したい、している」の割合が最も高く、次いで「学校・大学・専門学校などに進学したい、している」となっています。

なお、身体障がい者手帳及び精神障がい者保健福祉手帳を持っている児童で「学校・大学・専門学校などに進学したい、している」、療育手帳を持っている児童で「就職したい、している」の割合が最も高くなっています。



参考：平成28年度調査結果

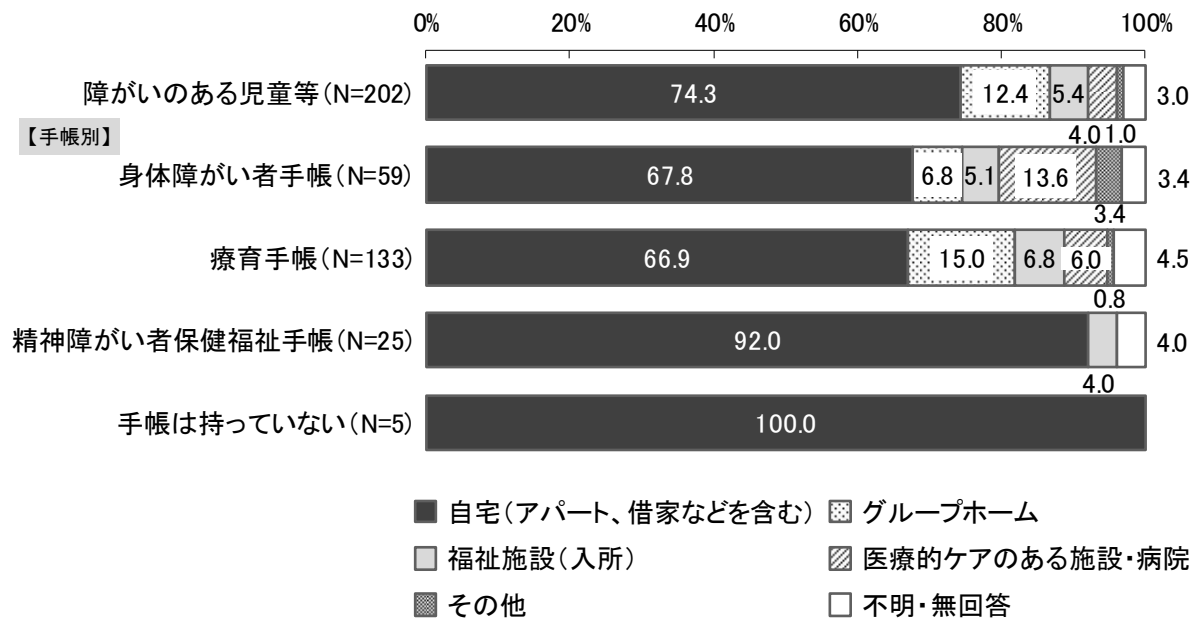


(36) お子さんが大人になったらどこでくらしてもらいたいですか。

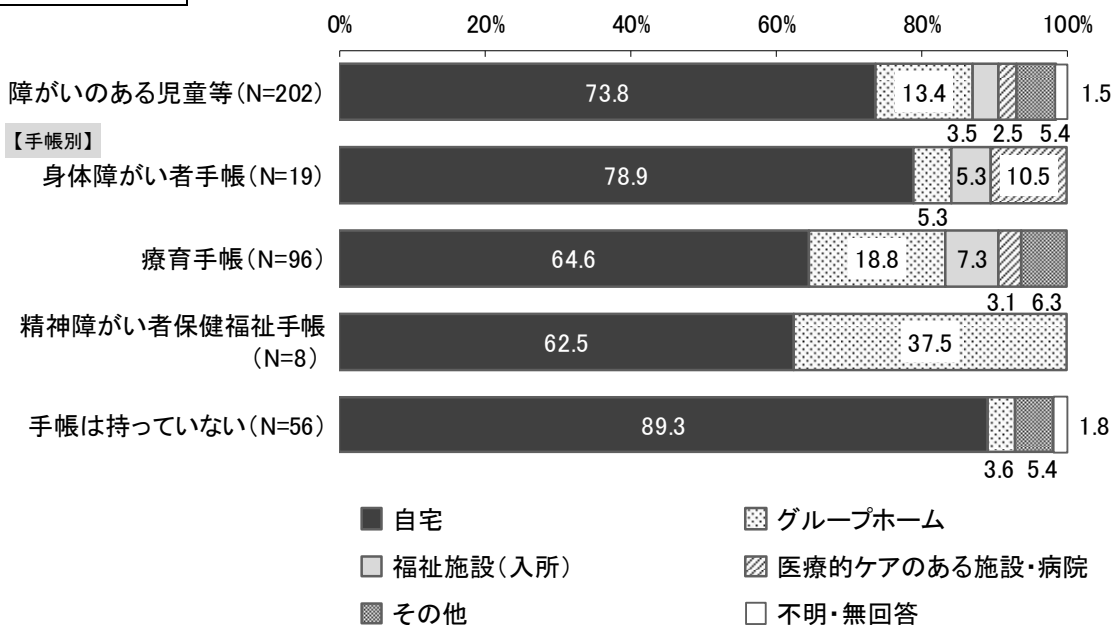
児童問 26

全体的には、「自宅（アパート、借家などを含む）」の割合が最も高く、次いで「グループホーム」となっています。

なお、精神障がい者保健福祉手帳を持っている児童で「自宅（アパート、借家などを含む）」の割合が他の障がいと比べて高くなっています。



参考：平成 28 年度調査結果



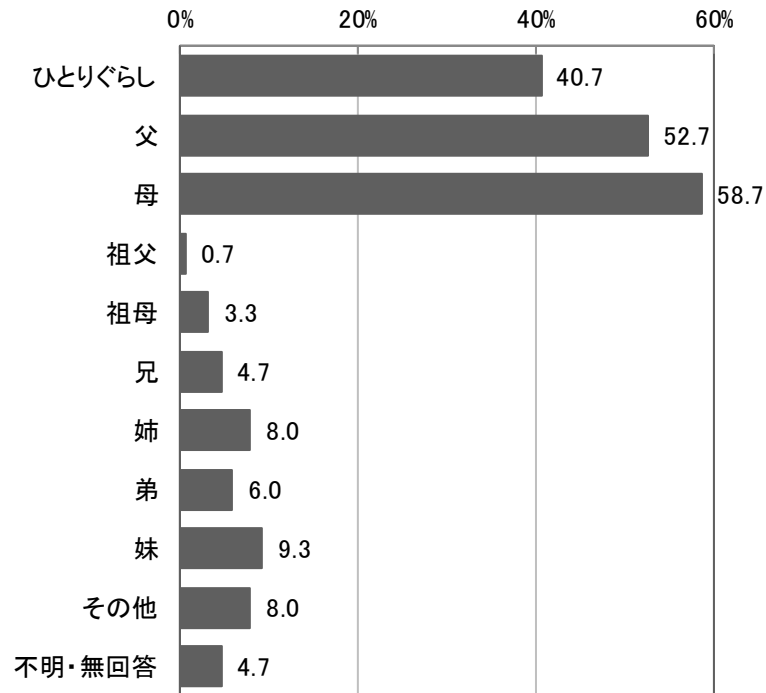
(37) 大人になったらだれと一緒に暮らしをもらいたいですか。(複数回答)

※ (36) で「自宅(アパート、借家などを含む)」と答えた方に聞きました

児童問 27

「母」の割合が最も高く、次いで「父」「ひとりぐらし」となっています。

障がいのある児童等(N=150)



【障がいのある児童等・手帳別クロス】

(単位: %)

区分	ひとりぐらし	父	母	祖父	祖母	兄	姉	弟	妹	その他	不明・無回答
障がいのある児童等 (N=150)	40.7	52.7	58.7	0.7	3.3	4.7	8.0	6.0	9.3	8.0	4.7
身体障がい者手帳 (N=40)	52.5	45.0	52.5	-	2.5	5.0	10.0	7.5	12.5	12.5	-
療育手帳 (N=89)	28.1	59.6	65.2	1.1	2.2	3.4	6.7	5.6	6.7	5.6	7.9
精神障がい者保健福祉手帳(N=23)	47.8	60.9	65.2	-	8.7	8.7	17.4	8.7	17.4	4.3	-
手帳は持っていない (N=5)	60.0	40.0	40.0	-	-	-	-	-	-	20.0	-

※障がい別には、「身体障がい者手帳」と「療育手帳」の重複者 26 名、「療育手帳」と「精神障がい者保健福祉手帳」の重複者4 名をそれぞれ含みます。

## 4. 障がい福祉サービスについて

### (38) 現在、次にあげる障がい福祉サービスを利用していますか。

身体問 20①、知的問 20①、精神問 21①、児童問 18①、難病問 16①

身体障がいのある人及び難病患者で「自立訓練（機能訓練・生活訓練）」、知的障がいのある人で「生活介護」「就労移行支援・就労継続支援A・B」、精神障がいのある人で「就労移行支援・就労継続支援A・B」、障がいのある児童等で「放課後等デイサービス」の割合が高くなっています。

#### ■「利用している」と回答した方

(単位：%)

区分	有効回答数(件)	居宅介護・重度訪問介護	移動支援・行動援護・同行援護	短期入所	生活介護	自立訓練(機能訓練・生活訓練)	地域活動支援センター	就労移行支援・就労継続支援A・B	就労定着支援	自立生活援助
身体障がいのある人	373	9.1	5.1	4.3	9.7	16.6	5.6	1.9	1.3	0.5
(65歳未満)	84	4.8	3.6	6.0	10.7	10.7	7.1	6.0	1.2	1.2
(65歳以上)	283	10.2	5.7	3.9	9.5	18.4	5.3	0.7	1.4	0.4
知的障がいのある人	216	8.3	22.2	19.0	29.6	9.3	26.4	27.3	7.9	1.9
精神障がいのある人	206	7.8	2.9	3.4	5.8	9.7	5.3	12.6	5.3	1.0
障がいのある児童等	202	4.5	4.0	6.9	2.0	5.4	0.5	0.5		
難病患者	162	1.2	-	2.5	1.9	4.9		0.6	-	-

区分	グループホーム	意思疎通支援	訪問入浴	児童発達支援	居宅訪問型児童発達支援	放課後等デイサービス	保育所等訪問支援	日中一時支援
身体障がいのある人	1.6	1.3	1.6					2.7
(65歳未満)	2.4	-	1.2					2.4
(65歳以上)	1.4	1.4	1.8					2.5
知的障がいのある人	13.0	-	2.3					7.9
精神障がいのある人	1.9	-	0.5					1.5
障がいのある児童等		-	1.5	18.8	0.5	42.6	2.0	7.4
難病患者	-							

■「利用している」と回答した方

(単位：%)

区分	有効回答数(件)	居宅介護・重度訪問介護	移動支援・行動援護・同行援護	短期入所	生活介護	自立訓練(機能訓練・生活訓練)	地域活動支援センター	就労移行支援・就労継続支援A・B	グループホーム	意思疎通支援	訪問入浴	児童発達支援	放課後等デイサービス	保育所等訪問支援	日中一時支援
身体障がいのある人	323	9.3	7.1	5.3	10.2	11.5	5.0	4.3	1.2	0.3	1.9				3.4
(65歳未満)	259	7.7	7.7	5.0	8.5	8.9	4.2	5.0	1.2	0.4	2.3				3.1
(65歳以上)	58	17.2	5.2	5.2	17.2	22.4	8.6	—	1.7	—	—				3.4
知的障がいのある人	196	5.6	19.9	9.2	25.5	10.7	20.9	30.1	10.2	—	—				4.6
精神障がいのある人	194	4.1	1.0	3.1	4.1	7.7	7.2	14.4	1.5	0.5	—				1.0
障がいのある児童等	202	2.5	5.0	3.5	1.5	4.5	—	1.5		—	—	30.7	39.1	0.5	8.4
難病患者	155	1.9	—	1.3	0.6	4.5		0.6	—						

(39) 次にあげる障がい福祉サービスを今後利用したいですか。

身体問 20②、知的問 20②、精神問 21②、児童問 18②、難病問 16②

身体障がいのある人で「短期入所」「自立訓練（機能訓練・生活訓練）」、知的障がいのある人で「地域活動支援センター」「短期入所」「生活介護」、精神障がいのある人で「就労移行支援・就労継続支援A・B」「就労定着支援」、障がいのある児童等で「放課後等デイサービス」「就労移行支援・就労継続支援A・B」、難病患者で「短期入所」「生活介護」の割合が高くなっています。

■ 「利用したい」と回答した方

(単位：%)

区分	有効回答数(件)	居宅介護・重度訪問介護	移動支援・行動援護・同行援護	短期入所	生活介護	自立訓練(機能訓練・生活訓練)	地域活動支援センター	就労移行支援・就労継続支援A・B	就労定着支援	自立生活援助
身体障がいのある人	373	33.0	33.8	42.6	34.3	40.2	26.0	11.3	10.5	24.1
(65歳未満)	84	23.8	27.4	32.1	23.8	32.1	26.2	20.2	19.0	21.4
(65歳以上)	283	35.7	35.7	45.9	37.8	42.8	26.1	8.5	8.1	24.7
知的障がいのある人	216	29.6	38.4	42.6	42.6	30.1	45.8	31.5	23.1	15.3
精神障がいのある人	206	22.3	21.8	28.6	20.4	27.7	24.8	32.0	29.6	21.8
障がいのある児童等	202	13.9	41.1	35.6	26.7	37.1	42.6	52.5		
難病患者	162	37.7	35.2	38.9	38.3	35.8		14.8	14.2	22.8

区分	グループホーム	意思疎通支援	訪問入浴	児童発達支援	居宅訪問型児童発達支援	放課後等デイサービス	保育所等訪問支援	日中一時支援
身体障がいのある人	18.2	8.3	19.0					25.2
(65歳未満)	16.7	6.0	13.1					15.5
(65歳以上)	18.4	8.8	20.5					28.3
知的障がいのある人	40.7	3.2	8.8					30.6
精神障がいのある人	13.1	4.4	11.7					21.4
障がいのある児童等		3.0	9.9	36.6	8.9	66.3	12.4	41.1
難病患者	14.8							

■ 「利用したい」と回答した方

(単位：%)

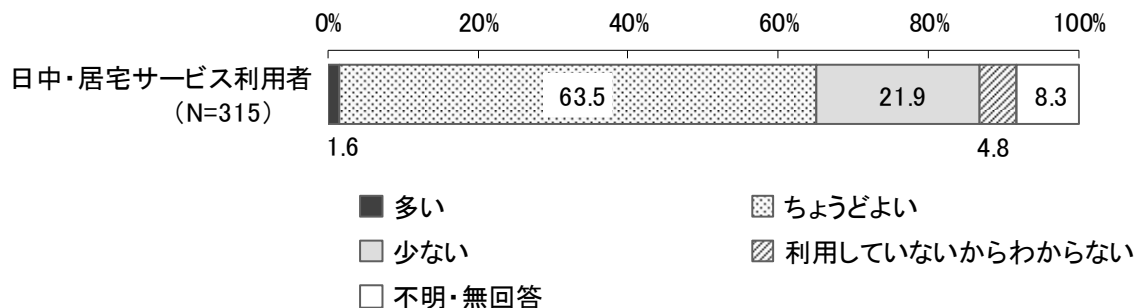
区分	有効回答数(件)	居宅介護・重度訪問介護	移動支援・行動援護・同行援護	短期入所	生活介護	自立訓練(機能訓練・生活訓練)	地域活動支援センター	就労移行支援・就労継続支援A・B	グループホーム	意思疎通支援	訪問入浴	児童発達支援	放課後等デイサービス	保育所等訪問支援	日中一時支援	
身体障がいのある人	323	28.5	30.3	32.5	27.9	32.5	21.1	18.9	16.7	10.8	17.3					19.2
(65歳未満)	259	28.2	28.6	31.7	27.0	32.0	20.5	22.4	17.4	10.8	16.2					17.8
(65歳以上)	58	27.6	34.5	36.2	31.0	32.8	24.1	1.7	13.8	10.3	20.7					22.4
知的障がいのある人	196	25.5	36.2	39.3	30.1	32.7	40.3	35.2	36.2	3.1	7.7					31.6
精神障がいのある人	194	32.5	24.7	23.2	18.6	27.8	27.3	32.5	19.6	5.7	10.3					17.5
障がいのある児童等	202	12.4	29.2	27.2	15.3	30.2	34.2	43.6		2.5	5.0	44.1	58.4	20.3		31.2
難病患者	155	26.5	21.3	27.1	20.0	25.8		13.5	13.5							



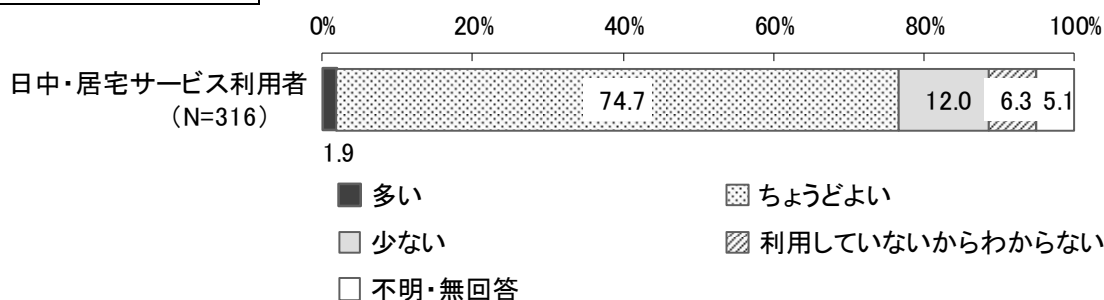
(40) 市が支給決定をしている時間数又は日数は、いかがですか。

居宅問 1

「ちょうどよい」の割合が最も高く、次いで「少ない」となっています。



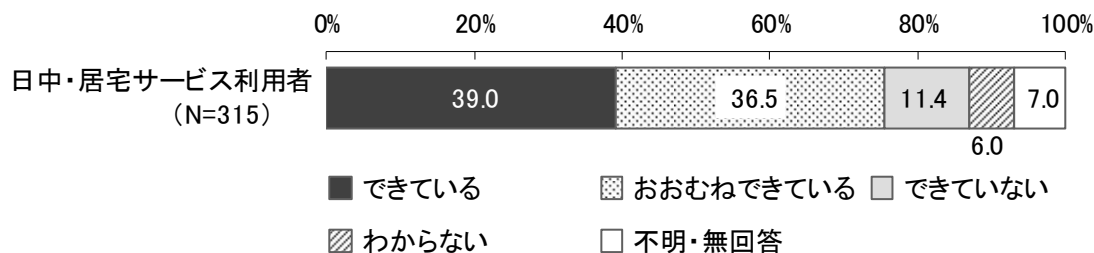
参考：平成 28 年度調査結果



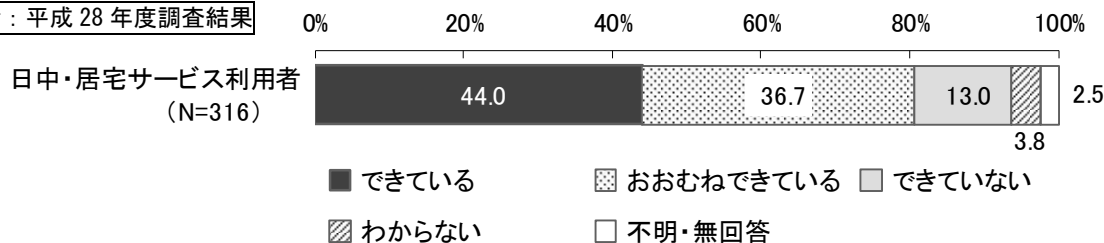
(41) 利用したい曜日、時間にサービスを利用できていますか。

居宅問 4

「できている」の割合が最も高く、次いで「おおむねできている」となっています。



参考：平成 28 年度調査結果

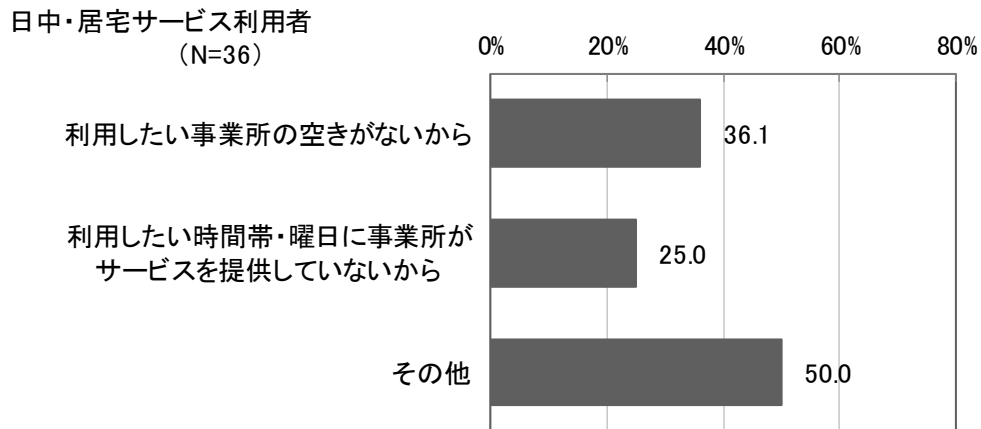


## (42) 利用できていない理由について

※ (41) で「できていない」と答えた方に聞きました

居宅問 4-2

前回の調査と比較して、「利用したい事業所の空きがないから」の割合が高くなっています。



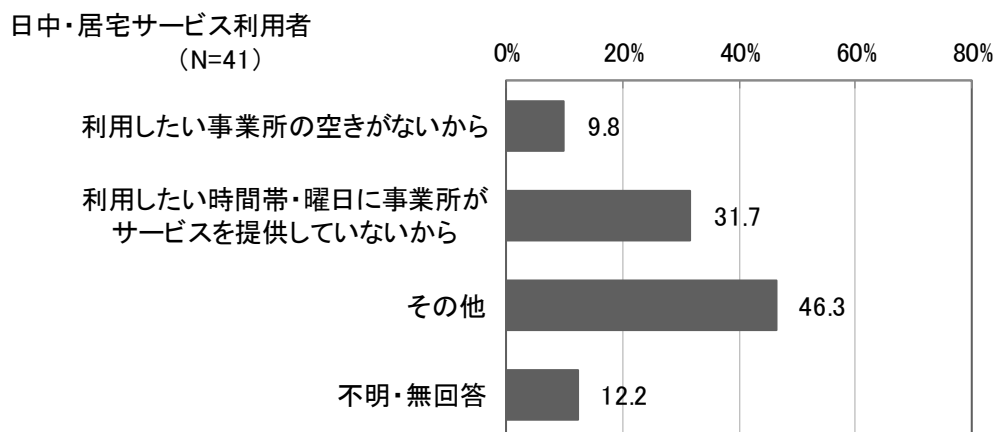
※複数回答した人もいます。

[主な「その他」の内容]

内容
時間数が足りない
ヘルパー不足で利用したい時に対応不可
入院したため
うまく体調が管理できていない

内容
対人とのコミュニケーションがとれない
事業所の方針
家の環境

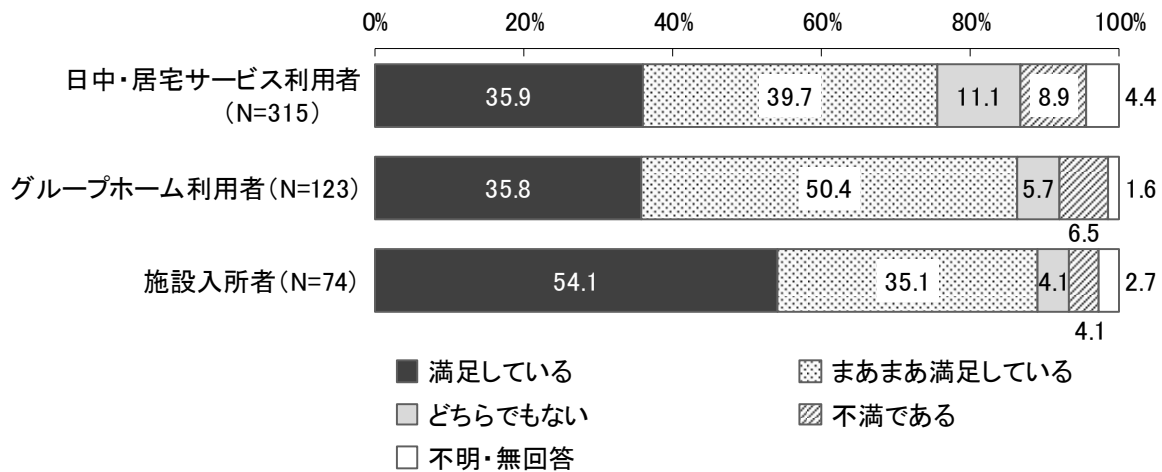
参考：平成 28 年度調査結果



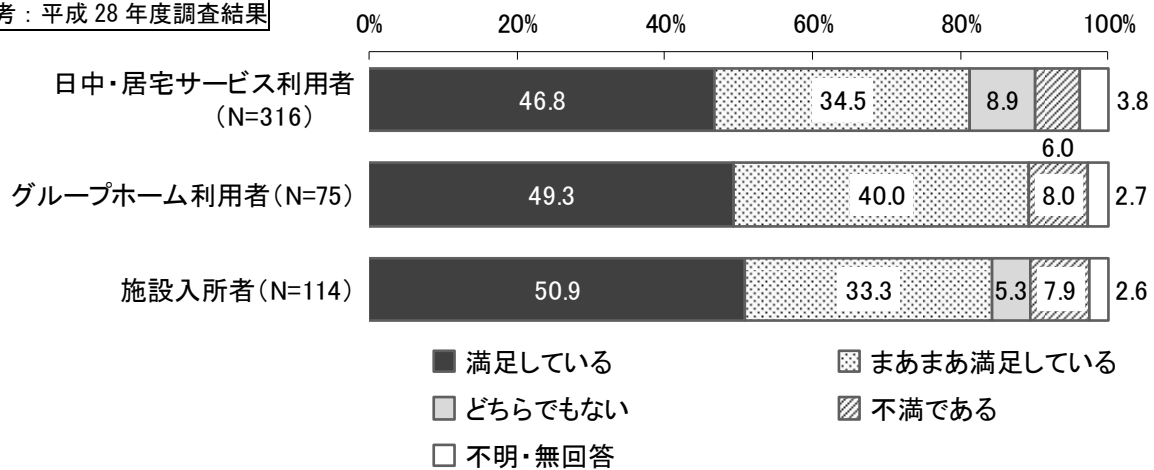
(43) 現在、利用している日中・居宅サービス、グループホーム、施設に満足していますか。

居宅問5、グループホーム問1、施設問1

「満足している（「満足している」と「まあまあ満足している」の合計）」の割合は8割前後となっています。



参考：平成28年度調査結果



(44) どのような点に不満を感じますか。(複数回答)

※ (43) で「不満である」と答えた方に聞きました

居宅問 5-2、グループホーム問 1-2、施設問 1-2

「その他」を除くと、日中・居宅サービス利用者で「施設の設備」、グループホーム利用者で「ヘルパー(支援員)の態度」、施設入所者で「他の利用者との人間関係」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

(単位：%)

区分	有効回答数(件)	施設の設備	ヘルパー(支援員)の態度	ヘルパー(支援員)の技術	送迎の時間	他の利用者との人間関係	家賃、利用料金	その他	不明・無回答
日中・居宅サービス利用者	28	28.6	10.7	7.1	21.4			60.7	7.1
グループホーム利用者	8	37.5	50.0	37.5		12.5	37.5	37.5	-
施設入所者	3	33.3	-	33.3		66.7		33.3	-

※「送迎の時間」は日中・居宅サービス利用者のみ、「他の利用者との人間関係」はグループホーム利用者、施設入所者のみ、「家賃、利用料金」はグループホーム利用者からの選択肢です。

参考：平成 28 年度調査結果

(単位：%)

区分	有効回答数(件)	施設の設備	ヘルパー(支援員)の態度	ヘルパー(支援員)の技術	送迎の時間	他の利用者との人間関係	家賃、利用料金	その他	不明・無回答
日中・居宅サービス利用者	19	5.3	21.1	21.1	26.3			52.6	-
グループホーム利用者	6	-	-	16.7		33.3	-	66.7	-
施設入所者	9	33.3	44.4	22.2		22.2		11.1	-

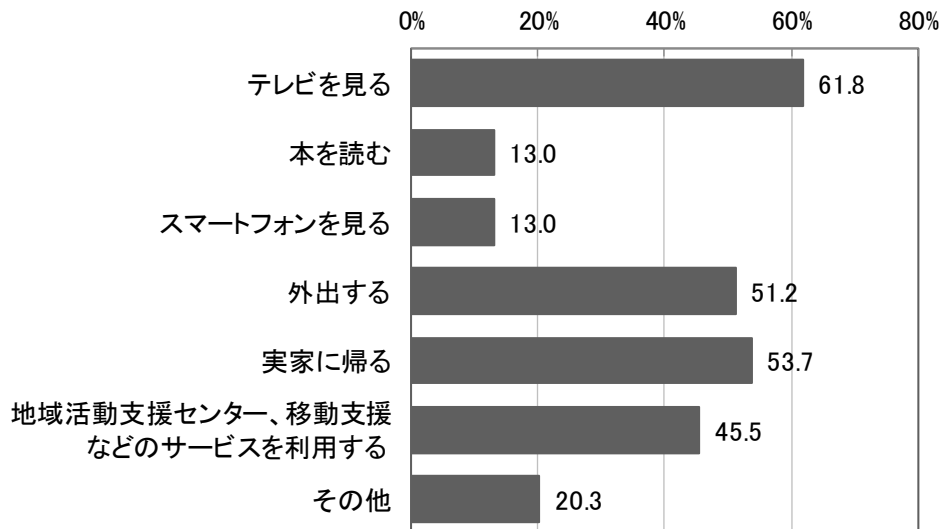
※「送迎の時間」は日中・居宅サービス利用者のみ、「他の利用者との人間関係」はグループホーム利用者、施設入所者からの選択肢です。

(45) 土曜日、日曜日など、施設に通所しない日は、何をして過ごしますか。(複数回答)

グループホーム 問2

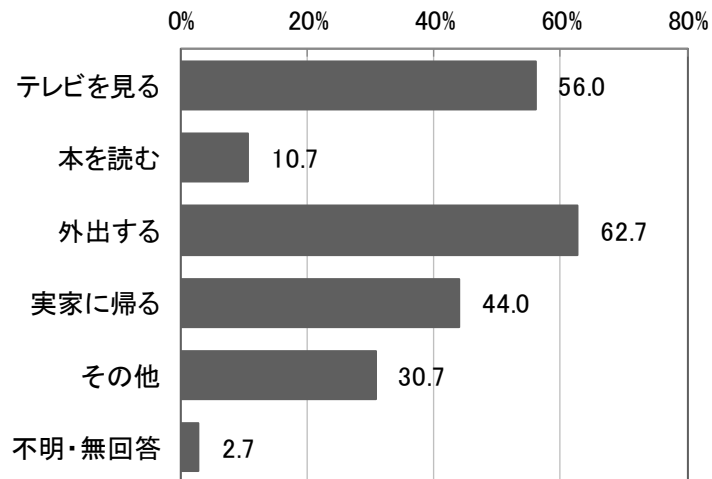
「テレビを見る」の割合が最も高く、次いで「実家に帰る」となっています。

グループホーム利用者(N=123)



参考：平成28年度調査結果

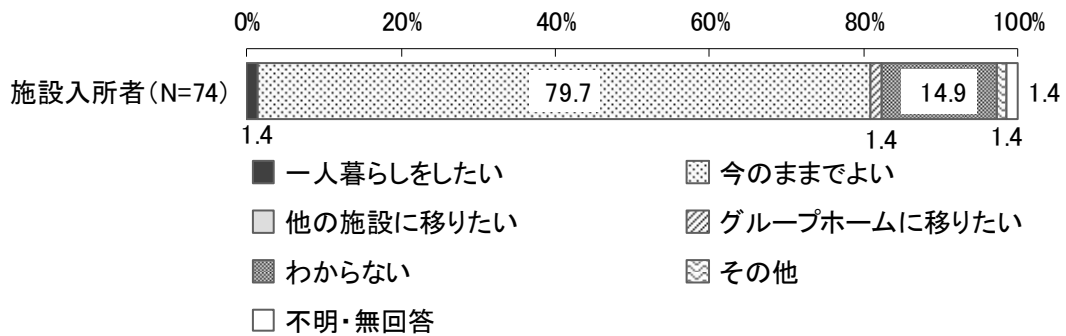
グループホーム利用者(N=75)



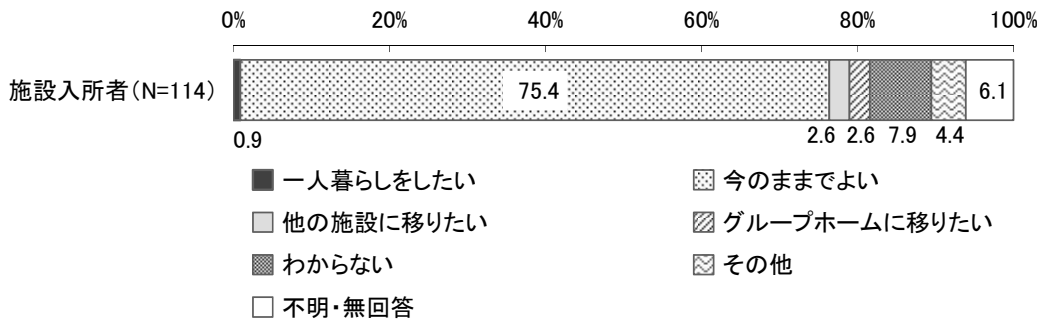
(46) 今後、施設を退所し、地域で自立して生活したいですか。

施設問 2

「今のままでよい」の割合が最も高くなっています。



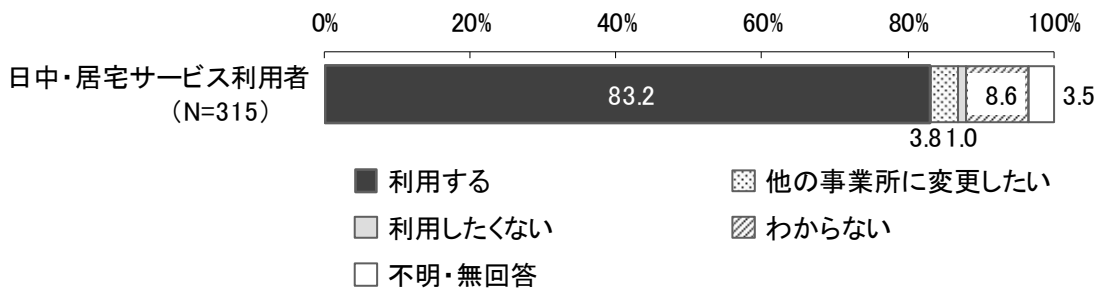
参考：平成 28 年度調査結果



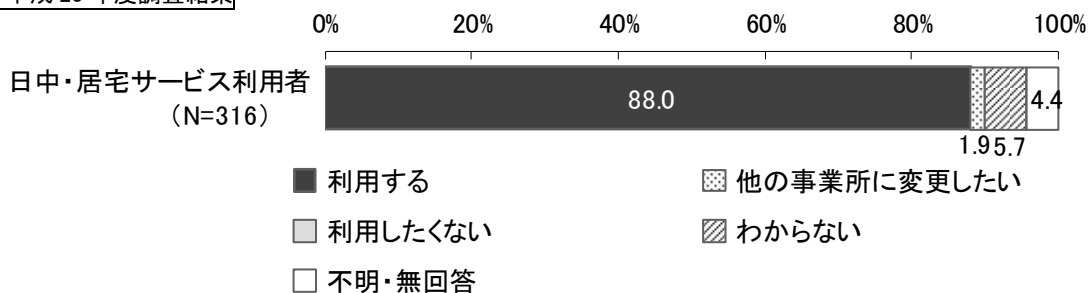
(47) 現在、利用しているサービスを今後も利用しますか。

居宅問 6

「利用する」の割合が最も高くなっています。



参考：平成 28 年度調査結果



(48) 今後、新たに利用したいサービスは何ですか。(複数回答)

居宅問7、グループホーム問3

「わからない」を除くと、日中・居宅サービス利用者で「共同生活援助（グループホーム）」「就労継続支援（A型）」、グループホーム利用者で「行動援護」「計画相談支援」の割合が高くなっています。

(単位：%)

区分	有効回答数(件)	居宅介護	重度訪問介護	同行援護	行動援護	支援 重度障がい者等包括	生活介護	自立訓練(機能訓練)	自立訓練(生活訓練)	自立生活援助	就労移行支援	就労継続支援(A型)	就労継続支援(B型)
日中・居宅サービス利用者	315	6.0	1.9	2.5	10.8	2.2	4.1	6.7	9.8	8.9	13.0	17.1	10.5
グループホーム利用者	123	3.3	1.6	2.4	15.4	4.9	8.9	4.9	5.7	5.7	3.3	4.9	8.1

区分	有効回答数(件)	療養介護	短期入所 グループホーム	共同生活援助(グループホーム)	施設入所支援	計画相談支援	地域移行支援	地域定着支援	就労定着支援	わからない	不明・無回答
日中・居宅サービス利用者	315	2.2	13.3	17.5	5.4	15.9	3.2	7.9	12.1	14.6	20.3
グループホーム利用者	123	4.9	6.5		5.7	14.6	5.7	1.6	6.5	26.0	30.1

参考：平成28年度調査結果

(単位：%)

区分	有効回答数(件)	居宅介護	重度訪問介護	同行援護	行動援護	支援 重度障がい者等包括	生活介護	自立訓練(機能訓練)	自立訓練(生活訓練)	就労移行支援	就労継続支援(A型)	就労継続支援(B型)	療養介護
日中・居宅サービス利用者	316	8.2	2.5	1.6	7.3	0.9	4.4	6.0	8.2	7.3	5.7	8.2	0.6
グループホーム利用者	75	8.0	1.3	4.0	17.3	4.0	12.0	5.3	9.3	5.3	6.7	12.0	6.7

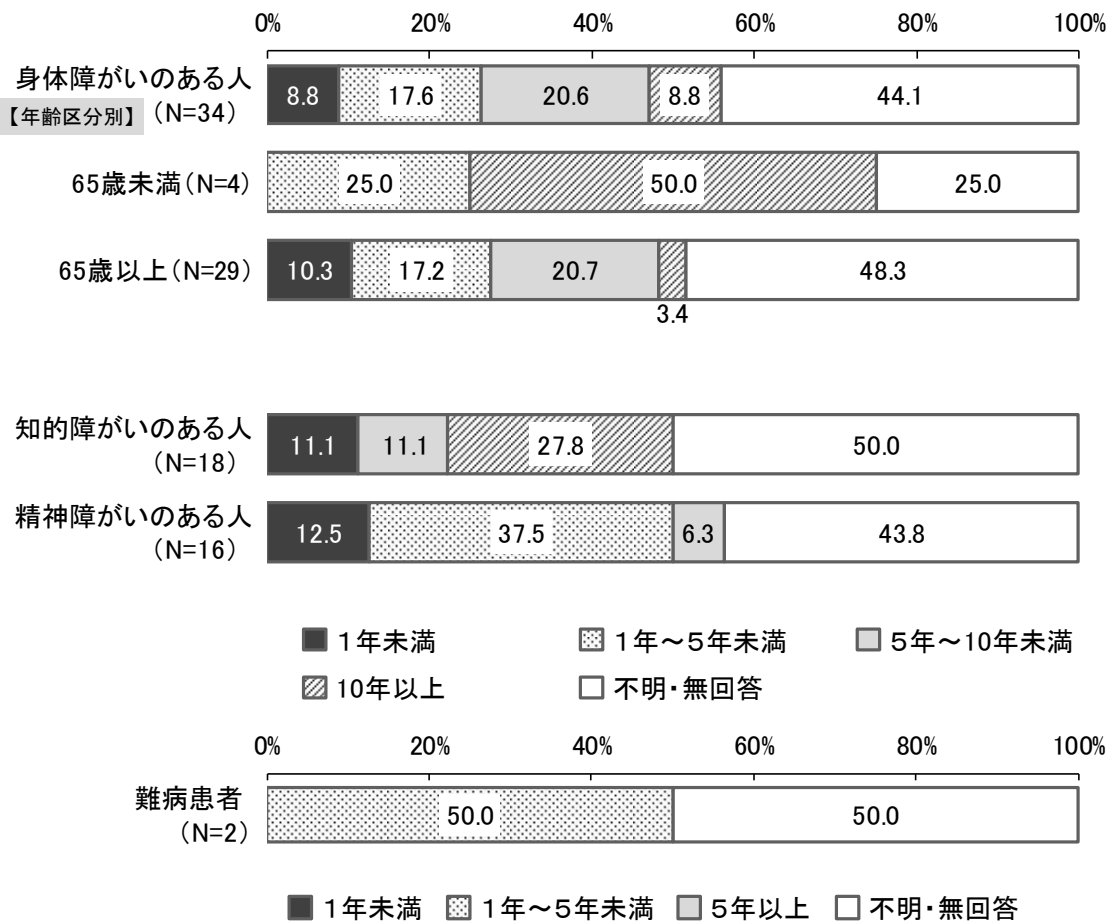
区分	有効回答数(件)	短期入所 グループホーム	共同生活援助(グループホーム)	施設入所支援	計画相談支援	地域移行支援	地域定着支援	移動支援	地域活動支援センター	日中一時支援	訪問入浴	わからない	不明・無回答
日中・居宅サービス利用者	316	9.2	5.4	2.5	8.9	0.6	2.2	13.6	5.4	7.9	1.6	15.2	41.1
グループホーム利用者	75	8.0		1.3	13.3	4.0	2.7	30.7	21.3	13.3	-	8.0	29.3

(49) 居宅介護・重度訪問介護をどのくらいの期間、サービスを利用していますか。およその期間を数字で記入してください。

※ (38) で居宅介護・重度訪問介護を「利用している」と答えた方に聞きました

身体問 21、知的問 21、精神問 22、難病問 17

「10年以上」のサービス利用者の割合は、知的障がいのある人で3割弱となっています。





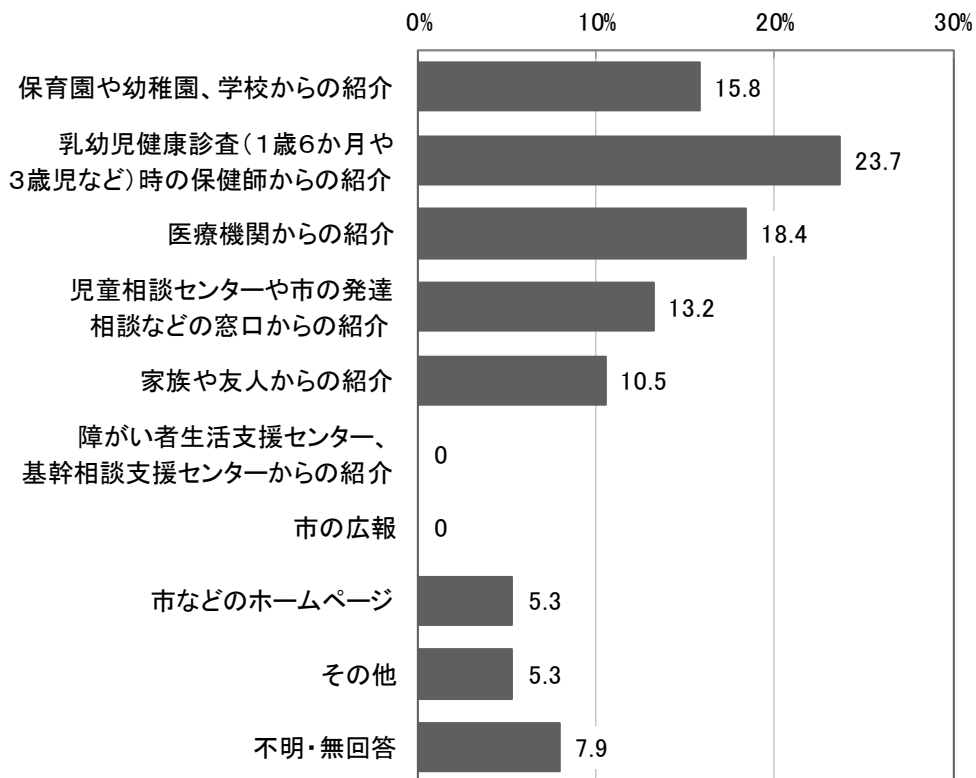
### (50) 児童発達支援を利用するきっかけは何でしたか。

※ (38) で児童発達支援を「利用している」と答えた方に聞きました

児童問 19

「乳幼児健康診査（1歳6か月や3歳児など）時の保健師からの紹介」の割合が最も高く、次いで「医療機関からの紹介」となっています。

障がいのある児童等(N=38)



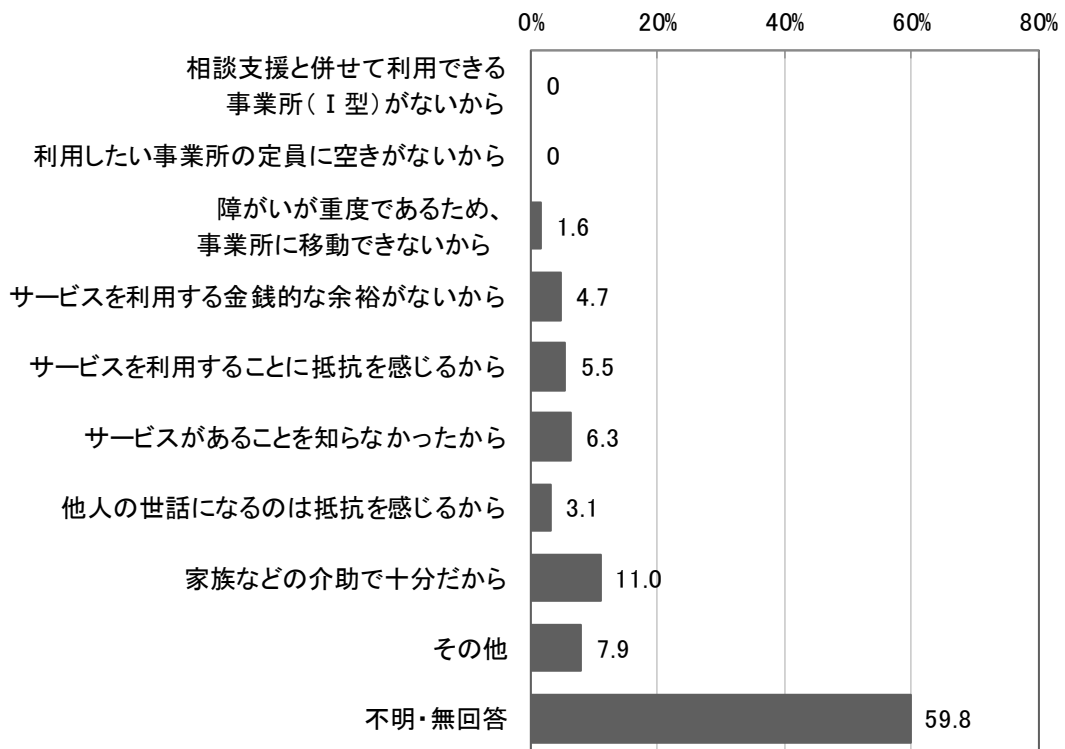
(51) 地域活動支援センターを利用していない、また、今後も利用しない理由は何ですか。

※ (38) (39) で地域活動支援センターを「利用していない」「利用したくない」と答えた方に聞きました

精神問 23

「家族などの介助で十分だから」の割合が最も高くなっています。

精神障がいのある人(N=127)



(52) 現在、福祉サービスを利用していない理由は何ですか。(複数回答)

※ (38) ですべて「利用していない」と答えた方に聞きました (現在サービスを利用していない方)  
 身体問 22、知的問 22、精神問 24、児童問 20、難病問 18

障がいのある人等すべてで「家族などの介助で十分だから」の割合が最も高くなっています。

なお、精神障がいのある人で「他人の世話になるのは抵抗を感じるから」「他人に家庭に入ってきてほしくないから」の割合が他の障がいと比べて高くなっています。

(単位：%)

区分	家族などの介助で十分だから	困っていることを解消するサービスがないから	福祉サービスを利用する金銭的な余裕がないから	他人の世話になるのは抵抗を感じるから	他人に家庭に入ってきてほしくないから	福祉サービスを利用することに抵抗を感じるから	利用したいサービスを提供している事業所の定員に空きがないから	障がい(疾病)が重度であるため、サービスを提供する施設に移動できないから	医療的ケアを提供できる事業所がないから	福祉サービスを利用する方法がわからないから
身体障がいのある人 (N=223)	56.5	3.1	6.7	9.9	7.6	3.6	0.4	0.4	0.9	4.9
65歳未満(N=63)	58.7	3.2	7.9	9.5	4.8	3.2	-	-	-	4.8
65歳以上(N=158)	56.3	3.2	6.3	10.1	8.9	3.8	0.6	0.6	1.3	5.1
知的障がいのある人 (N=63)	73.0	6.3	12.7	12.7	9.5	6.3	3.2	3.2	4.8	15.9
精神障がいのある人 (N=121)	51.2	7.4	13.2	22.3	20.7	10.7	1.7	0.8	2.5	18.2
障がいのある児童等 (N=76)	56.6	7.9	6.6	6.6	7.9	1.3	1.3	1.3	-	10.5
難病患者 (N=138)	55.8	1.4	5.1	5.8	3.6	4.3	-	-	0.7	5.8

区分	福祉サービスがあることを知らなかったから	その他	不明・無回答
身体障がいのある人 (N=223)	2.7	24.7	12.1
65歳未満(N=63)	3.2	23.8	4.8
65歳以上(N=158)	2.5	24.7	14.6
知的障がいのある人 (N=63)	7.9	7.9	11.1
精神障がいのある人 (N=121)	5.8	12.4	9.1
障がいのある児童等 (N=76)	6.6	18.4	13.2
難病患者 (N=138)	1.4	21.7	15.9

[主な「その他」の内容]

内容
日常生活に支障がないから
本人が抵抗があり、受けられない
施設にいるから
病院で治療中だから
どんなサービスがあるか分からない
介護保険サービスを利用
人間関係

(単位：%)

区分	家族などの介助で十分だから	困っていることを解消するサービスがないから	福祉サービスを利用する金銭的な余裕がないから	他人の世話になるのは抵抗を感じるから	他人に家庭に入ってきてほしくないから	福祉サービスを利用することに抵抗を感じるから	福祉サービスを利用することに抵抗を感じるから	利用したいサービスを提供している事業所の定員に空きがないから	障がいが重度であるため、サービスを提供する施設に移動できないから	医療的ケアを提供できる事業所がないから	福祉サービスがあることを知らなかったから
身体障がいのある人 (N=209)	56.9	2.9	9.1	11.5	7.7	1.9	—	0.5	1.0	7.2	
65歳未満 (N=181)	58.6	3.3	9.9	12.7	8.3	2.2	—	0.6	1.1	7.7	
65歳以上 (N=27)	48.1	—	3.7	3.7	3.7	—	—	—	—	3.7	
知的障がいのある人 (N=53)	64.2	3.8	7.5	17.0	15.1	1.9	1.9	1.9	3.8	13.2	
精神障がいのある人 (N=116)	43.1	5.2	14.7	15.5	14.7	1.7	—	0.9	1.7	6.0	
障がいのある児童等 (N=61)	67.2	8.2	6.6	4.9	3.3	6.6	3.3	1.6	3.3	3.3	
難病患者 (N=134)	50.7	4.5	7.5	8.2	4.5	3.0	0.7	0.7	1.5	2.2	

区分	その他	不明・無回答
身体障がいのある人 (N=209)	21.5	10.0
65歳未満 (N=181)	19.9	8.8
65歳以上 (N=27)	33.3	14.8
知的障がいのある人 (N=53)	20.8	7.5
精神障がいのある人 (N=116)	14.7	26.7
障がいのある児童等 (N=61)	21.3	8.2
難病患者 (N=134)	40.3	4.5

## 5. 相談について

### (53) 悩みや困ったことを相談する相手はだれですか。(複数回答)

※障がいのある人の家族では、日常生活において家族の方などの「支援が必要」と答えた方に聞きました

身体問 23、知的問 23、精神問 25、児童問 28、難病問 19、家族問 9

障がいのある人等すべてで「家族」の割合が最も高くなっています。

なお、障がいのある児童等で「同じ障がいのある子どもを育てている友人・知人」の割合が5割強となっています。

(単位：%)

区分	家族	人・知人 病)が ある友 人・知人	同じ障 がい(疾 病)	左記以 外の友 人・知人	機関 病院な どの医 療	職員 施設や 事業所 の	市の窓 口	相談支 援セン タ	い ない	困っ てい るこ と は な い
身体障がいのある人 (N=373)	79.4	8.3	16.1	25.7	11.3	9.7	6.7	3.2	8.3	
65歳未満 (N=84)	88.1	14.3	26.2	29.8	11.9	14.3	7.1	2.4	6.0	
65歳以上 (N=283)	77.4	6.4	12.4	25.1	10.6	8.1	6.7	3.2	9.2	
知的障がいのある人 (N=216)	76.9	16.7	5.6	16.7	38.4	13.9	24.1	4.6	3.7	
精神障がいのある人 (N=206)	68.9	16.0	16.5	42.2	14.1	11.2	4.9	7.8	3.9	
障がいのある児童等 (N=202)	71.3	55.9	12.9	52.0	36.1	4.0	6.9	4.0	0.5	
難病患者 (N=162)	85.2	8.0	23.5	27.2	4.3	5.6	2.5	6.8	0.6	
障がいのある人の家族 (N=348)	64.4	21.0	9.2	25.6	34.2	9.5	15.2	6.6	3.2	

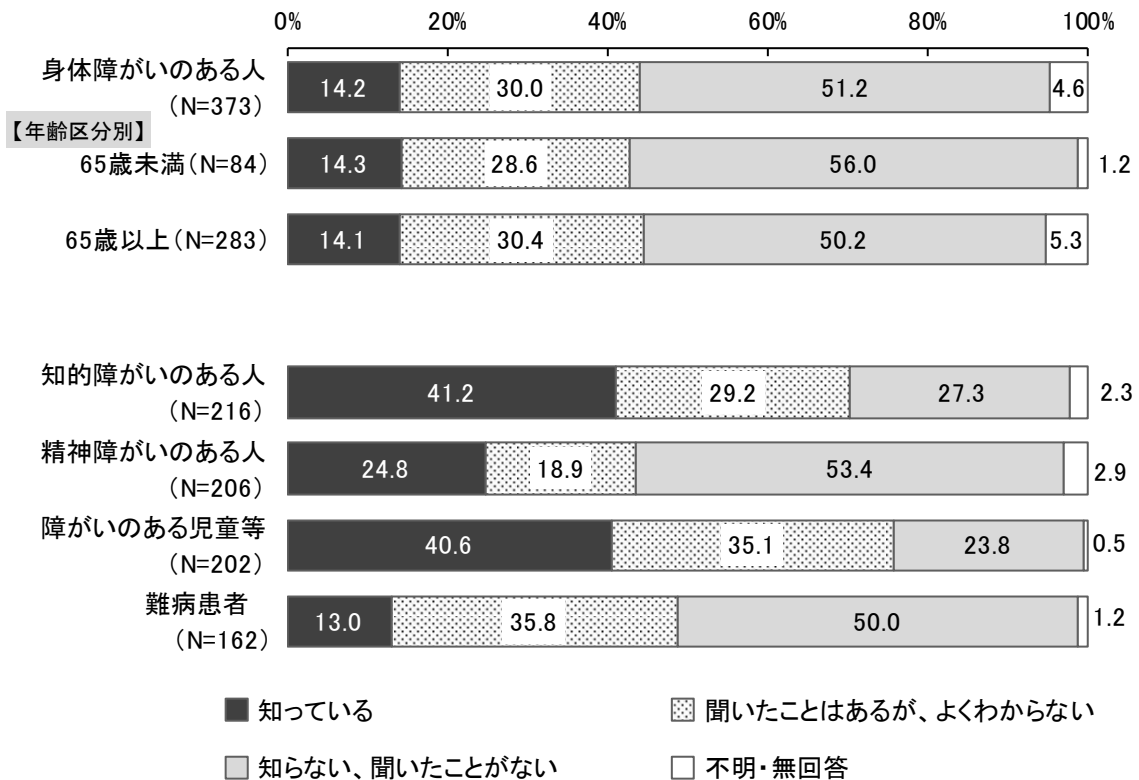
区分	その他	不明・無回答
身体障がいのある人 (N=373)	4.8	2.1
65歳未満 (N=84)	4.8	-
65歳以上 (N=283)	4.9	2.5
知的障がいのある人 (N=216)	5.1	0.9
精神障がいのある人 (N=206)	6.8	1.5
障がいのある児童等 (N=202)	8.4	-
難病患者 (N=162)	1.9	1.2
障がいのある人の家族 (N=348)	4.6	2.3

(54) 障がい者生活支援センター(春日苑、かすがい、JHNまある、あっとわん)、基幹相談支援センター(しゃきょう)について知っていますか。

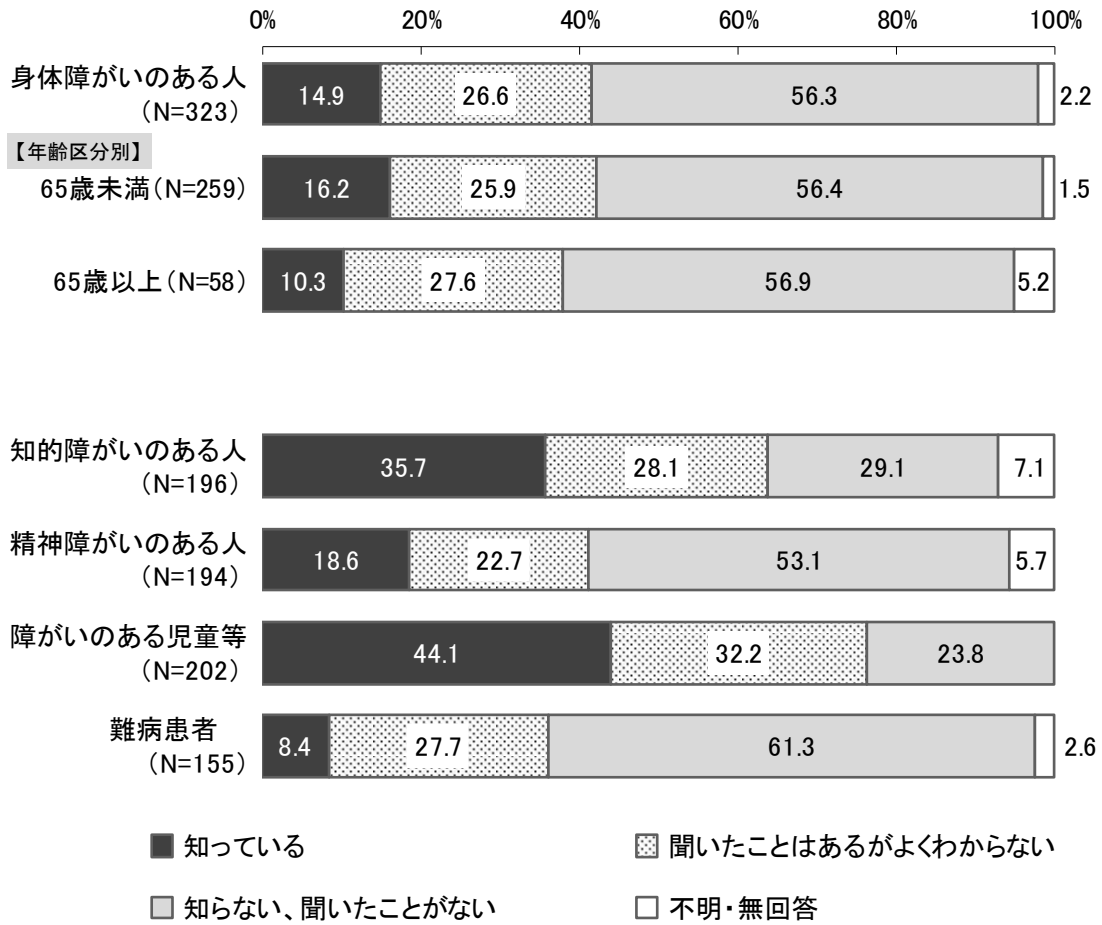
身体問 24、知的問 24、精神問 26、児童問 29、難病問 20

知的障がいのある人及び障がいのある児童等で「知っている」の割合が4割を超えています。

前回の調査と比較して、知的障がいのある人、精神障がいのある人及び難病患者で「知っている」の割合が高くなっています。



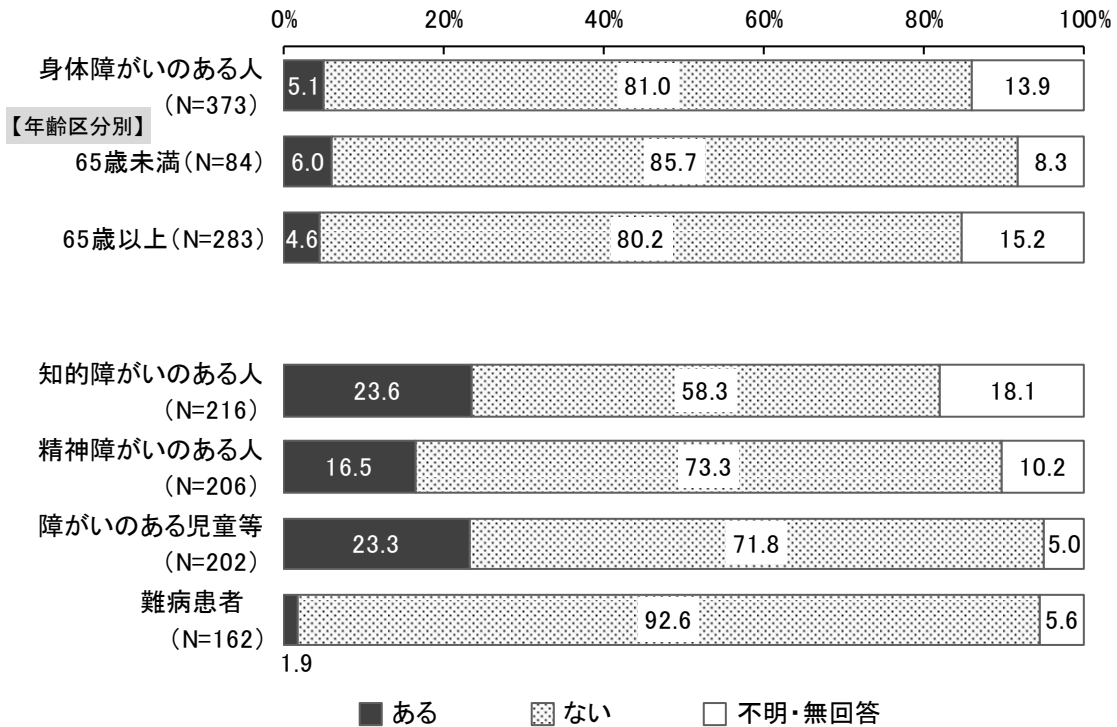
参考：平成 28 年度調査結果



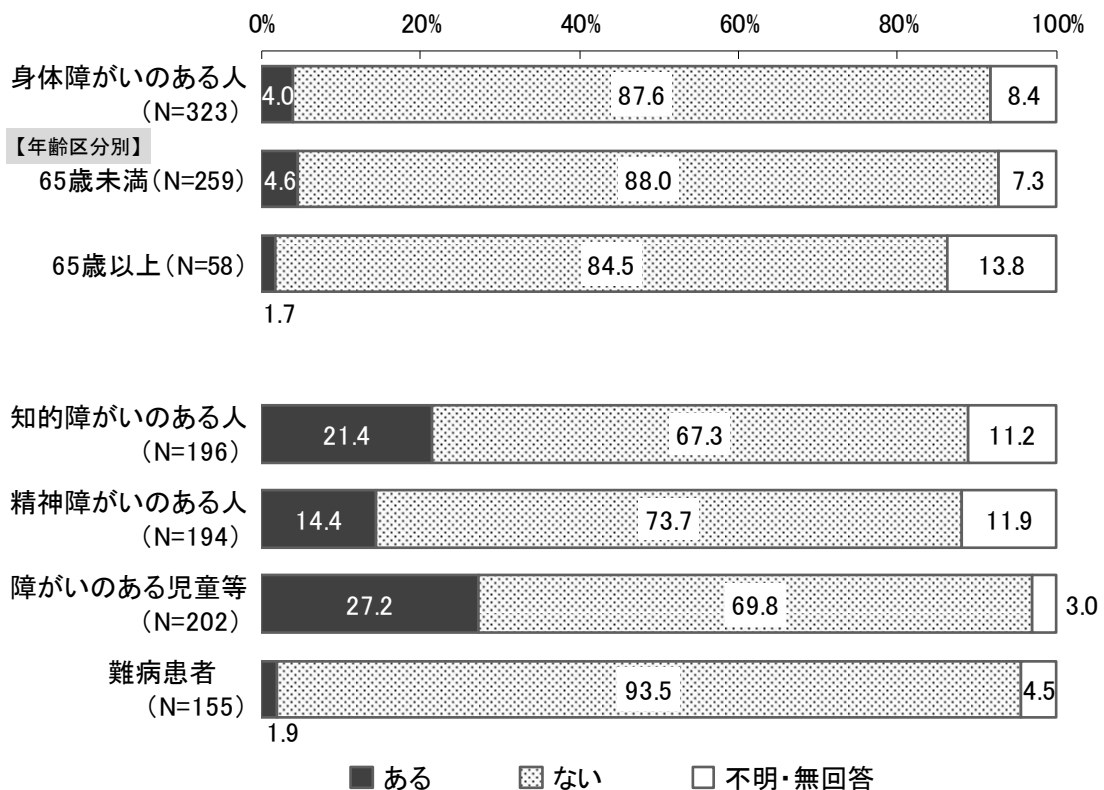
(55) 障がい者生活支援センターもしくは基幹相談支援センターに相談をしたことがありますか。

身体問 25、知的問 25、精神問 27、児童問 30、難病問 21

前回の調査と比較して、大きな変化はありません。



参考：平成 28 年度調査結果



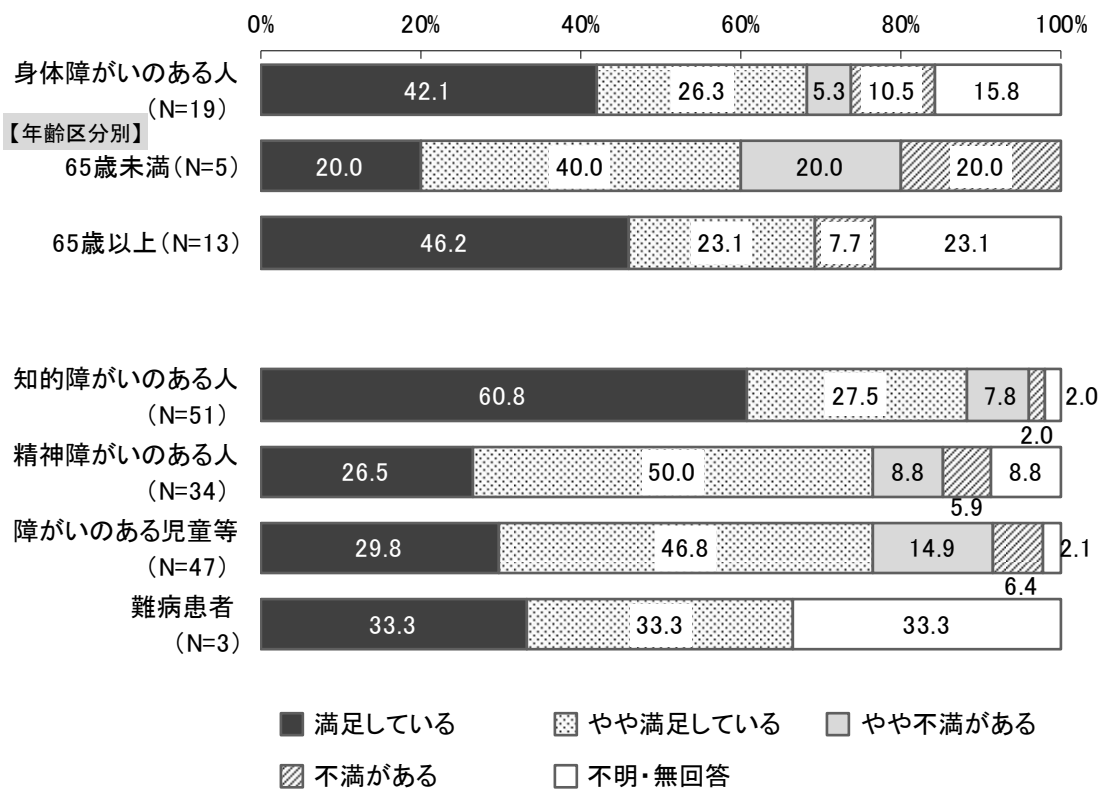


**(56) 障がい者生活支援センター、基幹相談支援センターについて満足していますか。**

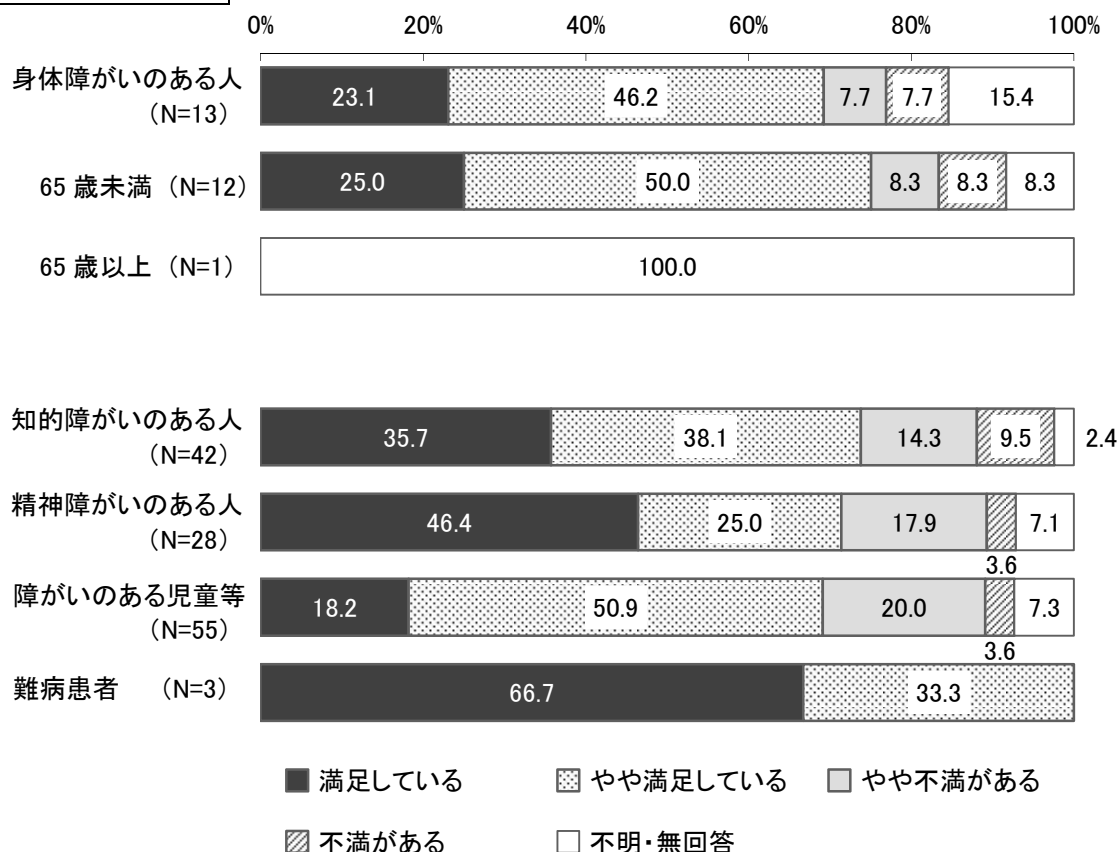
※ (55) で「ある」と答えた方に聞きました

身体問 26、知的問 26、精神問 28、児童問 31、難病問 22

障がいのある人等すべてで「満足している」「やや満足している」の合計の割合が6割を超えています。  
 なお、知的障がいのある人で「満足している」の割合が他の障がいと比べて高くなっています。



参考：平成 28 年度調査結果

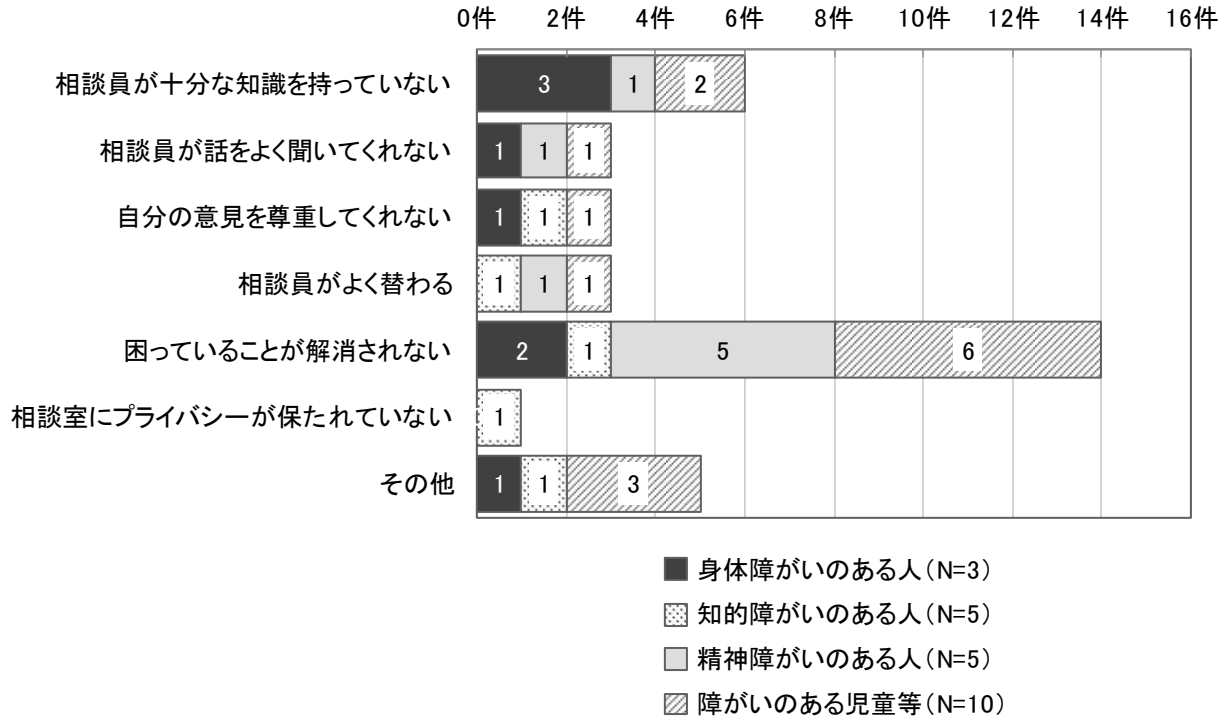


(57) どのような点に不満を感じましたか。(複数回答)

※ (56) で「やや不満がある」「不満がある」と答えた方に聞きました

身体問 27、知的問 27、精神問 29、児童問 32、難病問 23

「困っていることが解消されない」の件数が最も多くなっています。



※「難病患者」について、本設問に該当する回答者がいないためグラフには表記していません。

(58) 障がい者生活支援センター、基幹相談支援センターで相談していること、相談したいと思うことは何ですか。(複数回答)

身体問 28、知的問 28、精神問 30、児童問 33、難病問 24

「特にない」を除くと、知的障がいのある人で「障がい福祉サービス（ヘルパーや施設）の利用に関すること」、精神障がいのある人で「日常生活（お金や生活の悩みなど）に関すること」、障がいのある児童等で「(子どもの) 仕事に関すること」の割合が最も高くなっています。

(単位：%)

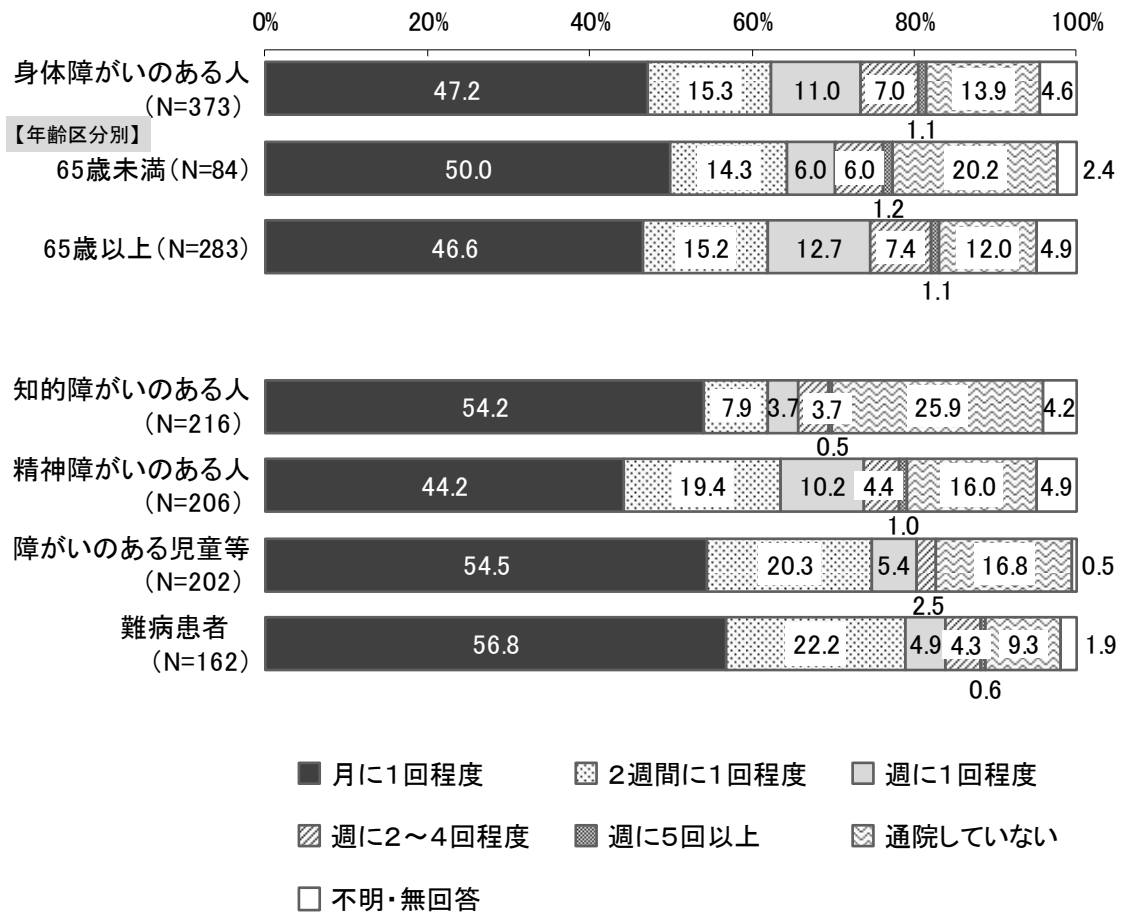
区分	身体障がいのある人		知的障がいのある人	精神障がいのある人	障がいのある児童等	難病患者	
	(65歳未満)	(65歳以上)					
有効回答数(件)	373	84	283	216	206	202	162
1位	特にない (52.3)	特にない (52.4)	特にない (53.0)	特にない (29.6)	日常生活（お金や生活の悩みなど）に関すること (31.1)	(子どもの)仕事に関すること (33.2)	特にない (58.0)
2位	障がい福祉サービス（ヘルパーや施設）の利用に関すること (19.0)	日常生活（お金や生活の悩みなど）に関すること (19.0)	障がい福祉サービス（ヘルパーや施設）の利用に関すること (19.4)	障がい福祉サービス（ヘルパーや施設）の利用に関すること (28.2)	なんとなく不安に思うこと (30.1)	なんとなく不安に思うこと (32.7)	日常生活（お金や生活の悩みなど）に関すること (13.0)
3位	日常生活（お金や生活の悩みなど）に関すること (14.5)	障がい福祉サービス（ヘルパーや施設）の利用に関すること (19.0)	日常生活（お金や生活の悩みなど）に関すること (13.1)	日常生活（お金や生活の悩みなど）に関すること (24.5)	特にない (30.1)	日常生活（お金や生活の悩みなど）に関すること (31.7)	障がい福祉サービス（ヘルパーや施設）の利用に関すること (13.0)
4位	なんとなく不安に思うこと (11.3)	なんとなく不安に思うこと (15.5)	なんとなく不安に思うこと (9.9)	成年後見制度や虐待など権利擁護に関すること (24.1)	仕事に関すること (26.7)	園や学校での対応のこと (28.2)	なんとなく不安に思うこと (11.1)
5位	仕事に関すること (3.5)	仕事に関すること (13.1)	成年後見制度や虐待など権利擁護に関すること (2.1)	なんとなく不安に思うこと (17.6)	障がい福祉サービス（ヘルパーや施設）の利用に関すること (16.0)	障がい福祉サービス（ヘルパーや施設）の利用に関すること (27.7)	仕事に関すること (6.8)

## 6. 保健・医療について

(59) 風邪、歯の治療などすべての医療について、最近3か月で、病院にどれくらい通院しましたか。

身体問 29、知的問 29、精神問 31、児童問 34、難病問 25

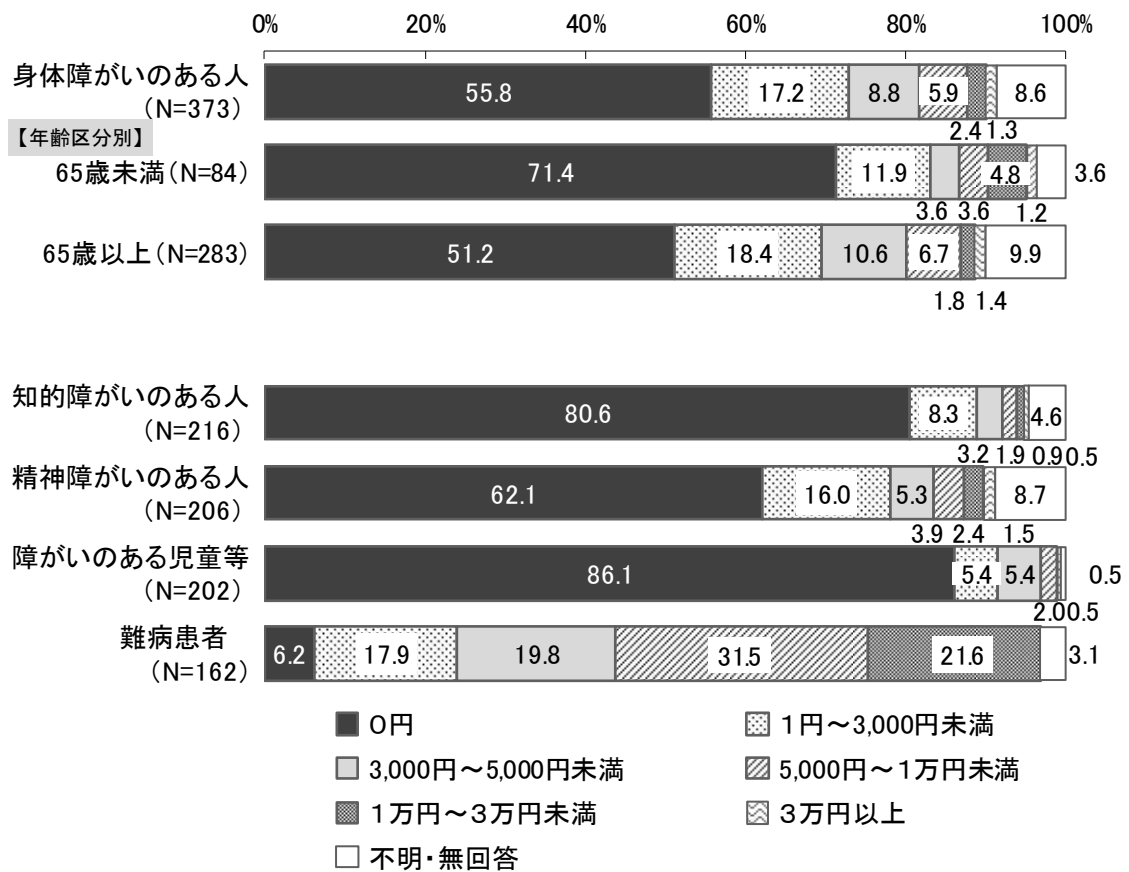
障がいのある人等すべてで「月に1回程度」の割合が最も高くなっています。



(60) 風邪、歯の治療などすべての医療費は、1か月あたりいくら負担していますか。

身体問 30、知的問 30、精神問 32、児童問 35、難病問 26

難病患者で「5,000円～1万円未満」の割合が最も高く、その他の障がいのある人等で「0円」の割合が最も高くなっています。なお、難病患者は全体として他の障がい等と比べて高くなっています。



(61) 医療について、困ったことや不便に思ったことがありますか。(複数回答)

身体問 31、知的問 31、精神問 33、児童問 36、難病問 27

「特に困ったことはない」を除くと、知的障がいのある人及び障がいのある児童等で「障がい（疾病）のため症状を正確に伝えられない」、難病患者で「医療費の負担が大きい・できない」の割合がそれぞれ他の障がい等と比べて高くなっています。

(単位：%)

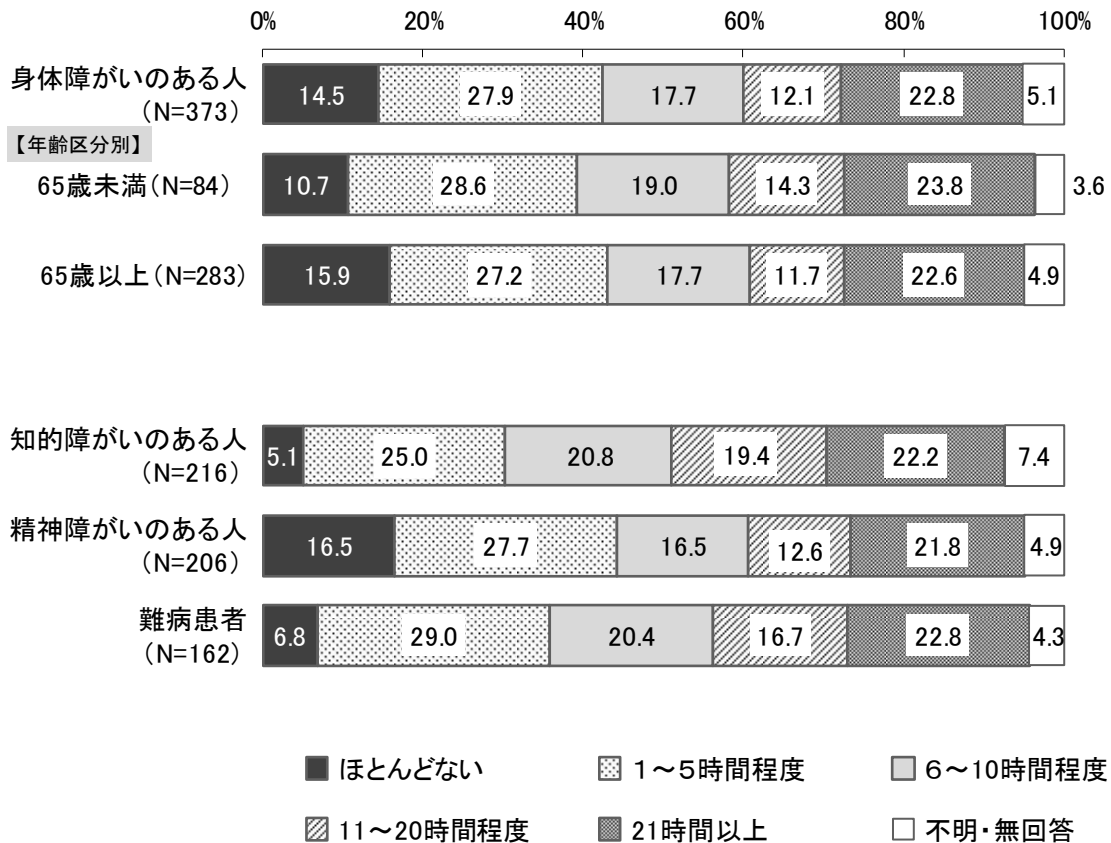
区分	身体障がいのある人			知的障がい のある人	精神障がい のある人	障がいのある 児童等	難病患者
	(65歳未満)	(65歳以上)					
有効回答 数(件)	373	84	283	216	206	202	162
1位	特に困った ことはない (66.8)	特に困った ことはない (71.4)	特に困った ことはない (66.1)	特に困った ことはない (51.4)	特に困った ことはない (53.9)	特に困った ことはない (48.5)	特に困った ことはない (56.2)
2位	気軽に往診 を頼める医 師がない (6.7)	医療費の負 担が大きい・ できない (6.0)	気軽に往診 を頼める医 師がない (7.1)	障がい（疾 病）のため症 状を正確に 伝えられな い (24.5)	障がい（疾 病）のため症 状を正確に 伝えられな い (13.1)	障がい（疾 病）のため症 状を正確に 伝えられな い (20.3)	医療費の負 担が大きい・ できない (27.2)
3位	障がい（疾 病）のため症 状を正確に 伝えられな い (6.4)	気軽に往診 を頼める医 師がない (4.8)	障がい（疾 病）のため症 状を正確に 伝えられな い (6.7)	障がい（疾 病）に配慮し てもらえな い (9.7)	障がい（疾 病）に配慮し てもらえな い (11.7)	障がい（疾 病）に配慮し てもらえな い (17.8)	障がい（疾 病）に配慮し てもらえな い (8.0)
4位	医療費の負 担が大きい・ できない (4.3)	障がい（疾 病）のため症 状を正確に 伝えられな い (4.8)	通院する ときに付き 添いをして くれる人 がない (4.6)	通院する ときに付き 添いをして くれる人 がない (9.3)	医療費の負 担が大きい・ できない (8.3)	通院する ときに付き 添いをして くれる人 がない (13.4)	気軽に往診 を頼める医 師がない (5.6)
5位	障がい（疾 病）に配慮し てもらえな い (3.8)	障がい（疾 病）に配慮し てもらえな い (3.6)	障がい（疾 病）に配慮し てもらえな い (3.5)	障がい（疾 病）が重度 でいつも介 護を必要と するため、 入院でき ない (9.3)	気軽に往診 を頼める医 師がない (7.3)	気軽に往診 を頼める医 師がない (7.4)	通院する ときに付き 添いをして くれる人 がない (2.5)
	通院する ときに付き 添いをして くれる人 がない (3.8)		医療費の負 担が大きい・ できない (3.5)				

## 7. 余暇活動について

(62) 1週間のうちに自分の楽しみに使う時間はどれくらいありますか。

身体問 32、知的問 32、精神問 34、難病問 28

障がいのある人すべてで「1～5時間程度」の割合が最も高くなっています。



(63) 自分の楽しみに使う時間をどのように過ごしていますか。(複数回答)

身体問 33、知的問 33、精神問 35、難病問 29

障がいのある人すべてで「テレビを見る」の割合が最も高く、次いで「買い物に行く」となっています。

(単位：%)

区分	身体障がいのある人		知的障がいのある人	精神障がいのある人	難病患者	
	(65歳未満)	(65歳以上)				
有効回答数(件)	373	84	283	216	206	162
1位	テレビを見る (63.5)	テレビを見る (63.1)	テレビを見る (63.6)	テレビを見る (62.0)	テレビを見る (46.6)	テレビを見る (59.9)
2位	買い物に行く (38.6)	買い物に行く (45.2)	買い物に行く (37.1)	買い物に行く (37.0)	買い物に行く (36.4)	買い物に行く (45.7)
3位	友人と会う (24.9)	友人と会う (28.6)	友人と会う (23.7)	ゲームをする (26.9)	友人と会う (21.8)	友人と会う (31.5)
4位	散歩をする (20.4)	読書をする (22.6)	散歩をする (21.2)	レストラン、喫茶店に行く (22.2)	散歩をする (21.8)	散歩をする (21.0)
5位	レストラン、喫茶店に行く (16.4)	ゲームをする (19.0)	レストラン、喫茶店に行く (17.0)	散歩をする (19.9)	ゲームをする (16.5)	レストラン、喫茶店に行く (16.0)



(64) 自分の楽しみに使う時間を、今後どのように過ごしたいですか。(複数回答)

身体問 34、知的問 34、精神問 36、難病問 30

全体的には、「テレビを見る」「旅行をする」「買い物に行く」「友人と会う」の割合が高くなっています。

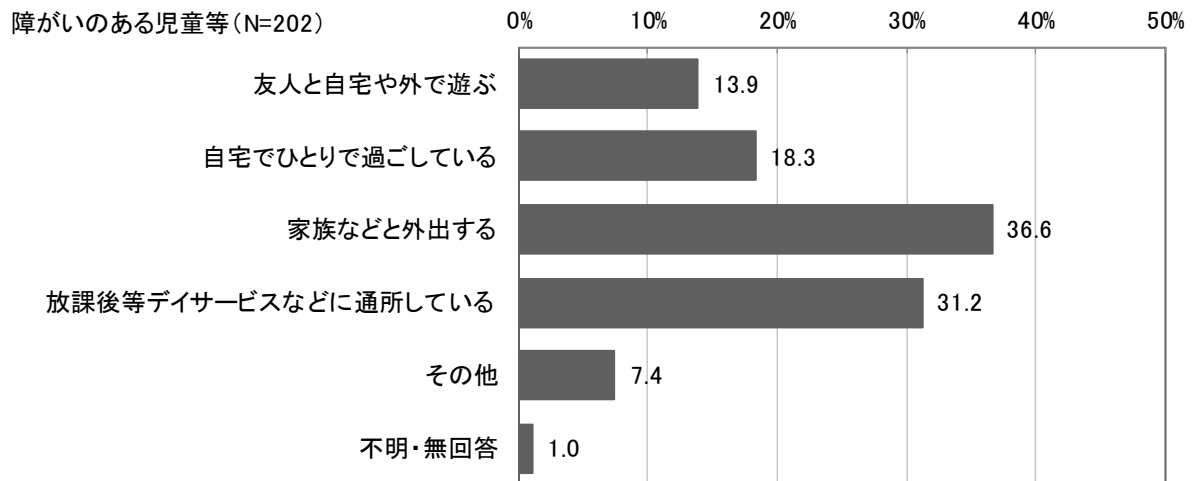
(単位：%)

区分	身体障がいのある人			知的障がいのある人	精神障がいのある人	難病患者
		(65歳未満)	(65歳以上)			
有効回答数(件)	373	84	283	216	206	162
1位	テレビを見る (41.3)	旅行をする (50.0)	テレビを見る (42.4)	買い物に行く (42.1)	買い物に行く (34.0)	旅行をする (39.5)
2位	買い物に行く (31.9)	テレビを見る (38.1)	買い物に行く (32.5)	テレビを見る (40.7)	友人と会う (30.6)	友人と会う (34.6)
3位	友人と会う (28.4)	買い物に行く (31.0)	友人と会う (27.9)	レストラン、喫茶店に行く (31.5)	テレビを見る (25.2)	テレビを見る (34.6)
4位	旅行をする (24.4)	友人と会う (29.8)	散歩をする (25.8)	旅行をする (25.5)	旅行をする (19.9)	買い物に行く (32.7)
5位	散歩をする (23.6)	映画や演劇を見に行く (22.6)	レストラン、喫茶店に行く (18.0)	散歩をする (19.0)	レストラン、喫茶店に行く (18.9)	運動をする (22.8)
				映画や演劇を見に行く (19.0)	運動をする (18.9)	

(65) お子さんは、放課後や休日など自由な時間をどのように過ごしていますか。

児童問 37

「家族などと外出する」の割合が最も高く、次いで「放課後等デイサービスなどに通所している」となっています。



※複数回答した人もいます。

【障がいのある児童等・手帳別クロス】

(単位：%)

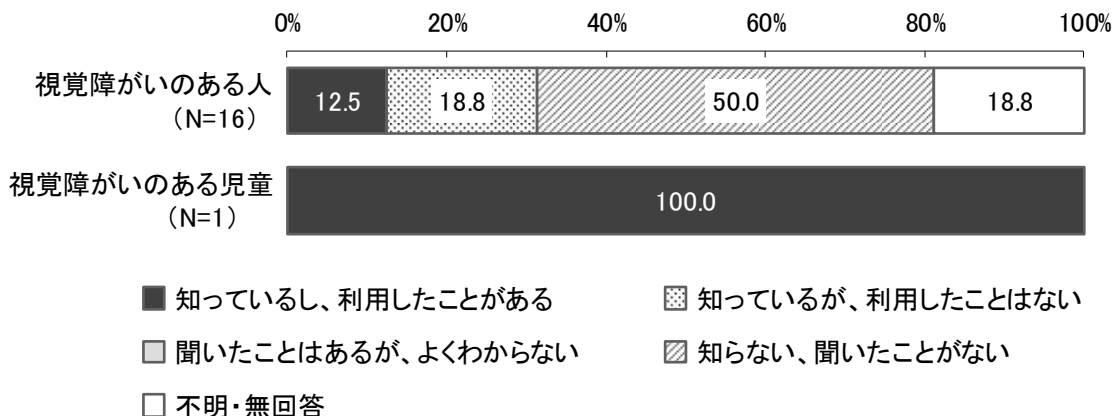
区分	友人と自宅や外で遊ぶ	自宅でひとりで過ごしている	家族などと外出する	放課後等デイサービスなどに通所している	その他	不明・無回答
身体障がい者手帳 (N=59)	18.6	22.0	40.7	18.6	6.8	3.4
療育手帳 (N=133)	6.8	16.5	34.6	40.6	9.0	0.8
精神障がい者保健福祉手帳 (N=25)	20.0	24.0	32.0	16.0	12.0	-
手帳は持っていない (N=5)	20.0	20.0	20.0	40.0	-	-

(66) 市の図書館に、点字図書やDAISY(デージー)図書のほかに、大活字図書があるのを知っていますか。

※視覚障がいのある方と視覚障がいのある児童に聞きました

身体問 35、児童問 38

視覚障がいのある人で「知らない、聞いたことがない」の割合が最も高く5割となっています。

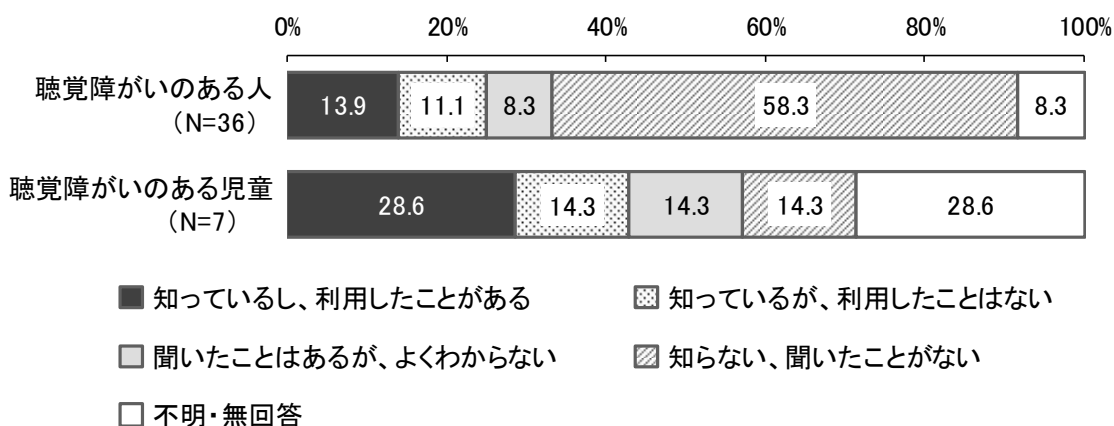


(67) 補聴システム(磁気誘導ループシステム、赤外線補聴システム、FM補聴システムなど)を知っていますか。

※聴覚障がいのある方と聴覚障がいのある児童に聞きました

身体問 36、児童問 39

聴覚障がいのある人で「知らない、聞いたことがない」、聴覚障がいのある児童で「知っているし、利用したことがある」の割合が最も高くなっています。

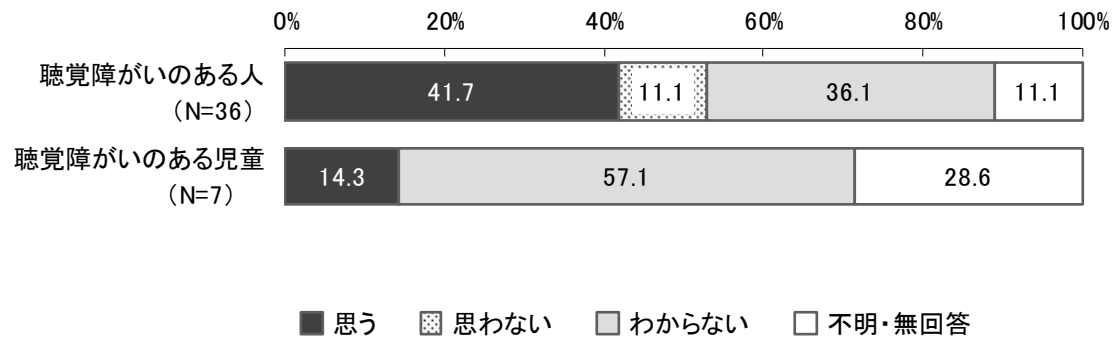


(68) 講演会などで音声の聞きとりを良くするために、補聴システムを利用したいと思いますか。

※聴覚障がいのある方と聴覚障がいのある児童に聞きました

身体問 37、児童問 40

聴覚障がいのある人で「思う」、聴覚障がいのある児童で「わからない」の割合が最も高くなっています。



## 8. 仕事や働くこと等について

### (69) 現在の仕事などの状況について

身体問 38、知的問 35、精神問 37、難病問 31

障がいのある人すべてで「働いていない」の割合が最も高くなっています。

なお、65歳未満の身体障がいのある人は「正社員として働いている」の割合が最も高くなっています。

(単位：%)

区分	正社員として働いている	パート・アルバイトで短時間の仕事をしている	自営業で働いている	職業の訓練施設に通っている、または就労移行支援事業所を利用している	就労継続支援A型事業所を利用している	就労継続支援B型事業所を利用している	生活介護や地域活動支援センターで生産活動を行っている	家事の手伝い	自宅の家事をしている(主婦、主夫、家事の手伝い)	その他	働いていない	不明・無回答
身体障がいのある人 (N=373)	8.0	4.6	4.3	-	0.3	0.8	0.5	15.5	1.3	49.3	15.3	
65歳未満(N=84)	31.0	11.9	3.6	-	1.2	1.2	2.4	9.5	2.4	29.8	7.1	
65歳以上(N=283)	1.4	2.5	4.6	-	-	0.7	-	17.0	1.1	55.8	17.0	
知的障がいのある人 (N=216)	13.0	15.3	0.5	1.9	1.9	17.1	16.2	1.4	1.4	19.4	12.0	
精神障がいのある人 (N=206)	9.7	16.5	1.9	2.9	2.4	5.3	0.5	11.7	0.5	36.4	12.1	
難病患者 (N=162)	17.3	16.0	3.1	-	0.6	-	-	17.3	-	41.4	4.3	

参考：平成28年度調査結果

(単位：%)

区分	正社員として働いている	パート・アルバイトで短時間の仕事をしている	自営業で働いている	職業の訓練施設に通っている、または就労移行支援を利用している	就労継続支援A型事業所を利用している	就労継続支援B型事業所を利用している	生活介護や地域活動支援センターで生産活動を行っている	夫、家事の手伝い	自宅の家事をしている(主婦、主夫、家事の手伝い)	その他	働いていない	不明・無回答
身体障がいのある人 (N=323)	21.4	9.9	4.6	0.3	1.9	1.2	0.9	8.7	1.5	41.5	8.0	
65歳未満(N=259)	25.9	11.2	5.4	0.4	2.3	1.5	1.2	6.9	1.9	37.1	6.2	
65歳以上(N=58)	1.7	3.4	1.7	-	-	-	-	15.5	-	63.8	13.8	
知的障がいのある人 (N=196)	7.7	14.8	-	2.6	6.1	19.4	12.8	2.6	1.0	25.0	8.2	
精神障がいのある人 (N=194)	5.2	10.8	0.5	0.5	7.2	5.7	0.5	12.9	1.0	45.9	9.8	
難病患者 (N=155)	33.5	20.0	0.6	-	0.6	-	-	13.5	1.3	24.5	5.8	

(70) 以前は働いていましたか。(複数回答)

※ (69) で「働いていない」と答えた方に聞きました

身体問 39、知的問 36、精神問 38、難病問 32

知的障がいのある人で「働いたことはない」、精神障がいのある人で「パート・アルバイトで短時間働いていた」、その他の障がいのある人で「正社員として働いていた」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

(単位：%)

区分	正社員として働いていた	パート・アルバイトで短時間働いていた	自営業で働いていた	職業の訓練施設に通っていた、または就労移行支援事業所を利用していた	就労継続支援A型事業所を利用していた	就労継続支援B型事業所を利用していた	就労定着支援を利用していた	その他	働いたことはない	不明・無回答
身体障がいのある人 (N=184)	54.9	21.2	17.9	1.1	-	1.1	-	3.8	9.8	3.8
65歳未満 (N=25)	64.0	20.0	4.0	-	-	4.0	-	4.0	16.0	-
65歳以上 (N=158)	53.2	20.9	20.3	1.3	-	0.6	-	3.8	8.9	4.4
知的障がいのある人 (N=42)	9.5	7.1	-	2.4	4.8	4.8	2.4	4.8	66.7	2.4
精神障がいのある人 (N=75)	36.0	45.3	16.0	5.3	4.0	4.0	1.3	8.0	12.0	1.3
難病患者 (N=67)	59.7	23.9	13.4	-	-	-	-	3.0	9.0	4.5

(71) 現在、働いていない理由は何ですか。

※ (69) で「働いていない」と答えた方に聞きました

身体問 40、知的問 37、精神問 39、難病問 33

身体障がいのある人及び難病患者で「定年退職した」、その他の障がいのある人で「障がい(疾病)のため仕事ができる状態でない」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

(単位：%)

区分	学生	定年退職した	仕事が見つからない	障がい(疾病)のため仕事ができる状態でない	病院のデイケアや日中一時支援に通っている	入院している、施設に入所している	その他	不明・無回答
身体障がいのある人 (N=184)	-	39.7	2.7	29.3	1.1	6.0	17.4	3.8
65歳未満 (N=25)	-	12.0	8.0	60.0	4.0	4.0	8.0	4.0
65歳以上 (N=158)	-	44.3	1.9	24.7	0.6	5.7	19.0	3.8
知的障がいのある人 (N=42)	2.4	-	9.5	52.4	-	16.7	9.5	9.5
精神障がいのある人 (N=75)	-	12.0	9.3	45.3	5.3	13.3	9.3	5.3
難病患者 (N=67)	4.5	50.7	3.0	19.4	-	1.5	13.4	7.5

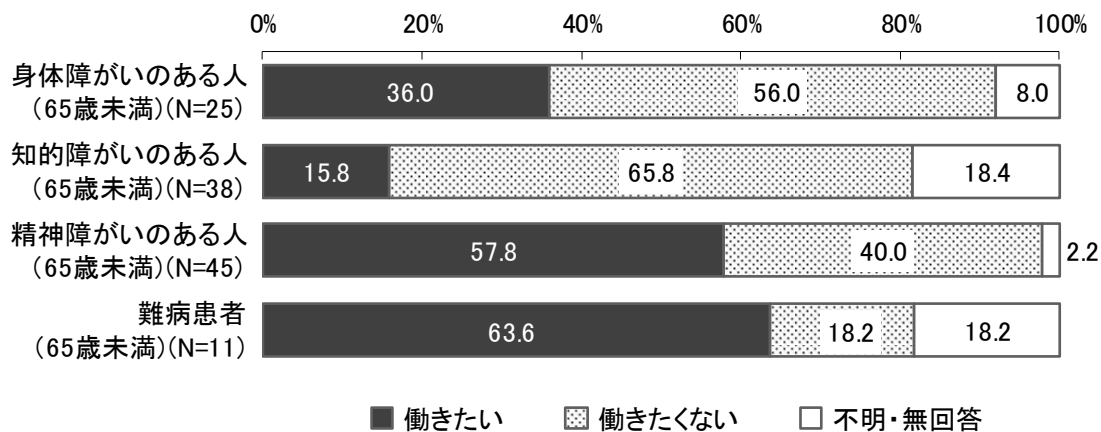
## (72) 今後働きたいと思いますか。

※ (69) で「働いていない」と答えた方で、年齢が 65 歳未満の方に聞きました

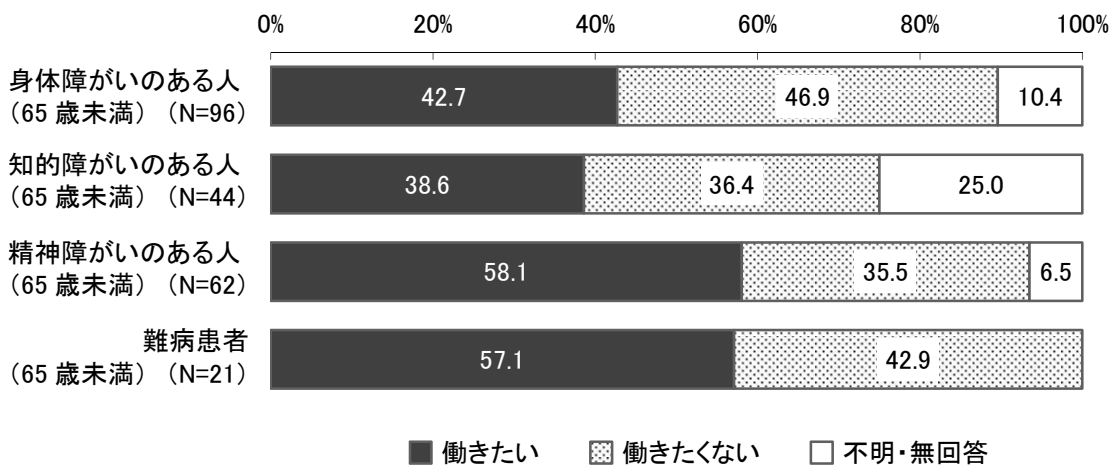
身体問 41、知的問 38、精神問 40、難病問 34

精神障がいのある人及び難病患者で「働きたい」の割合が約 6 割と高くなっています。

前回の調査と比較して、身体障がいのある人及び知的障がいのある人で「働きたくない」の割合が高くなっています。



参考：平成 28 年度調査結果



(73) どのような支援や配慮があったら働けると思いますか。(複数回答)

※ (69) で「働いていない」と答えた方で、年齢が65歳未満の方に聞きました

身体問 42、知的問 39、精神問 41、難病問 35

「特に必要ない」を除くと、身体障がいのある人、知的障がいのある人及び精神障がいのある人で「障がい(疾病)に応じて短時間の就労などができること」、難病患者で「仕事や職場に慣れるまで、助けてくれる人がいること」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

(単位：%)

区分	会社などで働くための指導や訓練	障がい(疾病)に応じて短時間の就労などができること	職場に障がい(疾病)に応じた設備があること	職場の人たちが障がい(疾病)のことを理解すること	職場内で相談をする人がいること	通勤する方法や通勤の手助け(介助等)があること	仕事や職場に慣れるまで、助けてくれる人がいること	仕事の悩みを相談できる専門的な施設や人がいること	仕事以外の悩み(生活リズムや体調の管理、給料の使い方)について相談できる人	その他
身体障がいのある人 (65歳未満)(N=25)	8.0	36.0	24.0	20.0	-	4.0	4.0	4.0	4.0	20.0
知的障がいのある人 (65歳未満)(N=38)	10.5	21.1	7.9	15.8	2.6	7.9	7.9	-	-	13.2
精神障がいのある人 (65歳未満)(N=45)	17.8	46.7	8.9	40.0	17.8	4.4	22.2	13.3	6.7	11.1
難病患者 (65歳未満)(N=11)	9.1	18.2	-	18.2	9.1	-	27.3	-	-	-

区分	特に必要ない	不明・無回答
身体障がいのある人 (65歳未満)(N=25)	20.0	12.0
知的障がいのある人 (65歳未満)(N=38)	28.9	31.6
精神障がいのある人 (65歳未満)(N=45)	15.6	4.4
難病患者 (65歳未満)(N=11)	45.5	18.2



(74) 現在の仕事について不安や不満はありますか。(複数回答)

※ (69) で「正社員、パート・アルバイト、自営業として働いている」と答えた方に聞きました

身体問 43、知的問 40、精神問 42、難病問 36

「特にない」を除くと、障がいのある人すべてで「収入・手当が少ない」の割合が最も高くなっています。

なお、精神障がいのある人で「いつ職場をやめさせられるか不安である」の割合が他の障がいと比べて高くなっています。

(単位：%)

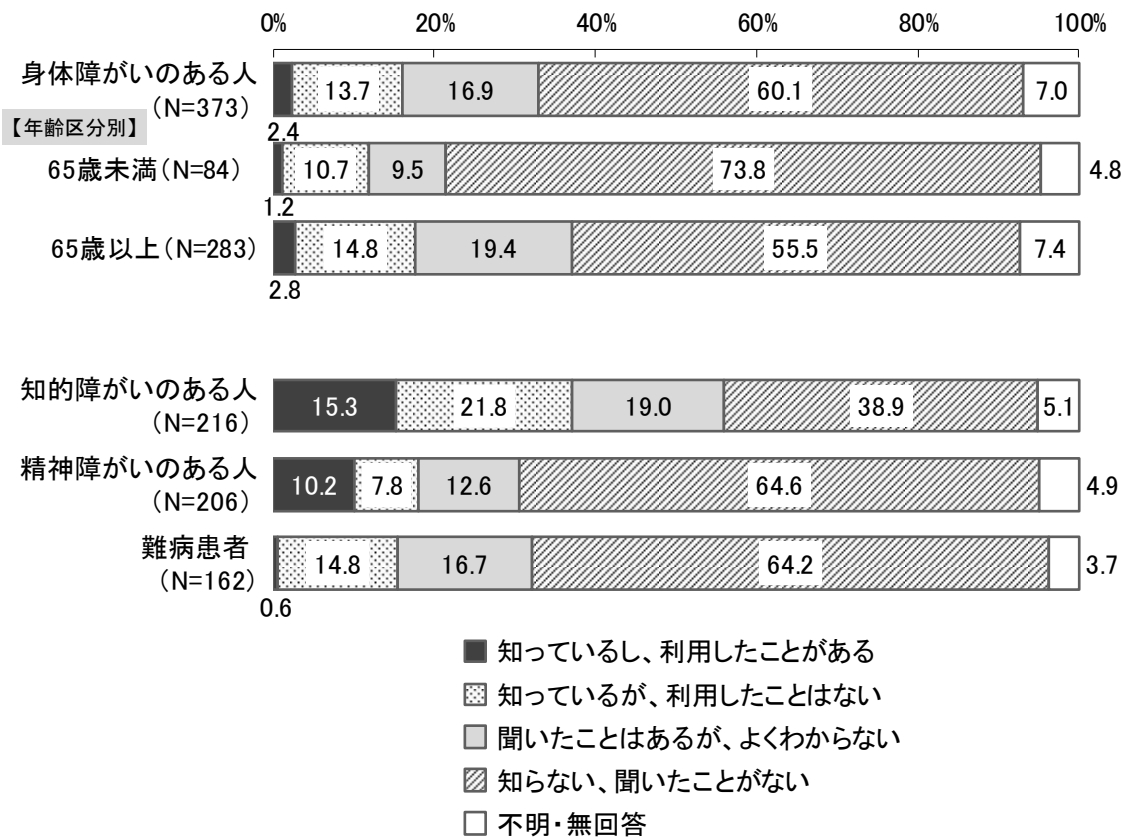
区分	身体障がいのある人		知的障がいのある人	精神障がいのある人	難病患者	
	(65歳未満)	(65歳以上)				
有効回答数(件)	63	39	24	62	58	59
1位	特にない (54.0)	特にない (51.3)	特にない (58.3)	特にない (43.5)	収入・手当が少ない (31.0)	特にない (47.5)
2位	収入・手当が少ない (14.3)	収入・手当が少ない (20.5)	職場まで通うのが大変 (12.5)	収入・手当が少ない (22.6)	特にない (29.3)	収入・手当が少ない (22.0)
3位	職場まで通うのが大変 (11.1)	いつ職場をやめさせられるか不安である (15.4)	毎日働くことができない (8.3)	職場まで通うのが大変 (14.5)	いつ職場をやめさせられるか不安である (27.6)	仕事以外の悩み(生活リズムや体調の管理、給料の使い方)が生じている (10.2)
4位	いつ職場をやめさせられるか不安である (11.1)	職場で障がい(疾病)に対する理解が進んでいない (15.4)	職場の設備が整っていない(バリアフリーになっていないなど) (4.2)	自分のやりたい業務に就けない (12.9)	職場の人と仲良くできない (17.2)	職場で障がい(疾病)に対する理解が進んでいない (10.2)
5位	職場で障がい(疾病)に対する理解が進んでいない (11.1)	職場の設備が整っていない(バリアフリーになっていないなど) (10.3)	収入・手当が少ない (4.2)	職場の人と仲良くできない (11.3)	職場に相談する人がいない (15.5)	職場まで通うのが大変 (8.5)
		職場まで通うのが大変 (10.3)	いつ職場をやめさせられるか不安である (4.2)		職場で障がい(疾病)に対する理解が進んでいない (15.5)	毎日働くことができない (8.5)

(75) 就業・生活支援センター(尾張北部障害者就業・生活支援センターようわ)について知っていますか。また、利用したことはありますか。

身体問 44、知的問 41、精神問 43、難病問 37

障がいのある人すべてで「知らない、聞いたことがない」の割合が最も高くなっています。

なお、知的障がいのある人で「知っているし、利用したことがある」の割合が他の障がいと比べて高くなっています。

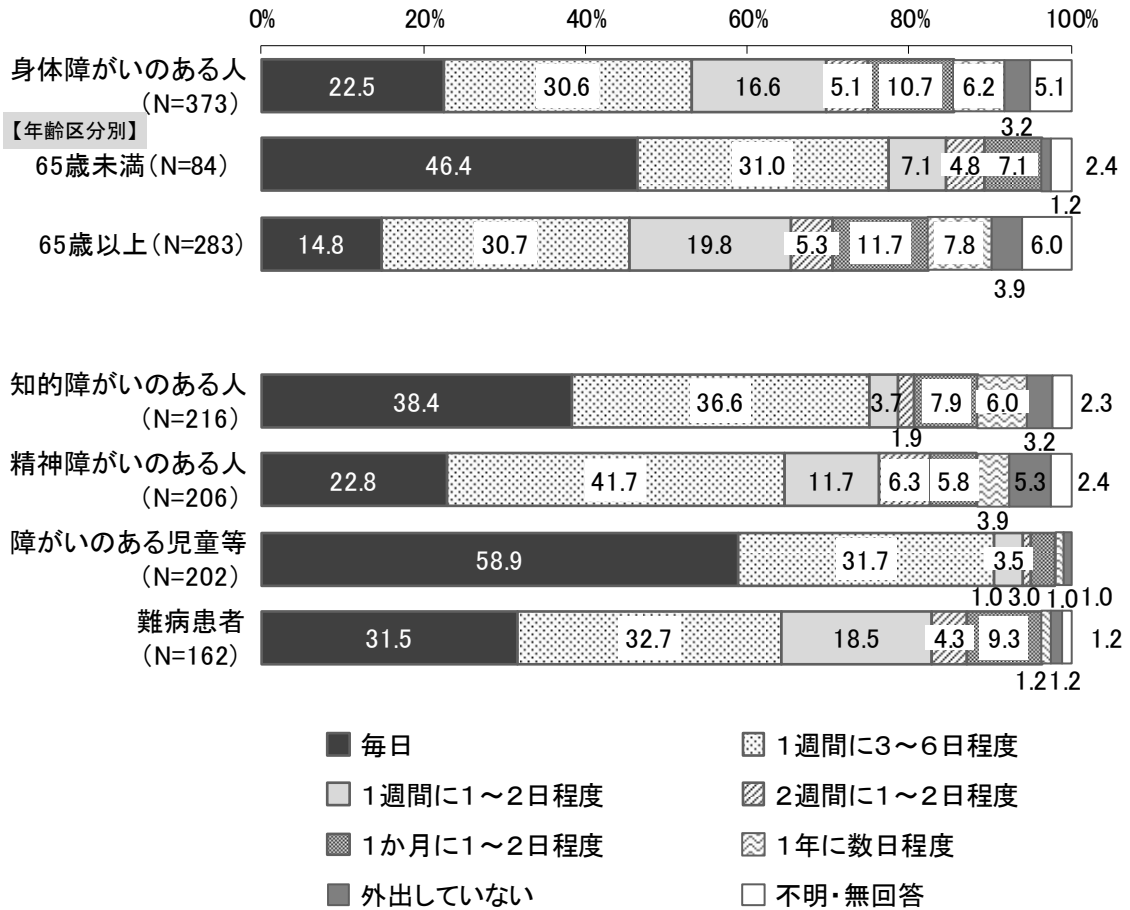


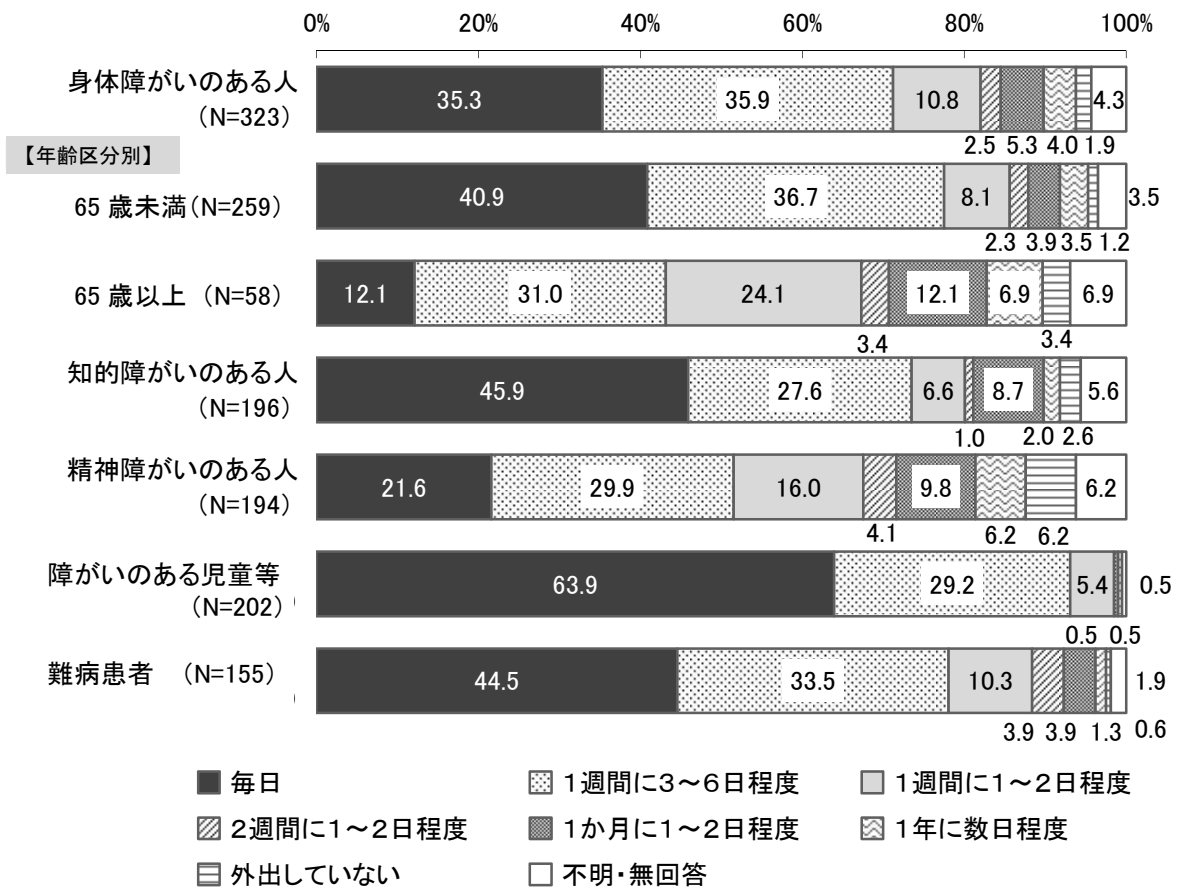
## 9. 生活環境について

(76) この1年(平成30年10月1日～令和元年9月30日)のあいだにどの程度外出(通勤・通学・通院を含む)しましたか。

身体問 45、知的問 42、精神問 44、児童問 41、難病問 38

障がいのある人等すべてで「毎日」「1週間に3～6日程度」の合計の割合が5割を超えています。

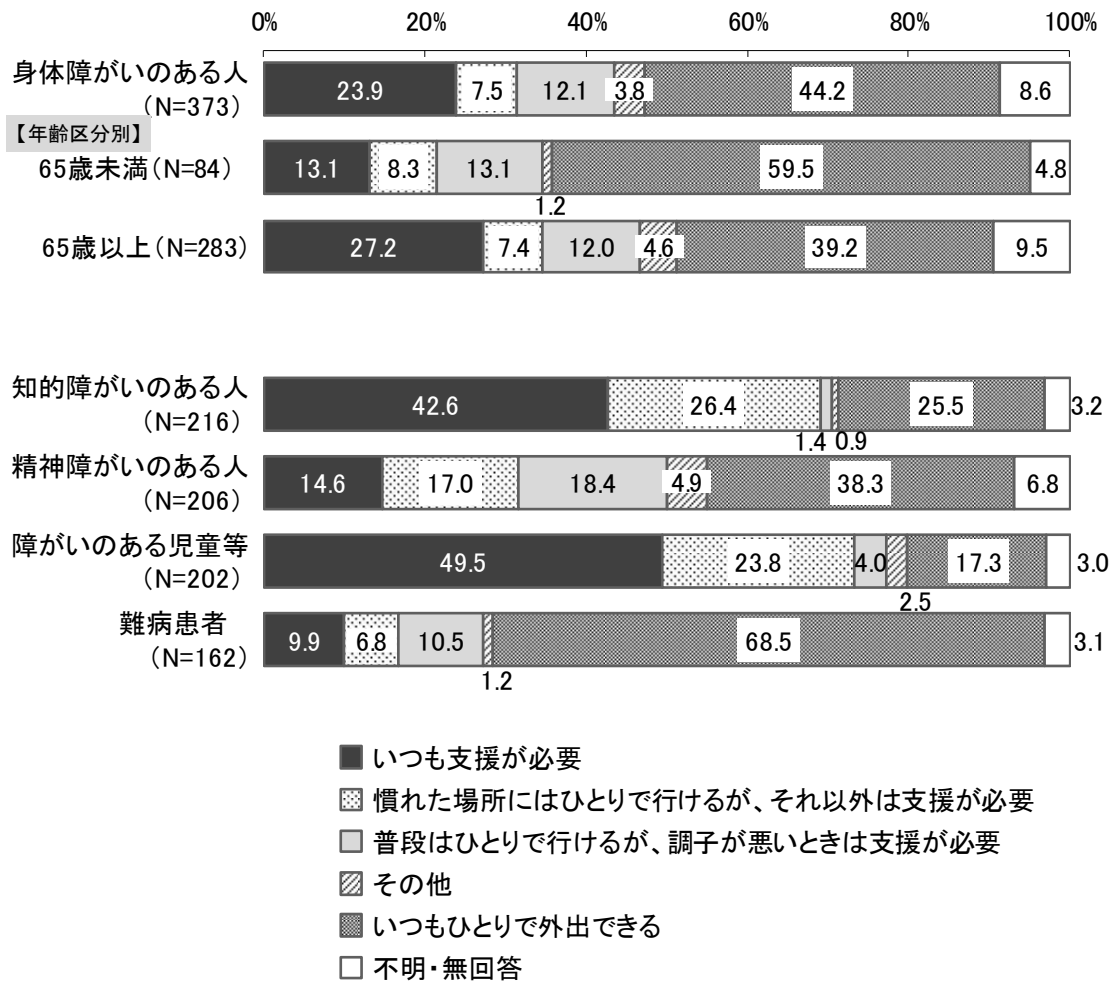




(77) 外出をするときに支援は必要ですか。

身体問 46、知的問 43、精神問 45、児童問 42、難病問 39

身体障がいのある人、精神障がいのある人及び難病患者で「いつもひとりで外出できる」、知的障がいのある人及び障がいのある児童等で「いつも支援が必要」の割合がそれぞれ最も高くなっています。



(78) ひとりで外出できない場合、どのように外出していますか。(複数回答)

※ (77) で「いつもひとりで外出できる」と答えた方以外に聞きました

身体問 47、知的問 44、精神問 46、児童問 43、難病問 40

障がいのある人等すべてで「家族に付き添ってもらっている」の割合が7割超と高くなっています。

(単位：%)

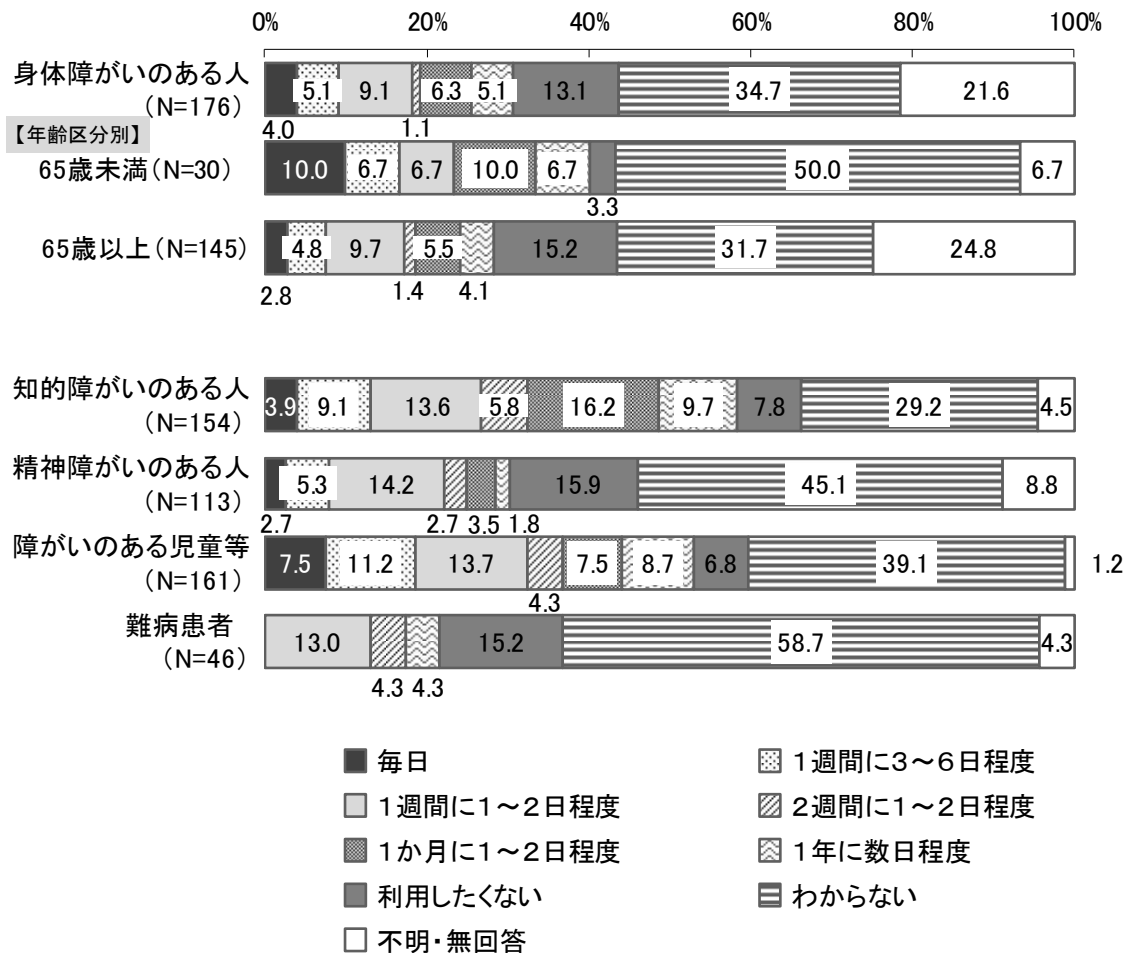
区分	福祉サービス(移動支援、行動援護、同行援護、重度訪問介護など)を利用している	有料サービス(福祉タクシー、介護タクシー、有償運送など)を利用している	事業所などの送迎を利用している	家族に付き添ってもらっている	友人や知人、ボランティア等に付き添ってもらっている	その他	外出していない	不明・無回答
身体障がいのある人(N=176)	6.8	13.6	13.6	71.6	6.8	4.5	10.8	4.5
知的障がいのある人(N=154)	31.8	9.7	31.8	83.1	5.8	5.2	2.6	0.6
精神障がいのある人(N=113)	3.5	4.4	9.7	70.8	7.1	3.5	22.1	3.5
障がいのある児童等(N=161)	4.3	-	19.9	94.4	3.1	2.5	8.1	1.2
難病患者 (N=46)	2.2	8.7	6.5	82.6	8.7	2.2	6.5	4.3

(79) 通勤・通学以外で外出する際の支援として、福祉サービスをどの程度利用したいですか。

※ (77) で「いつもひとりで外出できる」と答えた方以外に聞きました

身体問 48、知的問 45、精神問 47、児童問 44、難病問 41

「わからない」を除くと、知的障がいのある人及び障がいのある児童等で「週1日以上（「毎日」「1週間に3～6日程度」「1週間に1～2日程度」の合計）」の割合が他の障がいと比べて高くなっています。



## 10. 情報の入手手段について

### (80) 福祉などの情報(県や市が行う福祉サービスやイベント、法律・制度のことなど)を得る手段は何ですか。(複数回答)

身体問 49、知的問 46、精神問 48、児童問 45、難病問 42、一般問 28

全体的には、「市の広報」の割合が高くなっています。

なお、知的障がいのある人では「施設や事業所」の割合が最も高くなっています。

(単位：%)

区分	身体障がいのある人			知的障がいのある人	精神障がいのある人	障がいの ある児童等	難病患者	障がいの ない人
	(65歳未満)	(65歳以上)						
有効回答数(件)	373	84	283	216	206	202	162	262
1位	市の広報 (44.2)	市の広報 (41.7)	市の広報 (45.2)	施設や事業所 (39.8)	市の広報 (23.8)	市の広報 (41.1)	市の広報 (53.7)	市の広報 (59.5)
2位	新聞・雑誌・一般図書 (35.4)	新聞・雑誌・一般図書 (28.6)	新聞・雑誌・一般図書 (37.5)	家族・友人 (32.4)	携帯電話・スマートフォン (22.8)	携帯電話・スマートフォン (35.6)	新聞・雑誌・一般図書 (33.3)	テレビ (46.9)
3位	テレビ(一般放送) (22.0)	パソコン (27.4)	テレビ(一般放送) (23.0)	市の広報 (31.9)	家族・友人 (19.9)	施設や事業所 (27.2)	携帯電話・スマートフォン (19.8)	区・町内会・自治会の回覧板 (29.0)
4位	区・町内会・自治会の回覧板 (15.8)	携帯電話・スマートフォン (20.2)	区・町内会・自治会の回覧板 (17.3)	新聞・雑誌・一般図書 (15.7)	新聞・雑誌・一般図書 (18.4)	パソコン (20.8)	テレビ(一般放送) (19.8)	ホームページ (27.9)
5位	特にない (12.1)	テレビ(一般放送) (17.9)	家族・友人 (12.4)	同じサービスを利用している仲間 (15.3)	特にない (18.4)	家族・友人 (20.8)	パソコン (19.1) 区・町内会・自治会の回覧板 (19.1)	新聞・雑誌・一般図書 (26.7)

※障がいのない人は選択肢が異なります。



## 【身体障がいのある人・障がい種別クロス】

(単位：%)

区分	視覚障がい	聴覚・平衡機能障がい	音声・言語・そしゃく機能障がい	肢体不自由	心臓機能障がい	腎臓機能障がい	その他内部障がい
有効回答数(件)	16	36	16	163	69	38	54
1位	市の広報 (43.8)	新聞・雑誌・一般図書 (38.9)	新聞・雑誌・一般図書 (37.5)	市の広報 (45.4)	市の広報 (47.8)	市の広報 (39.5)	市の広報 (55.6)
2位	区・町内会・自治会の回覧板 (25.0)	市の広報 (30.6)	市の広報 (37.5)	新聞・雑誌・一般図書 (36.2)	新聞・雑誌・一般図書 (36.2)	新聞・雑誌・一般図書 (34.2)	新聞・雑誌・一般図書 (31.5)
3位	家族・友人 (18.8)	市・県の福祉サービスガイド (16.7)	施設や事業所 (31.3)	テレビ(一般放送) (25.8)	テレビ(一般放送) (23.2)	テレビ(一般放送) (21.1)	テレビ(一般放送) (25.9)
4位	ラジオ (18.8)	テレビ(手話放送・字幕放送) (13.9)	市・県の福祉サービスガイド (18.8)	区・町内会・自治会の回覧板 (16.0)	区・町内会・自治会の回覧板 (20.3)	特にな (18.4)	特にな (14.8)
5位	テレビ(一般放送) (12.5) 施設や事業所 (12.5)	家族・友人 (13.9)	家族・友人 (18.8)	家族・友人 (13.5)	家族・友人 (14.5)	パソコン (15.8)	パソコン (11.1) 区・町内会・自治会の回覧板 (11.1)

## 11. 災害など緊急事態の対応について

### (81) 地震などの災害が起こった場合、主に情報を得る手段は何だと思えますか。

身体問 50、知的問 47、精神問 49、児童問 46、難病問 43

障がいのある人等すべてで「テレビ」「家族、近所の人、友人・知人」「携帯電話・スマートフォン」が上位となっています。

(単位：%)

区分	友人・知人 家族、 近所の人、	テレビ	ラジオ	ファックス	パソコン	フォン 携帯電話・スマート	その他	自ら情報を得るこ とはできない	不明・無回答
身体障がいのある人 (N=373)	29.2	50.7	9.9	-	1.3	15.8	2.7	3.8	3.5
[障がい別]									
視覚障がい (N=16)	31.3	31.3	31.3	-	6.3	6.3	6.3	6.3	-
聴覚・平衡機能障がい (N=36)	41.7	36.1	-	-	-	11.1	5.6	5.6	5.6
音声・言語・そしゃく機能障がい (N=16)	43.8	43.8	12.5	-	-	-	-	12.5	-
肢体不自由 (N=163)	29.4	51.5	12.9	-	1.8	17.8	2.5	4.3	3.1
心臓機能障がい (N=69)	27.5	46.4	11.6	-	-	20.3	-	1.4	1.4
腎臓機能障がい (N=38)	23.7	55.3	10.5	-	2.6	7.9	-	7.9	2.6
その他内部障がい (N=54)	25.9	61.1	5.6	-	-	16.7	5.6	1.9	7.4
知的障がいのある人 (N=216)	42.1	31.5	6.5	0.5	1.4	14.8	3.2	17.1	1.9
精神障がいのある人 (N=206)	19.9	40.3	13.6	-	4.9	32.5	1.5	2.9	3.4
障がいのある児童等 (N=202)	25.7	25.2	3.0	0.5	1.0	59.4	0.5	1.5	0.5
難病患者 (N=162)	15.4	45.1	13.0	-	1.2	38.3	-	0.6	-

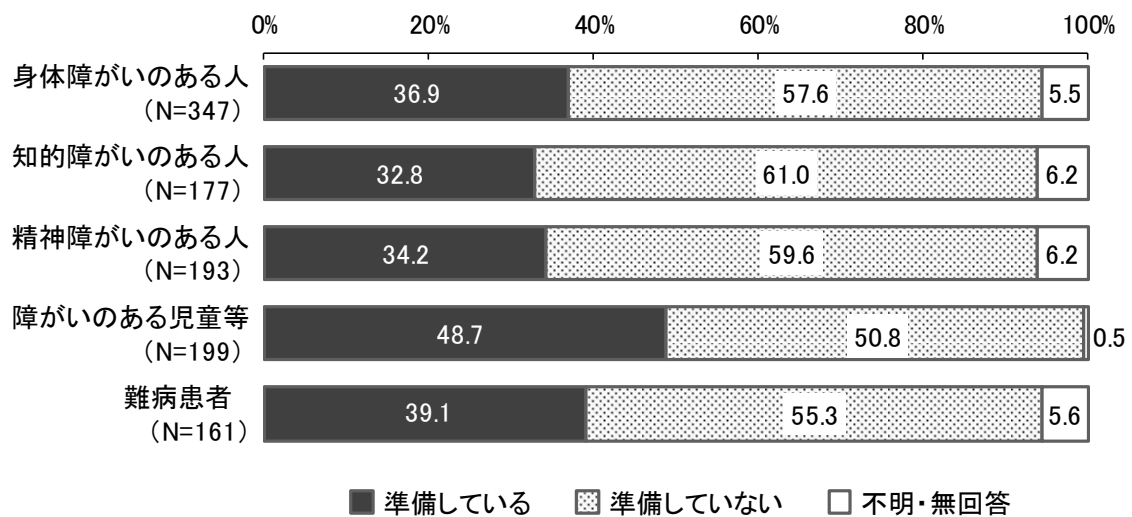
※複数回答した人もいます。

(82) (81)で回答した情報を得る手段について、地震などの災害が起こった場合に利用できるよう準備していますか。

※ (81) で「自ら情報を得ることはできない」と答えた方以外に聞きました

身体問 51、知的問 48、精神問 50、児童問 47、難病問 44

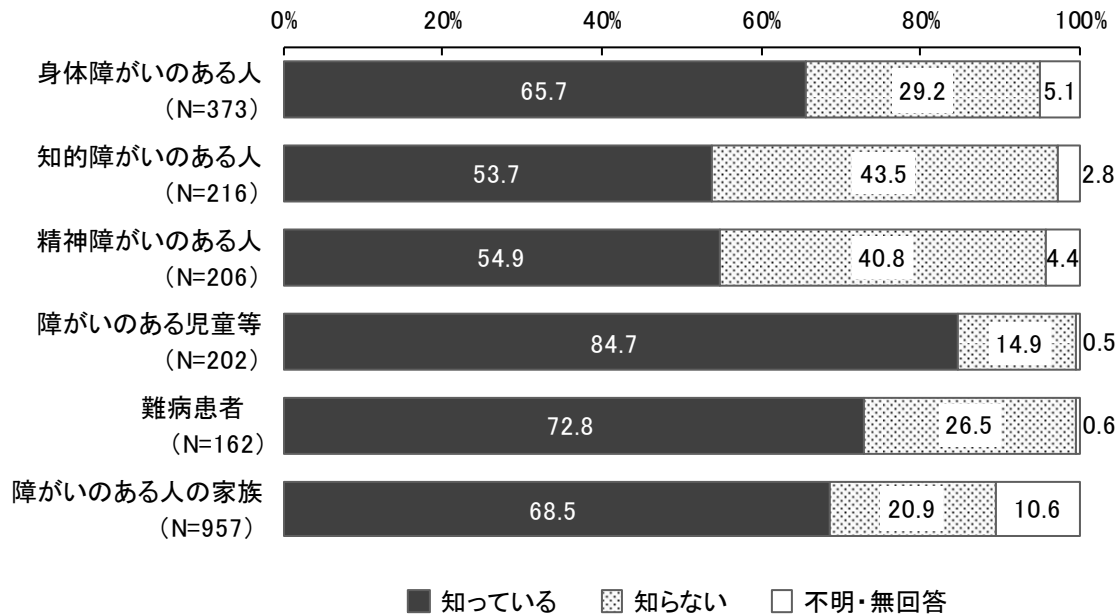
「準備している」の割合は、障がいのある児童等で5割弱、その他の障がいのある人で4割未満となっています。



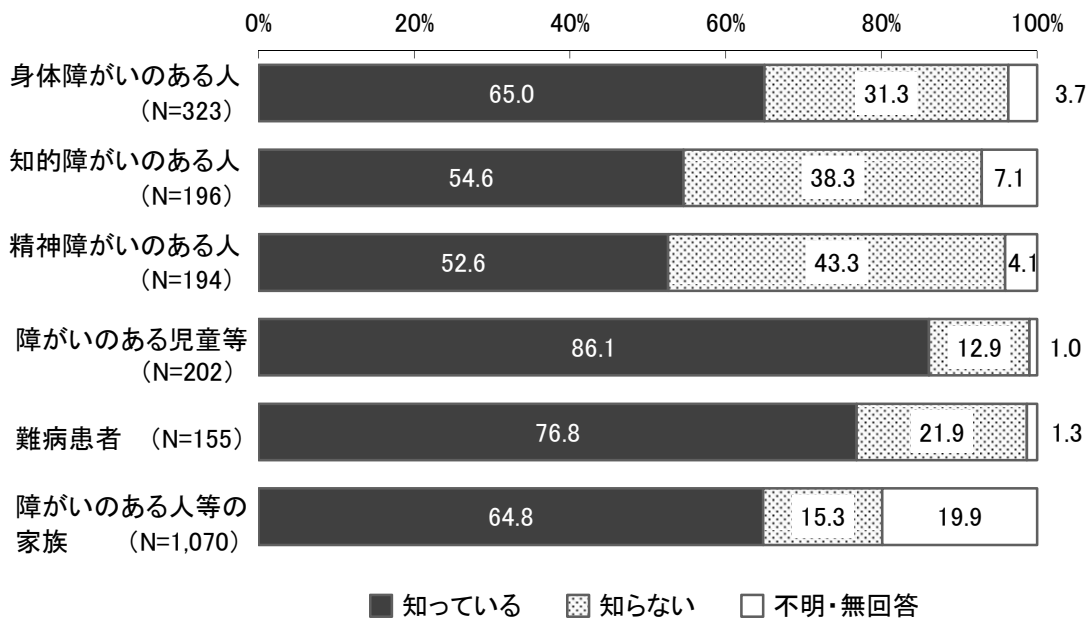
(83) 地震などの災害が起こった場合の避難場所を知っていますか。

身体問 52、知的問 49、精神問 51、児童問 48、難病問 45、家族問 19

前回の調査と比較して大きな変化はありません。



参考：平成 28 年度調査結果

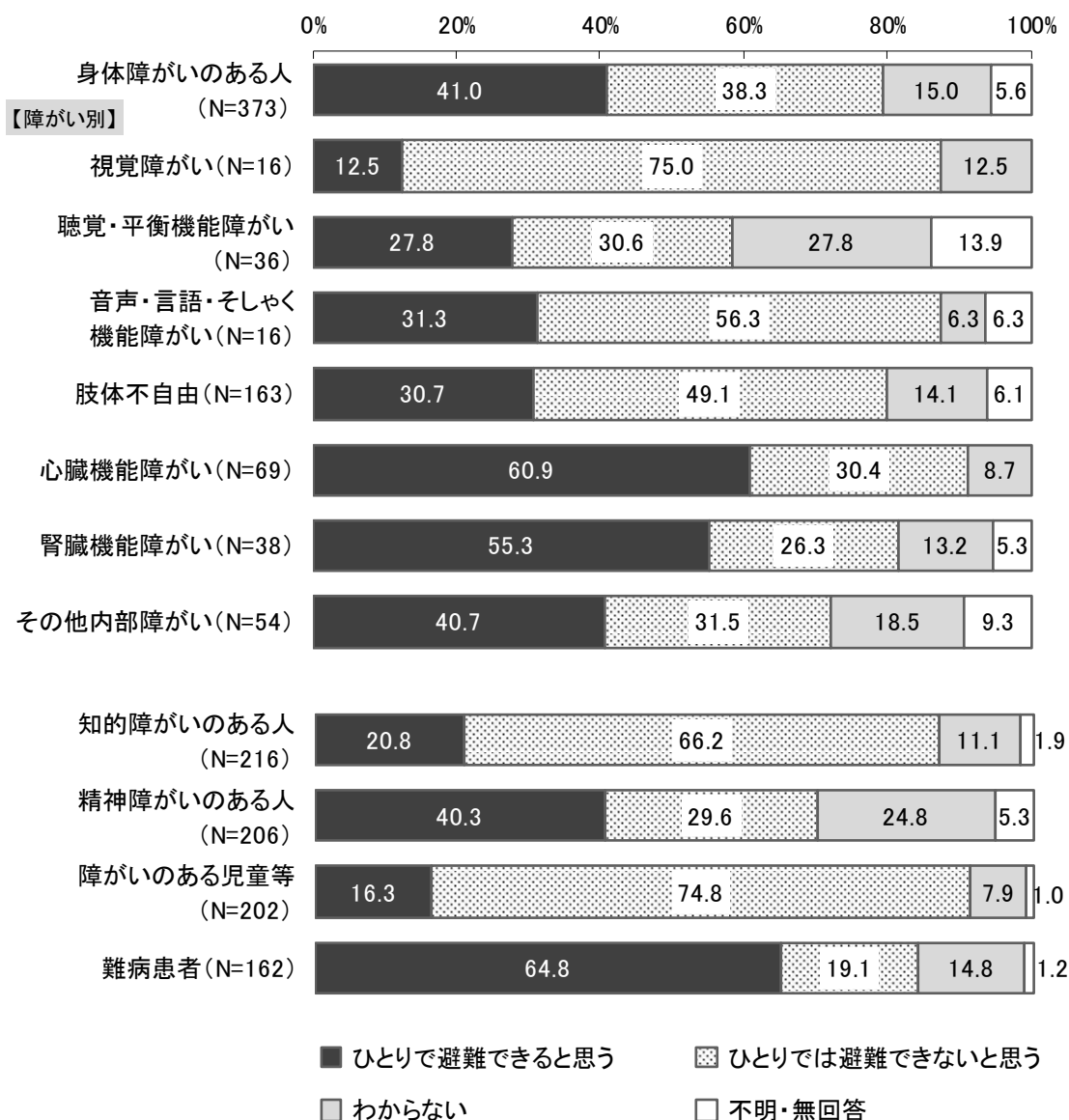


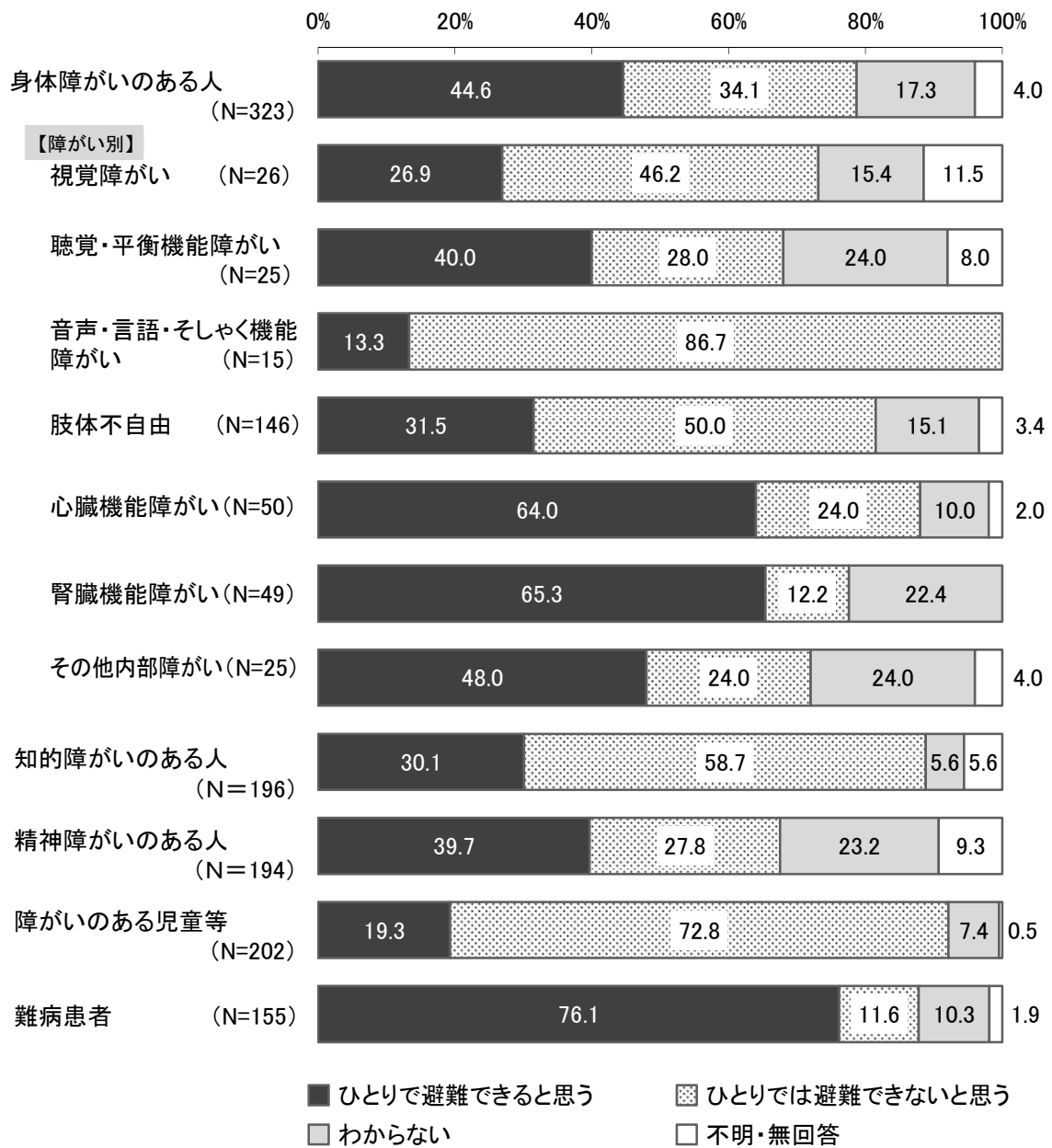
(84) 自宅にいるときに地震などの災害が起こった場合、ひとりで避難場所まで避難できると思いますか。

身体問 53、知的問 50、精神問 52、児童問 49、難病問 46

身体障がいのある人、精神障がいのある人及び難病患者で「ひとりで避難できると思う」、知的障がいのある人及び障がいのある児童等で「ひとりでは避難できないと思う」の割合が最も高くなっています。

なお、身体障がいのある人のうち視覚障がいのある人、音声・言語・そしゃく機能障がいのある人及び肢体不自由の人で「ひとりでは避難できないと思う」の割合が高くなっています。





(85) 一緒に避難場所まで避難してもらう人はだれですか。(複数回答)

※ (84) で「ひとりでは避難できないと思う」と答えた方に聞きました

身体問 54、知的問 51、精神問 53、児童問 50、難病問 47

障がいのある人等すべてで「同居の家族や親族」の割合が最も高くなっています。

なお、知的障がいのある人で「福祉サービスの事業所」の割合が他の障がい等と比べて高くなっています。

(単位：%)

区分	同居の家族や親族	別居の家族や親族	近所の人	友人・知人	民生委員	区・町内会・自治会の役員	福祉サービスの事業所	その他	一緒に避難してくれる人がいない	不明・無回答
身体障がいのある人 (N=143)	74.1	10.5	20.3	2.8	6.3	8.4	10.5	2.8	2.8	0.7
知的障がいのある人 (N=143)	86.0	9.8	12.6	1.4	2.8	5.6	23.8	2.1	0.7	1.4
精神障がいのある人 (N=61)	68.9	14.8	8.2	4.9	3.3	1.6	3.3	11.5	6.6	1.6
障がいのある児童等 (N=151)	94.7	9.9	7.3	2.0	-	-	9.9	-	2.0	1.3
難病患者 (N=31)	74.2	16.1	16.1	6.5	-	3.2	3.2	3.2	6.5	-

参考：平成 28 年度調査結果

(単位：%)

区分	同居の家族や親族	別居の家族や親族	近所の人	友人・知人	民生委員	区・町内会・自治会の役員	福祉サービスの事業所	その他	一緒に避難してくれる人がいない	不明・無回答
身体障がいのある人 (N=110)	70.0	10.0	15.5	9.1	3.6	6.4	13.6	8.2	9.1	1.8
知的障がいのある人 (N=115)	80.9	7.0	4.3	1.7	1.7	5.2	23.5	4.3	3.5	0.9
精神障がいのある人 (N=54)	61.1	3.7	5.6	-	5.6	1.9	11.1	13.0	11.1	1.9
障がいのある児童等 (N=147)	91.2	12.9	15.0	6.1	-	0.7	7.5	2.0	4.1	-
難病患者 (N=18)	61.1	22.2	16.7	5.6	5.6	11.1	-	11.1	-	-

(86) 地震などの災害が起こったときに困ると思うことは何ですか。(複数回答)

身体問 55、知的問 52、精神問 54、児童問 51、難病問 48

知的障がいのある人、精神障がいのある人及び障がいのある児童等で「どのように対応すべきか自分で判断し、行動することが難しい」、身体障がいのある人で「自力歩行が困難で、安全なところまですばやく避難できない」、難病患者で「一般の避難場所では、投薬や治療を受けることが難しい」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

(単位：%)

区分	身体障がいのある人	知的障がいのある人	精神障がいのある人	障がいのある児童等	難病患者
有効回答数(件)	373	216	206	202	162
1位	自力歩行が困難で、安全なところまですばやく避難できない (35.1)	どのように対応すべきか自分で判断し、行動することが難しい (74.5)	どのように対応すべきか自分で判断し、行動することが難しい (44.2)	どのように対応すべきか自分で判断し、行動することが難しい (80.2)	一般の避難場所では、投薬や治療を受けることが難しい (35.8)
2位	どのように対応すべきか自分で判断し、行動することが難しい (29.0)	自分の状態を伝えることが難しく、周りの人に援助を求めることができない (51.4)	避難場所で、周りの人とコミュニケーションが取れない (40.8)	自分の状態を伝えることが難しく、周りの人に援助を求めることができない (65.8)	特に困ることはない (26.5)
3位	一般の避難場所では、投薬や治療を受けることが難しい (29.0)	避難場所では、周りの人とコミュニケーションが取れない (50.5)	一般の避難場所では、投薬や治療を受けることが難しい (32.5)	避難場所で、被害状況や支援物資などの情報が入手できない (60.4)	どのように対応すべきか自分で判断し、行動することが難しい (20.4)
4位	避難場所に多目的トイレなど生活できる環境が整っていない (29.0)	避難場所で、被害状況や支援物資などの情報が入手できない (45.4)	障がい(疾病)への理解が得られず、避難場所で生活できない (30.1)	避難場所で、周りの人とコミュニケーションが取れない (57.9)	自力歩行が困難で、安全なところまですばやく避難できない (19.8)
5位	避難場所で、被害状況や支援物資などの情報が入手できない (20.4)	障がい(疾病)への理解が得られず、避難場所で生活できない (40.3)	自分の状態を伝えることが難しく、周りの人に援助を求めることができない (21.8)	障がい(疾病)への理解が得られず、避難場所で生活できない (35.1)	避難場所に多目的トイレなど生活できる環境が整っていない (19.1)

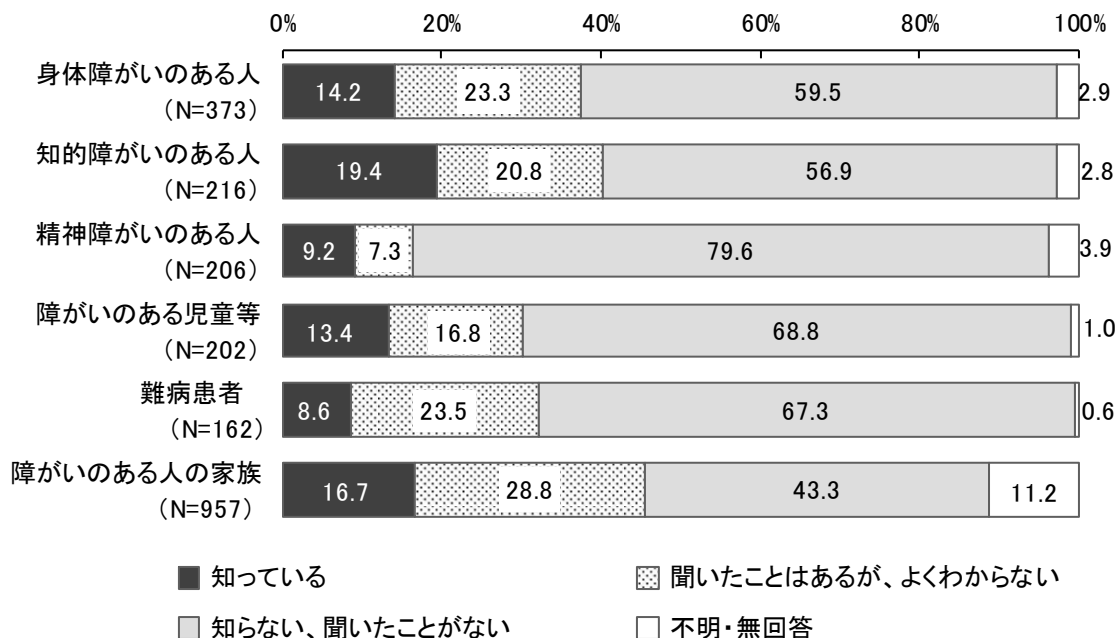


(87) 春日井市の災害時要援護者避難支援制度を知っていますか。

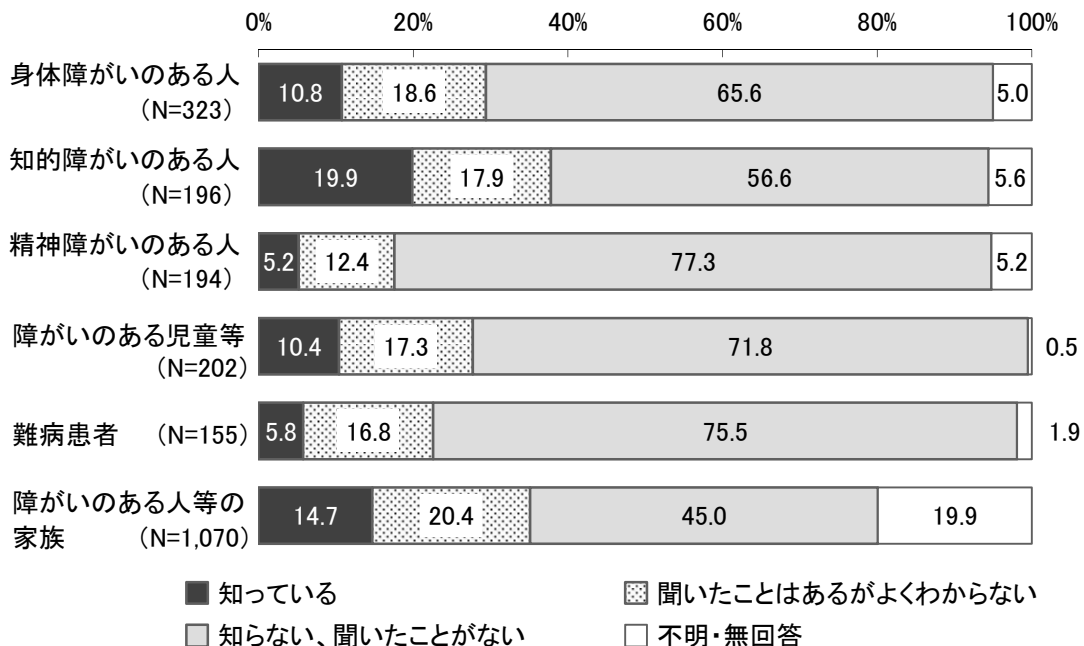
身体問 56、知的問 53、精神問 55、児童問 52、難病問 49、家族問 20

障がいのある人等及びその家族すべてで「知らない、聞いたことがない」の割合が最も高くなっています。

なお、知的障がいのある人で「知っている」の割合が他の障がい等と比べて高くなっています。



参考：平成 28 年度調査結果

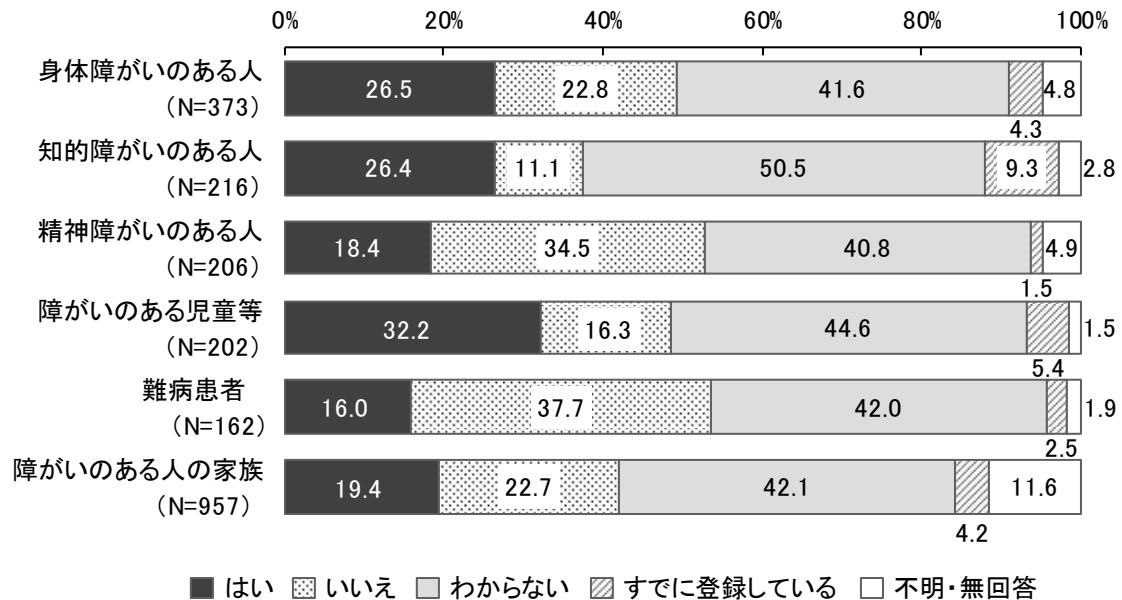


(88) 災害時要援護者名簿に登録したいと思いますか。

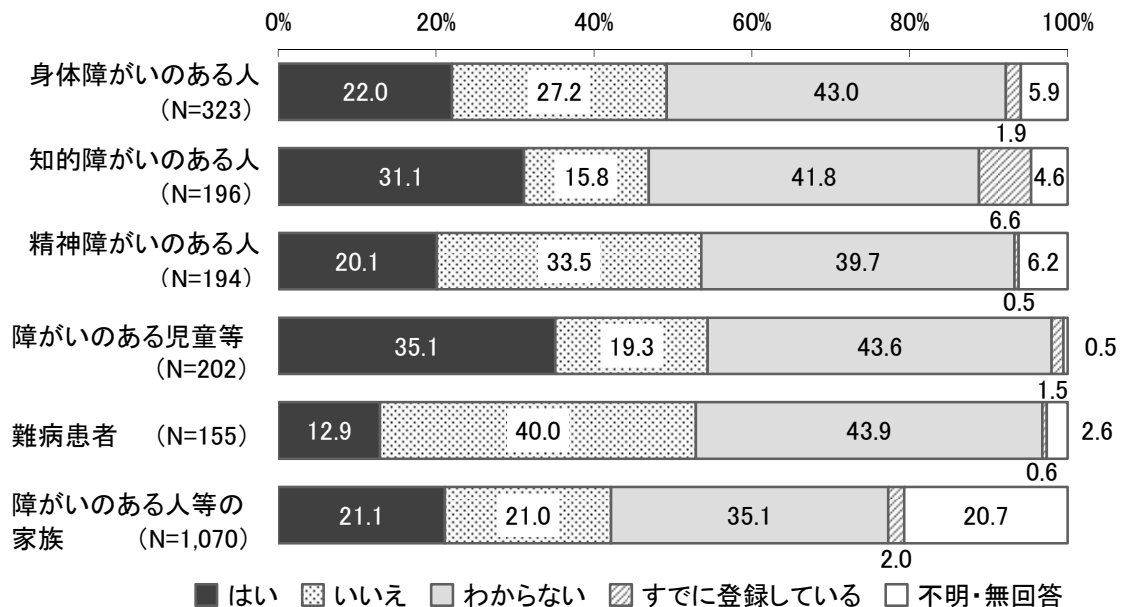
身体問 57、知的問 54、精神問 56、児童問 53、難病問 50、家族問 21

障がいのある人等すべてで「わからない」の割合が最も高くなっています。

なお、障がいのある児童等で「はい」の割合が他の障がいと比べて高くなっています。



参考：平成 28 年度調査結果



(89) 登録したくないと思う理由は何ですか。(複数回答)

※ (88) で「いいえ」と答えた方に聞きました

身体問 58、知的問 55、精神問 57、児童問 54、難病問 51、家族問 22

障がいのある人等及びその家族すべてで「必要だと思わないから」の割合が最も高くなっています。

(単位：%)

区分	個人情報 が保護さ れるか心配だから	他人の世話にな りたくないから	必要だと思わな いから	自身(家族)の状 況を知られたくない から	その他	不明・無回 答
身体障がいのある人 (N=85)	10.6	15.3	52.9	5.9	20.0	1.2
知的障がいのある人 (N=24)	16.7	8.3	41.7	4.2	29.2	-
精神障がいのある人 (N=71)	28.2	22.5	42.3	31.0	8.5	2.8
障がいのある児童等 (N=33)	36.4	18.2	39.4	24.2	24.2	-
難病患者 (N=61)	19.7	8.2	73.8	4.9	9.8	-
障がいのある人の家族 (N=217)	23.0	11.1	57.1	8.3	11.1	2.3

[主な「その他」の内容]

内容
家族がいるから
今のところは自分でできる
登録したいがどのように登録すればよいか分からない
避難場所が近い
町内会に入っていないから
助けて頂けるとはとても思えない
知らない人が来て理解ができずついていけない
本人がいやがる
施設入所のため
迷惑を掛けるから

(90) 地震や台風などの災害時に備え、障がいのある人や高齢者などの避難について、地域でどのようなことに取り組むべきだと思いますか。(複数回答)

身体問 59、知的問 56、精神問 58、児童問 55、難病問 52、一般問 17

身体障がいのある人及び障がいのない人で「近所での日頃からの協力的体制づくり」、知的障がいのある人で「災害時の情報伝達方法の確立」、精神障がいのある人で「障がいなど配慮が必要な人のための支援物資の確保」、障がいのある児童等で「福祉避難所の拡充」、難病患者で「災害時の医療体制の確立」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

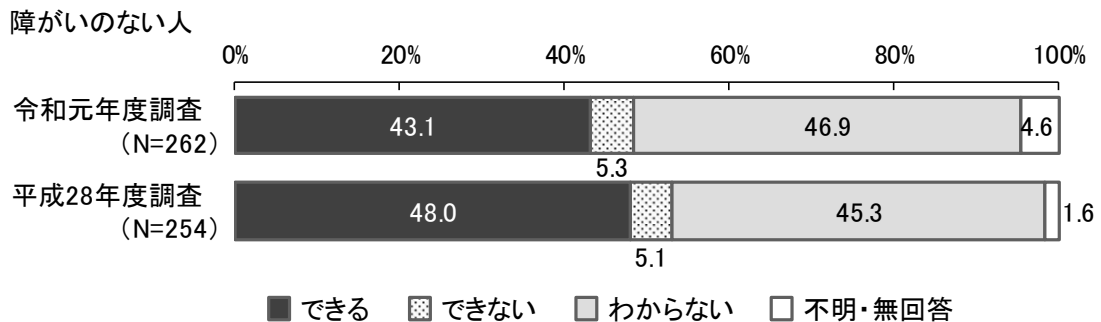
(単位：%)

区分	身体障がいのある人	知的障がいのある人	精神障がいのある人	障がいのある児童等	難病患者	障がいのない人
有効回答数(件)	373	216	206	202	162	262
1位	近所での日頃からの協力的体制づくり (33.8)	災害時の情報伝達方法の確立 (40.3)	障がいなど配慮が必要な人のための支援物資の確保 (27.2)	福祉避難所の拡充 (46.0)	災害時の医療体制の確立 (42.0)	近所での日頃からの協力的体制づくり (45.8)
2位	災害時の医療体制の確立 (26.0)	福祉避難所の拡充 (30.6)	災害時の医療体制の確立 (26.7)	障がいなど配慮が必要な人のための支援物資の確保 (40.1)	災害時の情報伝達方法の確立 (39.5)	災害時の情報伝達方法の確立 (44.7)
3位	配慮が必要な人のためのトイレ設備やごみ処理の確保 (25.7)	障がいなど配慮が必要な人のための支援物資の確保 (25.5)	災害時の情報伝達方法の確立 (25.7)	災害時の情報伝達方法の確立 (31.2)	近所での日頃からの協力的体制づくり (29.6)	災害時の円滑な避難方法の確立 (33.6)
4位	災害時の情報伝達方法の確立 (25.2)	災害時の生活を支援する体制の確立 (20.8)	わからない (25.2)	災害時の生活を支援する体制の確立 (30.7)	災害時の生活を支援する体制の確立 (29.6)	災害時の医療体制の確立 (29.0)
5位	障がいなど配慮が必要な人のための支援物資の確保 (20.4)	災害時の円滑な避難方法の確立 (20.4)	近所での日頃からの協力的体制づくり (23.3)	災害時の医療体制の確立 (28.2)	配慮が必要な人のためのトイレ設備やごみ処理の確保 (25.3)	障がいなど配慮が必要な人のための支援物資の確保 (28.2)

(91) あなたは、災害時に障がいのある人を見かけたら、支援を行うことができますか。

一般問 15

前回の調査と比較して、「できる」の割合が低くなっています。

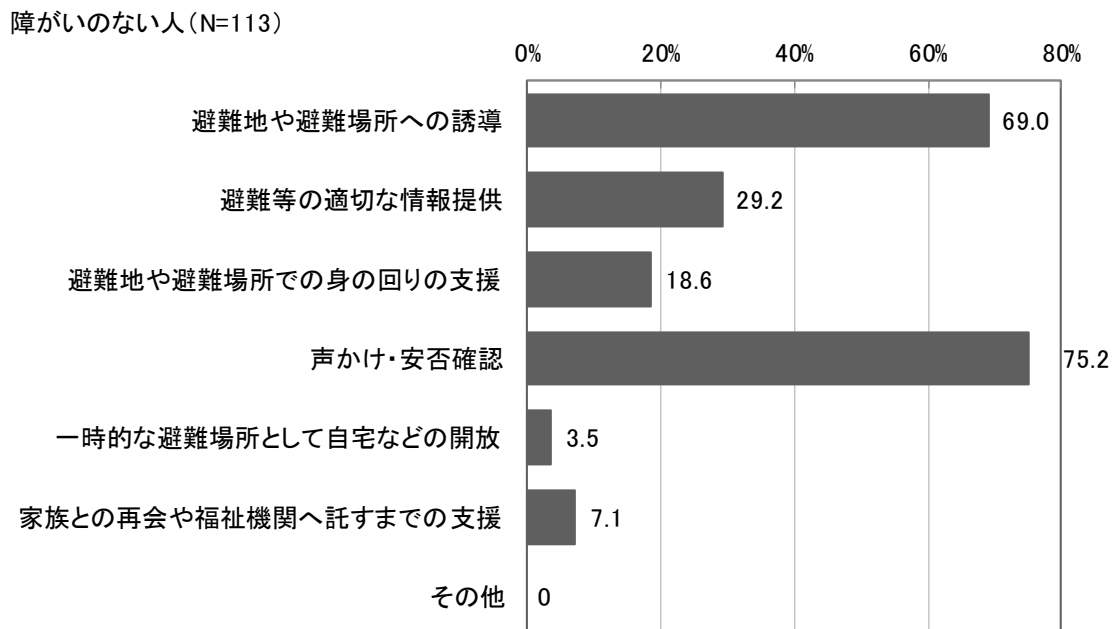


(92) あなたは、どんな支援ができると思いますか。(複数回答)

※ (91) で「できる」と答えた方に聞きました

一般問 16

「声かけ・安否確認」の割合が最も高く、次いで「避難地や避難場所への誘導」となっています。



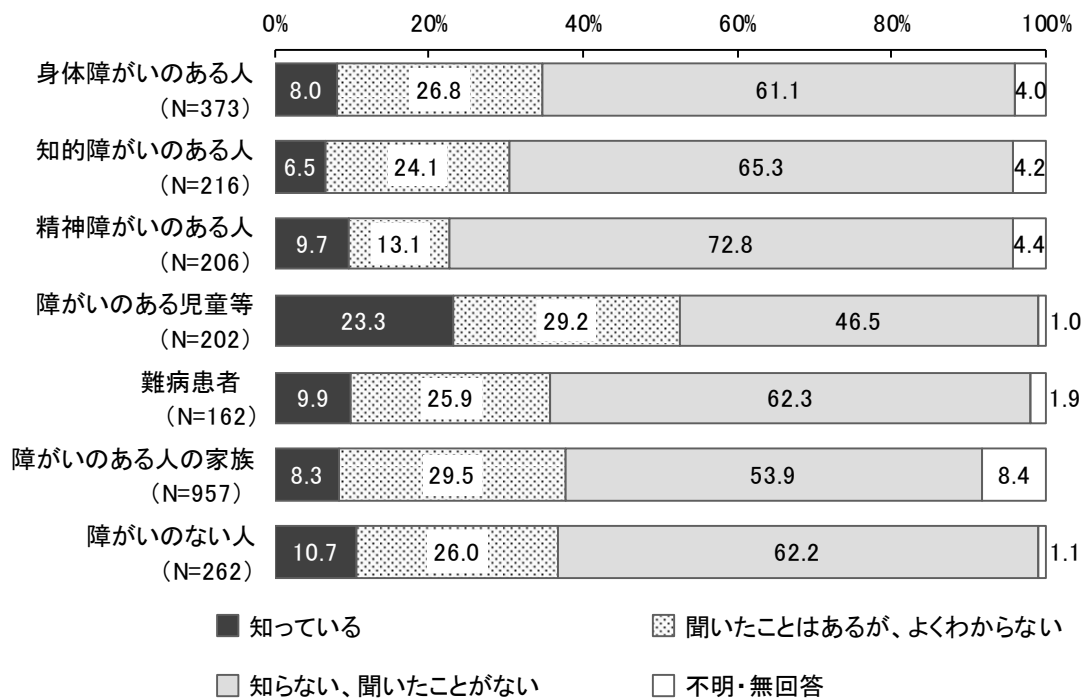
## 12. 障がい者の人権について

(93) 障害者差別解消法では、国や地方公共団体、民間事業所で「合理的配慮」を提供することが求められています。あなたは、「合理的配慮」について知っていますか。

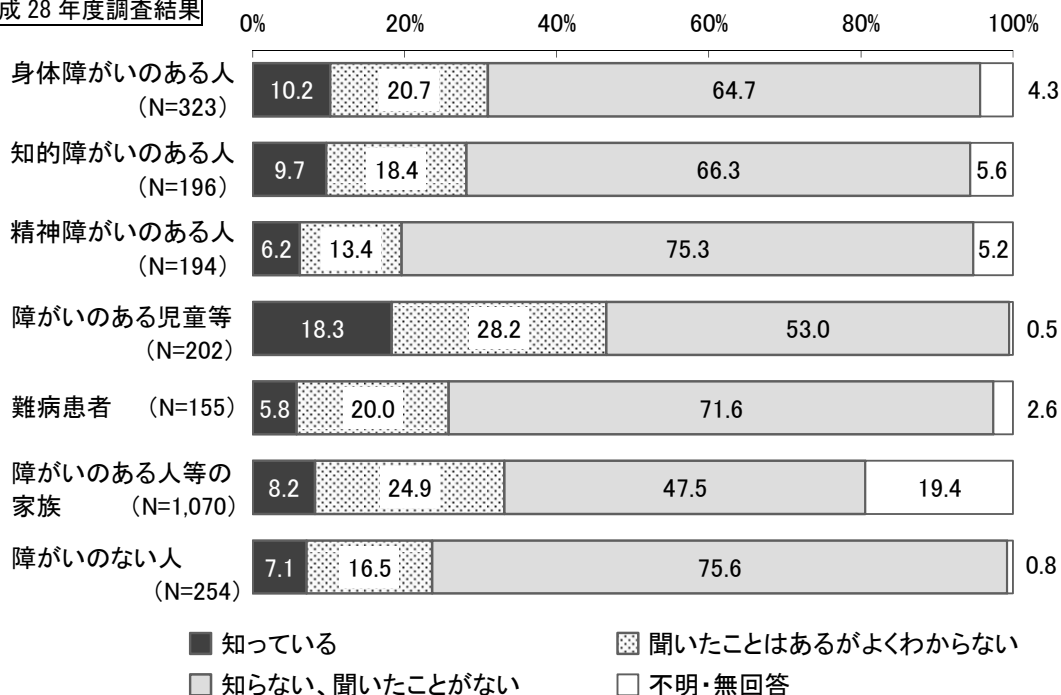
身体問 60、知的問 57、精神問 59、児童問 56、難病問 53、家族問 13、一般問 18

障がいのある人等及びその家族すべてで「知らない、聞いたことがない」の割合が最も高くなっています。

なお、障がいのある児童等で「知っている」「聞いたことはあるが、よくわからない」の割合が他の障がいと比べて高くなっています。



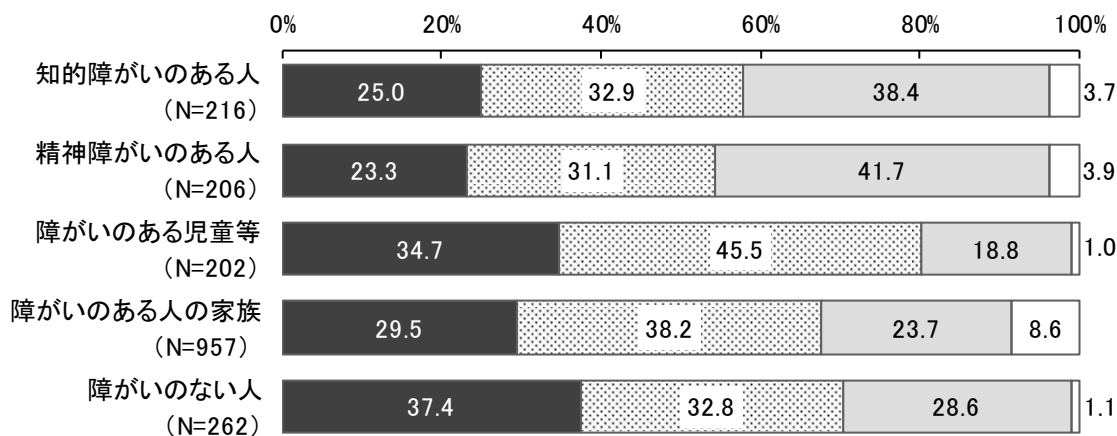
参考：平成 28 年度調査結果



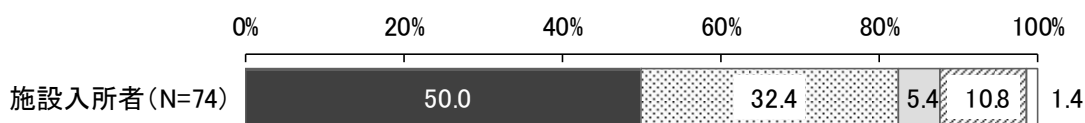
(94) 成年後見制度について、知っていますか。

知的問 58、精神問 60、児童問 57、家族問 15、一般問 22、施設問 3

知的障がいのある人及び精神障がいのある人で「知らない、聞いたことがない」、障がいのある児童等及び障がいのある人の家族で「聞いたことはあるが、よくわからない」、障がいのない人及び施設入所者で「知っている」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

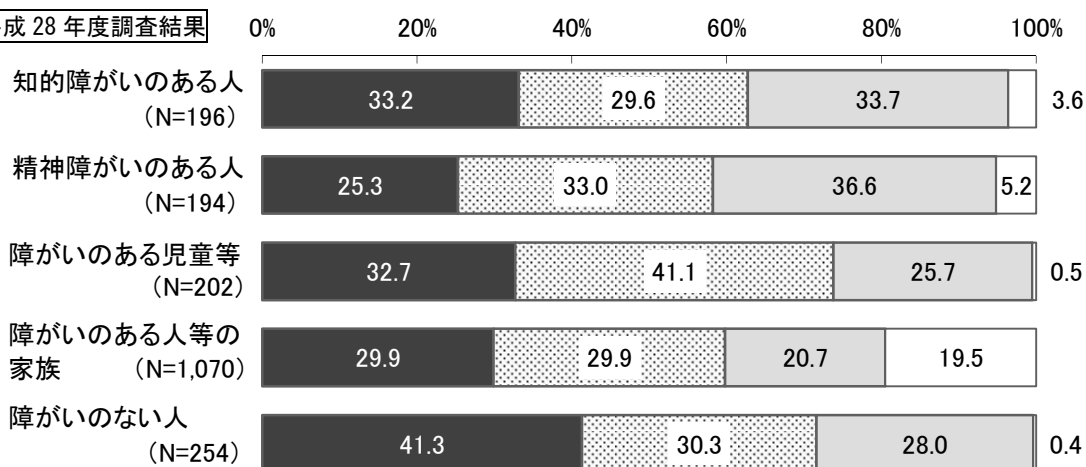


■ 知っている      □ 聞いたことはあるが、よくわからない  
 □ 知らない、聞いたことがない      □ 不明・無回答

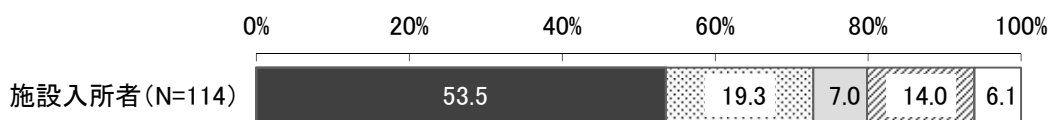


■ 知っている      □ 聞いたことはある      □ 知らない  
 ▨ わからない      □ 不明・無回答

参考：平成 28 年度調査結果



■ 知っている      □ 聞いたことはあるがよくわからない  
 □ 知らない、聞いたことがない      □ 不明・無回答

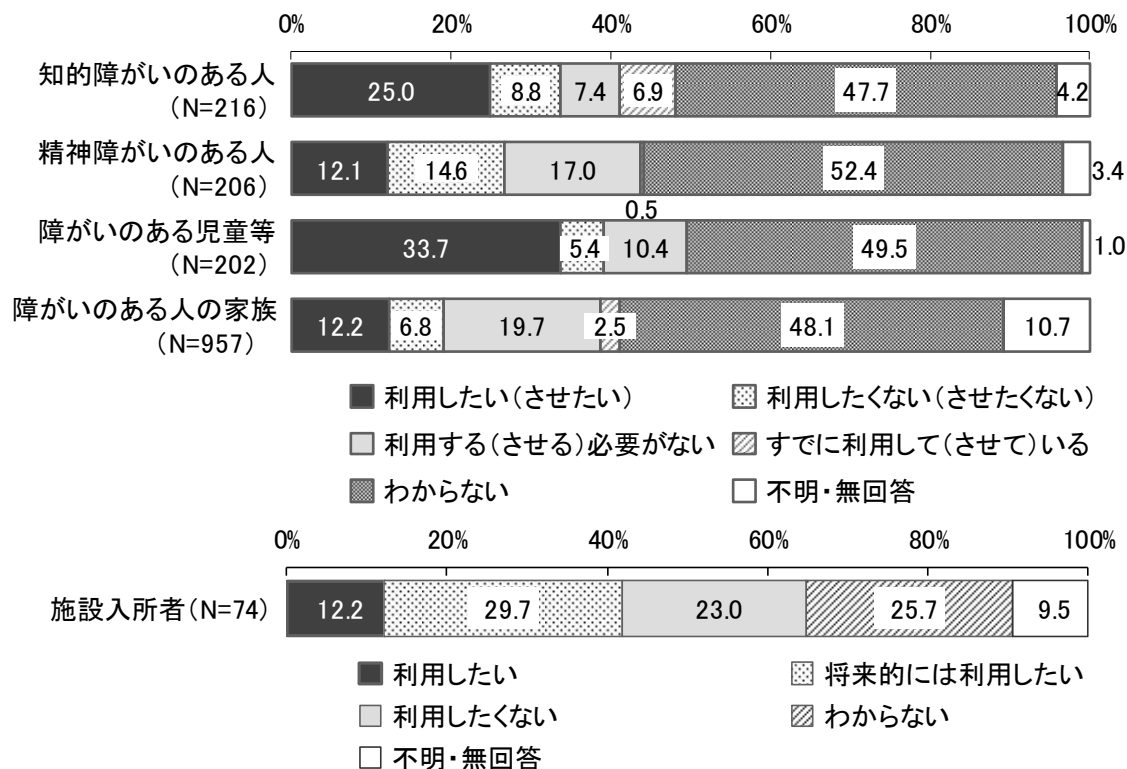


■ 知っている      □ 聞いたことはある      □ 知らない  
 ▨ わからない      □ 不明・無回答

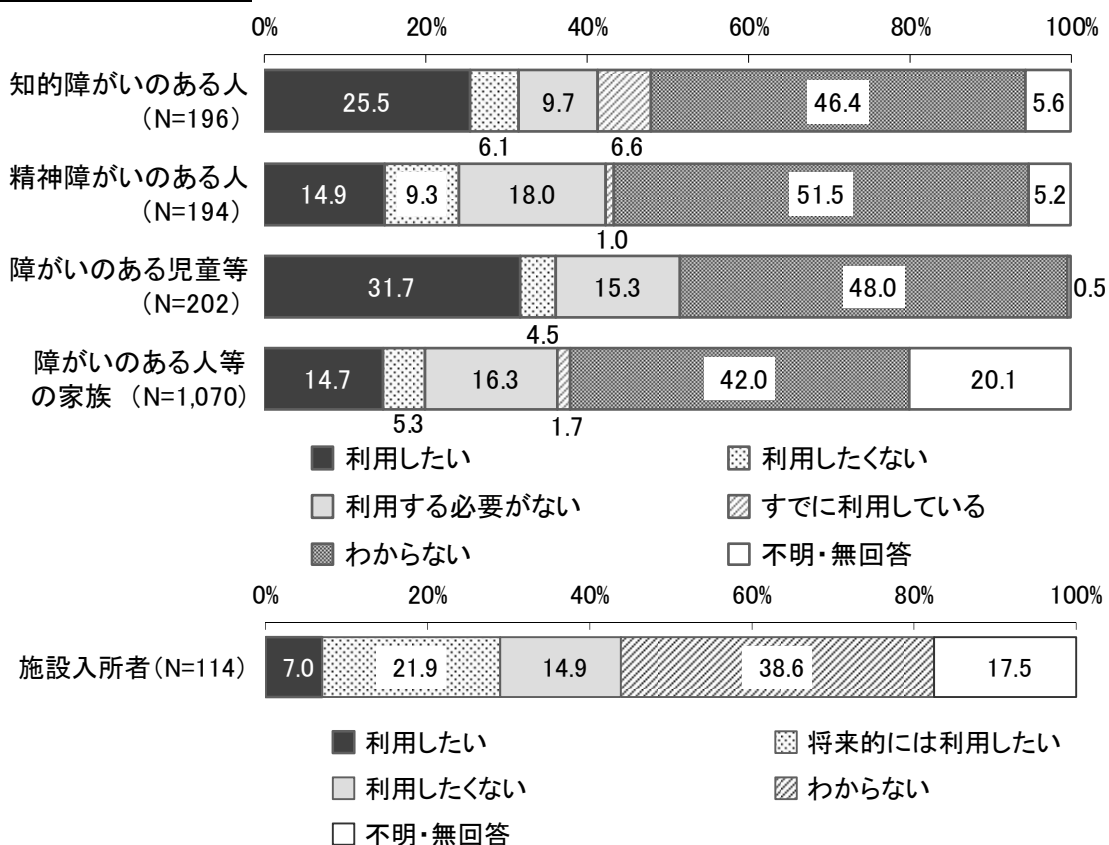
(95) 成年後見制度について、将来的に利用したい(させたい)と思いますか。

知的問 59、精神問 61、児童問 58、家族問 16、施設問 4

「わからない」を除いて、知的障がいのある人及び障がいのある児童等で「利用したい(させたい)」の割合が高くなっています。



参考：平成 28 年度調査結果

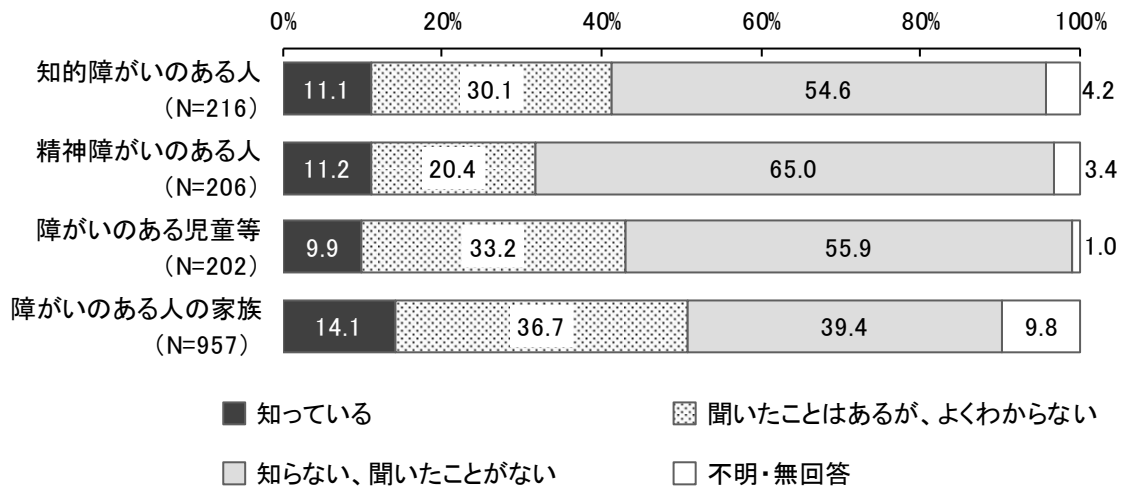




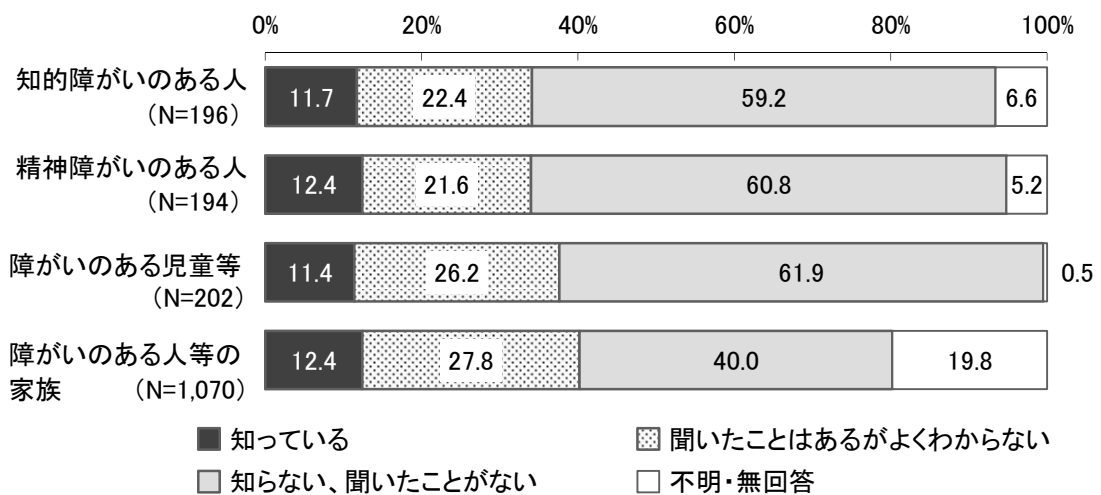
(96) 日常生活自立支援事業について、知っていますか。

知的問 60、精神問 62、児童問 59、家族問 17

障がいのある人等及びその家族すべてで「知らない、聞いたことがない」の割合が最も高くなっています。



参考：平成 28 年度調査結果

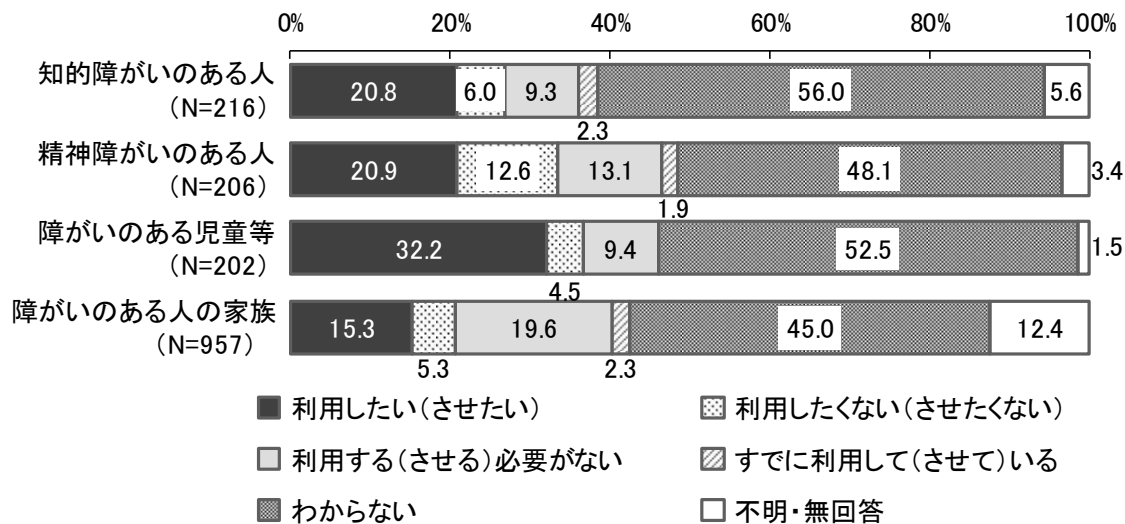


(97) 日常生活自立支援事業について、将来的に利用したい(させたい)と思いますか。

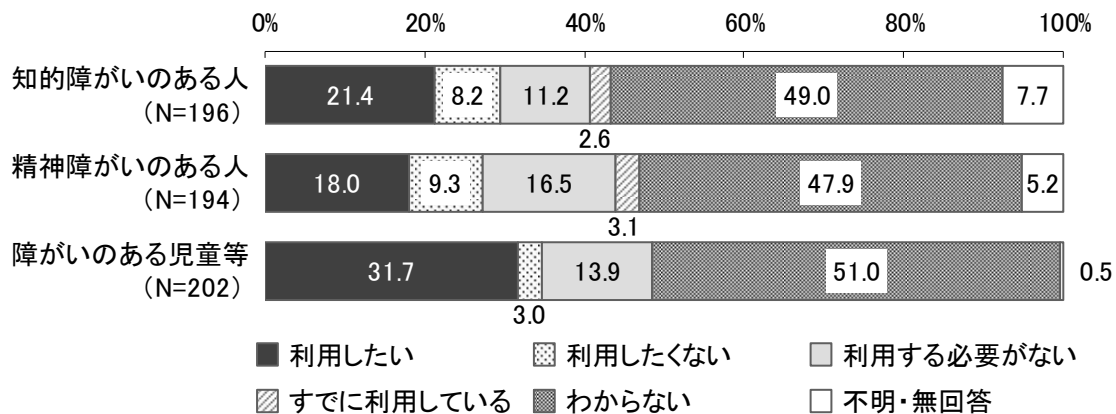
知的問 61、精神問 63、児童問 60、家族問 18

障がいのある人等及びその家族すべてで「わからない」の割合が最も高くなっています。

なお、障がいのある児童等で「利用したい(させたい)」の割合が他の障がいと比べて高くなっています。



参考：平成 28 年度調査結果

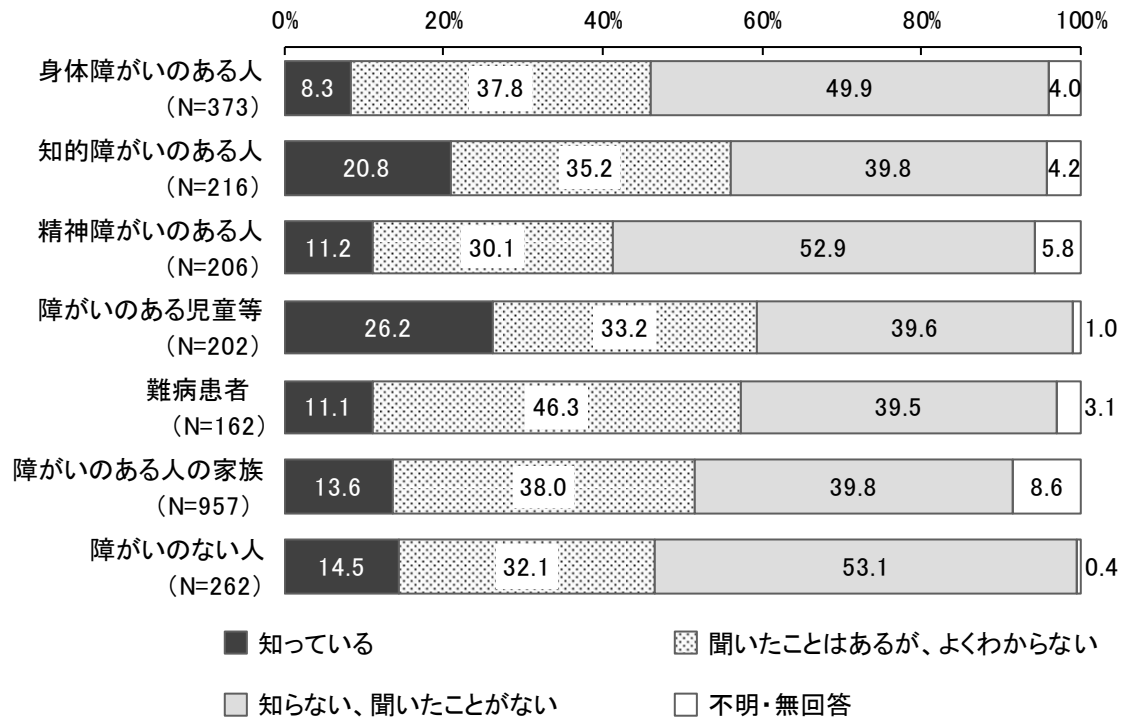


**(98) 障害者虐待防止法(障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律)について知っていますか。**

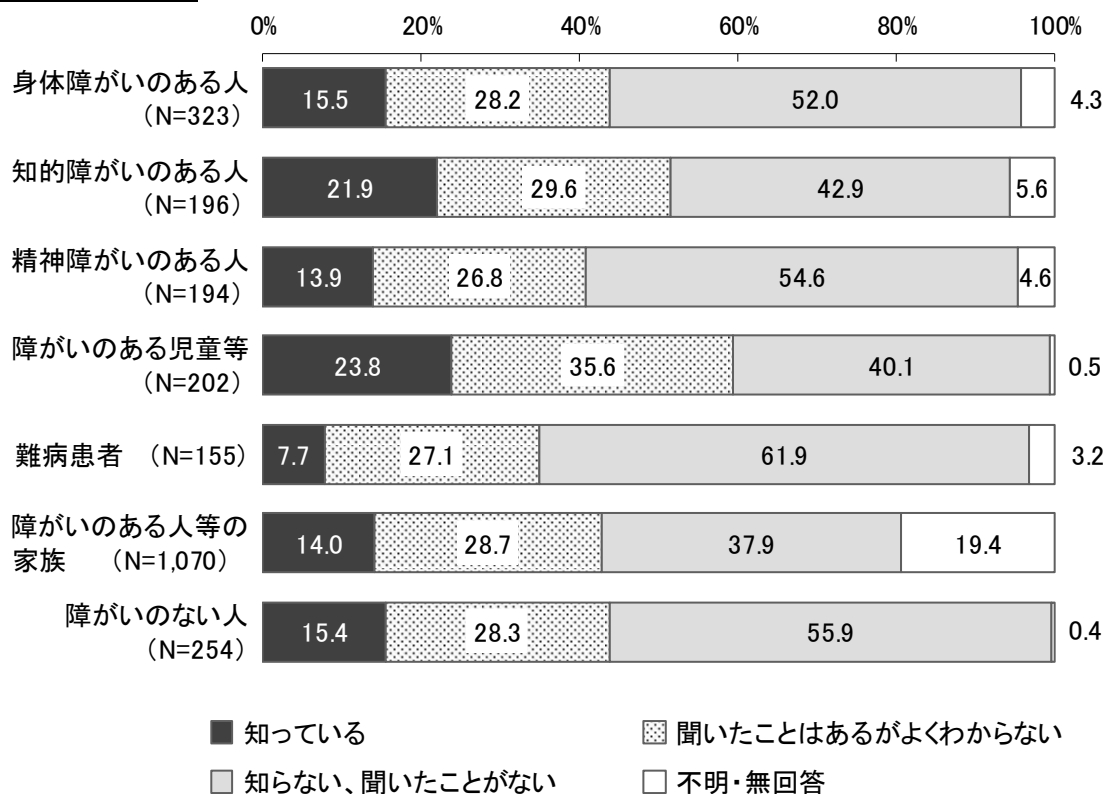
身体問 61、知的問 62、精神問 64、児童問 61、難病問 54、家族問 14、一般問 19

難病患者以外すべてで「知らない、聞いたことがない」の割合が最も高くなっています。

なお、知的障がいのある人及び障がいのある児童等で「知っている」の割合が他の障がいと比べて高くなっています。



参考：平成 28 年度調査結果

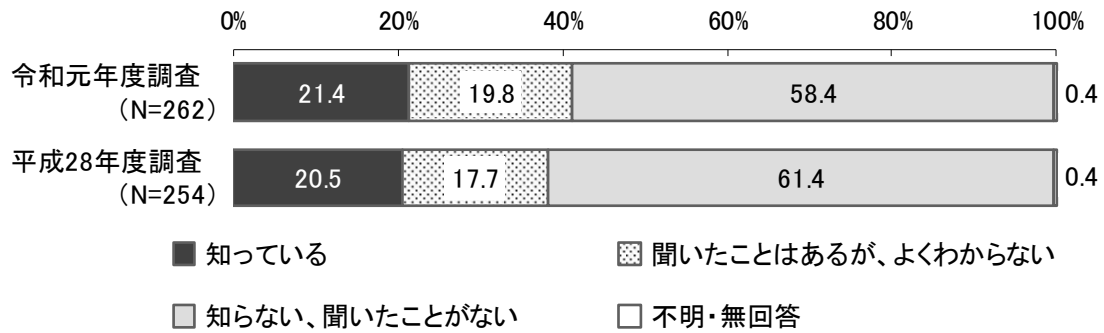


(99) あなたは、障害者虐待防止法について、虐待を受けたと思われる障がいのある人を発見した場合に通報する義務があることを知っていますか。

一般問 20

前回の調査と比較して、「知っている」の割合が少し増加しています。

障がいのない人

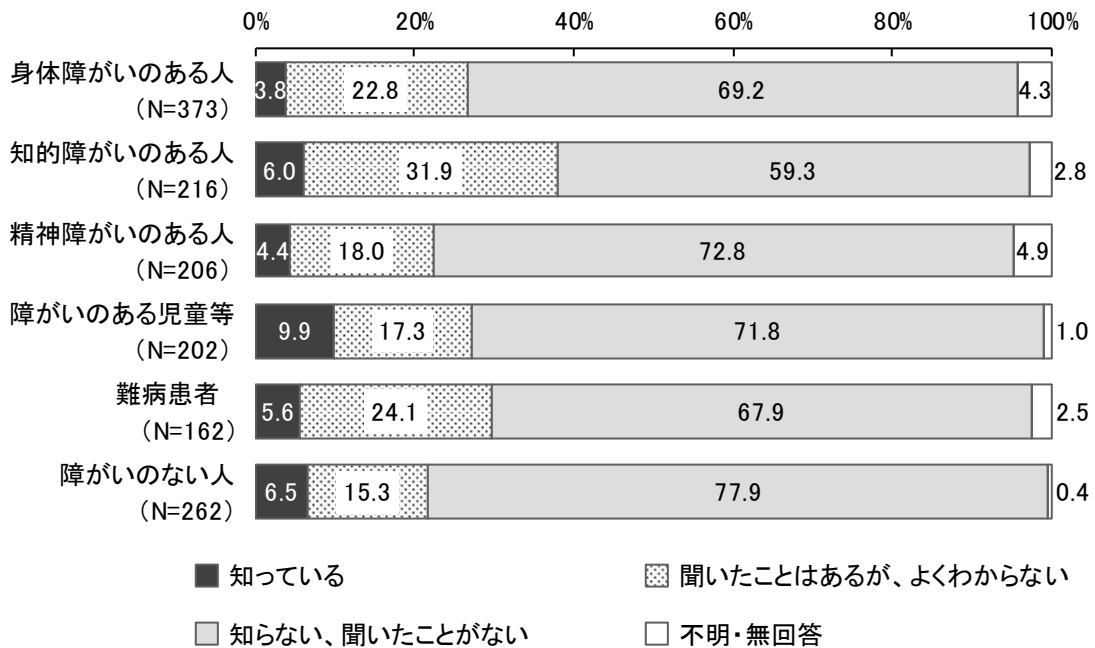


(100) 障がい者虐待に関する通報を受けつける電話窓口の障がい者虐待防止ホットラインを知っていますか。

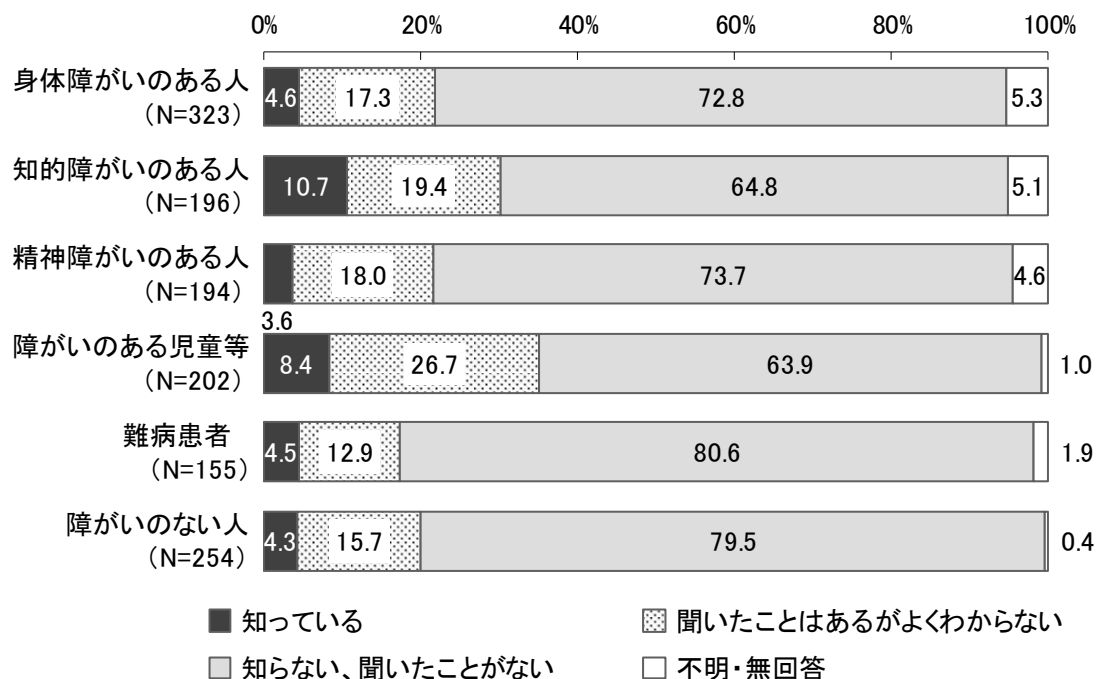
身体問 62、知的問 63、精神問 65、児童問 62、難病問 55、一般問 21

障がいのある人等及び障がいのない人すべてで「知らない、聞いたことがない」の割合が最も高くなっています。

前回の調査と比較して、身体障がいのある人、知的障がいのある人及び難病患者で「聞いたことはあるが、よくわからない」の割合が高くなっています。



参考：平成 28 年度調査結果

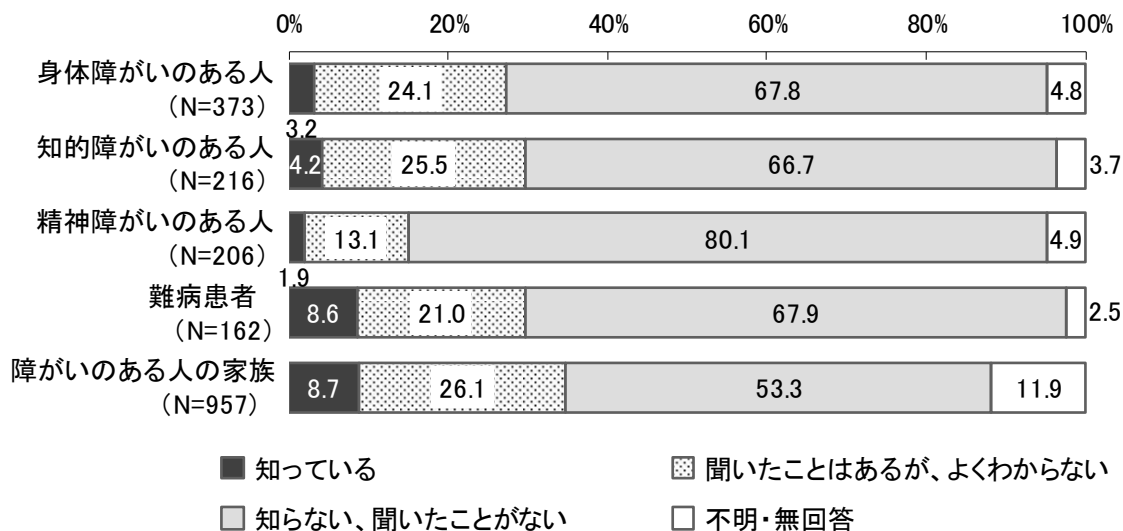


**(101) 意思決定支援について知っていますか。**

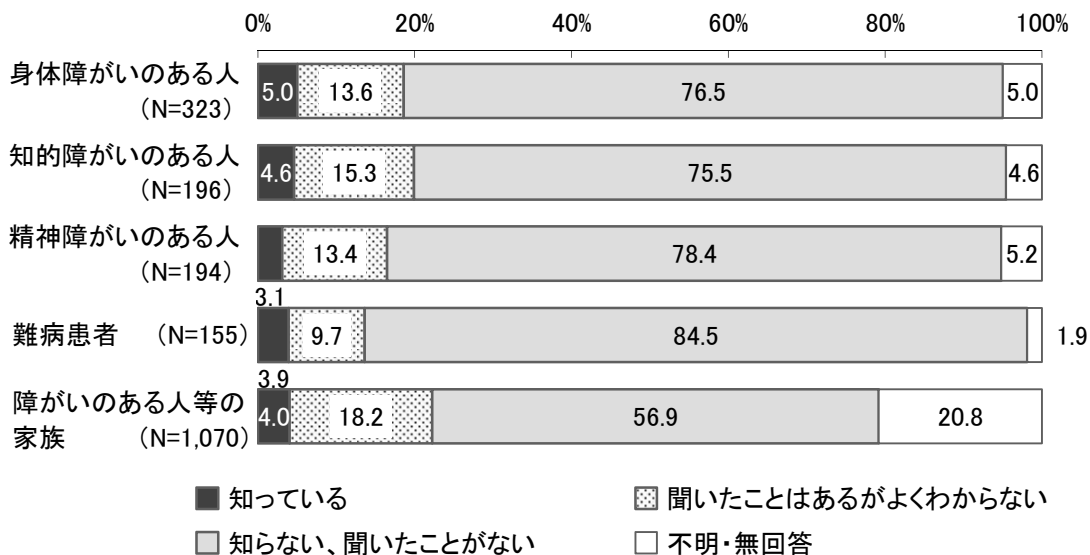
※意思決定支援とは、意思決定が困難な障がいのある人が、日常生活や社会生活等に関して自分自身がしたいと思う生活を送ることができるよう、障がいのある人を支援することです。

身体問 63、知的問 64、精神問 66、難病問 56、家族問 23

障がいのある人及びその家族すべてで「知らない、聞いたことがない」の割合が最も高くなっています。



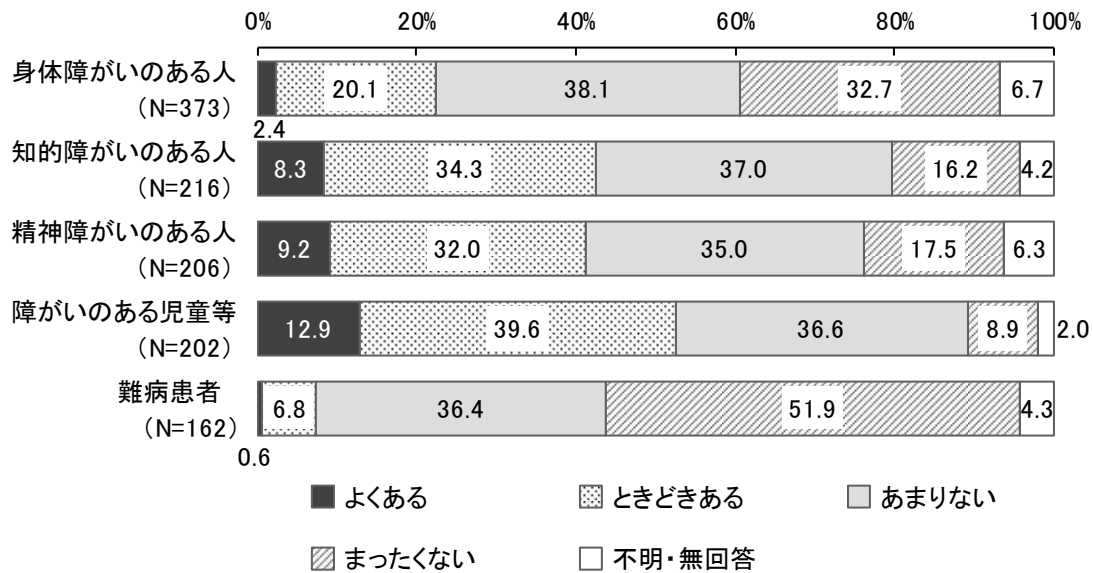
参考：平成 28 年度調査結果



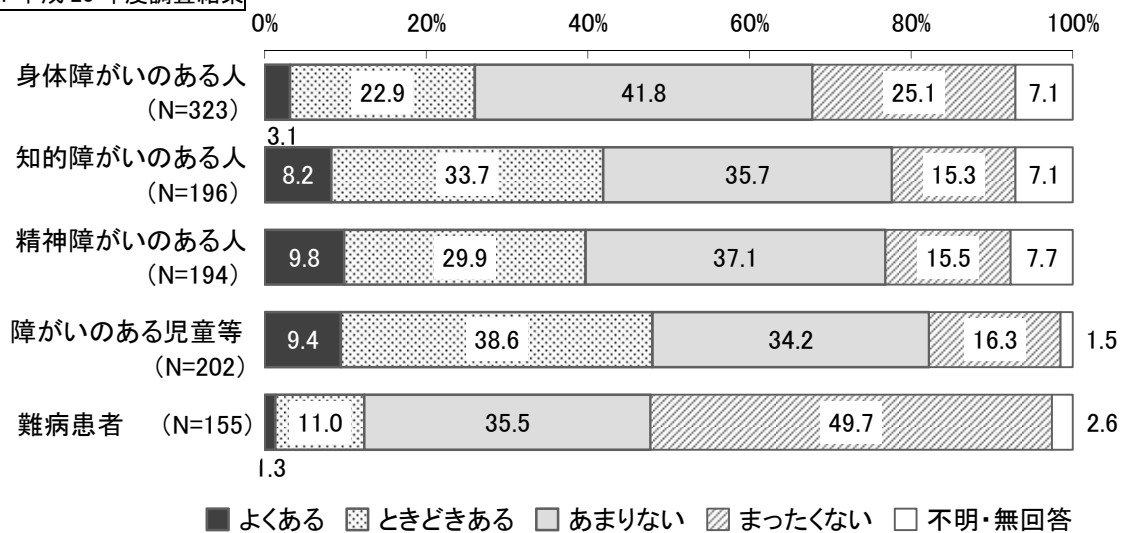
(102) 障がい(疾病)があることで、(お子さんが)普段の生活で不適切な対応をされたり、いやな思いをしたりしたことがありますか。

身体問 64、知的問 65、精神問 67、児童問 63、難病問 57

「よくある」「ときどきある」の合計の割合が知的障がいのある人及び精神障がいのある人で4割超、障がいのある児童等で5割超と高くなっています。



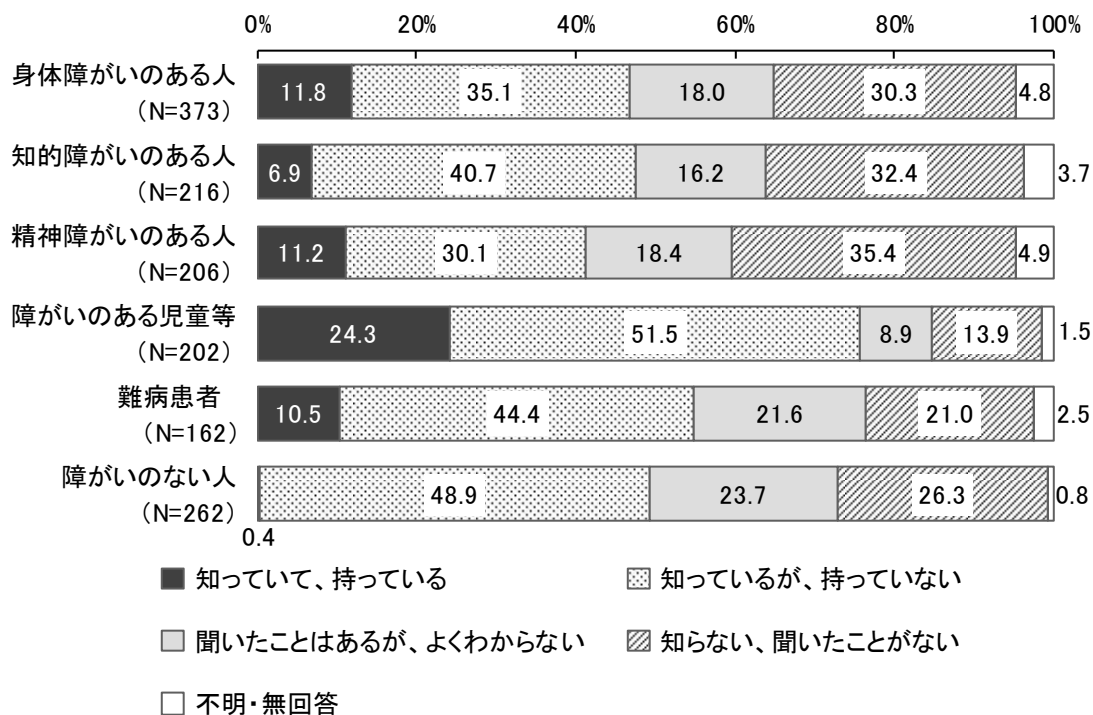
参考：平成 28 年度調査結果



(103) ヘルプマークについて、知っていますか。

身体問 65、知的問 66、精神問 68、児童問 64、難病問 58、一般問 23

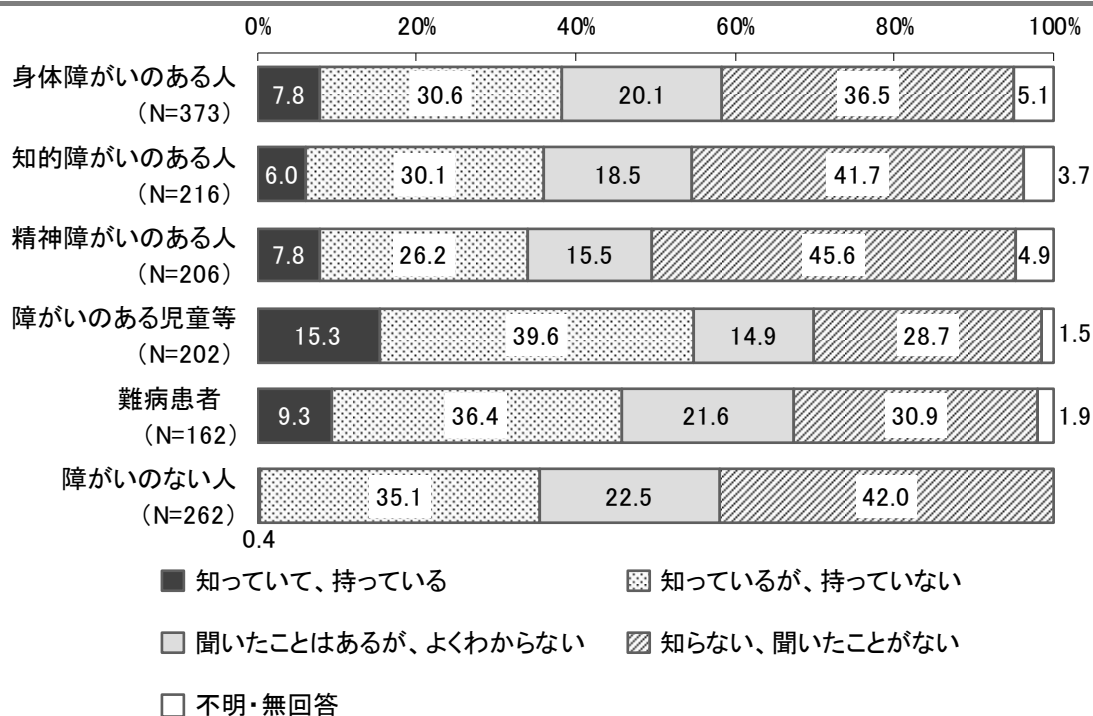
障がいのある児童等で「知っていて、持っている」「知っているが、持っていない」の合計の割合が他の障がいと比べて高く 8 割弱となっています。それ以外の人では、4～5 割程度となっています。



(104) ヘルプカードについて、知っていますか。

身体問 66、知的問 67、精神問 69、児童問 65、難病問 59、一般問 24

障がいのある児童等で「知っていて、持っている」「知っているが、持っていない」の合計の割合が他の障がいと比べて高く 5 割を超えています。それ以外の人では、4 割前後となっています。





(105) (難病患者を含む)障がいのある人への理解を深めるために、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。(複数回答)

身体問 67、知的問 68、精神問 70、児童問 66、難病問 60、家族問 24、一般問 25

全体的には、「学校における児童、生徒の障がいへの理解を促す教育」「障がい理解のための広報・啓発活動」の割合が高くなっています。

なお、障がいのある児童等、障がいのない人で「学校における児童、生徒の障がいへの理解を促す教育」の割合が8割前後と他の障がいと比べて高くなっています。

(単位：%)

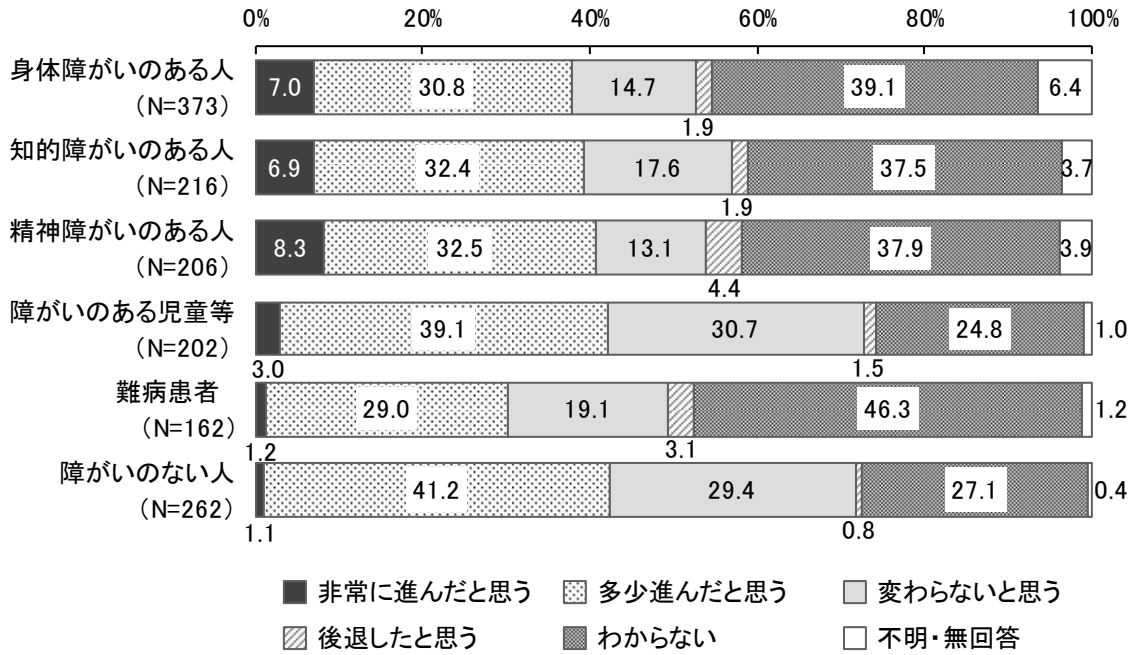
区分	学校における児童、生徒の障がいへの理解を促す教育	障がいの有無に関わらず参加できる行事・イベントの開催	ボランティア活動の促進	障がい理解のための広報・啓発活動	障がいのある人の施設入所から在宅生活への移行	その他	特になし	不明・無回答
身体障がいのある人 (N=373)	40.2	22.8	17.4	39.9	13.7	4.0	19.0	9.7
65歳未満 (N=84)	58.3	28.6	20.2	53.6	7.1	4.8	11.9	2.4
65歳以上 (N=283)	34.6	20.1	15.9	36.4	15.2	3.9	21.2	12.0
知的障がいのある人 (N=216)	47.2	30.1	21.3	35.2	10.6	5.1	12.5	9.3
精神障がいのある人 (N=206)	32.0	20.9	12.6	40.8	13.1	8.3	18.4	10.2
障がいのある児童等 (N=202)	79.2	35.6	14.4	43.1	9.4	5.9	5.0	2.5
難病患者 (N=162)	43.2	20.4	18.5	45.1	3.7	2.5	23.5	4.3
障がいのある人の家族 (N=957)	40.1	24.2	20.0	43.3	12.0	2.5	15.3	16.2
障がいのない人 (N=262)	83.2	41.6	21.8	52.7	6.9	3.4	3.4	1.1

## 13. 障がい者施策について

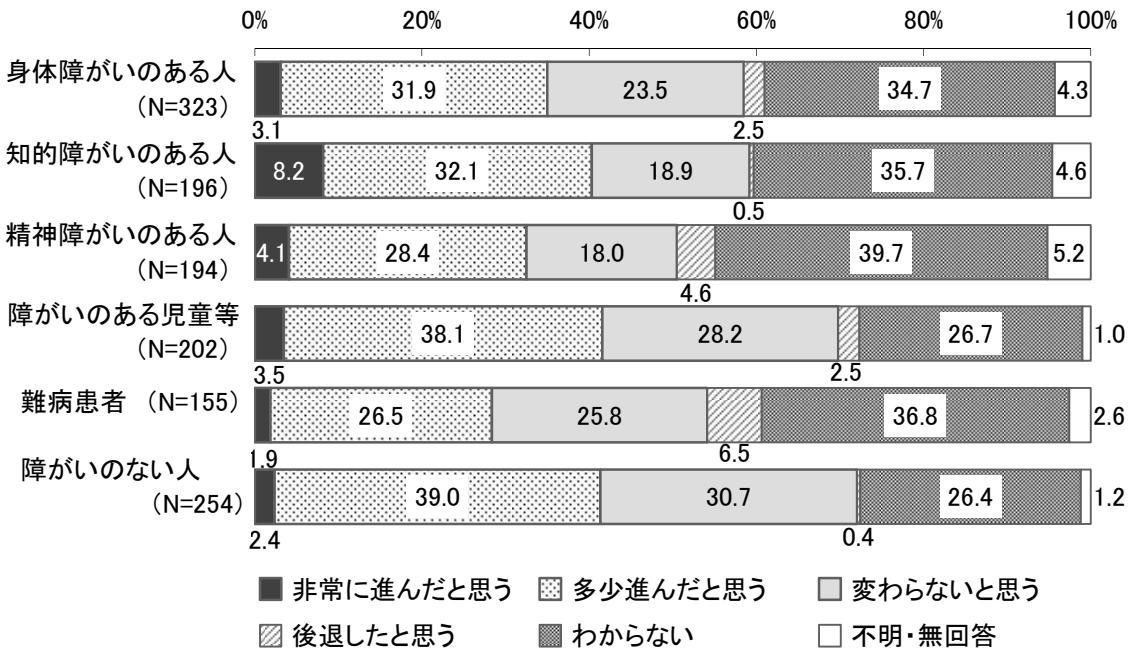
(106) 5年前と比べて福祉・教育・雇用・まちづくりなどの(難病患者を含む)障がい者施策は進んだと思いますか。

身体問 68、知的問 69、精神問 71、児童問 67、難病問 61、一般問 26

前回の調査と比較して、精神障がいのある人で「非常に進んだと思う」「多少進んだと思う」の合計の割合が増加しています。



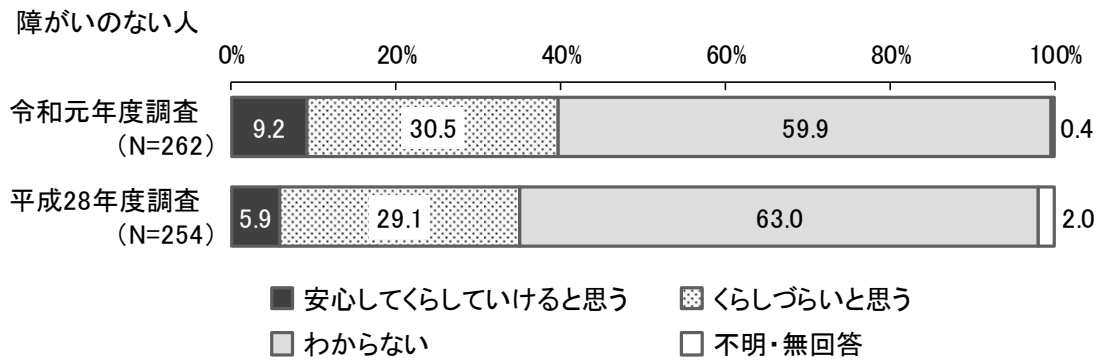
参考：平成 28 年度調査結果



(107) あなたが、もし障がいのある状態になったら、春日井市で安心して過ごしていけると  
思いますか。

一般問 27

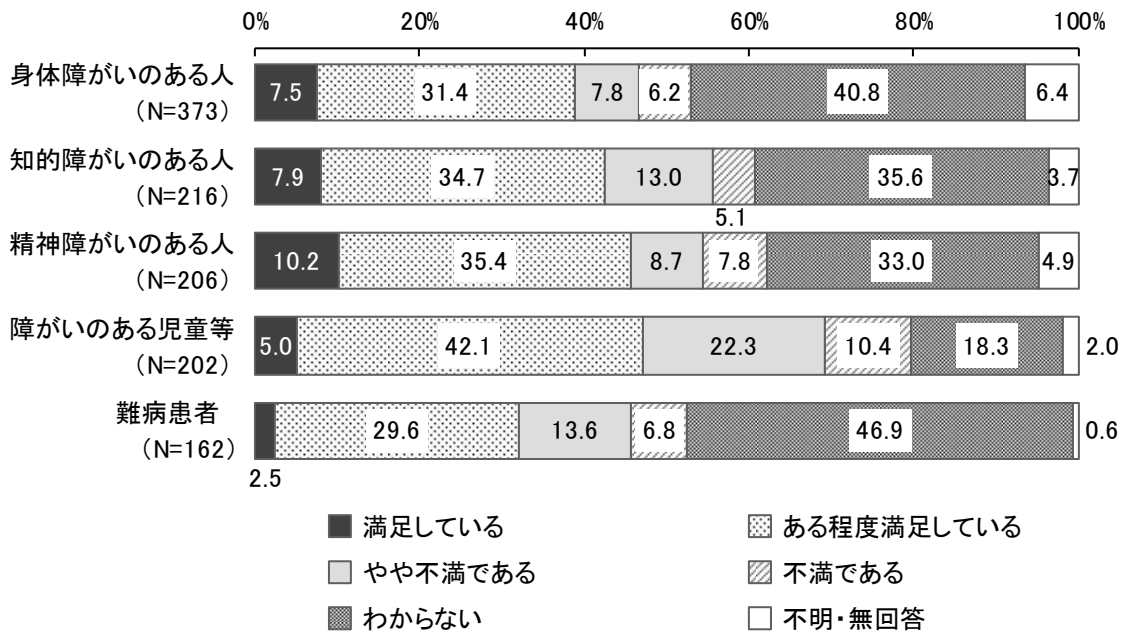
前回の調査と比較して、「安心して過ごしていけると思う」の割合が少し増加しています。



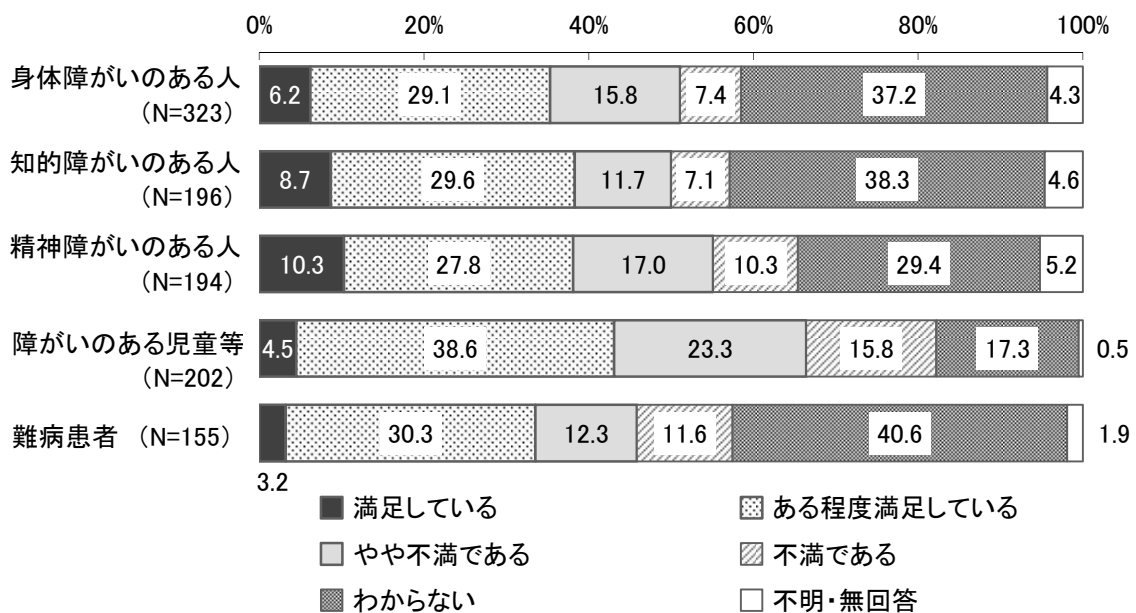
(108) 春日井市における福祉・教育・雇用・まちづくりなどの(難病患者を含む)障がい者施策について満足していますか。

身体問 69、知的問 70、精神問 72、児童問 68、難病問 62

前回の調査と比較して、障がいのある人等すべてで「やや不満である」「不満である」の合計の割合が減少しています。



参考：平成 28 年度調査結果



(109) 今後、特に充実すべきだと考える(難病患者を含む)障がい者施策について(複数回答)

身体問 70、知的問 71、精神問 73、児童問 69、難病問 63、一般問 29

全体的には、災害時の避難体制に関する事、日常生活を支援する人や施設に関する事、就労支援に関する事が上位となっています。

なお、精神障がいのある人で差別に関する事、難病患者で医療費の負担軽減に関する事の割合がそれぞれ最も高くなっています。

(単位：%)

区分	身体障がいの ある人	知的障がいの ある人	精神障がいの ある人	障がいの ある児童等	難病患者	障がいのない人
有効回答 数(件)	373	216	206	202	162	262
1位	障がいのある 人が災害時の 避難で困らな いような体制 をつくること  (36.7)	相談支援の相 談員やヘルパ ー、施設の支 援員など、障 がいのある人 の日常生活を 支援する人や 施設の数を増 やすこと  (42.1)	障がいのある 人に対する差 別をなくすこ と  (35.9)	障がいのある 人がその適性 に応じて能力 を十分に発揮 することがで きるよう、就 労を支援する こと  (59.9)	障がいのある 人が負担する 医療費を減ら すこと  (42.6)	障がいのある 人がその適性 に応じて能力 を十分に発揮 することがで きるよう、就 労を支援する こと  (59.9)
2位	相談支援の相 談員やヘルパ ー、施設の支 援員など、障 がいのある人 の日常生活を 支援する人や 施設の数を増 やすこと  (27.9)	障がいのある 人が災害時の 避難で困らな いような体制 をつくること  (39.4)	障がいのある 人がその適性 に応じて能力 を十分に発揮 することがで きるよう、就 労を支援する こと  (30.6)	相談支援の相 談員やヘルパ ー、施設の支 援員など、障 がいのある人 の日常生活を 支援する人の 支援や施設の 設備の質を高 めること  (40.6)	障がいのある 人が災害時の 避難で困らな いような体制 をつくること  (33.3)	相談支援の相 談員やヘルパ ー、施設の支 援員など、障 がいのある人 の日常生活を 支援する人や 施設の数を増 やすこと  (48.1)
3位	相談支援の相 談員やヘルパ ー、施設の支 援員など、障 がいのある人 の日常生活を 支援する人の 支援や施設の 設備の質を高 めること  (25.7)	相談支援の相 談員やヘルパ ー、施設の支 援員など、障 がいのある人 の日常生活を 支援する人の 支援や施設の 設備の質を高 めること  (32.9)	障がいのある 人が負担する 医療費を減ら すこと  (29.6)	障がいのある 人が災害時の 避難で困らな いような体制 をつくること  (39.6)	相談支援の相 談員やヘルパ ー、施設の支 援員など、障 がいのある人 の日常生活を 支援する人や 施設の数を増 やすこと  (25.9)	相談支援の相 談員やヘルパ ー、施設の支 援員など、障 がいのある人 の日常生活を 支援する人の 支援や施設の 設備の質を高 めること  (43.1)
4位	公共施設、駅、 デパートなど をバリアフリ ー化すること  (25.7)	障がいのある 人がその適性 に応じて能力 を十分に発揮 することがで きるよう、就 労を支援する こと  (31.0)	相談支援の相 談員やヘルパ ー、施設の支 援員など、障 がいのある人 の日常生活を 支援する人や 施設の数を増 やすこと  (25.7)	相談支援の相 談員やヘルパ ー、施設の支 援員など、障 がいのある人 の日常生活を 支援する人や 施設の数を増 やすこと  (38.6)	障がいのある 人が身近な病 院や診療所で 検診や検査を 受けることが できるように すること  (25.3)	公共施設、駅、 デパートなど をバリアフリ ー化すること  (41.2)

区分	身体障がいのある人	知的障がいのある人	精神障がいのある人	障がいのある児童等	難病患者	障がいのない人
5位	障がいのある人が身近な病院や診療所で検診や検査を受けることができるようにすること  (24.4)	障がいのある人に対する差別をなくすること  (30.1)	障がいのある人が身近な病院や診療所で検診や検査を受けることができるようにすること  (24.3)	可能な限り障がいのある児童・生徒が障がいのない児童・生徒と共に学ぶことができるようにすること  (37.1)	相談支援の相談員やヘルパー、施設の支援員など、障がいのある人の日常生活を支援する人の支援や施設の設備の質を高めること  (24.7)	可能な限り障がいのある児童・生徒が障がいのない児童・生徒と共に学ぶことができるようにすること  (36.6)

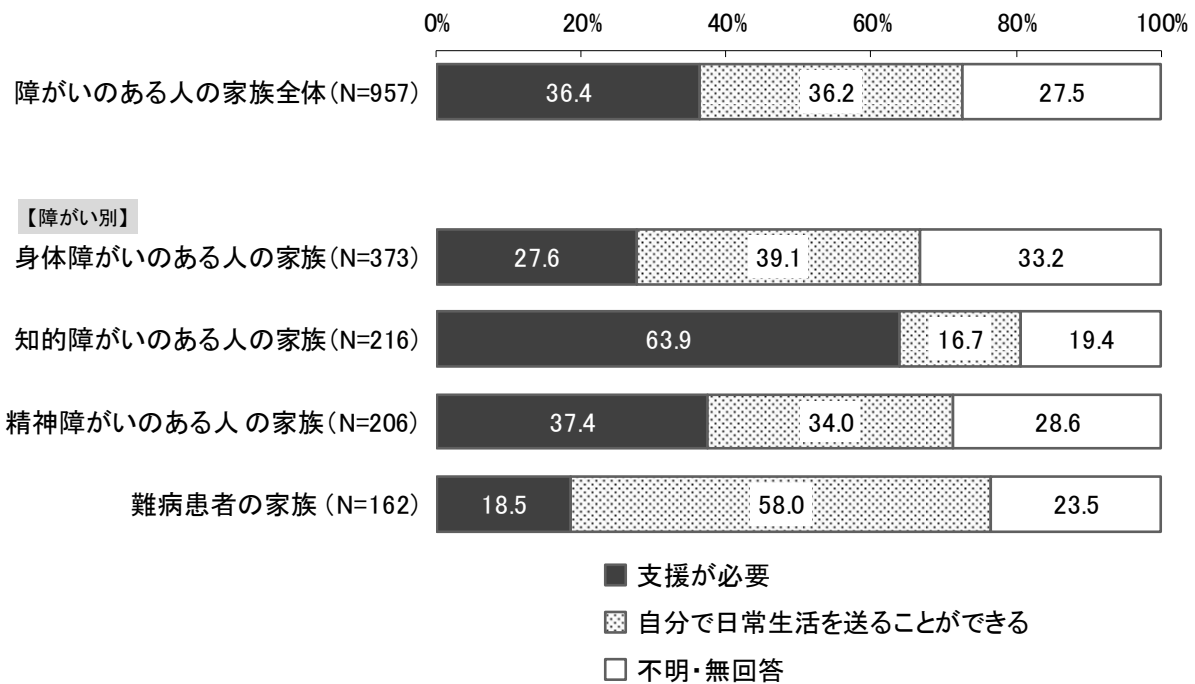
## 14. 障がいのある人の家族について

(110) 宛名の方は、日常生活において家族の方などの支援(見守りなどの配慮を含む。)を必要としていますか。

家族問 1

障がいのある人の家族全体で「支援が必要」「自分で日常生活を送ることができる」の割合がそれぞれ4割弱となっています。

障がい別では、知的障がいのある人の家族で「支援が必要」の割合がその他の障がいのある人の家族と比べて高くなっています。



(111) 宛名の方から見てあなた(支援者)は次のどれにあたりますか。

※ (110) で「支援が必要」と答えた方に聞きました

家族問 2

障がいのある人の家族全体で「親」の割合が最も高く、次いで、「夫・妻」となっています。

(単位：%)

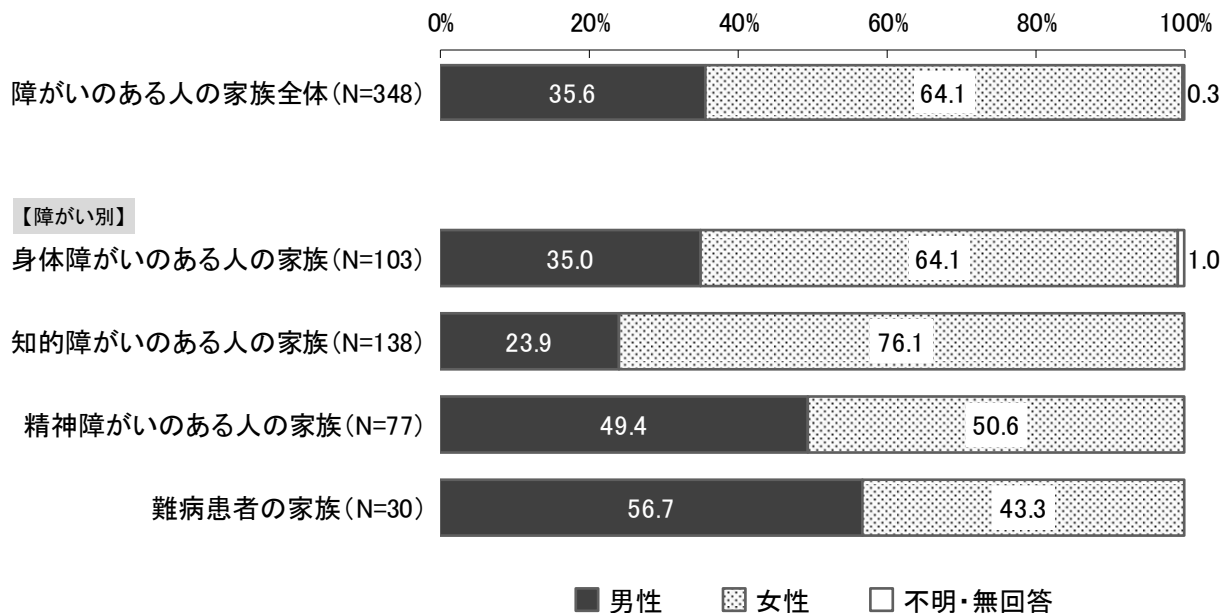
区分	夫・妻	親	子ども	子どもの夫・妻	兄弟姉妹	祖父・祖母	孫	その他の親族	その他	不明・無回答
障がいのある人の家族全体 (N=348)	31.0	43.7	13.5	1.7	5.5	-	-	0.6	2.3	1.7
身体障がいのある人の家族 (N=103)	51.5	13.6	23.3	3.9	2.9	-	-	1.0	1.9	1.9
知的障がいのある人の家族 (N=138)	2.9	76.8	6.5	-	8.0	-	-	0.7	3.6	1.4
精神障がいのある人の家族 (N=77)	40.3	37.7	14.3	-	6.5	-	-	-	1.3	-
難病患者の家族 (N=30)	66.7	10.0	10.0	6.7	-	-	-	-	-	6.7

## (112) あなた(支援者)の性別について

※ (110) で「支援が必要」と答えた方に聞きました

家族問 3

障がいのある人の家族全体で「女性」の割合が6割強となっています。



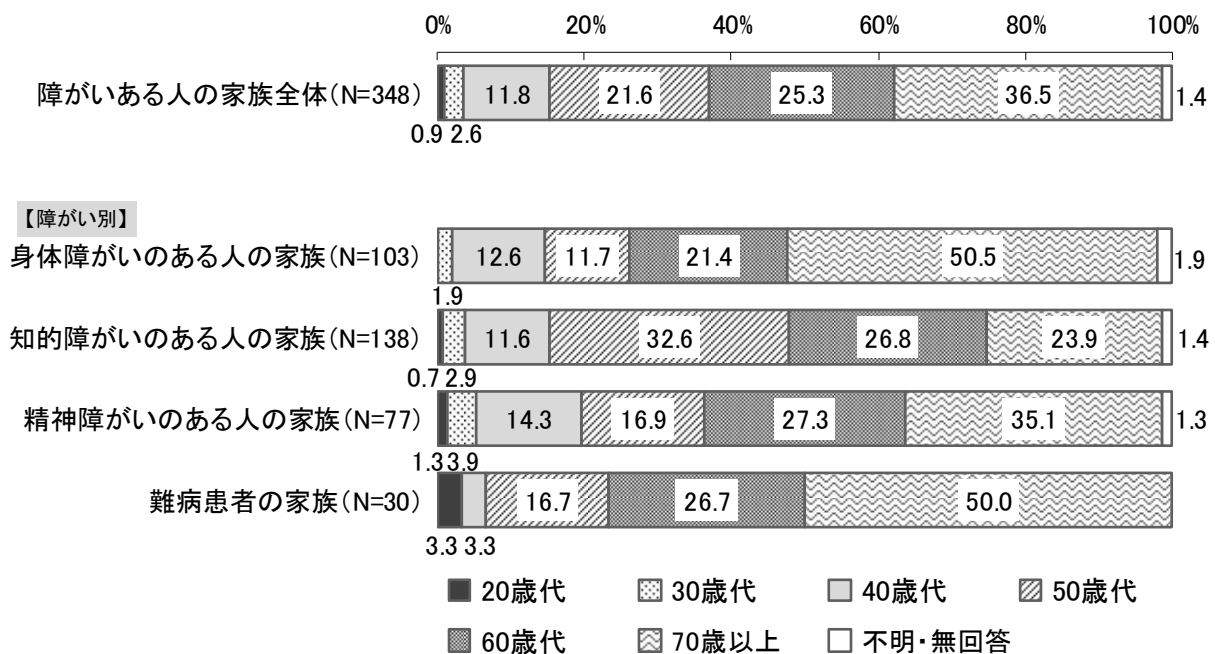
## (113) あなた(支援者)の年齢について(令和元年 10月1日現在)

※ (110) で「支援が必要」と答えた方に聞きました

家族問 4

障がいのある人の家族全体で「70歳以上」の割合が最も高く、次いで「60歳代」となっています。

なお、身体障がいのある人の家族及び難病者の家族で「70歳以上」の割合が5割程度と他の障がいと比べて高くなっています。



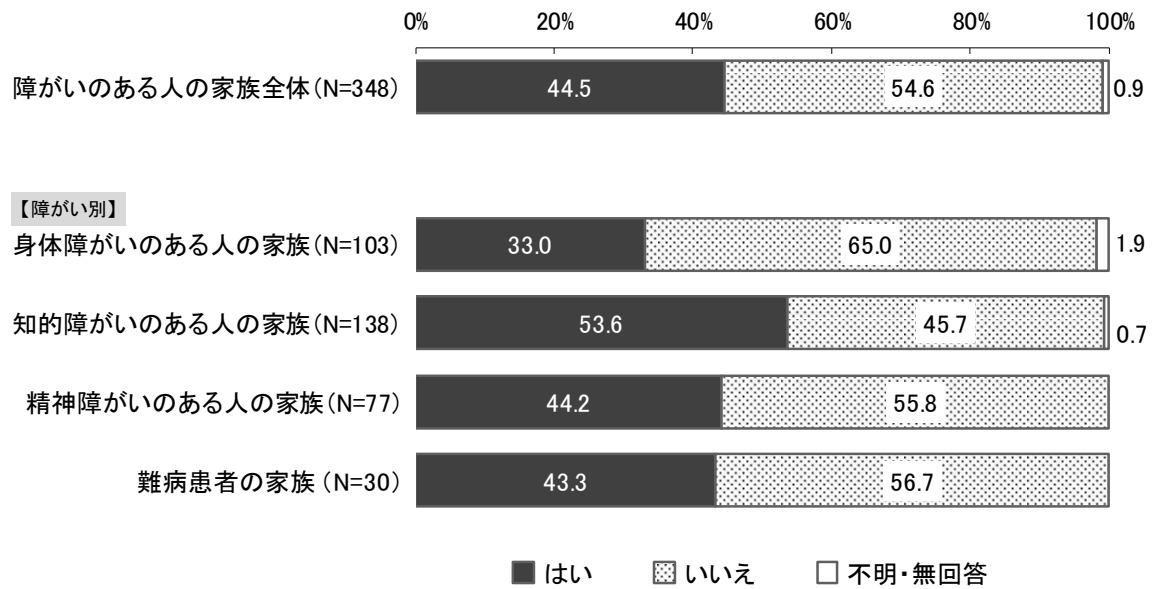


(114) あなた(支援者)は仕事をしていますか。

※ (110) で「支援が必要」と答えた方に聞きました

家族問 5

障がいのある人の家族全体で「はい」(仕事をしている)の割合が4割強となっています。

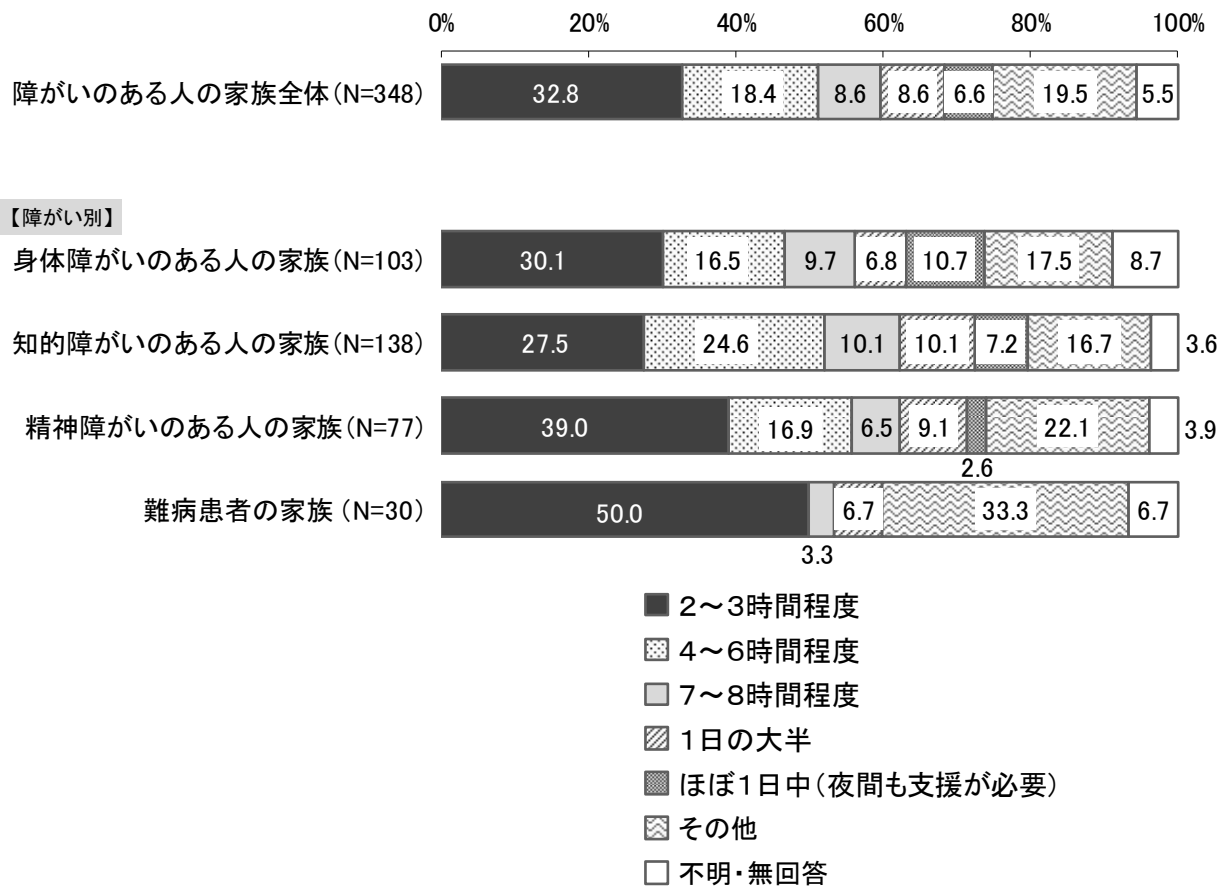


(115) あなた(支援者)が1日あたりの支援にかけている時間はどれくらいですか。

※ (110) で「支援が必要」と答えた方に聞きました

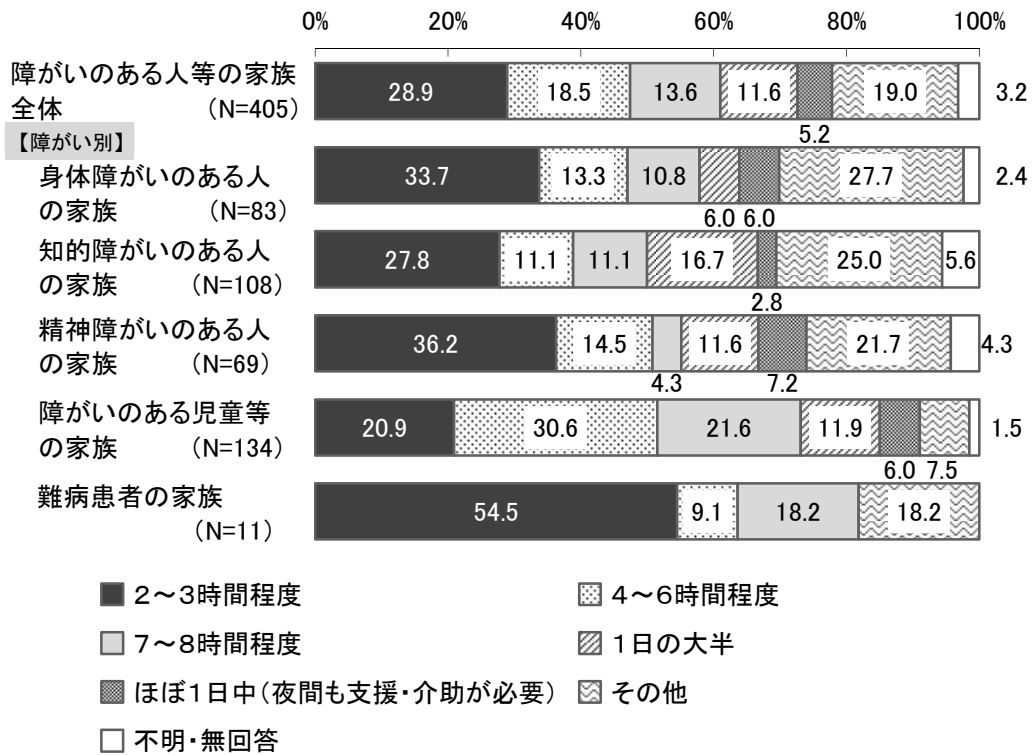
家族問6

障がいのある人の家族全体で「2～3時間程度」の割合が最も高く、次いで「4～6時間程度」となっています。



[主な「その他」の内容]

内容
重い物を持つ時のみ
通院時の付き添い等
調子が良い時と悪い時があり日によって違う
食事の用意、出勤時間の指示程度
必要に応じて支援
家にいればいつも
施設に入所しているため0時間
40分位
1～2時間
2～3時間/週
月に1回程度



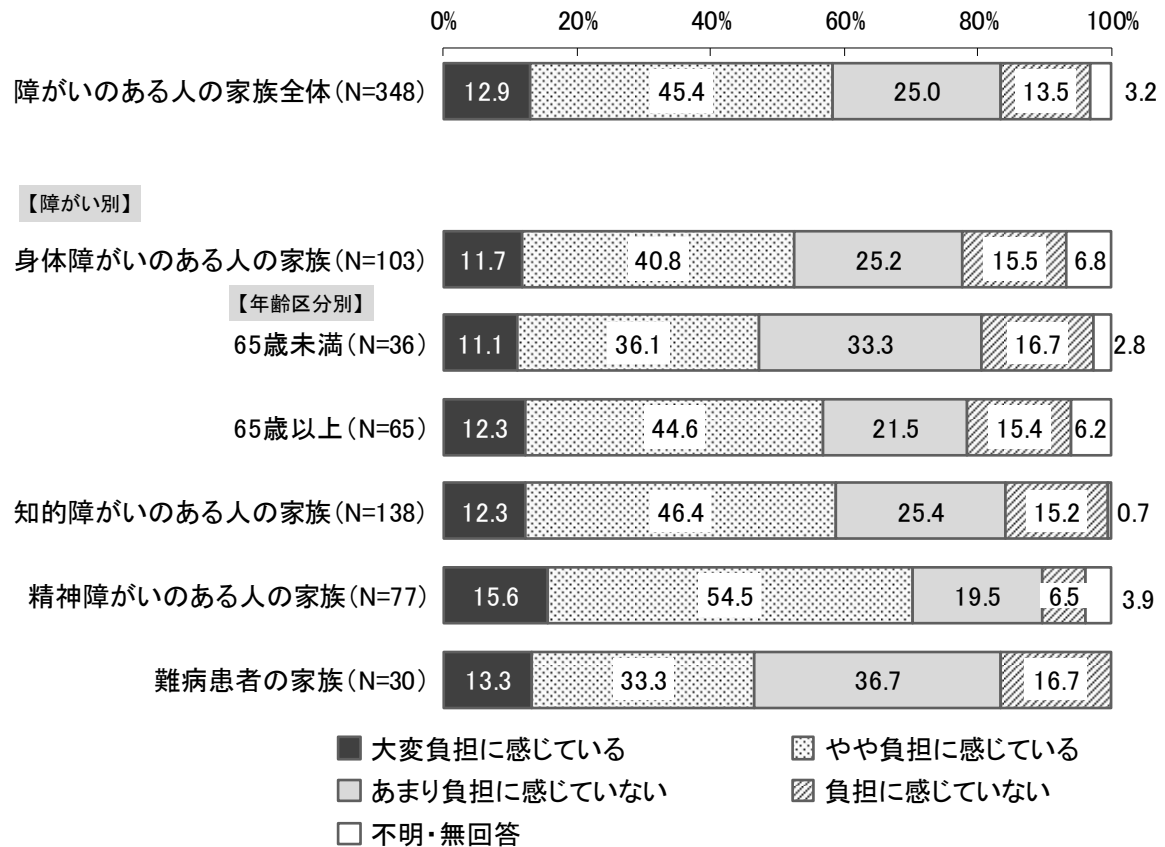
(116) あなた(支援者)が宛名の方ご本人の支援について、負担に感じることはありますか。

※(110)で「支援が必要」と答えた方に聞きました

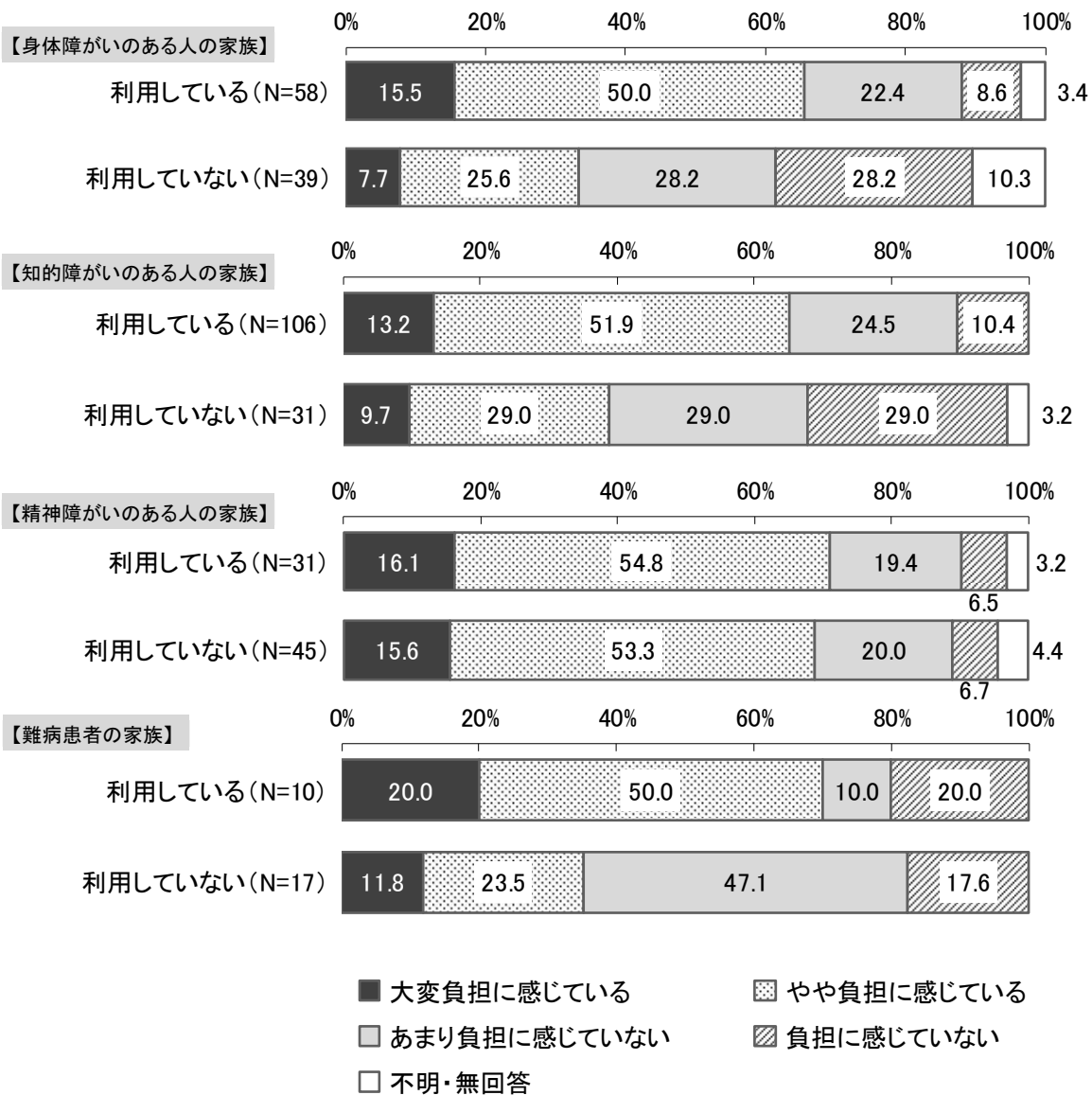
家族問7

障がいのある人の家族全体で「大変負担に感じている」「やや負担に感じている」の合計の割合が6割弱となっています。

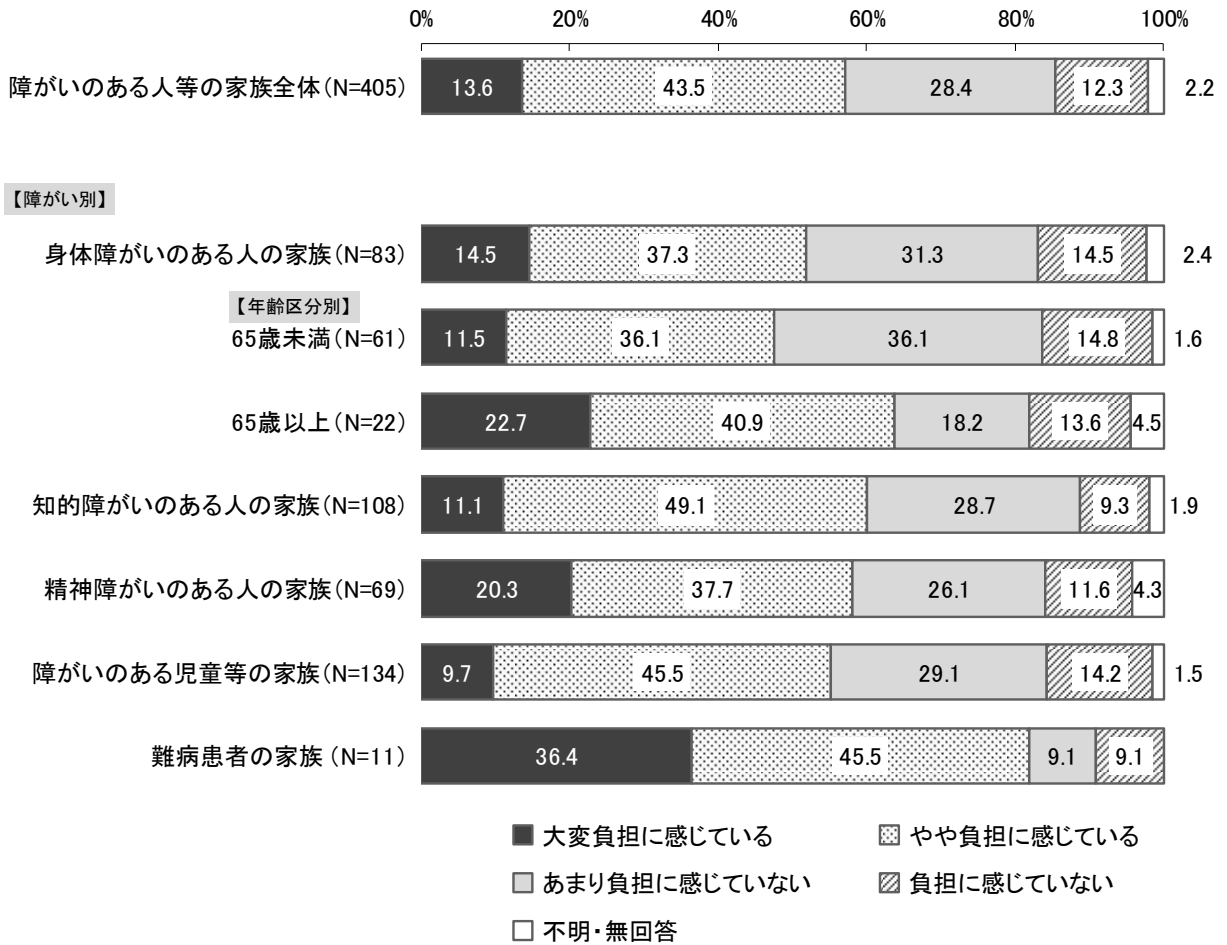
障がい別では、精神障がいのある人の家族で「大変負担に感じている」「やや負担に感じている」の合計の割合がその他の障がいのある人の家族と比べて高くなっています。



【障がい福祉サービスの利用の有無別】



参考：平成 28 年度調査結果



(117) あなた(支援者)が支援する上で困っていることは何ですか。(複数回答)

※ (110) で「支援が必要」と答えた方に聞きました

家族問 8

障がいのある人の家族全体で「心身が疲れる」の割合が最も高く、次いで「必要な時に他の人に支援を頼めない」となっています。

(単位：%)

区分	障がいのある人の家族全体						
		身体障がいのある人の家族			知的障がいのある人の家族	精神障がいのある人の家族	難病患者の家族
		(65歳未満)	(65歳以上)				
有効回答数(件)	348	103	36	65	138	77	30
1位	心身が疲れる (51.1)	心身が疲れる (46.6)	心身が疲れる (38.9)	心身が疲れる (50.8)	心身が疲れる (50.7)	心身が疲れる (59.7)	心身が疲れる (46.7)
2位	必要な時に他の人に支援を頼めない (33.0)	特にな (32.0)	特にな (41.7)	必要な時に他の人に支援を頼めない (33.8)	必要な時に他の人に支援を頼めない (39.9)	必要な時に他の人に支援を頼めない (33.8)	特にな (36.7)
3位	特にな (25.3)	必要な時に他の人に支援を頼めない (31.1)	必要な時に他の人に支援を頼めない (25.0)	特にな (27.7)	特にな (24.6)	相談相手がない (16.9)	外出できない (13.3)
4位	外出できない (17.5)	外出できない (21.4)	外出できない (22.2)	外出できない (21.5)	外出できない (18.1)	外出できない (13.0)	必要な時に他の人に支援を頼めない (6.7)
5位	相談相手がない (8.9)	相談相手がない (4.9)	相談相手がない (5.6)	相談相手がない (4.6)	相談相手がない (8.7)	特にな (13.0)	相談相手がない (3.3)

【障がい福祉サービスの利用の有無別】

全体的に、利用している人の方が「心身が疲れる」「必要な時に他の人に支援を頼めない」「外出できない」等の割合が利用していない人と比べて高くなっています。

(単位：%)

区分	外出できない	心身が疲れる	相談相手がない	必要な時に他の人に支援を頼めない	その他	特にない	不明・無回答
<b>身体障がいのある人の家族</b>							
利用している (N=58)	25.9	69.0	13.8	41.4	3.4	31.0	1.7
利用していない(N=39)	12.8	28.2	2.6	28.2	7.7	43.6	5.1
<b>知的障がいのある人の家族</b>							
利用している (N=106)	20.8	58.5	11.3	46.2	7.5	20.8	5.7
利用していない(N=31)	9.7	25.8	16.1	38.7	6.5	35.5	3.2
<b>精神障がいのある人の家族</b>							
利用している (N=31)	22.6	64.5	41.9	35.5	6.5	9.7	6.5
利用していない(N=45)	6.7	57.8	11.1	37.8	11.1	15.6	4.4
<b>難病患者の家族</b>							
利用している (N=10)	30.0	70.0	10.0	20.0	10.0	10.0	-
利用していない(N=17)	-	29.4	5.9	5.9	-	58.8	5.9

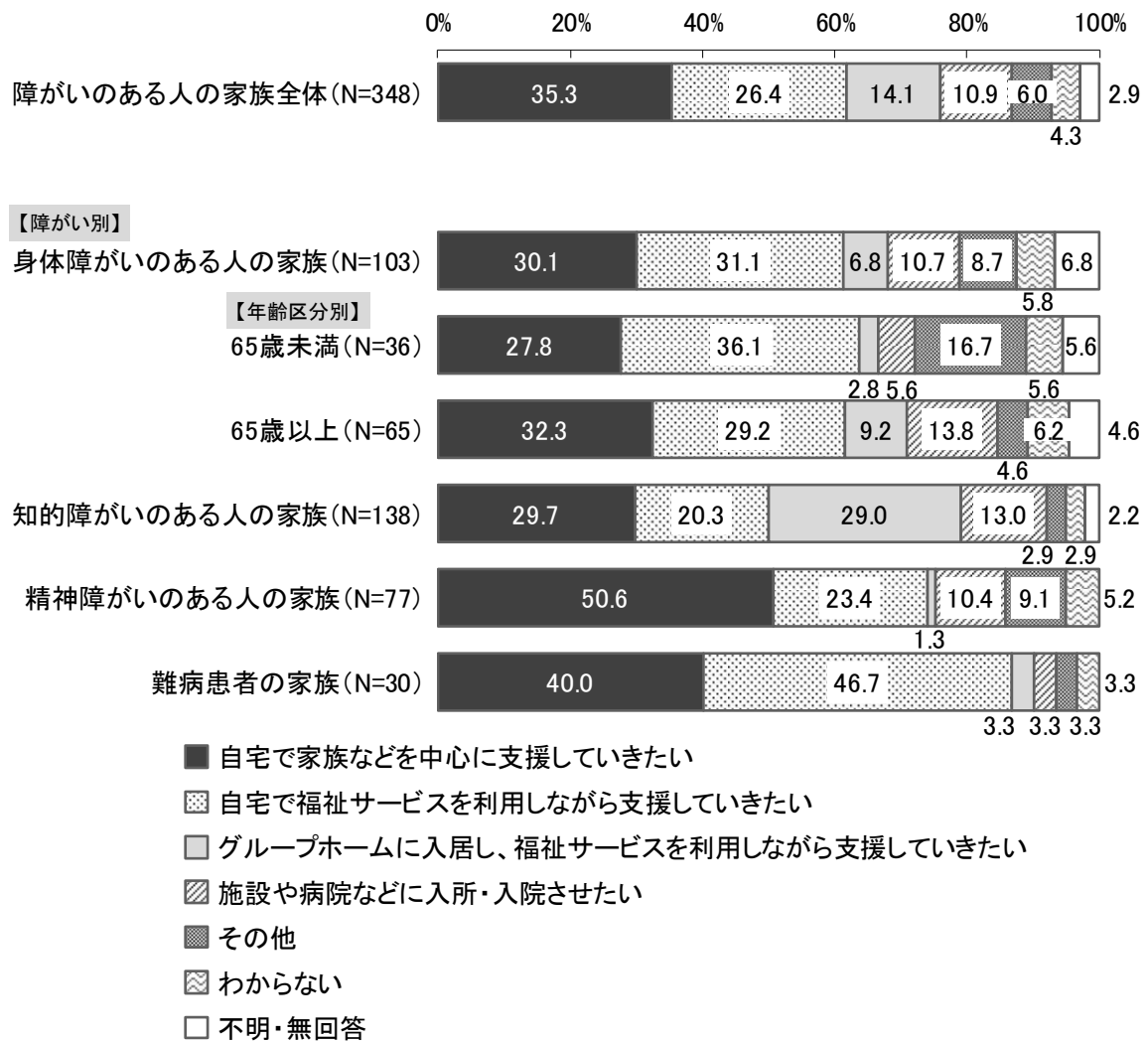


(118) 今後、あなた(支援者)は、どのように支援していきたいと思いますか。

※ (110) で「支援が必要」と答えた方に聞きました

家族問 10

知的障がいのある人の家族及び精神障がいのある人の家族で「自宅で家族などを中心に支援していきたい」、身体障がいのある人の家族及び難病患者の家族で「自宅で福祉サービスを利用しながら支援していきたい」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

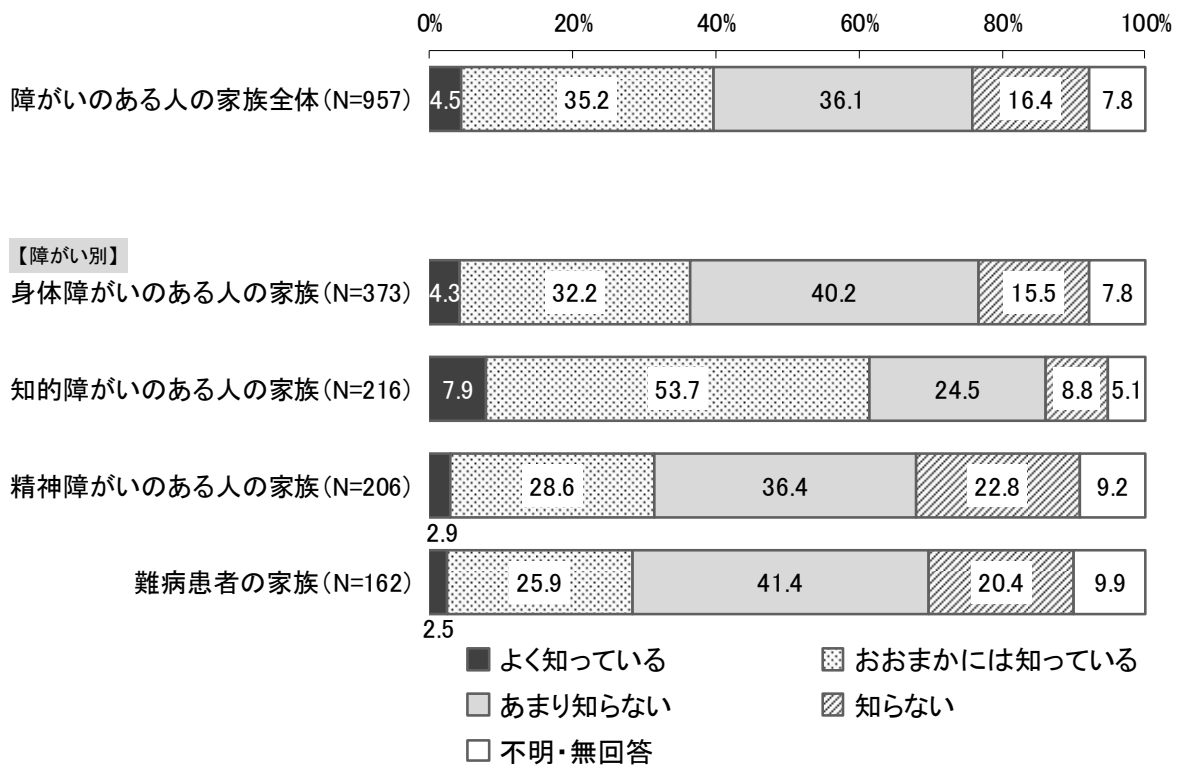


(119) あなたは、福祉サービスを利用するための方法やサービスの内容について、知っていますか。

家族問 12

障がいのある人の家族全体で「あまり知らない」「知らない」の合計の割合が5割強となっています。

障がい別では、知的障がいのある人の家族で「よく知っている」「おおまかには知っている」の合計の割合がその他の障がいのある人の家族と比べて高くなっています。

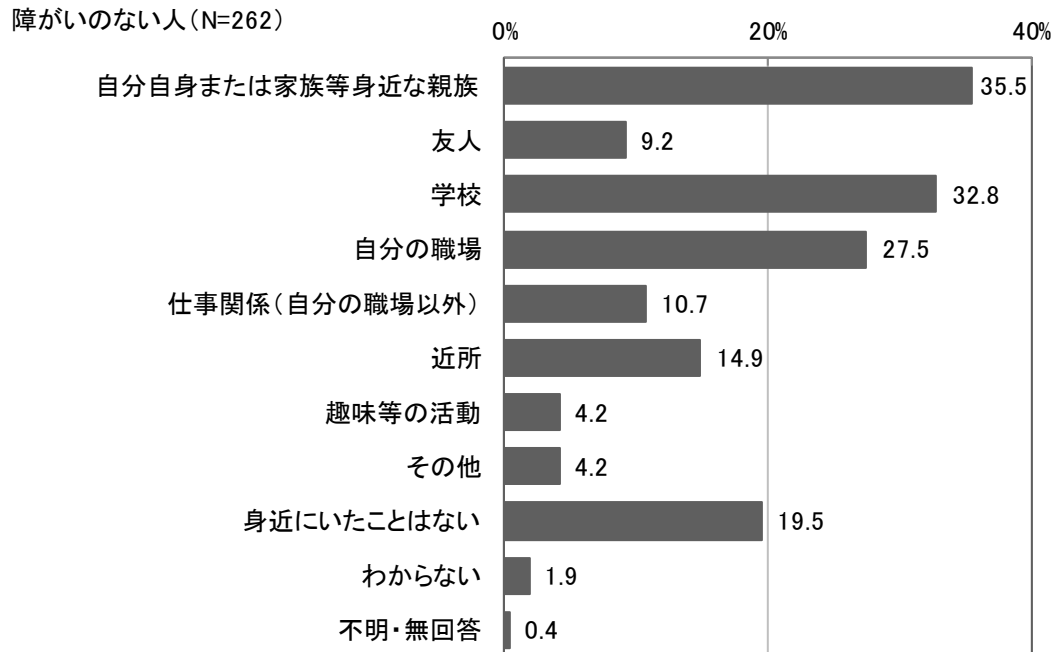


## 15. 共生社会について

(120) これまで、あなたの身近に障がいのある人がいたことはありませんでしたか。また、それはどのような場面でしたか。(複数回答)

一般問 4

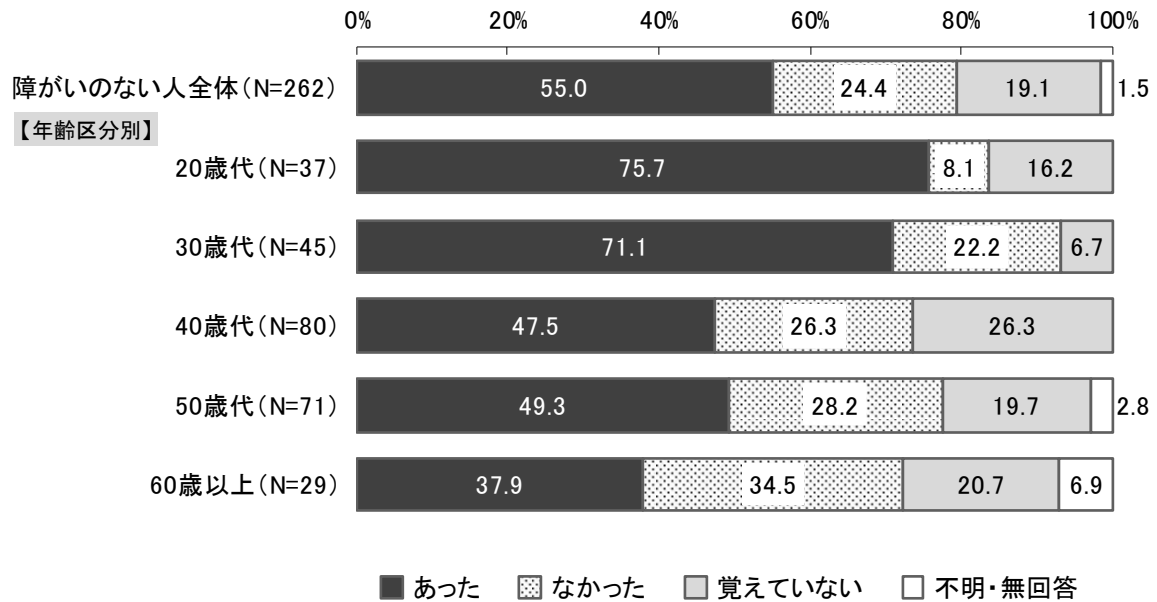
「自分自身または家族等身近な親族」の割合が最も高く、次いで「学校」となっています。



(121) あなたは、これまでに学校の授業などで障がいについて学んだり障がいのある人に接する機会がありましたか。

一般問 5

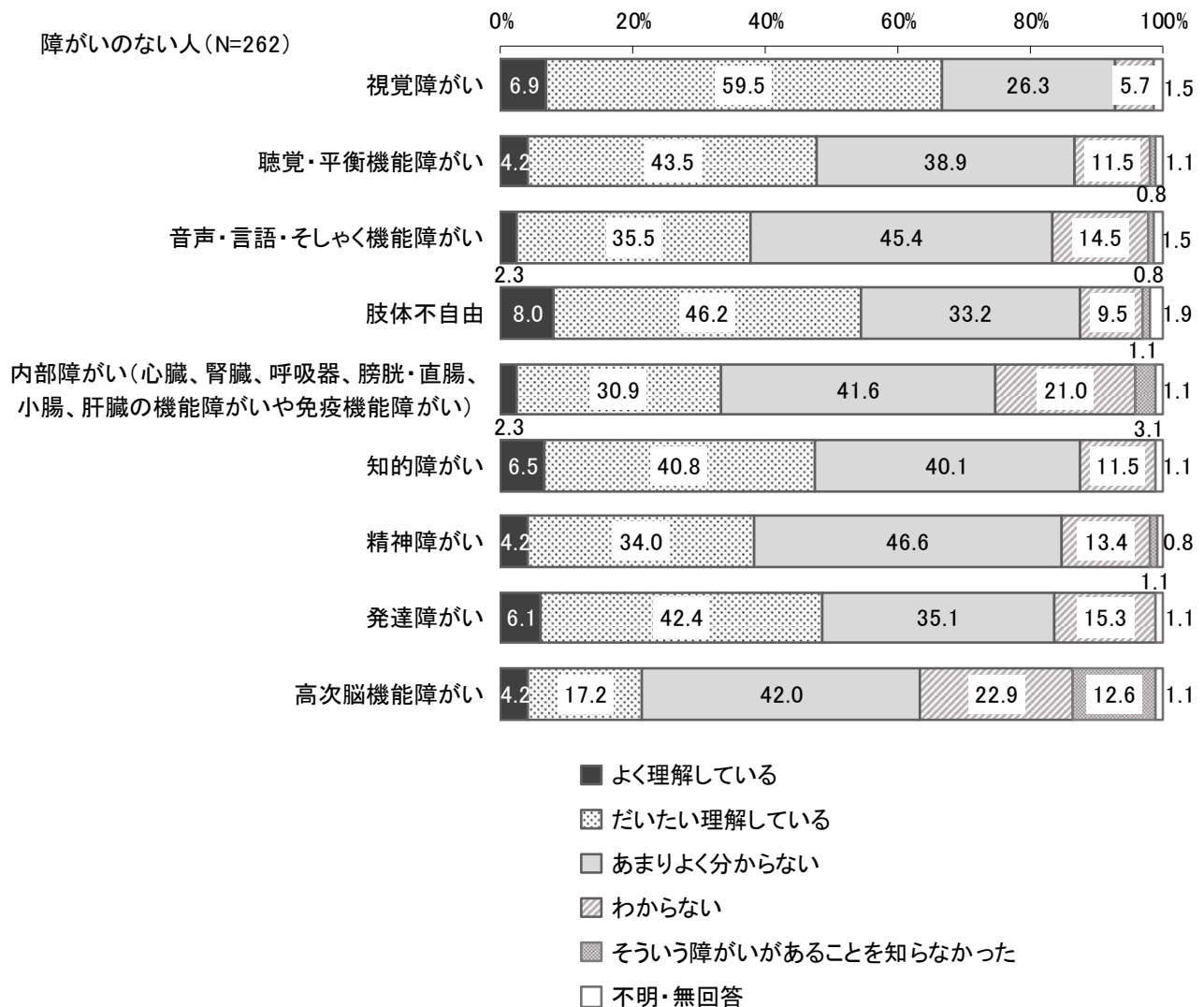
「あった」の割合が5割強、「なかった」の割合が2割強となっています。



(122) あなたは、次の障がいについて、その特性やどのような支援が必要かを理解していると思いますか。

一般問6

「視覚障がい」「肢体不自由」においては「よく理解している」「だいたい理解している」の合計の割合が5割を超えています。「内部障がい（心臓、腎臓、呼吸器、膀胱・直腸、小腸、肝臓の機能障がいや免疫機能障がい）」「精神障がい」「高次脳機能障がい」においては「あまりよく分からない」「わからない」の合計の割合が6割を超えています。

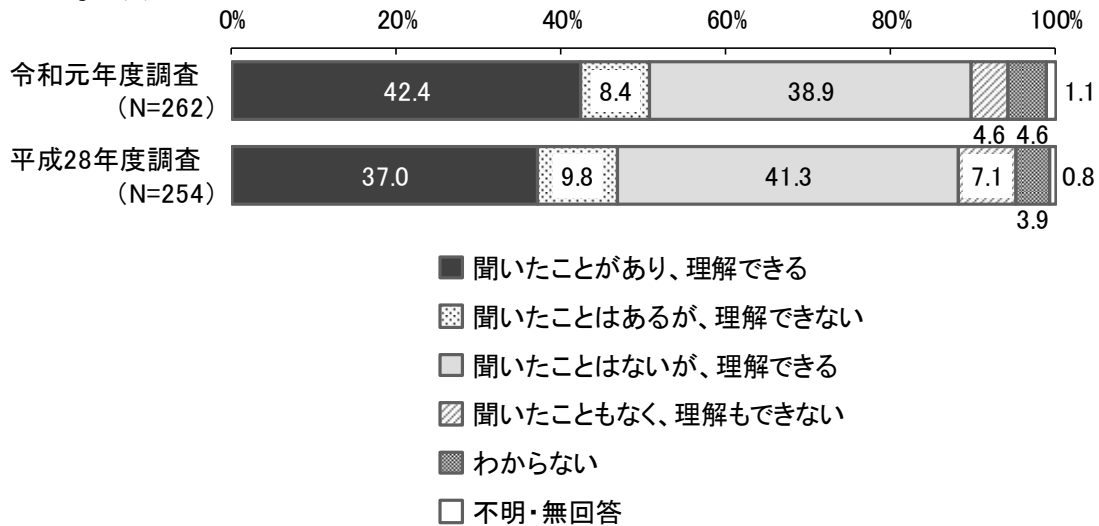


(123) 「共生社会」とは、障がいの有無にかかわらず、国民誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合う社会のことです。あなたは、この「共生社会」という言葉を聞いたことがありますか。また、このような社会のあり方についてどのように考えますか。

一般問 7

「聞いたことがあります、理解できる」の割合が最も高く、次いで「聞いたことはないが、理解できる」となっています。

障がいのない人

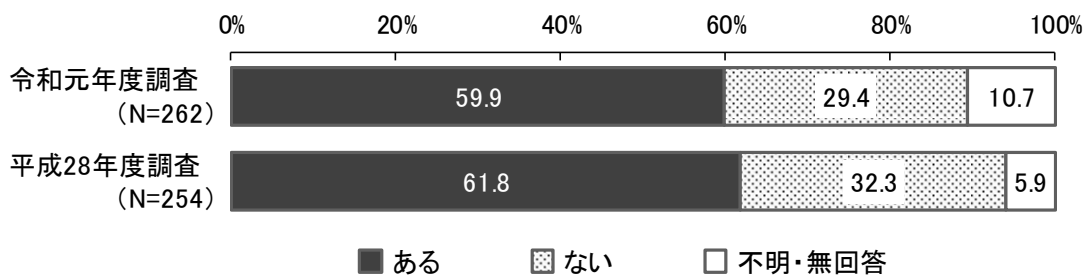


(124) あなたは、障がいのある人と気軽に話したり、障がいのある人の手助けをしたことがありますか。

一般問 8

「ある」の割合が6割弱となっています。

障がいのない人

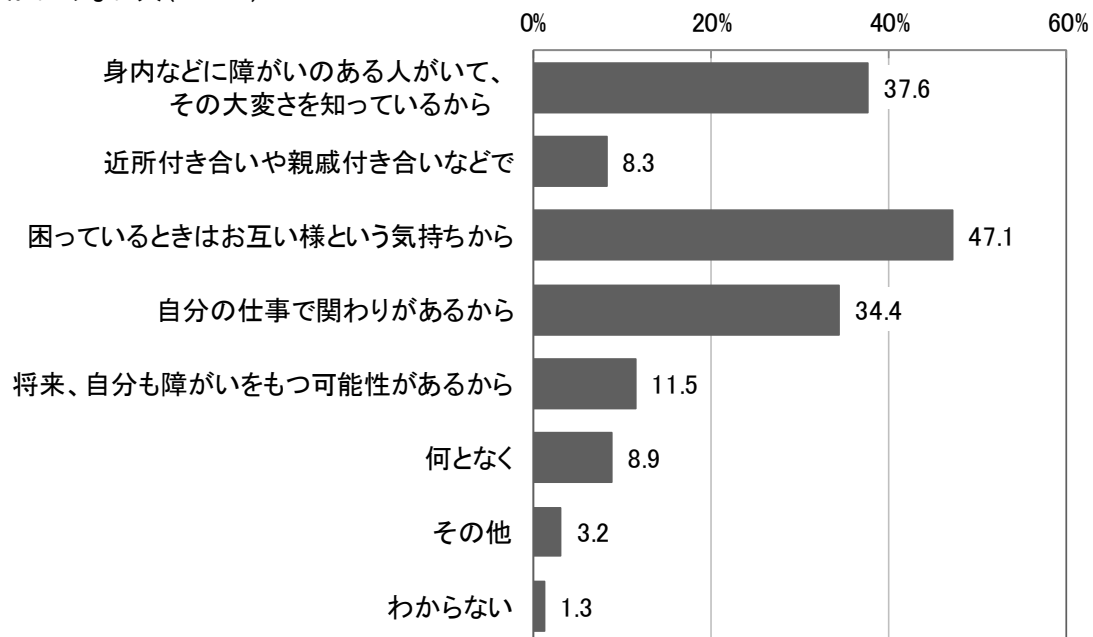


(125) それはどのような気持ちからですか。(複数回答)

※(124)で「ある」と答えた方に聞きました

「困っているときはお互い様という気持ちから」の割合が最も高く、次いで「身内などに障がいのある人がいて、その大変さを知っているから」となっています。

障がいのない人(N=157)



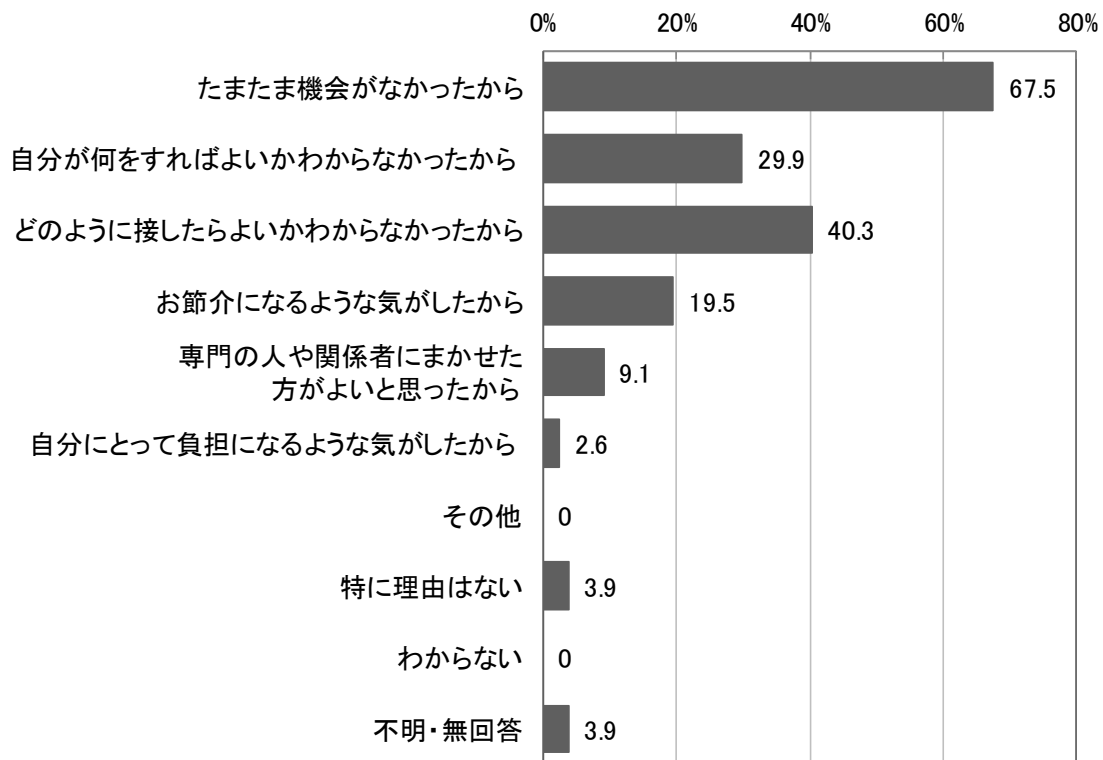
(126) 障がいのある人と気軽に話したり、障がいのある人の手助けをしたことがない理由は何ですか。(複数回答)

※(124)で「ない」と答えた方に聞きました

一般問 10

「たまたま機会がなかったから」の割合が最も高く、次いで「どのように接したらよいかわからなかったから」となっています。

障がいのない人(N=77)



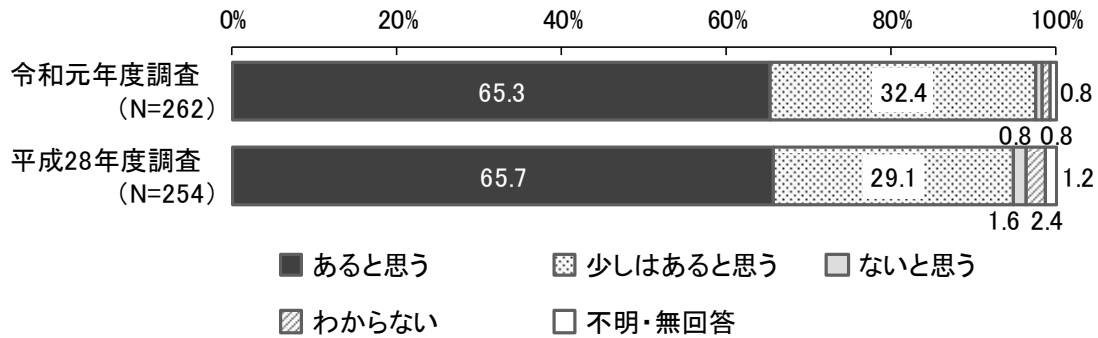


(127) あなたは、世の中には障がいのある人に対して、障がいを理由とする差別や偏見があると思いますか。

一般問 11

「あると思う」「少しはあると思う」の合計の割合が9割を超えています。

障がいのない人

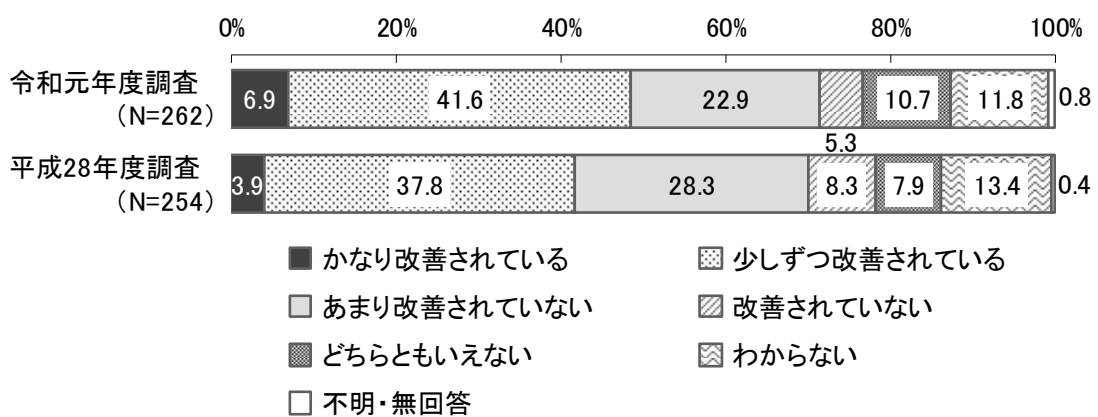


(128) あなたは、5年前と比べて障がいのある人に対する差別や偏見は改善されたと思いますか。

一般問 12

前回の調査と比較して、「かなり改善されている」「少しずつ改善されている」の合計の割合が増加しています。

障がいのない人

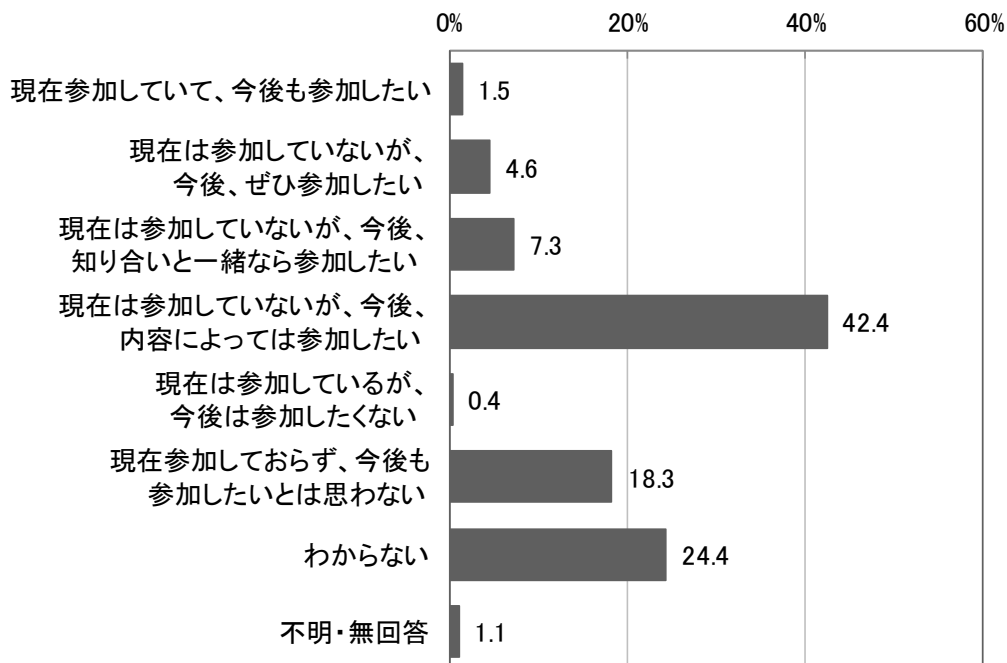


(129) あなたは、障がいのある人に関わるボランティア活動(近所のボランティア、市のボランティア問わず)に参加していますか。また、今後参加したいと思いますか。

一般問 13

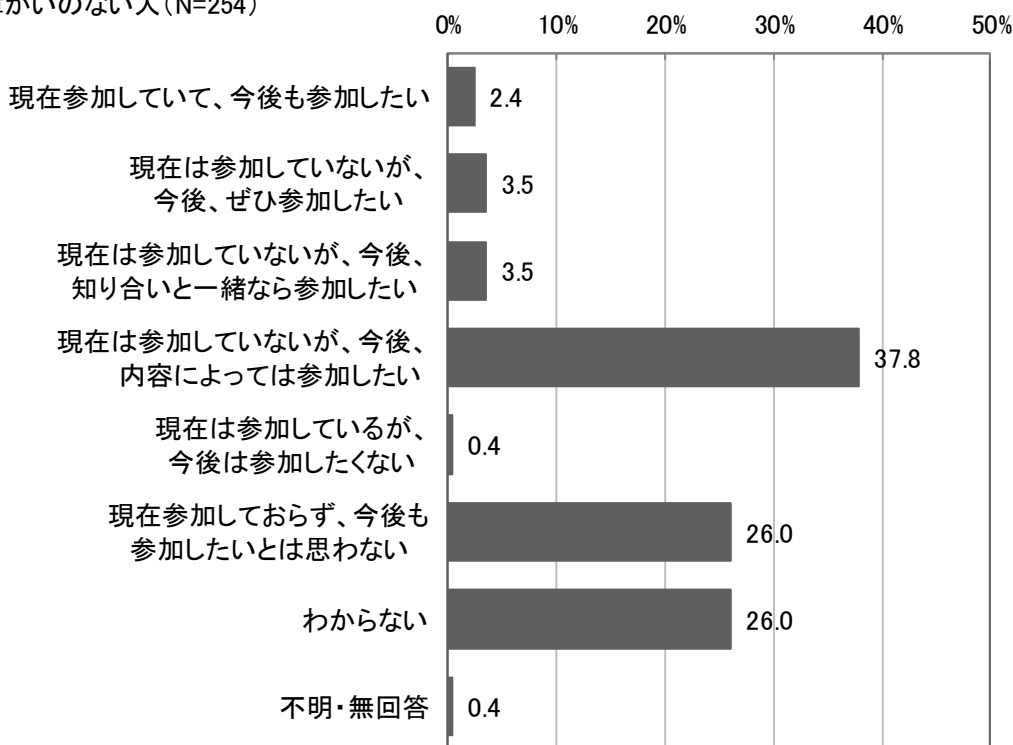
「現在は参加していないが、今後、内容によっては参加したい」の割合が最も高く、次いで「わからない」となっています。

障がいのない人(N=262)



参考：平成 28 年度調査結果

障がいのない人(N=254)

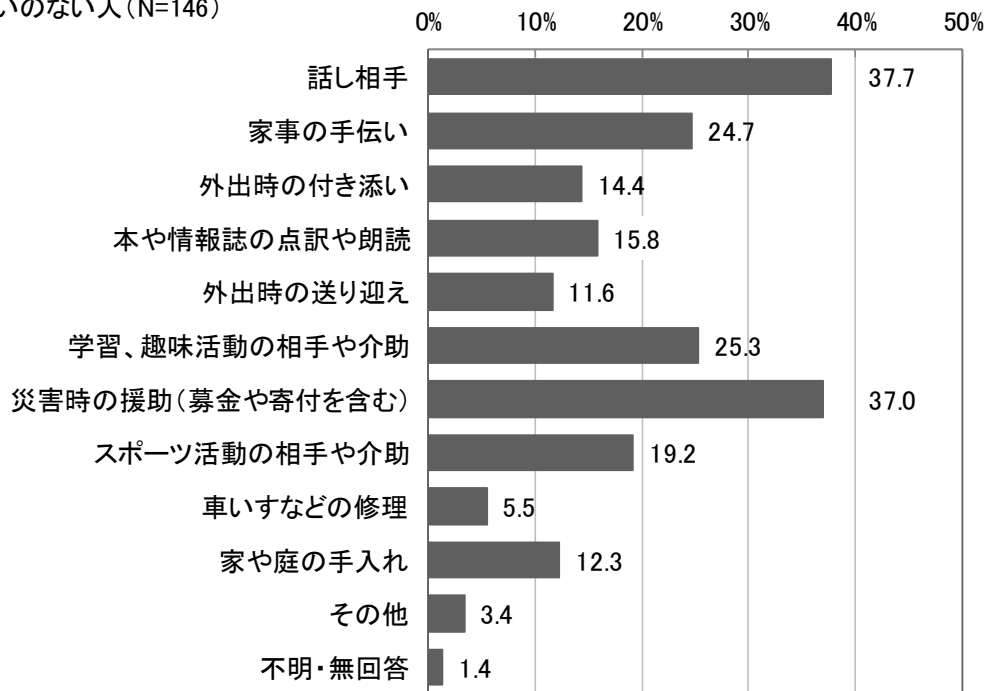


(130) どのようなボランティアに参加したいですか。(複数回答)

※(129)で「ボランティア活動に参加したい」と答えた方に聞きました

「話し相手」の割合が最も高く、次いで「災害時の援助(募金や寄付を含む)」となっています。

障がいのない人(N=146)



## III 自由意見

---

# 1. 障がいのある人等及びその家族

市の障がい者福祉について、多くのご意見やご要望等をいただきました。

## (1) 身体障がいのある人及びその家族

<b>1. 将来への不安</b>	<b>(33 件)</b>
<p>○障がいの進行具合や病気のリスクが不安です。</p> <p>○1人暮らしなので、全てにおいて不安があります。</p> <p>○私は息子と生活していますが、息子と考え方の違いで、ほとんど話しができません。食事も別々、今は何とか自分のことは自分でできますが、体が悪くなった時どんな生活が待っているのか不安です。</p> <p>○将来、障がい者を介護できなくなった時、施設に入れるかどうかなど心配です。子どもによく話しておかないといけないと思っています。</p> <p>○親が高齢になり、今は息子と暮らしていますが、これから先のことを考えます。グループホームが今あちこちでできていますがそれも選択肢に入っており、それをいつにするか迷っています。</p>	
<b>2. 日常生活について</b>	<b>(17 件)</b>
<p>○ごみ出しは隣の人に好意的に助けてもらっています。気がひけるので家の前へ出しておいたら集めてほしいです（ボランティアの人など）。</p> <p>○もし災害になっても連絡などがなくて、途方に暮れて不安ですが諦めるしかない状況です。</p> <p>○耳の障がいのため、夜寝ている時火事などになったりした時に困るかもしれません。補聴器をつけて寝ていないため、サイレンの音が聞こえません。家族不在時は不安です。</p> <p>○障がいがあり活動があまりできなく、国の支援があるのにもかかわらずお金だけがかかって大変です。</p>	
<b>3. 相談・情報提供について</b>	<b>(8 件)</b>
<p>○広報の入手ができません。理由は町内会を脱会したためです。役員を持回りで行うルールがあり、夫婦2人が後期高齢者で私が障がい者では役員を引き受けることはできません。現在、町内会員は減る一方ですが、こうした状況での市の情報を全家庭に連絡できる方法を考えてほしいです。</p> <p>○母（本人）と息子の2人とも難聴、身近な親類、頼れる人がいないので自分のことはできるだけ自分でやれがモットーになっています。市役所にどんな相談所があり、もっと身近に分かる方法があると助かります。</p> <p>○色々と支援してもらえるシステムはあるのですが、お知らせがあることもなく、申請をすることになっても本人は動けないし、家族は仕事で役所に向くのは困難です。</p> <p>○これから歳をとっていくので、何かあった時に困らないように、もっと分かりやすい市政のパンフレットがあると助かります。どんな時に誰に相談したらいいか分からないからです。</p>	
<b>4. 就労について</b>	<b>(3 件)</b>
<p>○会社での障がい者としての仕事内容に不満（パワハラなどあり）。</p> <p>○仕事の給料を改善してほしいです。</p> <p>○障がい者の雇用の受け口を広げ、自立できる環境整備が必要だと思っています。</p>	
<b>5. 移動・外出について</b>	<b>(17 件)</b>
<p>○一人で外出することが一番不便で家族の世話を受けて生活しています。外出先の階段の昇降は手すりがないと大変です。</p> <p>○病院、買い物へ行く際の、交通手段の充実（コミュニティバスなどのバス交通網の充実）。</p> <p>○運転免許返納や自家用車を手放した折の移動手段の確保。</p>	

<b>6. 福祉施策について</b>	<b>(13 件)</b>
<p>○ヘルパーさんを利用できる時間は、朝から夕方とだいたい決まっていますが、しかし、学校から帰ってきた時間や、家族の急な用事（カゼや送迎など）の時に、突然、今！という時のサポートがないので、そういう時のヘルパーの利用や、家でみてもらえる仕組みがあると助かります。</p> <p>○グループホームなどは、低所得の人でも入所できるようにするべきであると思います。孤独死の人が増える一方です。</p> <p>○在宅での医療依存度が高く、寿命も延びているため、重度障がいの子どもの介護する親の負担が、お互いの年齢とともに辛くなってきています。この先の入所施設を早急につくってほしいです。</p> <p>○バリアフリー、補助器具等、出先での利便性等々、当事者目線での設置を希望します。</p>	
<b>7. 医療について</b>	<b>(5 件)</b>
<p>○私は医療的ケアの必要な重症心身障がい者ですが、父母が高齢になって私の世話が自宅でできなくなった時、どこか入所できる場所が必要です。父母が面会しやすいよう自宅からあまり遠くないところが良いです。私の入所できる所が春日井や小牧（名古屋）あたりにあるのかな不安です。</p> <p>○私どもの娘は、人工呼吸器を使用しており、胃ろうや口鼻からの痰吸引も必要な重症心身障がい者です。私ども親が高齢になり自宅で看ることが難しくなったとき、入所を考えなければなりません。地域で入所できる施設等がないようで不安です。車の免許返納を考えた時に、自宅から余り遠くない、地域の施設入所を希望しております。</p> <p>○医療的措置の必要な障がい者が、デイサービスやショートステイを申し込むと、受け入れてもらえないことが多いため、現在利用している事業者が利用できないと、家族の負担が多くなります。</p>	
<b>8. アンケートについて</b>	<b>(7 件)</b>
<p>○今まで障がい者を意識して生活してこなかったもので、障がい者福祉について知らないことが多くこのアンケートについても満足に答えられませんでした。</p> <p>○質問手順、設問が多いです。とても疲れました。</p>	
<b>9. 行政への要望</b>	<b>(11 件)</b>
<p>○大変良くやって下さり、ありがたいと思っています。</p> <p>○障がい者への金銭支援。税金軽減。</p>	
<b>10. その他</b>	<b>(11 件)</b>
<p>○障がいには、「程度」があり、それは人によって個人差も生じます。周囲から一番理解しにくいのは、一番「程度」が低い人たちであり、日常生活には特に支障がない人は一般人と同じと思われがちです。そういう程度の低い人は、自身の障がいについて説明しにくい傾向があると思います。</p>	

## (2) 知的障がいのある人及びその家族

<b>1. 将来への不安</b>	<b>(53 件)</b>
<p>○現在介護をしてもらっている親、兄弟姉妹が年老いた時や亡き後のことが心配で、そのような場合に施設に入れるかどうかの不安があります。</p> <p>○お金の管理等も将来的には成年後見制度や日常生活自立支援事業を利用したいと思っているがよく分からないため、勉強会等に参加しないといけないと思っています。</p> <p>○歩行ができないため、避難所に行けるか不安です。トイレも障がい者トイレでないとなかなか大変です。</p> <p>○手足が不自由になった時、本人・家族が普通の生活ができるか不安です。買い物、車いすになった場合の外出等。</p> <p>○対人が苦手な子どもは、新しい人達と付き合うのが難しいと思うと、新しい作業所とかへ変わることができません。ましてや知らない人達の中に入るグループホームへは行けません。</p>	

<b>2. 日常生活について</b>	<b>(8 件)</b>
<p>○子どもが重度で一日中目が離せません。主人も体が弱って手がかかるようになったので大変です。</p> <p>○日常生活の中で難しいことも多くあります。仕事もできるけど、仕事を探すことはかなり難しく不安があります。家のことは必ずやりますが困難があります。</p> <p>○一年前から急に働けなくなり、どうしたら良いのか悩んでいます。夜型になってしまってどうしたらよいか分からず困っています。</p> <p>○てんかん発作が落ち着けば、自宅での1人暮らしも支援を受けながら可能だと思いますが、難治性で、夜間がひどく、本人も自覚がある時とない時もあり、薬もすぐに効かないようです。薬が変更される時夜用の症状も良く見なければいけないし、昼間薬によって眠気が増すと、それが発作を起こす引き金となります。グループホームでは難しいかなと思います。</p>	
<b>3. 相談・情報提供について</b>	<b>(11 件)</b>
<p>○介護者（家族）が高齢なので、元気なうちは良いが、介護できなくなった時の施設（有料で良い）を紹介して頂きたいです。</p> <p>○将来、私達親が老いた時に施設やグループホームに預けられたらとは考えてはいるが、新しい情報が手に入りにくく、そもそも施設自体の数も足りていない現状をみると、十分前もって施設の見学やら密な関係を築くべきなのかと思っています。</p> <p>○「障がい者の家族」として普通に生活しては知らなかったことの方が多いのは、自助努力が足りないにしても、広報等の活動も少なかったのではないかと思っています。新規の事業所、制度改正による新サービス等の冊子が行きわたるようにしてほしいです。</p> <p>○親が亡くなった後、支援センターや、市の窓口で対応していただけるような制度が必要だと思います。そしてその情報が常に分かるようにしてほしいものです。本当に困った時助けてくれる所があるような社会になってほしいです。春日井市も福祉の面で良くなってきました。ありがたく思っております。</p>	
<b>4. 就労について</b>	<b>(3 件)</b>
<p>○一般企業へ障がい者枠で就職した時にみんなと仕事できるか、コミュニケーションを取ることができるかなど心配です。現在就労移行支援事業所に、通い出して2か月が経過したところです。そこで自分のやりたいこと、自信などを見つけてほしいと思っています。就労移行支援事業所の内容をもう少し増やしてほしいです。</p> <p>○障がい者施設で働く職員の確保が難しいことが不安。</p>	
<b>5. 移動・外出について</b>	<b>(7 件)</b>
<p>○駅や公共施設の障がい者トイレに大人も利用できるユニバーサルベッドがないので、利用できず困っています。</p> <p>○移動支援を利用したいと思っているが、バス停や駅が近くになくて利用しづらいです。</p>	
<b>6. 福祉施策について</b>	<b>(23 件)</b>
<p>○本人の障がいの状態のことで、ショートステイを受けてくれる事業所がなく困っています。小規模の少人数受入れの事業所をつくってほしいです（マンツーマンで見たいとは言いませんが、目が届きやすい体制の事業所）。</p> <p>○ヘルパーさんの質を上げて頂きたいです。支援時間を増やして頂くことと、利用時間との間の2時間の縛り、3時間までの縛りをなくしてほしいです。</p> <p>○医療的ケアの必要な人のグループホームをつくってほしいです。</p> <p>○親も年老いてきて自分達の楽しみことをやりたい、夢を叶えたい年になってきたので、家庭の緊急時、冠婚葬祭時だけではなく、世話を引き受けて下さる事業所がほしいです。</p> <p>○障がい者と同居家族への支援が必要な状況の時、それが高齢化した時に色々なサービスが世帯まとめて利用できるかが不安です。制度の仕切りが結局邪魔をするような現実になることと思われま。壁を取り除いて、橋をかかげる制度に発展して行ってほしいです。</p>	

○介護者の生活の安定の手当支給確立。年金制度等のため、介護者の収入や基本的生活の活動が無理な人がいます。各家の年収を見て本人に足して介護収入、手当支給をするなど、生活困難から助け出す施策を望みます。
<b>7. 差別や権利擁護、障がい者理解について</b> (4件)
○障がい者は人として見てくれません。職場でも、障がい者を雇っている所はあります。それはお金です。国からお金をもらうだけ。あとは、社員に頭を叩かれたり、ストレス発散のために障がい者をイジめることも見ました。
○グループホームに居ますが、働いています。でも店長でないパートの人が色々言ってきます。会社は障がい者を受け入れますが、社内の人が理解していない様です。
○障がいを理解している人達が少ないです。例えば、市の職員や社会で働いている人達も、身近に障がいを持っている人がいない方々は、特にわかってない人が多いです。もっと理解をしてもらうために、福祉に関連する方々の啓発活動をもっとして頂きたいです。
○警察の方などでも知的障がい者について知識のある方に対応してほしいです。辛い思いをしたことがあります。
<b>8. 行政への要望</b> (14件)
○家族の立場からですが、春日井市に限らず、申請主義なので聞かなければ知らずに損をしていたり、申請しても滞る（自治体がまたがっているなどの理由で）ことがあります。新規の事業所の紹介等もほしいです。
○障がいは人それぞれです。制度で決められているからという枠にとらわれずに柔軟に対応してほしいです。
<b>9. その他</b> (9件)
○障がいのある人も含め多様な人、春日井市民全ての人が幸福感を感じられる暮らしができるよう努めていきたいです。
○毎日の生活は、日中通える場所があり、夕方からはヘルパーさんとの散歩、入浴があり、本人も家族以外の人との触れあえる時間が持て、その時間は、家族も家事に使えて充実しています。
○現在は特に困ることはなく生活できているが、将来的に行政の支援を受けられるよう、自分自身が勉強し、準備しなければならぬと強く思いました。

### (3) 精神障がいのある人及びその家族

<b>1. 将来への不安</b> (25件)
○介護する家族が亡くなった後、障がい者本人はどう生きていくかが心配です。
○障がい者手帳の更新に診断書が必要ですが、診断書は医療費とは別で高額です。2年に1度は今の親の収入があつて大丈夫ですが、障がい者が治らないので将来について気になります。
○将来の住居の不安。
○今は家族に囲まれて生活していますが、子ども達が家族ができて自立して家を出たら、夫婦2人になった時、生活が成り立つのか不安です。金銭面、精神面、生活面、健康面など、仕事をしていながら、面倒をみられるのか、自分がいつまで元気で生活を支えられるのかなど不安しかありません。福祉の言葉が難しく理解できません。
<b>2. 日常生活について</b> (8件)
○生活費の確保が困難。
○生活のリズムが不規則。他人とうまくコミュニケーションが取れません。いざひとり身になったとき（現在も一人暮らし）、障がいがあることによって周りに言いくるめられないかどうかが心配です。



○今実家に住んでいますが、親が亡くなると相続の関係で兄弟と遺産分与で住む家がなくなります。今の月収ではアパートにも市営住宅にも住めません。年金込みの収入で住める公営住宅がほしいです。そうでなければ生活保護を受けざるを得ないと思います。
<b>3. 相談・情報提供について</b> (10件)
○今回、自分自身、障がい者としての辛い体験をして、(また家族も体験して)、それらの体験を自分の知り合いに伝えていく大事さを覚えました。この経験を活かし、生きているうちは発信していくべきだと感じました。
○成年後見制度、日常生活自立支援事業、障がい者・高齢者虐待防止について講座、普及活動が推進されるとよいと思います。
○発達障がい者のセミナーに行ってきました。あまりにも情報が多くて難しかったです。わかったことは、だれも持っているもののいくつかがとびぬけていることと、親子で遺伝の可能性がある症状や障がいなどでした。もっとわかりやすく世の中に伝わればよいと思います。
○災害時要援護者名簿に登録はどこで手続きをするのか知りたいです。障がい者手帳や医療証の更新が大変です。お金の管理を現在は母親がしているが今後が心配です。兄弟に負担をかけたくないです。
○困ったことがある場合、誰に相談したらいいか分かりません。どこに問い合わせればいいのか、必要な情報をどう手に入れればいいのか分かりません。
<b>4. 就労について</b> (14件)
○生活保護を受けているのですがもらえるお金が圧倒的に少ないのと、募集している仕事は圧倒的に少ないです。やりたい仕事がなく困っています。もっと広い範囲で募集してほしいです。
○就労支援に通ってます。実習先であまり障がい (ADHD) に理解がなく不安です。
○人とうまくやっていけるか不安。問題なく働けるか、仕事に就くためには今の環境からどうしたらいいか、相談する人が誰かわかりません。
○就労継続支援A型事業所で働いていますが、一般就労できる気がなくてこのままずっとA型で働いていけばいいのか、将来どうなるのか不安です。
<b>5. 移動・外出について</b> (5件)
○駅に行くときと変なことを言われます。差別されています。
○庄内川近くですが、避難場所まで遠いし足が悪いので、早目の車移動を考えていますが、駐車場の確保もしてほしいです。
<b>6. 福祉施策について</b> (19件)
○利用できる福祉施設や支援などをより充実させて頂けるとありがたいです。
○私たちは障がい者手帳を武器にたくありません。ただ、盾にしたいだけです。ただ盾をふりまわせば武器になることも知っています。そのあたりの配慮だけを望みます。
○医療費が途中から免除になったので助かっています。長い期間にわたって支援してもらいたいです。
<b>7. 医療について</b> (5件)
○病院での時間待ちの5分診断では、効果的な治療ができるとは思いません。精神科の医者の絶対数を増やしてほしいです。
○病気の症状の一つに大金を浪費しますが、プライバシーもあり、止める手段がありません。
○医療型障がい児入所施設の療養介護をつかってほしいです。大人用の医療型障がい者入所施設・療養介護をぜひつかってほしいです。
<b>8. 行政への要望</b> (9件)
○平日しか手続きできず、仕事を休まなければならないのも困ります。
○警察の方の障がいへの理解が感じられません。保護された時に、仕事を辞めて監視をどこかに依頼するようにと言われました。行政に相談しましたが、そういったサービスはないと言われました。

<b>9. その他</b>	<b>(4 件)</b>
<p>○自分が人より強い意志と忍耐がないので、困難が乗り切れないです。強くなりたいです。</p> <p>○一人暮らしの人は病気になっても看病してもらえないと思うので、病気にならない体づくりを考えているが、うまくいきません。</p> <p>○もっと近所の人たちと仲良くしたいです。皆の良いところを見て、感謝の気持ちを持ちたいです。人を信じることができるようになりたいです。健康になりたいです。自分のことも人のことも悪く考えずに良く考えたいです。</p>	

#### (4) 障がいのある児童等の家族

<b>1. 将来への不安</b>	<b>(13 件)</b>
<p>○デイサービスも満足になく短期入所や困った時預ける先もなく将来も不安でしかありません。外出や通院も困難な時が多いですが、お金をかけて利用することもままならないのでどこにも頼りません。介護の毎日から一日でも休みたいと思う日々で安心な生活は望めません。</p> <p>○今は子どもが小さいので特に困っていないのですが、グループホームなどゆくゆくは入って自立していければと思っています。また、春日井在住ですが、瀬戸の小学校に通っているのが、遠いので多少不便利です。</p> <p>○医療的ケアがあるという理由で多くのサービスを受けられません。いつか母親が倒れるような不安でいっぱいです。</p>	
<b>2. 相談・情報提供について</b>	<b>(15 件)</b>
<p>○子どもが障がい者である時、保育園とか幼稚園をどうすればいいのか分かりやすくしてもらいたいし、療育も幼稚園で言われて通うようになったので、療育を空いている事業所などを教えてもらえると助かります。</p> <p>○福祉に関する情報など、親が自ら動いて情報をかき集めて行動しなければならないことが多いです。もっと市から情報を発信したり、個別に郵送するなどして教えてほしいです。</p> <p>○学校などからもっと福祉について情報があるといいと思います。どんな福祉があるかとか分かりません。</p> <p>○障がいを持つ子どもの支援が保育園に入っているとそれで良しにされている気がします。他にもどんなサービスがあるのか情報集めが複雑で集めにくいです。成人するまでの生活等のライフプランみたいなものを一緒に考えてくれるアドバイザーみたいな人がいるといいと思います。</p>	
<b>3. 療育について</b>	<b>(4 件)</b>
<p>○療育を探していた頃、定員がいっぱいで断られることがあったので、必要としている人がすぐに療育を始められるように十分な施設の数をお願いしたいです。</p> <p>○発達障がいには目に見えにくく分かりにくいですが早目の療育によって子どもは社会に適応できると思います。しかし、春日井市は2歳までは様子見を勧めます。診断や疑いがあると言われることにショックは大きいですが、困る時は絶対的にどこかでやってくると思います。2歳を待たずして関わってもらえる体制になると良いと思います。</p>	
<b>4. 就学・就労について</b>	<b>(28 件)</b>
<p>○学校によっては、少しのサポートで通常級でやっていける子ども達でも、学校側の受け入れがなく支援級にいかなくては難しいということを言われました。学校によってサポートできることに差が出るのはどうかと思います。「合理的配慮」もまだなかなか現実的にはされていないのが現実だと思います。</p> <p>○障がいの程度に応じた学校内での支援が手厚くなってほしいです。支援員の増員、通常級における発達障がいの生徒への学習・活動時の支援や、「通級」を中学校でも行えるよう体制を拡充してほしいです。</p> <p>○高校受験する予定ですが、ちゃんと通えるか、就職できるか、色々不安です。福祉サービスも利用すべきなのか…誰に相談するべきか分かりません。</p>	

○言葉の理解が遅いため、小学校の授業にどれくらいついていけるのか、また、少し早いですが、中学校にも支援級があるのか、サポートしてもらえるのかなど、いろいろ不安です。
<b>5. 移動・外出について</b> (4件)
○春日井市内はバス便が少ないです。障がいがあってもバスさえ通っていただければ一人でできることがもっと広がります。今は時々は一とふるライナーを利用しますが、今後は大人になり、福祉事業所や仕事に通うことになった時も現状では選択肢がかなり狭くなります。はとふるライナーは現在無料で利用させて頂いていますが、お金を払っても良いので本数を増やしてほしいし、バスなどの公共交通機関を充実させてほしいです。
○もし1人で出かけるときに、軽い障がいがある人にとって、話しかけられても伝えられるか不安な場合があると思います。誰かから話しかけられても会話がしやすくなるようなヘルプがほしいです。
<b>6. 福祉施策について</b> (29件)
○子に色々な支援を受けさせたいですが、生活が苦しく仕事をしなくてはいけないため、思うように受けさせられないです。土・日・祝にもっと相談できたり、療育や言語、作業療法など受けられるようにしてほしいです。
○放課後等デイサービスの事業所はすごく多いですが、市・学校・施設・医療機関の連携が取れないので、生活に結びつかないことが多いです。一般論ではなく、より本人により沿った方法などを分からずに支援する人が多いです。
○様々な制度をつくって下さっていると思いますが、複雑で分かりづらく思います。コーディネーター的な役割の方が、一人一人の年齢に合わせた適切な時期に制度を案内していただけると助かります。災害時要支援者避難制度については登録したいと思いますが、どのようなメリットがあるのか分からず不安です。
○1人の子どもに対して自治体、サービス事業所の職員、教師、医師、OTなど関わる人たちがケース会議のようなものを設けて、18歳になるまで一貫して見守ってくれるよう、必要な子どもに適切な支援が届くようになると良いと思います。
<b>7. 医療について</b> (4件)
○病院で発達障がいだと言っても、良い対応をしてくれません。静かにできないので注意されたり、症状を聞かれても答えられなくて、面倒に思われているのが分かります。看護師の人にきついことを言われたことが何度もあり、病院に行くのが嫌です。
○予防接種(インフルエンザなど)病院まで連れて行くのも大変で、待ち時間など待ち合いで健常者の方々の中で暴れる子どもと過ごす(待つ)のはとても大変です。心が病みます(視線)。支援学校で予防接種を受けられる機会があると嬉しいです。
<b>8. 差別や権利擁護、障がい者理解について</b> (8件)
○狭間の子どもは理解されにくいです。主人が一番分かっていないです。子どもに厳しく接するため、よく落ち込みます。他の子と同じようにさせようとしています。
○発達障がいは周りから分かりにくいので、ヘルプマークなどを色んな人にも理解してもらうために、もっと世の中の人に知ってほしいです。ヘルプマークを、手帳を持っている人全員に配布してほしいです。どこで手に入るかも分かりません。
○障がい者との差別が酷すぎます。学校などでもきちんと説明や教育などあれば少しは違うんじゃないかと思います。運動会などでも支援級は参加できないなど、できる限り共に学び、一緒に勉強できる環境であってほしいと思います。
<b>9. 行政への要望</b> (12件)
○まだ年齢が小さいのですが、この先、集団生活・社会生活を送っていく中で、本人の特性を理解し周りの人達と共存していける、生きやすい環境をつくって頂けると本当に嬉しいです。
○身体が不自由でも、今住んでいる家でずっと暮らせるような街になってほしいです。生産人口が減っていく中どこも人手不足なのに、福祉現場で働こうと思う人はいるのでしょうか。介護職について5年目になりますが、障がい児を育てている私でさえ辞めてしまおうかと思うことが多々あります。

<b>10. その他</b>	<b>(4 件)</b>
<p>○私自身の体も心配です。ぎっくり腰を3度やりました。今はなんとかかばいながら毎日こなしています。首・腰のヘルニア、手首も駆使しているから痛みます。「やればできる」「やるしかない」と自分に言い聞かせています。下の子ども達も大きくなるから教育費もかかります。仕事をしたいが、長女のこの事情を理解してもらえず、以前内職でしたが会社に言われて辞めることになりました。</p>	

## (5) 難病患者及びその家族

<b>1. 将来への不安</b>	<b>(14 件)</b>
<p>○現在私は自立できています。SLE（全身性エリテマトーデス）の病気ですが、いつ悪化するか不安です。今のところ薬で安定していますが、動けなくなった時が心配です。できるだけ自宅で過ごしたいと思うのですが、その時はヘルパーさんをお願いしなくてはならないかもしれません。</p> <p>○難病と年齢を重ねてくるとそれだけでも不安ですが、我が家には発達障がいからくるうつ病を持っていて働くことがままならない子どもがいますので、親が亡き後のことが心配です。子どもの安心できる場所の確立が今一つあれば安心して毎日が暮らせる気がします。</p> <p>○今は仕事をして何とかやっているが、働けなくなった時、年金だけで治療代を続けていけるか、生活していけるかが不安です。</p> <p>○現在、支援のため仕事を辞め、自分自身の収入が全く有りません。今後の生活が非常に心配です。</p> <p>○現在は夫婦で暮らしているが、一人になった時は年金だけでは暮らしていけないと思っています。</p>	
<b>2. 日常生活について</b>	<b>(5 件)</b>
<p>○一人暮らしなので部屋で意識を失ったり、動けなくなった時の対応に不安があります。</p> <p>○日々活動していくのが辛いです。どこまで我慢すればよいのか、助けを求めているのか分かりません。障がい者用駐車場に止めたいけど、見た目は元気に見られるので止めづらいです。</p> <p>○パーキンソン病は良く研究されていて薬もたくさん出ています。今現在は良く効いて仕事もできていますが、薬の量はどんどん増えていくので、いつまでこの生活が送れるか心配です。将来、車いす生活になり、主人に負担を掛けるのが申し訳ないです。</p> <p>○入浴が毎日できなくて施設での週3回となってしまいます。外出の時、家族の介護が必要なため困ります。</p>	
<b>3. 相談・情報提供について</b>	<b>(2 件)</b>
<p>○私は難病患者ですが障がい者ではありません。その違いが分かりません。現在、移動方法は自家用車ですが、免許証返上の後良い移動方法を教えて下さい。</p> <p>○もう少し利用できる制度などをわかりやすく広報してもらえたら嬉しいです。</p>	
<b>4. 就労について</b>	<b>(2 件)</b>
<p>○手に職をつけるべく勉強中ですが、その間、自分にもできるバイトで未来のための資金を増やしたいです。障がいの重さに適応した仕事の求人など情報があればと切に思います。</p> <p>○在宅でできる内職（もちろん座ってできるとか、パソコンでする仕事）を斡旋してほしいです。</p>	
<b>5. 移動・外出について</b>	<b>(6 件)</b>
<p>○車いすの人には道路がデコボコで使いにくいです。</p> <p>○車の運転ができなくなった場合の病院・買い物等への不安。歩いて行ける所にバス停・スーパー等がありません。</p>	

<b>6. 福祉施策について</b>	<b>(18件)</b>
<p>○福祉応援券は、現金支給より良い意味での「ありがたみ」が感じられます。対象や店も増えて良いです（店の負担が大きくなければ）。人間ドック等も勝手ながらこれらにもバックアップ（費用・内容等）が増えるとありがたいです。</p> <p>○福祉避難所を利用できる対象者が誰なのか不明確です。申告制度になっているのでしょうか。証明できるものを持って行けば利用できるのでしょうか。</p> <p>○住居の設備改善。市営住宅入居の枠（難病患者及びその家族）を一般の入居とは別に設定してほしいです。</p>	
<b>7. 医療について</b>	<b>(7件)</b>
<p>○指定難病で医療助成を受けていますが、病気が良くなると助成が受けられなくなると聞きました。治らない病気で悪化する可能性もありますし、助成が受けられないのは困ります。</p> <p>○今のところ働いているので、病院の治療費・薬代など賄えますが、年金だけの生活になったら結構負担が増えるのではないかと思います。以前は薬代は院外処方であれば無料でした。薬代を支払うことで今後、負担になると思います。いろんな思いで今病気をもちながら仕事を続けています。他にも病気がちなため、働かないと不安です。年齢も70代になり、仕事は本当はきついです。</p> <p>○薬がないとすぐに症状が出てしまうので、災害時に薬が手に入らなかった場合がとても不安です。</p>	
<b>8. 差別や権利擁護、障がい者理解について</b>	<b>(3件)</b>
<p>○ヘルプマークを付けて電車（JRや名鉄）に乗ることがありますが、乗客たちの認知度が低いと思います。反面、「座席を譲ってほしい」と物ほしそうにするのには抵抗感もあります。状況によってマークを出したり、引っ込めたりしています。普及のためにはいつも出していた方が良いでしょう。</p> <p>○同居家族の病気に関する理解が乏しいです。</p>	
<b>9. 行政への要望</b>	<b>(8件)</b>
<p>○同じ疾病を持つ患者さんと出会う機会がないので、もしそういった場（20代でも気軽に参加できるような場等）があれば、いざ困った時に心強いなと思います。</p> <p>○障がいのある人、家族にとってより良い住みやすい市となることを願います。</p> <p>○生命保険への加入が難しいと感じています。行政で生保の仕組みづくりをお願いしたいです。</p>	
<b>10. その他</b>	<b>(5件)</b>
<p>○生活している中で困っていること、不安いっぱいあるけど気弱にならず前を向いて頑張りたいです。</p> <p>○弟の私が元気でないと介護できないので、姉より1日でも長生きしたいです。</p>	

## 2. 障がいのない人

<b>1. 情報提供について</b>	<b>(6件)</b>
<p>○障がい者施策について分からないことが多く、今後障がいを自分自身が持ったら、また、子どもが障がいをもっていたらどうしていいか分かりません。窓口となるような情報の発信を行って頂きたいです。</p> <p>○高齢者や視覚障がいなどで新聞等を読むことができない方などが、色々な情報をちゃんと得ているのでしょうか。</p>	
<b>2. 障がい者の差別や権利擁護、障がい者理解について</b>	<b>(7件)</b>
<p>○健常者と障がい者の共存、共生は双方の意見、意識の向上を図るには時間も労力も必要となり、中々進まない現実があります。しかし所謂「障がい者専用〇〇」は閉ざされた環境で良い社会となるとは考え難いです。「障がい者兼用〇〇」というやや障がい者よりの物言いのサービス(公共機関や施設利用など)で一般者も使えるという位置づけのものを増やすのは認知に一歩進むのではと思いました。</p> <p>○小中高時代、障がいを持った方と過ごす時間は有りませんでした。クラスが分かれていたからです。クラスが分かれていても同じ授業を受ける機会があれば、もう少し理解する気持ちを持つことができたかもしれません。子どもの頃から係りを持たせるべきだと思います。</p>	
<b>3. 障がい者の安心・安全について</b>	<b>(5件)</b>
<p>○歩道が狭い所があったり、歩道橋もスロープがあったら便利なのではないかと思います。障がいをお持ちの方にももちろん配慮はしたいと思いますが、健常者の人と一緒に何事もできる訳ではないので、どう接すればいいのかためらってしまいます。当人やご家族からこうしてほしいという意見データがあったらもっと助けることができる気がします。</p> <p>○障がい者専用駐車場への駐車や、目の障がい者のための道路マーク上の駐輪等の罰則強化を望みます。</p>	
<b>4. アンケートについて</b>	<b>(4件)</b>
<p>○障がいだけではなく、高齢者や子育てに関しても生きづらさをなくしていくには、一番周囲への理解が大切になってくると思います。そのため、このようなアンケートや他の機会を通して、市民全体が福祉について知識等を深められるよう、春日井市役所の方の力を頼りにしています。そして、自分自身もアンテナを張り、協力していきます。</p>	
<b>5. 行政への要望</b>	<b>(9件)</b>
<p>○障がい者関係の仕事についていますが、人材や人員を増やして頂きたいです。成年後見人を必要とする障がい者も増えて来ることが予想されます。後見人と障がい福祉(施設や訪問事業)との連携が必要となってきます。制度の周知も大切ですが、実際に利用されている方々への支援内容を充実させてほしいです。制度を利用しても、その方の親がわりにはなることはできません。自身で必要な支援を決められる方ばかりではないため、施設および訪問事業がその人の支援を決めるのか、後見人が決めるのかそういった面をはっきりさせて頂きたいです。</p> <p>○障がい者の方が暮らしやすい社会は、一般市民の方も暮らしやすい社会だと思います。相談したい時の窓口を分かりやすくして、困った時は助けを求められ、専門家の方から正しい支援を受けられることを望みます。孤立させないよう、障がいのある人の家族のサポートを充実させてください。</p> <p>○発達障がいの学生を職場のインターンシップで受け入れしたことがあります。できることが沢山あったので、障がいがあっても力が発揮でき、自信を持って生活していけるような職場や環境づくりを支える行政をお願いします。</p>	
<b>6. その他</b>	<b>(5件)</b>
<p>○春日井市に長く住んでいますが、正直、障がいのある人が近所に住んでいるのか全く知りません。知らないで、災害時など助けたいと思っても、とりあえず何もできません。</p> <p>○重度、軽度と障がい者にはあると思いますが、障がい者と一般の方たち、皆が平等で助け合いわけ隔てのない社会になるように春日井市民全員で協力し合えるようになると良いと思いました。</p>	